エラーメッセージ

バージョン 12.0.1

2012 年 1 月

Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

バージョン 12.0.1
2012 年 1 月

Copyright © 2012 iAnywhere Solutions, Inc. Portions copyright © 2012 Sybase, Inc. All rights reserved.

iAnywhere との間に書面による合意がないかぎり、このマニュアルは現状のまま提供されるものであり、その使用または記載内容の誤りに対して一切の責任を負いません。

次の条件に従うかぎり、このマニュアルの一部または全体を使用、印刷、複製、配布することができます。1) マニュアルの一部または全体にかかわらず、ここに示したものとそれ以外のすべての版権と商標の表示をすべてのコピーに含めること。2) マニュアルに変更を加えないこと。3) iAnywhere 以外の人間がマニュアルの著者または情報源であるかのように示す一切の行為をしないこと。

iAnywhere®、Sybase®、http://www.sybase.com/detail?id=1011207 に示す商標は Sybase, Inc. またはその関連会社の商標です。® は米国での登録商標を示します。

このマニュアルに記載されているその他の会社名と製品名は各社の商標である場合があります。

目次

はじめに v

SQL Anywhere のエラーメッセージ 1

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLCODE 順) 1
SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLSTATE 順) 67
SQL Anywhere のエラーメッセージ (Sybase エラーコード順) 133
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、英数字) 219
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、あ～さ) 305
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、た～は) 517
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、ま～わ) 690
SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、特殊文字) 745

SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ 781

SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ (エラーコード順) 781
SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ (五十音順) 785

Mobile Link サーバーのエラーメッセージ 803

Mobile Link サーバーのエラーメッセージ (エラーコード順) 803
Mobile Link サーバーのエラーメッセージ (五十音順) 823

Mobile Link サーバーの警告メッセージ 939

Mobile Link サーバーの警告メッセージ (エラーコード順) 939
Mobile Link サーバーの警告メッセージ (五十音順) 948

Mobile Link 通信エラーメッセージ 983

Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順) 983
Mobile Link 通信エラーメッセージ (五十音順) 991

Relay Server のエラーメッセージ 1049

Relay Server のエラーメッセージ (エラーコード順) 1049
Relay Server のエラーメッセージ (五十音順) 1060

Relay Server の警告メッセージ 1109

Relay Server の警告メッセージ (エラーコード順) 1109
Relay Server の警告メッセージ (五十音順) 1110

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

はじめに

このマニュアルでは、SQL Anywhere エラーメッセージの完全なリストを示し、その診断情報を説明します。

SQL Anywhere のエラーメッセージ

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには SQLCODE という数値エラーコードがあります。負数のコードはエラー、正数のコードは警告を示します。SQLCODE が 0 の場合、操作が成功したことを示します。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLCODE 順)

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1638	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
-1637	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
-1636	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
-1635	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
-1634	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
-1633	「トレースイベント '%1' は無効です」
-1632	「監視サーバー "%1" を削除または変更するにはパートナーへの接続が必要です。」
-1625	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」
-1611	「ファイル %1 をコピーできません」
-1610	「ディレクトリ %1 を作成できません」
-1609	「ファイル %1 はすでに存在します」
-1608	「ファイル %1 を削除できません」
-1607	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1606	「複数のテーブルパラメーターはサポートされていません。」
-1605	「このデータベースでは V4 C/C++ API はサポートされていません。」
-1597	「プライマリサーバーにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
-1593	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
-1590	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
-1585	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザーが無効です」
-1584	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」
-1582	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバーに接続する場合は、サーバー名のみを指定できます」
-1581	「クラウドデータベースサーバーに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」
-1580	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」
-1579	「外部プロシージャーまたはファンクションは、どのサーバータイプについても許可されません。」
-1578	「テーブルパラメーター化ファンクションはどのサーバータイプについても許可されません。」
-1567	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」
-1557	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1556	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」
-1551	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」
-1532	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
-1531	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
-1530	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」
-1529	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」
-1526	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャー %2 では使用できません」
-1522	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」
-1516	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
-1515	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」
-1512	「外部事前フィルターを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
-1511	「サーバータイプではテキストインデックスが許可されません。」
-1510	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1509	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1508	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1507	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1506	「照合 '%1' を認識できません。」
-1505	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバー "%1" には、親定義は含まれていません。」
-1504	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」
-1503	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」
-1502	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」
-1501	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
-1500	「許容値 %1 は無効です。」
-1499	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
-1498	「'%1' は認識できないプロパティです。」
-1497	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
-1496	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1495	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
-1494	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
-1493	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
-1492	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」
-1491	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」
-1490	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
-1489	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」
-1488	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
-1487	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」
-1486	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
-1485	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
-1484	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」
-1483	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
-1482	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
-1480	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1479	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
-1478	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
-1477	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
-1476	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」
-1475	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメーター '%2' によって参照されています。」
-1474	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
-1473	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
-1472	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
-1471	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
-1470	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」
-1469	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
-1468	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
-1467	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」
-1466	「非地理空間参照系に楕円パラメーターが指定されていません。」
-1465	「地理空間参照系に楕円パラメーターがありません。」
-1464	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
-1463	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1462	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
-1461	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
-1460	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
-1459	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
-1458	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
-1457	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
-1456	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
-1455	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
-1454	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」
-1453	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」
-1452	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
-1451	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
-1450	「多角形のネストが無効です。」
-1449	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」
-1448	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
-1447	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
-1446	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
-1445	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1444	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
-1443	「変換定義が長すぎます。」
-1442	「変換定義 '%1' は無効です。」
-1441	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
-1440	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
-1439	「設定名 %1 は無効です。」
-1438	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
-1436	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
-1435	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」
-1434	「データのフォーマットが認識できません。」
-1433	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
-1432	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
-1431	「フォーマット指定構文が無効です。」
-1430	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」
-1429	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
-1428	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
-1427	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1426	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」
-1425	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
-1424	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
-1423	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
-1422	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」
-1421	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
-1420	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
-1419	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」
-1418	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
-1417	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
-1415	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」
-1414	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
-1413	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
-1412	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
-1411	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1410	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
-1409	「空間参照系が認識できません (%1)。」
-1408	「座標次元が混在しています。」
-1407	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
-1406	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
-1405	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
-1404	「測定単位 '%1' が認識できません。」
-1403	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
-1402	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」
-1401	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
-1400	「ポイントが %1 と重複しています。」
-1399	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
-1398	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
-1397	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
-1396	「外部事前フィルターの初期化中にエラーが発生しました。」
-1395	「指定した外項ブレーカーは無効です。」
-1394	「指定した外部事前フィルター名は無効です。」
-1393	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1392	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
-1391	「ストップリストの値が無効です。」
-1390	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
-1389	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
-1388	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1387	「Dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1386	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1385	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
-1384	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
-1383	「タイプ COPY のミラーサーバーが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
-1382	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
-1381	「データベースサーバー名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバーと同じ名前を指定することはできません。」
-1380	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
-1379	「Dbmlsync サーバーがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1378	「データベースサーバーが dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。」
-1377	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」
-1376	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。」
-1375	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。」
-1374	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」
-1373	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
-1372	「サーバーは TCP/IP 接続を構築できません。」
-1371	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
-1370	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」
-1369	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」
-1367	「ユーザーは使用中のシーケンスを所有しています。」
-1366	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
-1363	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
-1362	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
-1361	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」
-1360	「自動ミラーサーバーの親を割り当てることができません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1359	「シーケンス '%1' が見つかりません。」
-1358	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」
-1357	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」
-1356	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
-1355	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
-1354	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
-1353	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
-1352	「タイプ '%1' のミラーサーバーはすでに定義されています。」
-1351	「ミラー子サーバーの作成に失敗しました。」
-1350	「このミラーサーバーの親は、プライマリサーバーではありません。」
-1349	「このミラーサーバーの親サーバーは現在接続されていません。」
-1348	「ミラーサーバー名 '%1' は、現在のサーバー名に一致しません。」
-1344	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
-1343	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
-1342	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
-1341	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
-1340	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1339	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
-1338	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」
-1337	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
-1336	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」
-1335	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
-1334	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
-1333	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
-1332	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
-1331	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
-1330	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」
-1329	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
-1328	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
-1327	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」
-1326	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
-1325	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1324	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」
-1323	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
-1322	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
-1321	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
-1319	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
-1318	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
-1315	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
-1314	「現在のサーバーが preferred とマーク付けされている場合は、フェールオーバーを実行することはできません。」
-1313	「最大文字列長を超えました。」
-1312	「ミラーサーバー "%1" は有効な親サーバーではありません。」
-1311	「プリンシパルミラーサーバーはすでに定義されています。」
-1310	「ミラーサーバー "%1" は別のサーバーによって参照されています。」
-1309	「ミラーサーバー "%1" はすでに存在します。」
-1308	「ミラーサーバー "%1" が見つかりません。」
-1307	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
-1305	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメーター : %2、システムコード : %3」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1304	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」
-1303	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
-1290	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
-1289	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
-1286	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」
-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
-1278	「操作は許可されていません」
-1277	「パラメーター '%1' に NULL は指定できません」
-1276	「使用中の設定は変更できません」
-1275	「無効なドメイン '%1'」
-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
-1272	「同期はすでに進行中です」
-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
-1268	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
-1267	「イベントパラメーター '%1' が見つかりません」
-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
-1265	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」
-1264	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」
-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
-1261	「このサーバーには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」
-1260	「このサーバーには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
-1259	「ハッシュエラー : %1」
-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
-1253	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」
-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」
-1238	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
-1237	「プロシージャー結果セットのカラムが多すぎます」
-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
-1233	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
-1232	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
-1231	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
-1230	「オープンカーソルが多すぎます」
-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
-1226	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
-1225	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」
-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメーター '%2' があります」
-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」
-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
-1220	「このユーザーには外部ログインが存在するため、削除できません。」
-1219	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1218	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
-1216	「このプロシージャーに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
-1212	「このユーザーのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
-1207	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」
-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」
-1204	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1203	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1202	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
-1201	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1200	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
-1199	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
-1198	「ユーザー '%1' はすでに存在します」
-1197	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
-1196	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
-1195	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
-1194	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」
-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1192	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
-1191	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
-1190	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
-1188	「LOAD TABLE エラー : %1」
-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
-1186	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
-1184	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」
-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
-1181	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
-1180	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
-1179	「データベースサーバーを起動できません : ライセンスファイルがありません」
-1178	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」
-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
-1175	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
-1174	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
-1173	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1172	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」
-1171	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」
-1170	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
-1169	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
-1168	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
-1167	「テキスト設定を所有しているユーザーは削除できません。」
-1166	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
-1165	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
-1164	「テキストクエリパーサーエラー : %1」
-1163	「照合が無効です : "%1"」
-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
-1161	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」
-1160	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
-1159	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」
-1158	「一致するテキストインデックスがありません。」
-1157	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
-1156	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1155	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」
-1151	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」
-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
-1148	「クライアントバージョンまたはクライアントインターフェイスではサポートされていない機能です。」
-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
-1145	「接続できません : サーバーは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」
-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
-1143	「暗号化が有効になっていません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」
-1141	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
-1140	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
-1139	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」
-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
-1134	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガーを作成できません。」
-1133	「ビュー '%1' のトリガータイプが無効です。」
-1132	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」
-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
-1127	「INSTEAD OF トリガーのあるビューで位置付け更新しようとしました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガーがあるため、操作に失敗しました。」
-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガーと WITH CHECK OPTION が競合しています。」
-1124	「dbicu ライブラリとサーバーのバージョンが一致しません。」
-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
-1122	「最大パラメーター数 '%1' を超えました。」
-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」
-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」
-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
-1117	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」
-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」
-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
-1114	「SOAP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
-1113	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
-1111	「同期の情報が指定されていません」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1110	「同期がすでに進行中のため、Ultra Lite は同期できません」
-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
-1107	「BLOB への参照が多すぎます」
-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
-1104	「データベースのユーザーが多すぎます」
-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」
-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」
-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています」
-1097	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
-1096	「指定した HTTP ヘッダーは不正です」
-1095	「指定した HTTP ヘッダーに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
-1094	「HTTP ヘッダー '%1' は予約されているため変更できません」
-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」
-1091	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメーター '%2' ('%3') があります。」
-1089	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
-1087	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」
-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」
-1085	「重複キーカラム (%1)」
-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」
-1083	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
-1082	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」
-1081	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」
-1080	「ユーザー '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
-1079	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1077	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」
-1074	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」
-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」
-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
-1066	「ファイルシステムエラー : %1」
-1065	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
-1064	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」
-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」
-1062	「スナップショット中は文を使用できません」
-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1060	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
-1054	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
-1052	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
-1051	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」
-1046	「不正なカラム定義 : %1」
-1045	「無効なバックアップパラメーター値です。」
-1044	「無効なパスワード : %1」
-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」
-1042	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
-1041	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
-1039	「ミラーサーバーに接続できません。サーバー名 '%1' を使用してプライマリサーバーを探してください。」
-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
-1036	「DBN/DBF パラメーターが、この代替サーバー名のデータベースと一致しません。」
-1035	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
-1034	「プロシージャータイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」
-1033	「データベースサーバーを起動することができません。サーバーに致命的なエラーが発生しました。」
-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」
-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」
-1029	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
-1027	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」
-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」
-1021	「無効なバックアップ操作です。」
-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」
-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません」
-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」
-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」
-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」
-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
-1003	「統合されたユーザーに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
-1002	「オプション '%1' が認識されません」
-1001	「プロシージャーまたは関数 '%2' のパラメーター '%1' にデフォルト値がありません。」
-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」
-999	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」
-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」
-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」
-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-994	「関数またはプロシージャー '%1' に引数が多すぎます。」
-993	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
-992	「指定されたリスナーを登録できませんでした。」
-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
-990	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」
-989	「プロシージャータイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」
-988	「HTTP サーバーからの応答が無効です。」
-987	「タイプ '%2' のプロシージャーサブタイプ '%1' が無効です。」
-986	「プロシージャータイプ '%1' が無効です。」
-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」
-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
-982	「接続がタイムアウトしました。」
-981	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
-980	「URI '%1' が無効です。」
-979	「出力ファイルを書き込めません。」
-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
-976	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
-973	「文字列が長すぎます (%1)。」
-972	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」
-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」
-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
-969	「必要な演算子が含まれていません。」
-968	「ユーザー '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
-967	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
-964	「Window 関数が述語に使用されています。」
-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
-960	「解凍エラー : %1」
-959	「圧縮エラー : %1」
-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
-955	「この接続はすでに存在します。」
-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」
-951	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」
-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」
-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」
-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
-943	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
-942	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
-940	「HTTP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
-936	「データベースの制約が多すぎます。」
-935	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
-934	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバーをアップグレードする必要があります。」
-933	「IQ データベースにはログが必要です。」
-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
-930	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」
-929	「制約 '%1' が見つかりません。」
-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
-927	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
-925	「サービス名 '%1' は無効です。」
-924	「サービス '%1' は使用中です。」
-923	「再帰反復が多すぎます。」
-922	「再帰クエリのカラムリストがありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-921	「再帰クエリが無効です。」
-920	「サービス '%1' が見つかりません。」
-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」
-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザー名を指定する必要があります。」
-916	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
-915	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」
-913	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」
-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」
-911	「XML 出力に制御文字があります。」
-910	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」
-907	「引数の名前がありません。」
-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
-905	「XQuery コンストラクターが無効です。」
-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」
-903	「CDATA に名前が必要です。」
-902	「カラム数が少なすぎます。」
-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
-900	「親が開いていません : '%1'」
-899	「不正なカラム名 : '%1'」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」
-896	「ユーザー設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」
-895	「暗号化エラー : %1」
-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」
-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
-892	「XPath パーサーエラー : %1」
-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバーの制限を超えています。」
-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
-888	「XML パーサーエラー : %1」
-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
-883	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
-877	「プロシージャー、トリガー、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-876	「クライアントでメモリが不足しています。」
-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」
-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」
-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
-872	「%1 から結果セットが返されません。」
-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
-869	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」
-868	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
-865	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」
-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
-862	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」
-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-857	「サーバー %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
-855	「トリガー名 '%1' はあいまいです。」
-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」
-853	「カーソルが有効な状態にありません。」
-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
-851	「復号化エラー : %1」
-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」
-849	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」
-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
-843	「'%1' という名前の同期ユーザーが見つかりません。」
-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-838	「サーバー上で TLS の初期化に失敗しました。」
-837	「テーブル '%1' のトリガーまたは外部キーは有効でなくなりました。」
-836	「プロシージャー '%1' は有効でなくなりました。」
-835	「イベント '%1' は使用中です。」
-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガーで修正または削除されました。」
-832	「接続エラー : %1」
-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」
-828	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザーテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」
-824	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
-823	「ストアドプロシージャー内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」
-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
-819	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
-818	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインターフェイスの実行はサポートされていません。」
-817	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
-816	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」
-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」
-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
-812	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
-811	「JAR '%1' が見つかりません。」
-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
-809	「同期オプションが長すぎます。」
-808	「テストハーネスによって内部エラーが発生しました。」
-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
-806	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」
-794	「同期サーバーがアップロードのコミットに失敗しました。」
-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」
-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」
-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」
-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
-779	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
-777	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」
-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」
-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」
-771	「イベント '%1' が見つかりません。」
-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
-766	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
-765	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
-764	「サーバーが見つからないため自動起動できません。」
-761	「サーバー機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
-760	「SQL の識別子が無効です。」
-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」
-757	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」
-754	「解析エラー : %1」
-751	「ユーザーは使用中のテーブルを所有しています。」
-750	「ユーザーは使用中のプロシージャーを所有しています。」
-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」
-746	「System V リソースを割り当てることができません。」
-745	「IQ メモリマネージャーを初期化できません : %1」
-744	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメーター値 : %1」
-740	「通信環境を作成できませんでした。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」
-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
-737	「シグネチャ '%1' はプロシージャーのパラメーターと一致しません。」
-736	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
-735	「不正なパラメーターです。」
-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
-732	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザーを削除できません。」
-730	「不正な JAR ファイルです。」
-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
-728	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
-727	「オプティマイザーは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」
-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」
-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-722	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」
-720	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」
-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
-716	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
-715	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
-712	「サーバー '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」
-711	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」
-710	「不正な比較です。」
-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
-707	「パススルーモードでは文を使用できません。」
-706	「リモートサーバーにはこの文をサポートする機能がありません。」
-705	「プロシージャー '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」
-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」
-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
-698	「リモートサーバーはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
-697	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
-692	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」
-691	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」
-689	「入力パラメーターインデックスが範囲外です。」
-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
-686	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
-685	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」
-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
-682	「%1」
-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
-674	「文のサイズの制限値が無効です」
-673	「データベースのアップグレードができません。」
-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」
-670	「クラスのバイトコードが不正です。」
-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」
-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」
-666	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
-665	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
-664	「データベースはアクティブです。」
-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-661	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
-660	「サーバー '%1': %2」
-659	「リモートサーバー '%1' が見つかりませんでした。」
-658	「リモートサーバー '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
-657	「接続できません。サーバー定義が循環しています。」
-656	「サーバー '%1' に接続できません : %2」
-655	「接続パラメーター文字列の解析エラーです。」
-654	「接続パラメーターファイルが見つかりません。」
-653	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」
-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」
-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」
-647	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
-646	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」
-644	「無効なデータベースページサイズです。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」
-641	「割り当てのエラー」
-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」
-639	「プロシージャー '%1' の呼び出しに必要なパラメーター名がありません。」
-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」
-637	「挿入したカラムが重複しています。」
-636	「参照カラムが重複しています。」
-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
-634	「C 言語の文字列が完結していません。」
-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」
-632	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
-631	「RAISERROR が実行されました : %1」
-630	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
-628	「ゼロで除算しようとしました。」
-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」
-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
-625	「この外部プロシージャーの呼び出しには、パラメーター数が多すぎます。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」
-623	「プロシージャーまたはトリガー内では、データ定義文は使用できません。」
-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
-621	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
-620	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
-619	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」
-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」
-617	「データベースサーバー外の関数呼び出しはサポートされていません。」
-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」
-615	「プロシージャー '%2' にパラメーター '%1' がありません。」
-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザーは削除できません。」
-613	「ユーザー定義データ型 '%1' が見つかりません。」
-612	「ユーザーメッセージ %1 が見つかりません。」
-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
-610	「ユーザーメッセージ %1 はすでに存在しています。」
-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
-607	「データベースサーバーを停止できません。」
-606	「パターンが長すぎます。」
-605	「サーバーが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
-604	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」
-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザー ID にもマップされていません。」
-312	「ユーザー '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
-311	「内部ロールバックログが破損しています。」
-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
-308	「接続が切断されました。」
-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」
-306	「デッドロックが検出されました。」
-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-302	「ユーザーによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」
-299	「文の実行がユーザーによって中断させられました。」
-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」
-297	「ユーザー定義の例外が通知されました。」
-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」
-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」
-289	「複数の統合ユーザーを定義することはできません。」
-288	「リモートの文が失敗しました。」
-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」
-286	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
-285	「ユーザー '%1' はこのデータベースのリモートユーザーではありません。」
-284	「ユーザー '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャーです。」
-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
-274	「プロシージャーまたはトリガーの呼び出しのネストが深すぎます。」
-273	「トリガーアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
-272	「トリガー定義中の REFERENCES 句が無効です。」
-271	「トリガーの定義が既存のトリガーと矛盾しています。」
-269	「トリガーの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
-268	「トリガー '%1' が見つかりません。」
-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
-265	「プロシージャー '%1' は見つかりません。」
-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」
-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」
-260	「変数 '%1' が見つかりません。」
-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」
-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザー ID '%2' にマップされています。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-248	「sys または public ユーザー ID にログイン ID をマップすることはできません。」
-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザー ID に対してのみマップできます。」
-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
-245	「統合化ログインが失敗しました。」
-244	「トランザクションログはトランケートされました。」
-243	「データベースファイルが削除できません。」
-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
-241	「データベースのバックアップを起動できません。」
-240	「不明なバックアップ操作です。」
-231	「クライアントサーバーのバージョンとデータベースサーバーのバージョンが適合しません。」
-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサーと、データベースインターフェイスライブラリのバージョンが適合しません。」
-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」
-218	「認証に失敗しました。」
-217	「オプション '%1' はプロシージャー内から設定できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-216	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」
-215	「プロシージャーは '%1' によって使用されています。」
-214	「テーブルは使用されています。」
-213	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
-212	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」
-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
-210	「'%2' のローは、ユーザー '%1' によってロックされています。」
-209	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」
-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」
-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
-205	「統合化ログインが許可されていません。」
-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」
-203	「ユーザー '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」
-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」
-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」
-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」
-197	「カーソルの現在のローがありません。」
-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」
-193	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」
-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」
-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
-190	「式を更新できません。」
-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
-188	「ホスト変数が足りません。」
-187	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」
-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」
-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
-181	「NULL に対して、インジケーター変数が用意されていません。」
-180	「カーソルが開きません。」
-172	「カーソルはすでに開いています。」
-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
-170	「カーソルが宣言されていません。」
-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
-164	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」
-162	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
-160	「SELECT 文以外は記述できません。」
-159	「カラム番号が無効です。」
-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」
-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」
-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」
-155	「無効なホスト変数です。」
-154	「関数 '%1' のパラメーター数が誤りです。」
-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
-151	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
-150	「集合関数の使用が無効です。」
-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
-148	「関数 '%1' は不明です。」
-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」
-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」
-143	「カラム '%1' が見つかりません。」
-142	「相関名 '%1' が見つかりません。」
-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」
-140	「'%1' というユーザー ID はありません。」
-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」
-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」
-135	「言語仕様が変更されました。」
-134	「'%1' の機能は実装されていません。」
-133	「準備文の種類が無効です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-132	「SQL 文にエラーがあります。」
-131	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
-130	「文が無効です。」
-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
-126	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
-125	「ALTER 句が矛盾しています。」
-124	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」
-123	「ユーザー '%1' はユーザーグループではありません。」
-122	「この操作はグループ循環を起こします。」
-121	「パーミッションがありません : %1」
-120	「ユーザー '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」
-119	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」
-118	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
-116	「テーブルは空でなければなりません。」
-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
-112	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」
-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
-109	「まだデータベースに接続されています。」
-108	「接続が見つかりません。」
-107	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
-106	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
-105	「データベースが起動できません -- %1」
-104	「モジュールの前処理でのユーザー ID またはパスワードが無効です。」
-103	「ユーザー ID またはパスワードが無効です。」
-102	「データベースサーバーに接続できる限界数を超えています。」
-101	「データベースに接続されていません。」
-100	「データベースサーバーが見つかりません。」
-99	「データベースに接続できません。」
-98	「認証違反です。」
-97	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
-96	「データベースサーバーはすでに起動しています。」
-95	「解析エラー : %1」
-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
-92	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-91	「プロシージャー '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
-90	「プロシージャー '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
-89	「データベースサーバーはマルチユーザーモードで実行していません。」
-88	「クライアント／サーバーの通信プロトコルのバージョンが違います。」
-87	「サーバーを起動するには、データベース名が必要です。」
-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」
-85	「通信エラーが発生しました。」
-84	「指定されたデータベースは無効です。」
-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」
-82	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
-81	「データベースサーバーのコマンドラインが無効です。」
-80	「データベースサーバーを起動することができません。」
-79	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
-78	「動的メモリが足りません。」
-77	「データベース名がユニークではありません。」
-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
-75	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」
-72	「データベースファイルが指定されていません。」
0	「(メッセージなし)」
100	「ローが見つかりません。」
101	「値がトランケートされました。」
102	「テンポラリテーブルが使用されました。」
103	「不正なデータ変換」
104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」
105	「プロシージャーが完了しました。」
106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
110	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
111	「文を実行することができませんでした。」
112	「もっと情報が必要です。」
113	「ユーザー '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」
114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
115	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
118	「無効なユーザー選択性の評価が指定されました。」
119	「バックアップログ '%1' が開けません。」
120	「'%1' は認識できないオプションです。」
121	「カーソルオプションの値が変更されました。」
122	「非決定的な結果が返されました」
124	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
130	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」
133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」
134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
136	「データベースが作成されました」
137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」

SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
139	「オプション '%1' が複数回指定されています」
140	「暗号化が有効になっていません。」
141	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
142	「Ultra Light データベースステータスがリストアされました。」
143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
144	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」
145	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」
146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」
148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
149	「自動データベースアップグレードが適用されました」
150	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
200	「警告 : %1」
201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL Anywhere のエラーメッセージ (SQLSTATE 順)

SQLSTATE	メッセージテキスト
00000	「(メッセージなし)」
01000	「警告 : %1」
01003	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
01004	「値がトランケートされました。」
01005	「暗号化が有効になっていません。」
01006	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
01F01	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」
01FW1	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
01FW2	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」
01S02	「カーソルオプションの値が変更されました。」
01W01	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
01W02	「テンポラリテーブルが使用されました。」
01W03	「不正なデータ変換」
01W04	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」
01W05	「プロシージャーが完了しました。」
01W06	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
01W07	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
01W08	「文を実行することができませんでした。」
01W09	「もっと情報が必要です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
01W10	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
01W11	「ユーザー '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」
01W12	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
01W13	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」
01W14	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
01W15	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
01W16	「無効なユーザー選択性の評価が指定されました。」
01W17	「'%1' は認識できないオプションです。」
01W18	「非決定的な結果が返されました」
01W20	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
01W21	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
01W23	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」
01W24	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」
01W25	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
01W26	「オプション '%1' が複数回指定されています」
01W27	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
01W28	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
01WC1	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
01WC3	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
01WC4	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」
02000	「ローが見つかりません。」
04W07	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」
04W08	「サーバーが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
07001	「ホスト変数が足りません。」
07002	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
07003	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
07005	「SELECT 文以外は記述できません。」
07009	「記述子のインデックスが正しくありません。」
07W01	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
07W02	「文が無効です。」
07W03	「準備文の種類が無効です。」
07W04	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
07W05	「SQLDA のデータ型が無効です。」
07W06	「SQL の識別子が無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
07W07	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
07W08	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
08001	「データベースが起動できません -- %1」
08003	「データベースに接続されていません。」
08004	「'%1' というユーザー ID はありません。」
08005	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
08W01	「データベースサーバーが見つかりません。」
08W02	「接続が見つかりません。」
08W03	「データベースサーバーに接続できる限界数を超えています。」
08W04	「データベースに接続できません。」
08W05	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
08W06	「まだデータベースに接続されています。」
08W07	「データベースサーバーを起動することができません。」
08W08	「データベースサーバーのコマンドラインが無効です。」
08W09	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
08W10	「指定されたデータベースが見つかりません。」
08W11	「指定されたデータベースは無効です。」
08W12	「通信エラーが発生しました。」
08W13	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W14	「サーバーを起動するには、データベース名が必要です。」
08W15	「クライアント／サーバーの通信プロトコルのバージョンが違います。」
08W16	「データベースサーバーはマルチユーザーモードで実行していません。」
08W17	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
08W18	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサーと、データベースインターフェイスライブラリのバージョンが適合しません。」
08W19	「クライアントサーバーのバージョンとデータベースサーバーのバージョンが適合しません。」
08W20	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
08W21	「認証違反です。」
08W22	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
08W23	「データベースサーバーはすでに起動しています。」
08W24	「不正なパラメーターです。」
08W25	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
08W26	「動的メモリが足りません。」
08W27	「データベース名がユニークではありません。」
08W28	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
08W29	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W30	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」
08W32	「無効なデータベースページサイズです。」
08W33	「データベースの作成に失敗しました : %1」
08W34	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
08W35	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
08W36	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」
08W37	「接続パラメーターファイルが見つかりません。」
08W38	「接続パラメーター文字列の解析エラーです。」
08W39	「データベースファイルが指定されていません。」
08W40	「データベースはアクティブです。」
08W41	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
08W42	「データベースのアップグレードに失敗しました。」
08W43	「データベースのアップグレードができません。」
08W44	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」
08W45	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」
08W46	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
08W47	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W48	「認証に失敗しました。」
08W49	「解析エラー : %1」
08W51	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメーター値 : %1」
08W52	「IQ メモリマネージャーを初期化できません : %1」
08W53	「System V リソースを割り当てることができません。」
08W54	「解析エラー : %1」
08W55	「サーバーが見つからないため自動起動できません。」
08W56	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
08W57	「データベースのアップグレードができません。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
08W58	「データベースのアップグレードができません。ユーザーテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
08W59	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」
08W60	「接続エラー : %1」
08W61	「サーバー上で TLS の初期化に失敗しました。」
08W62	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
08W63	「復号化エラー : %1」
08W64	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」
08W65	「クライアントでメモリが不足しています。」
08W66	「暗号化エラー : %1」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W67	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバーをアップグレードする必要があります。」
08W68	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
08W69	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
08W70	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」
08W71	「プロシージャーまたは関数 '%2' のパラメーター '%1' にデフォルト値がありません。」
08W72	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
08W73	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」
08W74	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」
08W75	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
08W76	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」
08W80	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」
08W81	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W82	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
08W83	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
08W84	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」
08W85	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
08W86	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
08W87	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
08W88	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
08W89	「データベースサーバーを起動することができません。サーバーに致命的なエラーが発生しました。」
08W90	「DBN/DBF パラメーターが、この代替サーバー名のデータベースと一致しません。」
08W91	「ミラーサーバーに接続できません。サーバー名 '%1' を使用してプライマリサーバーを探してください。」
08W92	「ハッシュエラー : %1」
08W93	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
08W94	「ファンクション '%1' に無効なパラメーター '%2' ('%3') があります。」
08W95	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
08W96	「トレース接続はすでにアクティブになっています」
08W97	「接続できません : サーバーは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」
08W98	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
08W99	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
08WA0	「パスワードの有効期限が切れています。」
08WA1	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
08WA2	「データベースサーバーを起動できません : ライセンスファイルがありません」
08WA3	「サーバーは TCP/IP 接続を構築できません。」
08WA4	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
08WA5	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
08WA6	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
08WA7	「クラウドデータベースサーバーに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」
08WA8	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバーに接続する場合は、サーバー名のみを指定できます」
08WA9	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」
08WB1	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザーが無効です」
08WB2	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
08WB4	「ファイル %1 を削除できません」
08WB5	「ファイル %1 はすでに存在します」
08WB6	「ディレクトリ %1 を作成できません」
08WB7	「ファイル %1 をコピーできません」
09W02	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
09W03	「'%1' では結果セットは許可されません。」
09W04	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」
09W05	「カーソルでローをユニークに識別できません。」
09W06	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
09W07	「文のサイズの制限値が無効です」
09W08	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
0A000	「'%1' の機能は実装されていません。」
0A001	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
0A002	「このサーバーには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
0A003	「このサーバーには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」
0A004	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
0AQ48	「IQ データベースにはログが必要です。」
0AW01	「言語仕様が変更されました。」
0AW02	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
0AW03	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」
0AW05	「パススルーモードでは文を使用できません。」
0AW06	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
0AW07	「Ultra Light では使用できない機能です。」
0AW08	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」
0AW09	「同期サーバーがアップロードのコミットに失敗しました。」
0AW10	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
0AW11	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました」
0AW12	「サーバー %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
0AW13	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
0AW14	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
0AW15	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
0AW16	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
0AW17	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
0AW18	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
0AW19	「クライアントバージョンまたはクライアントインターフェイスではサポートされていない機能です。」
0AW20	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
0AW21	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」
0AW22	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」
0AW23	「同期ダウンロードは完了しませんでした」
0AW24	「同期はすでに進行中です」
0AW26	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
0AWD5	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメーター : %2、システムコード : %3」
0EW00	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
0EW01	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
21000	「SELECT 文が複数行を返しています。」
21W01	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
22001	「文字列データの右側がトランケートされます。」
22002	「NULL に対して、インジケーター変数が用意されていません。」
22003	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」
22005	「割り当てのエラー」
2200B	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」
2200C	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
22012	「ゼロで除算しようとしました。」
22019	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
2201B	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
22024	「C 言語の文字列が完結していません。」
22025	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
22030	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
22W02	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」
22W03	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
22X13	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
23501	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
23502	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
23503	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
23504	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
23505	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
23506	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」
23507	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
23508	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
23509	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
23510	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
23W01	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」
23W05	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」
24000	「カーソルが有効な状態にありません。」
24001	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」
24501	「カーソルが開きません。」
24502	「カーソルはすでに開いています。」
24503	「カーソルの現在のローがありません。」
24504	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
24W01	「カーソルが宣言されていません。」
26501	「SQL 文にエラーがあります。」
28000	「ユーザー ID またはパスワードが無効です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
28W01	「モジュールの前処理でのユーザー ID またはパスワードが無効です。」
28W02	「統合化ログインが許可されていません。」
28W03	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
28W04	「統合化ログインが失敗しました。」
28W05	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
28W06	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザー ID に対してのみマップできます。」
28W07	「sys または public ユーザー ID にログイン ID をマップすることはできません。」
28W08	「ログイン ID '%1' はすでにユーザー ID '%2' にマップされています。」
28W09	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザー ID にもマップされていません。」
28W10	「統合されたユーザーに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
28W11	「無効なパスワード : %1」
28W12	「Kerberos ログインが失敗しました。」
28W13	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
28W14	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
28W15	「このユーザーのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
28W17	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
2D501	「トリガーアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FF04	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
2FF05	「ポイントが %1 と重複しています。」
2FF06	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
2FF10	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」
2FF11	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
2FF14	「測定単位 '%1' が認識できません。」
2FF15	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
2FF16	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」
2FF17	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
2FF22	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
2FF23	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
2FF25	「座標次元が混在しています。」
2FF59	「空間参照系が認識できません (%1)。」
2FF71	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
2FF72	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
2FW02	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
2FW03	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
2FW05	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW06	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」
2FW08	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
2FW09	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
2FW10	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」
2FW11	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
2FW12	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
2FW13	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」
2FW14	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
2FW15	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
2FW16	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
2FW19	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」
2FW20	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」
2FW21	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
2FW22	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
2FW23	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW24	「フォーマット指定構文が無効です。」
2FW25	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
2FW26	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
2FW27	「データのフォーマットが認識できません。」
2FW28	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」
2FW29	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
2FW31	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
2FW32	「設定名 %1 は無効です。」
2FW33	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
2FW34	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
2FW35	「変換定義 '%1' は無効です。」
2FW36	「変換定義が長すぎます。」
2FW37	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
2FW38	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」
2FW39	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
2FW40	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
2FW41	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
2FW42	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW43	「多角形のネストが無効です。」
2FW44	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
2FW45	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
2FW46	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」
2FW47	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」
2FW48	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
2FW49	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
2FW50	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
2FW51	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
2FW52	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
2FW53	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
2FW54	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
2FW55	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
2FW56	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」
2FW57	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
2FW58	「地理空間参照系に楕円パラメーターがありません。」
2FW59	「非地理空間参照系に楕円パラメーターが指定されていません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW60	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」
2FW61	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
2FW62	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
2FW63	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」
2FW64	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
2FW65	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
2FW66	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
2FW67	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
2FW68	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメーター '%2' によって参照されています。」
2FW69	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」
2FW70	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
2FW71	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
2FW72	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
2FW73	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」
2FW77	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
2FW78	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
2FW79	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」

SQLSTATE	メッセージテキスト
2FW80	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
2FW81	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
2FW82	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」
2FW83	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
2FW84	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
2FW85	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
2FW86	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
2FW87	「許容値 %1 は無効です。」
2FW88	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
2FW89	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」
2FW90	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」
2FW91	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」
2FW92	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
33000	「SQL 記述子名が正しくありません。」
37505	「関数 '%1' のパラメーター数が誤りです。」
38W01	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
3B001	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
3B002	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
3BW01	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
3BW02	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
40000	「実行時 SQL エラーです -- %1」
40001	「デッドロックが検出されました。」
40W01	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
40W02	「ユーザーによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
40W03	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
40W04	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
40W05	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
40W06	「すべてのスレッドがブロックされています。」
40W07	「接続が切断されました。」
40W08	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
42501	「パーミッションがありません : %1」
42R01	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42R02	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」
42R03	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」
42R04	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
42U00	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
42U01	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
42U02	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
42U03	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
42U04	「制約 '%1' が見つかりません。」
42U05	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」
42U06	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
42U07	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
42U08	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
42U09	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W01	「ユーザー '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」
42W02	「この操作はグループ循環を起こします。」
42W03	「ユーザー '%1' はユーザーグループではありません。」
42W04	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
42W05	「関数 '%1' は不明です。」
42W06	「集合関数の使用が無効です。」
42W07	「無効なホスト変数です。」
42W08	「'%1' 付近に無効な式があります。」
42W09	「プロシージャー、トリガー、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」
42W13	「カラム番号が無効です。」
42W14	「変数 '%1' が見つかりません。」
42W15	「'%1' という変数はすでに存在します。」
42W16	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」
42W17	「オプション '%1' の設定が無効です。」
42W18	「'%2' のローは、ユーザー '%1' によってロックされています。」
42W19	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
42W20	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」
42W21	「テーブルは使用されています。」
42W22	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W23	「プロシージャーは '%1' によって使用されています。」
42W24	「ラベル '%1' は見つかりません。」
42W25	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
42W26	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
42W28	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
42W29	「プロシージャーまたはトリガーの呼び出しのネストが深すぎます。」
42W30	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」
42W31	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」
42W32	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
42W33	「テーブル '%1' が見つかりません。」
42W34	「ユーザー '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
42W35	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
42W36	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
42W37	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」
42W38	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」
42W39	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガーと WITH CHECK OPTION が競合しています。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W3A	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガーがあるため、操作に失敗しました。」
42W3B	「INSTEAD OF トリガーのあるビューで位置付け更新しようとしました。」
42W3C	「ビュー '%1' のトリガータイプが無効です。」
42W3D	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガーを作成できません。」
42W40	「参照カラムが重複しています。」
42W41	「挿入したカラムが重複しています。」
42W42	「プロシージャー '%1' の呼び出しに必要なパラメーター名がありません。」
42W43	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
42W44	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」
42W45	「ユーザー '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」
42W46	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」
42W47	「プロシージャー '%2' にパラメーター '%1' がありません。」
42W48	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
42W49	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
42W50	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
42W51	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」
42W52	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W53	「オプション '%1' はプロシージャー内から設定できません。」
42W54	「シグネチャ '%1' はプロシージャーのパラメーターと一致しません。」
42W55	「ユーザーは使用中のプロシージャーを所有しています。」
42W56	「ユーザーは使用中のテーブルを所有しています。」
42W57	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
42W58	「JAR '%1' が見つかりません。」
42W59	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
42W60	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
42W61	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
42W62	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガーで修正または削除されました。」
42W63	「プロシージャー '%1' は有効でなくなりました。」
42W64	「テーブル '%1' のトリガーまたは外部キーは有効でなくなりました。」
42W65	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」
42W66	「トリガー名 '%1' はあいまいです。」
42W67	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」
42W68	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W69	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
42W70	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
42W71	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
42W73	「'%1' にジョインする方法がありません。」
42W74	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
42W75	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
42W76	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」
42W77	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメーター '%2' があります」
42W78	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」
42W79	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
42W80	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
42W82	「ユーザー設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」
42W83	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
42W84	「HTTP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
42W85	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
42W86	「SOAP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
42W89	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
42W90	「集約関数の ORDER BY が不正です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42W91	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」
42W92	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
42W93	「共通テーブル式参照に循環があります。」
42W94	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
42W95	「サービス名 '%1' は無効です。」
42W96	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザー名を指定する必要があります。」
42W97	「サービス '%1' はすでに存在します。」
42W98	「サービス '%1' が見つかりません。」
42W99	「再帰クエリが無効です。」
42W9A	「再帰クエリのカラムリストがありません。」
42W9B	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
42W9C	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
42W9D	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
42W9E	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
42WA0	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
42WA1	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
42WA2	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」
42WA3	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WA4	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
42WA5	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
42WA6	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
42WA7	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
42WA8	「Window 関数が述語に使用されています。」
42WA9	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
42WAA	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
42WAB	「ユーザー '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
42WAC	「関数またはプロシージャー '%1' に引数が多すぎます。」
42WAD	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」
42WAE	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」
42WAF	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
42WB0	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」
42WB1	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
42WB2	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
42WB3	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WB4	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
42WB5	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
42WB6	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
42WB7	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
42WB8	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」
42WB9	「スナップショット中は文を使用できません」
42WBA	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」
42WBB	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
42WBC	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
42WBD	「計算カラムの依存に循環があります。」
42WBE	「ユーザー '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
42WBF	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
42WC0	「重複キーカラム (%1)」
42WC1	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
42WC2	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WC3	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
42WC4	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
42WC5	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
42WC6	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
42WC7	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
42WC8	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」
42WC9	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
42WCA	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
42WCB	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
42WCC	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
42WCD	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
42WCE	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」

SQLSTATE	メッセージテキスト
42WD3	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
42WD4	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
42WE0	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」
42WE1	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
42WE2	「ユーザーは使用中のシーケンスを所有しています。」
42WE3	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
42WE4	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WE5	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
42WE6	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバー "%1" には、親定義は含まれていません。」
42WE7	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WE8	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
42WE9	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
42X00	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
42X01	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」
42X02	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
42X03	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」
42X04	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
42X05	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」
42X06	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
42Z00	「書き込みアクセスが拒否されました。」
44000	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
52002	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」
52003	「カラム '%1' が見つかりません。」
52004	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」
52005	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
52009	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」
52010	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
52012	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
52W02	「相関名 '%1' が見つかりません。」
52W03	「インデックス '%1' が見つかりません。」
52W04	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」
52W05	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
52W06	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
52W07	「外部キー '%1' は見つかりません。」
52W08	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
52W09	「プロシージャー '%1' は見つかりません。」
52W10	「トリガー '%1' が見つかりません。」
52W11	「トリガーの定義が既存のトリガーと矛盾しています。」
52W12	「トリガー定義中の REFERENCES 句が無効です。」
52W13	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
52W14	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」
52W15	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
52W16	「ユーザーメッセージ %1 はすでに存在しています。」
52W17	「ユーザーメッセージ %1 が見つかりません。」
52W18	「ユーザー定義データ型 '%1' が見つかりません。」
52W19	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
52W20	「テーブルのカラム数が多すぎます。」
52W21	「プロシージャーまたはトリガー内では、データ定義文は使用できません。」
52W22	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
52W23	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
52W24	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」
52W25	「不正な比較です。」
52W26	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
52W40	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
52W41	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
52W42	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
52W43	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
52W44	「シーケンス '%1' が見つかりません。」
52W45	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」
52W46	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
52W47	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
52W48	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
52W49	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
52W50	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」

SQLSTATE	メッセージテキスト
52W51	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
52W52	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」
52W53	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
52W54	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」
53002	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
53003	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
53005	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
53011	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
53017	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
53018	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」
53019	「プロシージャー '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」
53020	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」
53021	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
53023	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
53026	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
53030	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
53W01	「ALTER 句が矛盾しています。」
53W02	「式を更新できません。」
53W04	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
53W05	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
53W06	「トリガーの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
53W07	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
53W08	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」
53W09	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」
54003	「識別子 '%1' が長すぎます。」
54W01	「文のサイズまたは複雑度がサーバーの制限を超えています。」
54W02	「データベースの制約が多すぎます。」
54W03	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」
54W04	「指定されたリスナーを登録できませんでした。」
54W05	「テンポラリ領域の制限を超えています。」
54W06	「文字列が長すぎます (%1)。」
54W07	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
54W08	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
54W09	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」
54W10	「データベースのユーザーが多すぎます」
54W11	「BLOB への参照が多すぎます」
54W12	「オープンカーソルが多すぎます」
54W13	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
54W14	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
54W15	「プロシージャー結果セットのカラムが多すぎます」
54W16	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
54W17	「最大文字列長を超えました。」
54W50	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
54W51	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
54W52	「無効なドメイン '%1'」
55008	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
55013	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」
55W02	「テーブルは空でなければなりません。」
55W05	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザーは削除できません。」
55W06	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザーを削除できません。」
55W07	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
55W08	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
55W09	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
55W10	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
55W11	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
55W12	「テキスト設定を所有しているユーザーは削除できません。」
55W14	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」
55W15	「サービス '%1' は使用中です。」
55W16	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
55W17	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」
55W18	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
55W19	「不正なカラム定義 : %1」
55W20	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」
55W21	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
55W23	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
55W24	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
55W25	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」
55W26	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
55W27	「暗号化が有効になっていません。」
55W28	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
55W29	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
55W30	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
55W31	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
55W32	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
55W33	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
55W34	「使用中の設定は変更できません」
56001	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
57014	「文の実行がユーザーによって中断させられました。」
57015	「再帰反復が多すぎます。」
57W01	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」
57W02	「機能 '%1' の使用は許可されません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
57W03	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」
57W04	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」
57W05	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
5RW01	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
5RW02	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
5RW03	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」
5RW04	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
5RW05	「ユーザー '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャーです。」
5RW06	「ユーザー '%1' はこのデータベースのリモートユーザーではありません。」
5RW07	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
5RW08	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」
5RW09	「リモートの文が失敗しました。」
5RW10	「複数の統合ユーザーを定義することはできません。」
5RW11	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
5RW12	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
5RW13	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW14	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
5RW15	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
5RW16	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」
5RW17	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
5RW18	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
5RW19	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
5RW21	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
5RW22	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
5RW23	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」
5RW24	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
5RW25	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
5RW26	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」
5RW27	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
5RW28	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」
5RW29	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW32	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」
5RW33	「同期オプション '%1' が見つかりません。」
5RW34	「同期オプションが長すぎます。」
5RW35	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
5RW36	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」
5RW37	「'%1' という名前の同期ユーザーが見つかりません。」
5RW38	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
5RW40	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
5RW41	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
5RW42	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
5RW43	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
5RW44	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」
5RW45	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。」
5RW46	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。」
5RW47	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」
5RW48	「データベースサーバーが dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
5RW49	「Dbmlsync サーバーがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」
99999	「ユーザー定義の例外が通知されました。」
WB001	「不明なバックアップ操作です。」
WB002	「データベースのバックアップを起動できません。」
WB003	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
WB004	「データベースファイルが削除できません。」
WB005	「トランザクションログはトランケートされました。」
WB006	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
WB007	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
WB008	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
WB009	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
WB010	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
WB011	「バックアップログ '%1' が開けません。」
WB012	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
WB013	「無効なバックアップ操作です。」
WB014	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
WB015	「無効なバックアップパラメーター値です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WB016	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
WB017	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
WC001	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
WC002	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
WC003	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
WC004	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
WC005	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
WC007	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
WC008	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
WC009	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」
WC010	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
WC011	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」
WC012	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
WC013	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」
WC014	「dbicu ライブラリとサーバーのバージョンが一致しません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WC015	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
WC016	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
WC017	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
WC018	「照合 '%1' を認識できません。」
WE001	「イベント '%1' が見つかりません。」
WE002	「イベント '%1' がすでに存在します。」
WE003	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」
WE004	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
WE005	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
WE006	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
WE007	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
WE008	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
WE009	「イベント '%1' は使用中です。」
WE010	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
WE011	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
WE012	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」
WE013	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
WE014	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WE015	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
WE016	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」
WE017	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
WE018	「イベントパラメーター '%1' が見つかりません」
WE019	「トレースイベント '%1' は無効です」
WE020	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
WE021	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
WE022	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
WE023	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
WE024	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
WI002	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
WI003	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」
WI004	「内部ロールバックログが破損しています。」
WI005	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
WI009	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」
WI010	「オプティマイザーは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」
WI011	「必要な演算子が含まれていません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WJ001	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」
WJ003	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
WJ004	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
WJ005	「入力パラメーターインデックスが範囲外です。」
WJ030	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」
WJ031	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
WL001	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
WL002	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
WL004	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
WL005	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
WL006	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
WL007	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
WL008	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
WL009	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
WL010	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WL011	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
WL012	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
WL013	「LOAD TABLE エラー : %1」
WL014	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
WL015	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
WL016	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
WL017	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」
WL018	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」
WO001	「サーバー '%1' に接続できません : %2」
WO002	「接続できません。サーバー定義が循環しています。」
WO003	「リモートサーバー '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
WO004	「リモートサーバー '%1' が見つかりませんでした。」
WO005	「サーバー '%1': %2」
WO006	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
WO007	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
WO008	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WO009	「テーブルパラメーター化ファンクションはどのサーバータイプについても許可されません。」
WO010	「%1」
WO011	「リモートサーバーはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
WO012	「リモートサーバーにはこの文をサポートする機能がありません。」
WO013	「サーバー '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」
WO014	「サーバー機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
WO015	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」
WO016	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
WO017	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」
WO018	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
WO019	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
WO020	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」
WO021	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
WO022	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
WO023	「ストアドプロシージャー内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
WO024	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WO025	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」
WO026	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」
WO027	「ファイルシステムエラー : %1」
WO028	「このユーザーには外部ログインが存在するため、削除できません。」
WO031	「外部プロシージャーまたはファンクションは、どのサーバータイプについても許可されません。」
WO032	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
WP000	「プロシージャー '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
WP001	「プロシージャー '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
WP002	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」
WP003	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」
WP004	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
WP005	「クラスのバイトコードが不正です。」
WP006	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
WP007	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
WP008	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
WP009	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WP010	「不正な JAR ファイルです。」
WP011	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」
WP012	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
WP013	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
WP014	「%1 から結果セットが返されません。」
WP015	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
WP016	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」
WP017	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」
WP018	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」
WP019	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」
WP020	「このデータベースでは V4 C/C++ API はサポートされていません。」
WP021	「複数のテーブルパラメーターはサポートされていません。」
WP022	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」
WT001	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」
WT002	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
WT003	「一致するテキストインデックスがありません。」
WT004	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WT005	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
WT006	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」
WT007	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
WT008	「照合が無効です : "%1"」
WT009	「テキストクエリパーサーエラー : %1」
WT010	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
WT011	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
WT012	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
WT013	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
WT014	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
WT015	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
WT016	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」
WT017	「このプロシージャーに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
WT018	「指定したストップリストが長すぎます。」
WT019	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」
WT020	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
WT021	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WT022	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」
WT023	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
WT024	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
WT025	「ストップリストの値が無効です。」
WT026	「指定した外項ブレーカーは無効です。」
WT027	「外部事前フィルターの初期化中にエラーが発生しました。」
WT028	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」
WT029	「指定した外部事前フィルター名は無効です。」
WT030	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」
WT031	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
WT032	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」
WT033	「サーバータイプではテキストインデックスが許可されません。」
WT034	「外部事前フィルターを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
WT035	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」
WT036	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャー %2 では使用できません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WU001	「'%1' は認識できないプロパティです。」
WU002	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」
WW001	「パターンが長すぎます。」
WW002	「データベースサーバーを停止できません。」
WW003	「データベースサーバー外の関数呼び出しはサポートされていません。」
WW004	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」
WW005	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」
WW006	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
WW007	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
WW008	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
WW009	「式にサポートされていないデータ型があります。」
WW010	「この外部プロシージャーの呼び出しには、パラメーター数が多すぎます。」
WW011	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
WW012	「RAISERROR が実行されました : %1」
WW013	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
WW014	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
WW015	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW016	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
WW017	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
WW018	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
WW019	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
WW020	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
WW022	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」
WW023	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」
WW024	「通信環境を作成できませんでした。」
WW025	「テストハーネスによって内部エラーが発生しました。」
WW026	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインターフェイスの実行はサポートされていません。」
WW027	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
WW028	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
WW029	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」
WW030	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
WW031	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
WW032	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW033	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
WW034	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
WW035	「この接続はすでに存在します。」
WW036	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
WW037	「圧縮エラー : %1」
WW038	「解凍エラー : %1」
WW039	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
WW040	「Ultra Light の接続がリストアされました。」
WW041	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
WW042	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」
WW043	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
WW044	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
WW045	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
WW046	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
WW047	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
WW048	「出力ファイルを書き込めません。」
WW049	「URI '%1' が無効です。」
WW050	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
WW051	「接続がタイムアウトしました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW052	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
WW053	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」
WW055	「プロシージャータイプ '%1' が無効です。」
WW056	「タイプ '%2' のプロシージャーサブタイプ '%1' が無効です。」
WW057	「HTTP サーバーからの応答が無効です。」
WW058	「プロシージャータイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」
WW059	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」
WW060	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
WW061	「データベースが作成されました」
WW062	「オプション '%1' が認識されません」
WW063	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」
WW064	「プロシージャータイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」
WW065	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
WW066	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」
WW067	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
WW068	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW069	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
WW070	「HTTP ヘッダー '%1' は予約されているため変更できません」
WW071	「指定した HTTP ヘッダーに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
WW072	「指定した HTTP ヘッダーは不正です」
WW073	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
WW074	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
WW075	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」
WW077	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
WW078	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
WW079	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
WW080	「同期がすでに進行中のため、Ultra Lite は同期できません」
WW081	「同期の情報が指定されていません」
WW082	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
WW083	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」
WW084	「最大パラメーター数 '%1' を超えました。」
WW085	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
WW086	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW087	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
WW088	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
WW089	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
WW090	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
WW091	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
WW092	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」
WW093	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」
WW094	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」
WW095	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
WW096	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
WW097	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」
WW098	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
WW099	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
WW100	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
WW101	「ユーザー '%1' はすでに存在します」
WW102	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW103	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
WW104	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
WW108	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
WW109	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
WW112	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
WW114	「Ultra Light データベースステータスがリストアされました。」
WW115	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
WW116	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」
WW118	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
WW119	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
WW120	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
WW130	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
WW131	「ミラーサーバー "%1" が見つかりません。」
WW132	「ミラーサーバー "%1" はすでに存在します。」
WW133	「ミラーサーバー "%1" は別のサーバーによって参照されています。」
WW134	「プリンシパルミラーサーバーはすでに定義されています。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW135	「ミラーサーバー "%1" は有効な親サーバーではありません。」
WW136	「現在のサーバーが preferred とマーク付けされている場合は、フェールオーバーを実行することはできません。」
WW137	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
WW138	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」
WW139	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
WW140	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
WW141	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
WW142	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」
WW143	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
WW144	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
WW145	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
WW146	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
WW147	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
WW148	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
WW151	「ミラーサーバー名 '%1' は、現在のサーバー名に一致しません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW152	「このミラーサーバーの親サーバーは現在接続されていません。」
WW153	「このミラーサーバーの親は、プライマリサーバーではありません。」
WW154	「ミラー子サーバーの作成に失敗しました。」
WW155	「タイプ '%1' のミラーサーバーはすでに定義されています。」
WW156	「自動ミラーサーバーの親を割り当てることができません。」
WW159	「データベースサーバー名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバーと同じ名前を指定することはできません。」
WW160	「タイプ COPY のミラーサーバーが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
WW161	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW162	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW163	「Dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW164	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
WW165	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
WW166	「プライマリサーバーにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
WW207	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」

SQLSTATE	メッセージテキスト
WW229	「パラメーター '%1' に NULL は指定できません」
WW230	「操作は許可されていません」
WW231	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
WW232	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」
WW234	「自動データベースアップグレードが適用されました」
WW242	「監視サーバー "%1" を削除または変更するにはパートナーへの接続が必要です。」
WX001	「カラム名は %1 でなければなりません。」
WX002	「XML パーサーエラー : %1」
WX003	「XPath パーサーエラー : %1」
WX004	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
WX005	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」
WX006	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
WX007	「不正なカラム名 : '%1'」
WX008	「親が開いていません : '%1'」
WX009	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
WX010	「カラム数が少なすぎます。」
WX011	「CDATA に名前が必要です。」
WX012	「XQuery コンストラクターが無効です。」
WX013	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
WX014	「引数の名前がありません。」
WX015	「XML 出力に制御文字があります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	メッセージテキスト
WX016	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」

SQL Anywhere のエラーメッセージ (Sybase エラーコード順)

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
0	-631	「RAISERROR が実行されました : %1」
102	-171	「カーソルのオープンがエラーになりました。」
102	-199	「カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。」
102	-933	「IQ データベースにはログが必要です。」
102	-273	「トリガーアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
102	-131	「'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。」
102	-687	「構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。」
102	-875	「'%1' にジョインする方法がありません。」
102	-145	「外部キー '%1' は見つかりません。」
102	-271	「トリガーの定義が既存のトリガーと矛盾しています。」
102	-272	「トリガー定義中の REFERENCES 句が無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
102	-635	「ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。」
102	-151	「SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています」
102	-269	「トリガーの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。」
103	-250	「識別子 '%1' が長すぎます。」
104	-854	「ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。」
108	-152	「ORDER BY 句の指定が不正です。」
133	-262	「ラベル '%1' は見つかりません。」
134	-261	「'%1' という変数はすでに存在します。」
137	-260	「変数 '%1' が見つかりません。」
154	-623	「プロシージャーまたはトリガー内では、データ定義文は使用できません。」
155	-200	「オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。」
174	-154	「関数 '%1' のパラメーター数が誤りです。」
176	-611	「Transact-SQL 機能がサポートされていません。」
176	-148	「関数 '%1' は不明です。」
182	-159	「カラム番号が無効です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
201	-639	「プロシージャー '%1' の呼び出しに必要なパラメーター名がありません。」
201	-615	「プロシージャー '%2' にパラメーター '%1' がありません。」
201	-737	「シグネチャ '%1' はプロシージャーのパラメーターと一致しません。」
205	-153	「UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。」
207	-124	「テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。」
207	-143	「カラム '%1' が見つかりません。」
208	-142	「相関名 '%1' が見つかりません。」
209	-144	「カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です」
209	-163	「派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。」
213	-207	「INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。」
217	-274	「プロシージャーまたはトリガーの呼び出しのネストが深すぎます。」
220	-158	「値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
230	-191	「テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。」
230	-190	「式を更新できません。」
233	-195	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。」
233	-733	「NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。」
257	-157	「値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。」
257	-705	「プロシージャー '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。」
262	-121	「パーミッションがありません : %1」
264	-637	「挿入したカラムが重複しています。」
285	-708	「READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。」
301	-147	「'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。」
301	-680	「Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。」
301	-146	「'%1' を '%2' にジョインできません。」
305	-681	「Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。」
311	-295	「カーソルでローをユニークに識別できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
314	-122	「この操作はグループ循環を起こします。」
315	-136	「テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。」
315	-137	「テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。」
401	-134	「'%1' の機能は実装されていません。」
401	-135	「言語仕様が変更されました。」
401	-156	「'%1' 付近に無効な式があります。」
401	-994	「関数またはプロシージャー '%1' に引数が多すぎます。」
404	-890	「文のサイズまたは複雑度がサーバーの制限を超えています。」
409	109	「集合関数では、NULL 値は無視されます。」
409	-90	「プロシージャー '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。」
504	-265	「プロシージャー '%1' は見つかりません。」
509	-140	「'%1' というユーザー ID はありません。」
512	-186	「サブクエリは複数行を返すことはできません。」
518	103	「不正なデータ変換」
532	104	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
532	106	「テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。」
538	-627	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。」
546	-194	「テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。」
547	-198	「テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。」
547	-677	「テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。」
548	-196	「テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。」
548	-209	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。」
548	-1091	「制約 '%1' の違反です : テーブル '%2' の値が無効です。」
549	-729	「指定された外部キー (%1) は使用できません。」
550	-632	「ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。」
553	-264	「FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。」
554	-208	「最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
557	-853	「カーソルが有効な状態にありません。」
557	-170	「カーソルが宣言されていません。」
558	-172	「カーソルはすでに開いています。」
559	-180	「カーソルが開きません。」
560	100	「ローが見つかりません。」
560	-197	「カーソルの現在のローがありません。」
573	-738	「パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。」
590	111	「文を実行することができませんでした。」
601	-642	「SQL 記述子名が正しくありません。」
708	-80	「データベースサーバーを起動することができません。」
708	-86	「起動するのに必要なメモリが不足しています。」
708	-1179	「データベースサーバーを起動できません : ライセンスファイルがありません」
709	-996	「指定されたローカル接続 ID が見つかりません。」
710	-997	「ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。」
711	-998	「現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
840	-82	「指定されたデータベースを起動できません : %1」
840	-87	「サーバーを起動するには、データベース名が必要です。」
840	-1008	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。」
840	-1009	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。」
840	-1010	「指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。」
840	-1011	「指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです」
840	-1012	「指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)」
840	-1016	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。」
840	-1017	「指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイルが見つかりません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
840	-1018	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。」
840	-1019	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。」
840	-1020	「指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。」
840	-1004	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。」
840	-1005	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。」
840	-1006	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。」
840	-1007	「指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。」
840	-1063	「データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
840	-1147	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。」
840	-1149	「このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。」
911	-83	「指定されたデータベースが見つかりません。」
924	-816	「指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。」
927	-97	「データベースのページサイズが大きすぎます : %1」
927	-644	「無効なデータベースページサイズです。」
928	-645	「データベースの作成に失敗しました : %1」
932	-311	「内部ロールバックログが破損しています。」
950	-76	「アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。」
950	-74	「選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1205	-306	「デッドロックが検出されました。」
1205	-307	「すべてのスレッドがブロックされています。」
1205	-684	「プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。」
1601	-102	「データベースサーバーに接続できる限界数を超えています。」
1602	-85	「通信エラーが発生しました。」
1602	-88	「クライアント／サーバーの通信プロトコルのバージョンが違います。」
1702	-616	「テーブルのカラム数が多すぎます。」
1709	-849	「テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。」
1709	-850	「キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。」
1709	-865	「テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1719	-118	「テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。」
1721	-113	「外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。」
1801	-77	「データベース名がユニークではありません。」
1802	-138	「DB 領域 '%1' が見つかりません。」
1909	-636	「参照カラムが重複しています。」
1909	-119	「プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。」
1909	-251	「テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。」
1921	-111	「インデックス名 '%1' はユニークではありません。」
1921	-678	「インデックス名 '%1' があいまいです。」
1923	-126	「テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。」
1923	-112	「テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。」
2561	-106	「トランザクションログファイルを開けません -- %1」
2601	-193	「テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
2706	-141	「テーブル '%1' が見つかりません。」
2715	-613	「ユーザー定義データ型 '%1' が見つかりません。」
2727	-189	「テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。」
2732	-296	「RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。」
2748	-612	「ユーザーメッセージ %1 が見つかりません。」
2749	-294	「フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。」
3013	-305	「I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。」
3013	-309	「メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。」
3206	-240	「不明なバックアップ操作です。」
3206	-241	「データベースのバックアップを起動できません。」
3206	-242	「トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。」
3206	-1021	「無効なバックアップ操作です。」
3451	-672	「データベースのアップグレードに失敗しました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
3451	-673	「データベースのアップグレードができません。」
3618	-302	「ユーザーによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。」
3618	-304	「ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
3619	-107	「トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。」
3621	-299	「文の実行がユーザーによって中断させられました。」
3702	-214	「テーブルは使用されています。」
3702	-215	「プロシージャーは '%1' によって使用されています。」
3702	-750	「ユーザーは使用中のプロシージャーを所有しています。」
3702	-751	「ユーザーは使用中のテーブルを所有しています。」
3819	-160	「SELECT 文以外は記述できません。」
4001	-105	「データベースが起動できません -- %1」
4001	-84	「指定されたデータベースは無効です。」
4001	-72	「データベースファイルが指定されていません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
4002	-103	「ユーザー ID またはパスワードが無効です。」
4002	-104	「モジュールの前処理でのユーザー ID またはパスワードが無効です。」
4002	-1497	「Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。」
4224	-108	「接続が見つかりません。」
4224	-99	「データベースに接続できません。」
4224	-308	「接続が切断されました。」
4406	-703	「計算カラム '%1' を挿入または更新できません。」
4409	-114	「ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。」
4412	-766	「ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。」
4708	-702	「TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。」
4901	-116	「テーブルは空でなければなりません。」
4939	-127	「インデックスのカラムを変更することはできません。」
5006	-604	「DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
5006	-605	「サーバーが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。」
5703	107	「行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。」
5849	-201	「オプション '%1' の設定が無効です。」
5849	-1053	「'%1' は '%2' に対して無効な値です。」
5864	-81	「データベースサーバーのコマンドラインが無効です。」
5864	-735	「不正なパラメーターです。」
5864	-79	「ローカルデータベースオプションが無効です。」
5864	-95	「解析エラー : %1」
5864	-754	「解析エラー : %1」
5878	-204	「DBA のみがオプション '%1' を設定できます。」
5878	-216	「オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。」
5878	-217	「オプション '%1' はプロシージャー内から設定できません。」
6001	-109	「まだデータベースに接続されています。」
6004	-75	「データベースの起動／停止の要求は拒否されました。」
6226	-183	「インデックス '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
6259	-263	「FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。」
6267	-814	「ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません」
6401	-220	「セーブポイント '%1' が見つかりません。」
7123	-608	「WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。」
7139	-609	「WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。」
7201	-155	「無効なホスト変数です。」
7203	-89	「データベースサーバーはマルチユーザーモードで実行していません。」
7301	-192	「更新できないクエリに対して、更新しようとしました。」
7301	-813	「FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました」
7321	-149	「'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。」
7337	101	「値がトランケートされました。」
7338	-728	「更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。」
7364	-139	「'%1' は複数のテーブルで使用されています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
7374	-676	「指定されたトランザクションの独立性が不正です。」
7705	-630	「エスケープシーケンス '%1' が無効です。」
7706	-606	「パターンが長すぎます。」
7707	-629	「エスケープ文字 '%1' が無効です。」
7732	-633	「読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。」
7740	-815	「SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません」
7950	-100	「データベースサーバーが見つかりません。」
7950	-96	「データベースサーバーはすでに起動しています。」
8201	-640	「記述子のインデックスが正しくありません。」
8205	-641	「割り当てのエラー」
8405	-210	「'%2' のローは、ユーザー '%1' によってロックされています。」
9119	-78	「動的メモリが足りません。」
9502	-638	「文字列データの右側がトランケートされます。」
9526	-187	「不正なカーソル処理をしようとしました。」
9819	-268	「トリガー '%1' が見つかりません。」
10356	-624	「式にサポートされていないデータ型があります。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
11205	-698	「リモートサーバーはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。」
11205	-732	「計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。」
11205	-736	「カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません」
11206	-656	「サーバー '%1' に接続できません : %2」
11207	-667	「テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。」
11208	-722	「カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。」
11209	-721	「カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。」
11210	-723	「カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。」
11211	-724	「NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。」
11212	-725	「Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。」
11214	-659	「リモートサーバー '%1' が見つかりませんでした。」
11214	-666	「リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。」
11215	-726	「テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
11221	-712	「サーバー '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。」
11227	-706	「リモートサーバーにはこの文をサポートする機能がありません。」
11248	-658	「リモートサーバー '%1' は現在読み込み専用に設定されています。」
12006	-110	「アイテム '%1' はすでに存在しています。」
12469	-1634	「指定されたセッション名 '%1' は無効です」
12470	-1635	「トレースイベント '%1' はすでに存在します」
12471	-1638	「トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。」
12472	-1637	「トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。」
12473	-1633	「トレースイベント '%1' は無効です」
12474	-1632	「監視サーバー "%1" を削除または変更するにはパートナーへの接続が必要です。」
12476	-1636	「トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。」
12481	-1625	「Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12495	-1611	「ファイル %1 をコピーできません」
12496	-1610	「ディレクトリ %1 を作成できません」
12497	-1609	「ファイル %1 はすでに存在します」
12498	-1608	「ファイル %1 を削除できません」
12499	-1607	「外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。」
12500	-1605	「このデータベースでは V4 C/C++ API はサポートされていません。」
12501	-1606	「複数のテーブルパラメーターはサポートされていません。」
12509	-1597	「プライマリサーバーにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります」
12512	-1593	「ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません」
12515	-1590	「リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません」
12520	-1585	「セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザーが無効です」
12521	-1584	「dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません」
12523	-1582	「NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバーに接続する場合は、サーバー名のみを指定できます」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12524	-1581	「クラウドデータベースサーバーに接続するときにデータベース名を指定する必要があります」
12525	-1580	「Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。」
12526	-1579	「外部プロシージャーまたはファンクションは、どのサーバータイプについても許可されません。」
12527	-1578	「テーブルパラメーター化ファンクションはどのサーバータイプについても許可されません。」
12538	-1567	「外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。」
12548	-1557	「データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。」
12549	-1556	「%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。」
12554	-1551	「接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません」
12573	-1532	「ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)」
12574	-1531	「ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。」
12575	-1530	「フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12576	-1529	「DML 派生テーブルで許可されていない外部参照」
12579	-1526	「テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャー %2 では使用できません」
12582	-1522	「テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。」
12588	-1516	「ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。」
12589	-1515	「この CPU では、空間のサポートは利用できません。」
12592	-1512	「外部事前フィルターを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません」
12593	-1511	「サーバータイプではテキストインデックスが許可されません。」
12594	-1509	「OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
12595	-1508	「OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
12596	-1507	「ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
12597	-1506	「照合 '%1' を認識できません。」
12598	150	「同期するテーブルがデータベースに含まれていません。」
12599	-1398	「VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。」
13075	102	「テンポラリテーブルが使用されました。」
13080	-1510	「シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません」
13081	-1491	「ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。」
13082	-1490	「多角形のリングの順序が再設定されました。」
13083	-1489	「位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13084	-1488	「無効な多角形です : リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。」
13085	-1487	「無効な多角形です : 曲線がリンクではありません。」
13086	-1486	「無効な多角形です : リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。」
13087	-1485	「無効な多角形です : リングが閉じていません ('%1' 付近)。」
13088	-1484	「値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)」
13089	-1483	「LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。」
13090	-1482	「曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。」
13092	-1480	「空間ライブラリで内部エラーが発生しました。」
13093	-1479	「タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。」
13094	-1478	「ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。」
13095	-1477	「SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。」
13096	-1476	「SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13097	-1475	「SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメーター '%2' によって参照されています。」
13098	-1474	「SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。」
13099	-1473	「空間測定単位 "%1" は予約されています。」
13100	-1472	「空間参照系 "%1" は予約されています。」
13101	-1471	「空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません」
13102	-1470	「記憶フォーマット '%1' は無効です。」
13103	-1469	「指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。」
13104	-1468	「このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。」
13105	-1467	「座標 %1 の座標バウンドがありません。」
13106	-1466	「非地理空間参照系に楕円パラメーターが指定されていません。」
13107	-1465	「地理空間参照系に楕円パラメーターがありません。」
13108	-1464	「空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。」
13109	-1463	「定義文字列 '%1' の解析エラーです。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13110	-1462	「空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。」
13111	-1461	「空間参照系 '%1' はすでに存在しています。」
13112	-1460	「測定単位 '%1' はすでに存在しています。」
13113	-1459	「空間参照系 '%1' が見つかりません。」
13114	-1458	「測定単位 '%1' が見つかりません。」
13115	-1457	「文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。」
13116	-1456	「文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。」
13117	-1455	「測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。」
13118	-1454	「空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません」
13119	-1453	「空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません」
13120	-1452	「テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。」
13121	-1451	「多角形が無効です : 外部リングが複数あります。」
13122	-1450	「多角形のネストが無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13123	-1449	「多角形が無効です : 外部リングがありません。」
13124	-1448	「多角形のフォーマット '%1' が無効です。」
13125	-1447	「測定単位 "%1" は角度単位ではありません。」
13126	-1446	「測定単位 "%1" は距離単位ではありません。」
13127	-1445	「SRID %1 からの変換はサポートされていません。」
13128	-1444	「SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。」
13129	-1443	「変換定義が長すぎます。」
13130	-1442	「変換定義 '%1' は無効です。」
13131	-1441	「空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。」
13132	-1440	「比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。」
13133	-1439	「設定名 %1 は無効です。」
13134	-1438	「設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。」
13135	-1505	「タイプ COPY で定義されたミラーサーバー "%1" には、親定義は含まれていません。」
13136	-1436	「ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。」
13137	-1435	「SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13138	-1434	「データのフォーマットが認識できません。」
13139	-1433	「値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。」
13140	-1432	「'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。」
13141	-1431	「フォーマット指定構文が無効です。」
13142	-1430	「'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。」
13143	-1429	「フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。」
13144	-1428	「'%1' は認識されないフォーマットタイプです。」
13145	-1427	「埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。」
13146	-1426	「埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。」
13147	-1425	「マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。」
13148	-1424	「シェイプファイルのファイル名が無効です。」
13149	-1423	「シェイプファイル属性の解析エラーです。」
13150	-1422	「シェイプファイルレコードの解析エラーです。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13151	-1421	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です」
13152	-1420	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
13153	-1419	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。」
13154	-1418	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。」
13155	-1417	「Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。」
13156	-1504	「外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2」
13157	-1415	「オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。」
13158	-1414	「Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。」
13159	-1413	「空間機能 %1 はサポートされていません。」
13160	-1412	「このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。」
13161	-1411	「%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13162	-1410	「ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。」
13163	-1409	「空間参照系が認識できません (%1)。」
13164	-1408	「座標次元が混在しています。」
13165	-1407	「オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。」
13166	-1406	「オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。」
13167	-1405	「ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。」
13168	-1404	「測定単位 '%1' が認識できません。」
13169	-1403	「'%1' 付近に非連続の曲線があります。」
13170	-1402	「空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。」
13171	-1401	「要素は空セットです ('%1' 付近)。」
13172	-1400	「ポイントが %1 と重複しています。」
13173	-1399	「交点マトリックス '%1' は無効です。」
13174	-1397	「テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。」
13175	-1395	「指定した外項ブレーカーは無効です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13176	-1394	「指定した外部事前フィルター名は無効です。」
13177	-1393	「外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。」
13178	-1392	「このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません」
13178	-1396	「外部事前フィルターの初期化中にエラーが発生しました。」
13179	-1389	「ストップリストの値には NULL は指定できません。」
13180	-1390	「増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。」
13180	-1388	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13181	-1391	「ストップリストの値が無効です。」
13181	-1387	「Dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13182	-1386	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」
13183	-1385	「同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13184	-1384	「指定されたデータベースを停止できません : %1」
13185	-1383	「タイプ COPY のミラーサーバーが、ライセンスが付与された最大数を超えました。」
13186	-1382	「ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。」
13187	-1381	「データベースサーバー名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバーと同じ名前を指定することはできません。」
13188	-1380	「クライアントが複数回リダイレクトされました。」
13189	-1373	「同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。」
13190	-1372	「サーバーは TCP/IP 接続を構築できません。」
13190	-1374	「同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。」
13191	-1371	「ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。」
13191	-1375	「Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。」
13192	-1376	「Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。」
13192	-1370	「テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13193	-1369	「このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。」
13193	-1377	「SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。」
13194	-1378	「データベースサーバーが dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。」
13195	-1367	「ユーザーは使用中のシーケンスを所有しています。」
13195	-1379	「Dbmlsync サーバーがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。」
13196	-1366	「シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。」
13197	-1503	「交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。」
13198	-1492	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。」
13199	-1363	「この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。」
13200	-1362	「値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。」
13201	-1361	「TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13202	-1360	「自動ミラーサーバーの親を割り当てることができません。」
13203	-1357	「シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています」
13204	-150	「集合関数の使用が無効です。」
13204	-1356	「シーケンス '%1' の定義が無効です。」
13205	-1355	「シーケンス %1 で使用できる値はありません。」
13205	-1352	「タイプ '%1' のミラーサーバーはすでに定義されています。」
13206	-1354	「シーケンス '%1' はすでに存在します。」
13206	-1351	「ミラー子サーバーの作成に失敗しました。」
13207	-1353	「シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。」
13207	-1350	「このミラーサーバーの親は、プライマリサーバーではありません。」
13208	-1358	「シーケンス名 '%1' があいまいです。」
13208	-1349	「このミラーサーバーの親サーバーは現在接続されていません。」
13209	-1359	「シーケンス '%1' が見つかりません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13209	-1348	「ミラーサーバー名 '%1' は、現在のサーバー名に一致しません。」
13210	-1493	「カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。」
13212	-1344	「blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。」
13213	-1343	「'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。」
13214	-1342	「同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。」
13215	-1341	「インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
13216	-1340	「タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。」
13217	-1339	「メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。」
13218	-1338	「タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。」
13219	-1337	「メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。」
13220	-1336	「タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13221	-1335	「タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。」
13222	-1334	「'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。」
13223	-1333	「'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。」
13224	-1332	「'%1' の機能は認識できないか無効です。」
13225	-1331	「関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。」
13226	-1330	「関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。」
13227	-1329	「この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。」
13228	-1328	「テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。」
13229	-1327	「SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません」
13230	-1326	「サブスクリプション '%1' が見つかりません。」
13231	-1325	「パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13232	-1324	「この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。」
13233	-1323	「'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。」
13234	-1322	「同期スキーマ変更はすでに進行中です。」
13235	-1321	「テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。」
13237	-1319	「このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。」
13238	-1318	「パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。」
13241	-1315	「スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません」
13242	-1314	「現在のサーバーが preferred とマーク付けされている場合は、フェールオーバーを実行することはできません。」
13243	-1267	「イベントパラメーター '%1' が見つかりません」
13244	-1266	「タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした」
13245	-1265	「'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13246	-1264	「イベントオブジェクト名 '%1' は無効です」
13247	-1263	「イベント通知キュー '%1' が見つかりません」
13248	148	「イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません」
13249	147	「キュー '%1' でイベント通知が失われました」
13250	-1269	「サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。」
13251	-1262	「このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません」
13252	-1261	「このサーバーには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません」
13253	-1260	「このサーバーには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません」
13254	145	「同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています」
13255	-1259	「ハッシュエラー : %1」
13259	-1254	「テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています」
13260	-1253	「テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13261	-1151	「指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。」
13266	-1313	「最大文字列長を超えました。」
13267	-1312	「ミラーサーバー "%1" は有効な親サーバーではありません。」
13270	-1244	「データベース '%1' の復号化に失敗しました」
13271	-1243	「データベース '%1' の暗号化に失敗しました」
13273	-1241	「TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています」
13274	144	「ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。」
13275	143	「破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。」
13276	142	「Ultra Light データベーススステータスがリストアされました。」
13277	-1240	「指定したストップリストが長すぎます。」
13278	-1311	「プリンシパルミラーサーバーはすでに定義されています。」
13280	-1238	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
13281	-1237	「プロシージャー結果セットのカラムが多すぎます」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13282	-1236	「GROUP BY リストの式が多すぎます」
13283	-1235	「SELECT リストのカラムが多すぎます」
13284	-1233	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。」
13285	-1232	「トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。」
13286	-1231	「文がタイムアウトになりました : '%1'」
13287	-1230	「オープンカーソルが多すぎます」
13288	-1229	「テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です」
13289	141	「パススルー SQL スクリプトに失敗しました」
13291	-1226	「外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません」
13292	-1225	「このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません」
13293	-1224	「同期プロファイル '%1' に無効なパラメーター '%2' があります」
13294	-1223	「同期プロファイル '%1' はすでに存在します」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13296	-1221	「CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません」
13297	-1216	「このプロシージャーに対する引数はリテラル文字列である必要があります。」
13298	-1219	「依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。」
13299	-1218	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません」
13300	-1220	「このユーザーには外部ログインが存在するため、削除できません。」
13301	-1213	「外部環境は結果セットをサポートしていません。」
13302	-1217	「同期プロファイル '%1' が見つかりません」
13303	-1212	「このユーザーのログインポリシーにより接続は許可されませんでした」
13304	-1211	「テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります」
13308	-1207	「テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。」
13309	-1206	「このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。」
13310	-1205	「外部環境 '%1' が見つかりませんでした。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13311	-1204	「INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13312	-1203	「WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13313	-1202	「依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。」
13314	-1201	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました」
13315	-1200	「クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました」
13316	-1199	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。」
13317	-1198	「ユーザー '%1' はすでに存在します」
13318	-1197	「ログインポリシー "%1" は使用中です」
13319	-1196	「このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません」
13320	-1195	「ログインポリシー "%1" が見つかりません」
13321	-1194	「ログインポリシー '%1' はすでに存在します」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13322	-1193	「TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13323	-1192	「即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。」
13324	-1191	「LOAD TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています」
13325	-1190	「マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません」
13326	-1189	「指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません」
13327	-1188	「LOAD TABLE エラー : %1」
13328	-1187	「圧縮または暗号化の使用中は付加できません」
13329	-1186	「データベースページの検証は次のコードで失敗しました : %1」
13330	-1185	「テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました : %3」
13331	-1184	「即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。」
13332	-1183	「このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13333	-1182	「IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。」
13334	-1181	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。」
13335	-1180	「オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません」
13336	-1178	「トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません」
13337	-1176	「使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。」
13338	-1175	「指定した時間内でテーブルロックを取得できません。」
13339	-1174	「テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。」
13340	-1173	「クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')」
13341	-1172	「クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')」
13342	-1171	「クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13343	-1170	「マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。」
13344	-1169	「テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。」
13345	-1168	「テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。」
13346	-1167	「テキスト設定を所有しているユーザーは削除できません。」
13347	-1166	「このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。」
13348	-1165	「テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。」
13349	-1164	「テキストクエリパーサーエラー : %1」
13350	-1163	「照合が無効です : "%1"」
13351	-1162	「単語の長さが許容範囲を超えています。」
13352	-1161	「テキスト設定 "%1" はすでに存在します。」
13353	-1160	「テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。」
13354	-1159	「テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。」
13355	-1158	「一致するテキストインデックスがありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13356	-1157	「すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。」
13357	-1156	「引数 "%1" はカラム参照である必要があります。」
13358	-1155	「テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。」
13359	-1154	「トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。」
13360	-1153	「パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。」
13361	-1152	「パスワードの有効期限が切れています。」
13362	-1150	「SQL スクリプト DLL をロードできません。」
13363	-1148	「クライアントバージョンまたはクライアントインターフェイスではサポートされていない機能です。」
13364	-1310	「ミラーサーバー "%1" は別のサーバーによって参照されています。」
13365	-1309	「ミラーサーバー "%1" はすでに存在します。」
13366	-1146	「別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。」
13367	-1145	「接続できません : サーバーは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13368	-1144	「'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。」
13369	140	「暗号化が有効になっていません。」
13370	-1143	「暗号化が有効になっていません。」
13371	-1142	「機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。」
13372	-1141	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
13373	-1140	「データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。」
13374	-1139	「リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません」
13375	-1138	「ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。」
13376	-1137	「エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。」
13377	-1136	「エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。」
13378	-1135	「正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。」
13379	-1134	「マテリアライズドビュー '%1' でトリガーを作成できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13380	-1133	「ビュー '%1' のトリガータイプが無効です。」
13381	-1132	「テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。」
13382	-1131	「属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。」
13383	-1130	「'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。」
13384	-1129	「'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。」
13385	-1128	「繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。」
13386	-1127	「INSTEAD OF トリガーのあるビューで位置付け更新しようとしました。」
13387	-1126	「テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガーがあるため、操作に失敗しました。」
13388	-1125	「ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガーと WITH CHECK OPTION が競合しています。」
13389	-1124	「dbicu ライブラリとサーバーのバージョンが一致しません。」
13390	-1123	「MIME タイプ '%1' が不正です。」
13391	-1122	「最大パラメーター数 '%1' を超えました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13392	-1121	「要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。」
13393	-1120	「DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。」
13394	-1119	「'%1' プロパティはサポートされなくなりました。」
13395	-1118	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。」
13396	-1117	「ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。」
13397	201	「ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。」
13398	-1116	「照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。」
13399	-1115	「テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。」
13400	-1114	「SOAP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
13401	-1113	「相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。」
13402	-1112	「データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません」
13403	-1111	「同期の情報が指定されていません」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13404	-1110	「同期がすでに進行中のため、Ultra Lite は同期できません」
13405	-1109	「このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません」
13406	-1108	「デバイス上のファイルシステムにアクセスできません」
13407	-1107	「BLOB への参照が多すぎます」
13408	-1106	「オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます」
13409	-1308	「ミラーサーバー "%1" が見つかりません。」
13410	-1104	「データベースのユーザーが多すぎます」
13411	-1103	「部分ダウンロードが見つかりませんでした」
13412	-1102	「ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません」
13413	-1101	「カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません」
13414	-1100	「操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません」
13415	139	「オプション '%1' が複数回指定されています」
13416	-1099	「Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13417	-1098	「トレース接続はすでにアクティブになっています」
13418	-1097	「ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした」
13419	-1096	「指定した HTTP ヘッダーは不正です」
13420	-1095	「指定した HTTP ヘッダーに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています」
13421	-1094	「HTTP ヘッダー '%1' は予約されているため変更できません」
13422	-1093	「文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。」
13423	138	「パブリケーションの述部は評価されませんでした」
13424	-1090	「ファンクション '%1' に無効なパラメーター '%2' ('%3') があります。」
13425	-1089	「共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。」
13426	-1088	「ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。」
13427	-1087	「トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13428	-1086	「書き込みアクセスが拒否されました。」
13429	-1085	「重複キーカラム (%1)」
13430	-1084	「機能 '%1' の使用は許可されません。」
13431	-1083	「トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。」
13432	-1082	「トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。」
13433	-1081	「トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。」
13434	-1080	「ユーザー '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。」
13435	-1079	「バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。」
13436	-1078	「計算カラムの依存に循環があります。」
13437	-1077	「マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。」
13438	-1076	「dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません」
13439	-1075	「文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13440	-1074	「ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。」
13441	-1072	「'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。」
13442	-1092	「呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。」
13442	-1071	「FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません」
13442	-1073	「'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。」
13443	-1307	「このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。」
13444	-1070	「Kerberos ログインはサポートされていません。」
13445	-1069	「Kerberos ログインが失敗しました。」
13446	-1068	「デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。」
13448	-1066	「ファイルシステムエラー : %1」
13449	-1065	「スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。」
13450	-1064	「スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13451	-1062	「スナップショット中は文を使用できません」
13452	-1061	「スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました」
13453	-1060	「パブリケーションタイプで操作が競合しています。」
13454	-1305	「Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメーター : %2、システムコード : %3」
13455	-1304	「"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。」
13456	-1057	「BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します」
13457	-1303	「MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます」
13459	-1054	「スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています」
13460	-1051	「マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
13461	-1050	「要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。」
13461	-1052	「マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。」
13464	-1047	「このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13465	-1046	「不正なカラム定義 : %1」
13466	-1045	「無効なバックアップパラメーター値です。」
13467	-1044	「無効なパスワード : %1」
13468	-1043	「タイムアウトになったため、要求が中断されました。」
13469	-1042	「ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。」
13470	-1041	「マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。」
13471	-1040	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。」
13472	-1039	「ミラーサーバーに接続できません。サーバー名 '%1' を使用してプライマリサーバーを探してください。」
13473	-1038	「ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。」
13474	-1037	「オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。」
13475	-1036	「DBN/DBF パラメーターが、この代替サーバー名のデータベースと一致しません。」
13476	-1035	「LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません」
13477	-1034	「プロシージャータイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13478	-1033	「データベースサーバーを起動することができません。サーバーに致命的なエラーが発生しました。」
13479	-1031	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'」
13480	-1032	「'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'」
13480	-1030	「安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません」
13481	-1029	「マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません」
13482	-1028	「BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。」
13483	-1027	「サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。」
13484	-1026	「USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。」
13485	-1025	「サービスに重複した属性 '%1' があります。」
13486	-1024	「USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。」
13487	-1023	「サービスの属性 '%1' の値がありません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13488	-1022	「サービスの属性 '%1' の値が無効です。」
13489	137	「参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。」
13490	-1003	「統合されたユーザーに対する個別のグループマッピングが多すぎます。」
13491	-1001	「プロシージャーまたは関数 '%2' のパラメーター '%1' にデフォルト値がありません。」
13492	-1000	「テンポラリ領域の制限を超えています。」
13493	-999	「行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。」
13494	136	「データベースが作成されました」
13494	-1002	「オプション '%1' が認識されません」
13495	-995	「SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。」
13496	-993	「テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。」
13497	-992	「指定されたリスナーを登録できませんでした。」
13498	-991	「句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。」
13499	-990	「リモートホストへの安全な接続に失敗しました : %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13500	-989	「プロシージャータイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。」
13501	-988	「HTTP サーバーからの応答が無効です。」
13502	-987	「タイプ '%2' のプロシージャーサブタイプ '%1' が無効です。」
13503	-986	「プロシージャータイプ '%1' が無効です。」
13504	-985	「データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。」
13505	-984	「暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'」
13506	-983	「HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'」
13507	-982	「接続がタイムアウトしました。」
13508	-981	「'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。」
13509	-980	「URI '%1' が無効です。」
13510	-979	「出力ファイルを書き込めません。」
13511	-978	「出力ファイルのディレクトリが存在しません。」
13513	-976	「暗号化 DLL "%1" をロードできません。」
13515	-973	「文字列が長すぎます (%1)。」
13516	-972	「データベースのページサイズが小さすぎます : %1」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13517	-971	「チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。」
13518	134	「Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。」
13519	133	「Ultra Light の接続がリストアされました。」
13520	-970	「テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。」
13521	-969	「必要な演算子が含まれていません。」
13522	-968	「ユーザー '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。」
13523	-967	「バックアップファイル '%1' はすでに存在します。」
13524	-966	「複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。」
13525	-965	「Window 関数には ORDER BY が必要です。」
13526	-964	「Window 関数が述語に使用されています。」
13527	-962	「集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。」
13528	-963	「パスワードに不正な文字が含まれています。」
13528	-961	「入力文字列は base64 でエンコードされていません。」
13529	-959	「圧縮エラー : %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13530	-958	「パスワードの長さは %1 文字以内です。」
13530	-960	「解凍エラー : %1」
13531	-957	「OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。」
13532	-956	「同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。」
13533	-955	「この接続はすでに存在します。」
13534	-954	「データベース '%1' が見つかりませんでした。」
13535	-953	「スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。」
13536	-952	「最後の同期アップロードのステータスは不明です。」
13537	-951	「スキーマファイル '%1' にアクセスできません。」
13538	-950	「ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。」
13539	-949	「ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。」
13540	-948	「ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。」
13541	-947	「ウィンドウ '%1' が見つかりません。」
13542	-946	「'%1' では結果セットは許可されません。」
13543	-945	「再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13544	-944	「ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます」
13545	-943	「ワークロードキャプチャは現在行われていません。」
13546	-942	「ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。」
13547	-940	「HTTP ヘッダー '%1' の設定が無効です。」
13548	-941	「jConnect は暗号化をサポートしていません。」
13548	-939	「HTTP オプション '%1' の設定が無効です。」
13549	-938	「RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。」
13550	-937	「制約 '%1' への参照または操作が無効です。」
13551	-936	「データベースの制約が多すぎます。」
13552	-934	「指定されたデータベースを起動できません : データベース %1 を起動するにはサーバーをアップグレードする必要があります。」
13553	-935	「指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー」
13554	-931	「AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。」
13555	-930	「名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13556	-929	「制約 '%1' が見つかりません。」
13557	-928	「GROUP BY 句には定数式を使用できません。」
13558	-927	「サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。」
13559	-926	「サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。」
13560	-925	「サービス名 '%1' は無効です。」
13561	-923	「再帰反復が多すぎます。」
13562	-922	「再帰クエリのカラムリストがありません。」
13563	-921	「再帰クエリが無効です。」
13564	-920	「サービス '%1' が見つかりません。」
13565	-919	「サービス '%1' はすでに存在します。」
13566	-918	「AUTHORIZATION が Off の場合はユーザー名を指定する必要があります。」
13567	-924	「サービス '%1' は使用中です。」
13568	-916	「'%1' は認識されていないサービスタイプです。」
13569	-915	「CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。」
13570	-914	「共通テーブル式参照に循環があります。」
13571	-913	「監査用のトランザクションログファイルが必要です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13572	-912	「OPENXML クエリのメモリが足りません。」
13573	-911	「XML 出力に制御文字があります。」
13574	-910	「システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。」
13575	-908	「閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です」
13576	-907	「引数の名前がありません。」
13577	-906	「XMLGEN 評価が失敗しました。」
13578	-905	「XQuery コンストラクターが無効です。」
13579	-904	「集約関数の ORDER BY が不正です。」
13580	-901	「宣言されていないタグ ID : '%1'」
13580	-903	「CDATA に名前が必要です。」
13581	-900	「親が開いていません : '%1'」
13581	-902	「カラム数が少なすぎます。」
13582	-899	「不正なカラム名 : '%1'」
13583	-898	「不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'」
13584	-897	「不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'」
13585	132	「文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13587	-896	「ユーザー設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。」
13588	130	「ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。」
13589	-895	「暗号化エラー : %1」
13589	-894	「このタイプの文に対してプランを生成することはできません。」
13590	-893	「OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。」
13591	-892	「XPath パーサーエラー : %1」
13592	-891	「要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。」
13593	-657	「接続できません。サーバー定義が循環しています。」
13594	-889	「文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。」
13595	-888	「XML パーサーエラー : %1」
13596	129	「プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります」
13597	-887	「仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています」
13600	0	「(メッセージなし)」
13601	-1502	「ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13602	-1501	「座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)」
13603	-1500	「許容値 %1 は無効です。」
13604	-1499	「グリッドサイズ %1 は無効です。」
13605	-1498	「'%1' は認識できないプロパティです。」
13606	-1496	「LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました」
13607	-1495	「空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。」
13608	-1494	「CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。」
13613	114	「'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。」
13614	115	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。」
13615	116	「言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。」
13616	117	「文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。」
13617	118	「無効なユーザー選択性の評価が指定されました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13618	105	「プロシージャーが完了しました。」
13619	200	「警告 : %1」
13620	-98	「認証違反です。」
13621	-218	「認証に失敗しました。」
13622	-101	「データベースに接続されていません。」
13623	-125	「ALTER 句が矛盾しています。」
13624	-610	「ユーザーメッセージ %1 はすでに存在しています。」
13625	-120	「ユーザー '%1' はすでにパーミッションを付与されています。」
13626	-123	「ユーザー '%1' はユーザーグループではありません。」
13627	-312	「ユーザー '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。」
13628	-130	「文が無効です。」
13629	-132	「SQL 文にエラーがあります。」
13630	-133	「準備文の種類が無効です。」
13631	-707	「パススルーモードでは文を使用できません。」
13632	-614	「メッセージまたはデータ型を所有するユーザーは削除できません。」
13633	-731	「レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザーを削除できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13634	-161	「DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。」
13635	-181	「NULL に対して、インジケーター変数が用意されていません。」
13636	-182	「SQLDA 中のフィールドが足りません。」
13637	-185	「SELECT 文が複数行を返しています。」
13638	-188	「ホスト変数が足りません。」
13640	-267	「アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。」
13642	-280	「パブリケーション '%1' が見つかりません。」
13643	-281	「テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。」
13644	-282	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。」
13645	-283	「'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。」
13646	-284	「ユーザー '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャーです。」
13647	-285	「ユーザー '%1' はこのデータベースのリモートユーザーではありません。」
13648	-286	「リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13649	-287	「パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。」
13650	-288	「リモートの文が失敗しました。」
13651	-1290	「FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。」
13652	-211	「'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。」
13653	-212	「CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。」
13654	-221	「ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。」
13655	-222	「アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。」
13656	-213	「セーブポイントには、ロールバックログが必要です。」
13657	-230	「埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサーと、データベースインターフェイスライブラリのバージョンが適合しません。」
13658	-231	「クライアントサーバーのバージョンとデータベースサーバーのバージョンが適合しません。」
13659	-1289	「LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。」
13660	-243	「データベースファイルが削除できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13661	-244	「トランザクションログはトランケートされました。」
13662	-297	「ユーザー定義の例外が通知されました。」
13663	-298	「アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。」
13664	-300	「実行時 SQL エラーです -- %1」
13665	-301	「データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。」
13666	-1288	「ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません」
13668	-1286	「即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。」
13669	-601	「'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。」
13670	-602	「ファイル '%1' にアクセスできません -- %2」
13672	-643	「UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。」
13673	-607	「データベースサーバーを停止できません。」
13674	-617	「データベースサーバー外の関数呼び出しはサポートされていません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13675	-618	「外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。」
13676	-619	「ダイナミックライブラリ名が必要です。」
13677	-620	「ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。」
13678	-621	「ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。」
13679	-622	「外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。」
13680	-625	「この外部プロシージャーの呼び出しには、パラメーター数が多すぎます。」
13681	-626	「内部用のスレッドが起動できませんでした。」
13682	-634	「C 言語の文字列が完結していません。」
13683	110	「トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。」
13684	149	「自動データベースアップグレードが適用されました」
13685	-202	「オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。」
13686	112	「もっと情報が必要です。」
13687	-203	「ユーザー '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13688	113	「ユーザー '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。」
13689	-205	「統合化ログインが許可されていません。」
13690	-206	「統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。」
13691	-245	「統合化ログインが失敗しました。」
13694	-246	「このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。」
13695	-247	「統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザー ID に対してのみマップできます。」
13696	-248	「sys または public ユーザー ID にログイン ID をマップすることはできません。」
13697	-249	「ログイン ID '%1' はすでにユーザー ID '%2' にマップされています。」
13698	-313	「ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザー ID にもマップされていません。」
13699	-646	「ストア DLL "%1" をロードできません。」
13700	-647	「ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません」
13701	-711	「データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13702	-648	「指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。」
13703	-93	「クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。」
13704	-650	「'%1' のインデックスの型の指定は不正です。」
13705	-651	「データベース '%1' の削除に失敗しました。」
13706	-654	「接続パラメーターファイルが見つかりません。」
13707	-655	「接続パラメーター文字列の解析エラーです。」
13708	-664	「データベースはアクティブです。」
13709	-665	「データベース "%1" をリカバリする必要があります。」
13710	-668	「カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。」
13711	-669	「メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。」
13713	-674	「文のサイズの制限値が無効です」
13714	-683	「カーソル名 '%1' はすでに存在します。」
13715	-685	「%1 のリソースガバナーが制限を超えています。」
13717	-689	「入力パラメーターインデックスが範囲外です。」
13718	-691	「バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13719	-692	「バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした」
13720	-697	「バックアップ／リストア中にエラーが発生しました : %1」
13721	-700	「SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。」
13722	-709	「計算カラムはこのデータベースではサポートされません。」
13723	-761	「サーバー機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。」
13724	-715	「バックアップファイルの内容が矛盾しています。」
13725	-716	「バックアップファイルのフォーマットが無効です。」
13726	-717	「RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。」
13727	-718	「RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。」
13728	-719	「RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。」
13729	-720	「VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。」
13730	-727	「オプティマイザーは有効なアクセスプランを構成できませんでした。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13732	-660	「サーバー '%1': %2」
13733	-661	「後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。」
13734	-682	「%1」
13735	-91	「プロシージャー '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。」
13736	-92	「'%1' は有効なクラスファイルではありません。」
13737	-730	「不正な JAR ファイルです。」
13738	-94	「フィールドに対して不正な型を参照しました。」
13739	-164	「内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1」
13740	-165	「内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1」
13741	-649	「クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。」
13742	-652	「クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。」
13743	-653	「クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。」
13744	-662	「クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。」
13745	-663	「Java オブジェクトをデシリアライズできません。」
13746	-670	「クラスのバイトコードが不正です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13747	-675	「'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。」
13748	-704	「Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。」
13749	-710	「不正な比較です。」
13750	-734	「テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。」
13751	120	「'%1' は認識できないオプションです。」
13752	-739	「db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。」
13753	-740	「通信環境を作成できませんでした。」
13754	-1270	「テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。」
13757	-744	「IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメーター値 : %1」
13758	-745	「IQ メモリマネージャーを初期化できません : %1」
13759	-746	「System V リソースを割り当てることができません。」
13762	-749	「Ultra Light では使用できない機能です。」
13765	-755	「コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13767	-289	「複数の統合ユーザーを定義することはできません。」
13768	-757	「読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。」
13770	-759	「SQLDA のデータ型が無効です。」
13771	-760	「SQL の識別子が無効です。」
13774	-764	「サーバーが見つからないため自動起動できません。」
13775	-765	「同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。」
13776	119	「バックアップログ '%1' が開けません。」
13777	-767	「'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。」
13778	-768	「'%1' にサブスクリプションを作成できません。」
13779	-769	「ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。」
13780	-770	「ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。」
13781	-771	「イベント '%1' が見つかりません。」
13782	-772	「イベント '%1' がすでに存在します。」
13783	-773	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13784	-774	「イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。」
13785	146	「イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました」
13786	-1268	「マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。」
13787	-777	「プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。」
13788	-778	「同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。」
13789	-779	「BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。」
13790	-780	「パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。」
13791	-1283	「ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。」
13792	-782	「他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。」
13793	-783	「他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。」
13794	-784	「アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13795	-785	「cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。」
13796	-786	「アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。」
13797	-787	「現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。」
13798	-788	「他の接続はすでに '%1' として登録されています。」
13799	-789	「登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。」
13800	-790	「自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。」
13801	-791	「イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。」
13802	-792	「イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。」
13803	-793	「イベント '%1' の開始日時が無効です。」
13804	-794	「同期サーバーがアップロードのコミットに失敗しました。」
13805	-1281	「他の接続が '%1' のローをロックしています」
13806	-1280	「'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました」
13807	-797	「同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13808	-1279	「操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'」
13809	-799	「DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。」
13810	-800	「トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。」
13811	-801	「トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。」
13812	-802	「コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。」
13813	-803	「トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
13814	-804	「トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。」
13815	-805	「同期オプション '%1' が見つかりません。」
13816	-806	「システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。」
13817	-807	「ホスト変数はバッチで使用できません。」
13818	-808	「テストハーネスによって内部エラーが発生しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13819	-809	「同期オプションが長すぎます。」
13820	-810	「外部オブジェクト '%1' が見つかりません。」
13821	-811	「JAR '%1' が見つかりません。」
13822	-812	「派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません」
13823	-817	「接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。」
13824	-818	「現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V %1' のインターフェイスの実行はサポートされていません。」
13825	-819	「テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。」
13826	-820	「スクロール位置 '%1' が不正です。」
13827	-821	「テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。」
13828	-822	「テーブル '%1' はすでにインクルードされています。」
13829	-823	「ストアドプロシージャー内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。」
13830	-824	「相関名 '%1' への参照が不正です。」
13831	-825	「前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13832	-826	「データベースのアップグレードができません。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。」
13833	-827	「データベースのアップグレードができません。ユーザーテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。」
13834	-828	「dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。」
13835	-829	「TLS ハンドシェイクに失敗しました。」
13836	-830	「エイリアス '%1' がユニークではありません。」
13837	-831	「エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。」
13838	-832	「接続エラー : %1」
13839	-833	「テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガーで修正または削除されました。」
13840	-834	「テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。」
13841	-835	「イベント '%1' は使用中です。」
13842	-836	「プロシージャー '%1' は有効でなくなりました。」
13843	-837	「テーブル '%1' のトリガーまたは外部キーは有効でなくなりました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13844	-838	「サーバー上で TLS の初期化に失敗しました。」
13845	-839	「既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました」
13846	-1278	「操作は許可されていません」
13849	-843	「'%1' という名前の同期ユーザーが見つかりません。」
13851	-845	「修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。」
13852	-846	「カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。」
13855	-851	「復号化エラー : %1」
13856	-852	「テーブル名 '%1' はあいまいです。」
13857	121	「カーソルオプションの値が変更されました。」
13858	-855	「トリガー名 '%1' はあいまいです。」
13859	-856	「SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。」
13860	-857	「サーバー %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。」
13861	-858	「CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。」
13862	-1277	「パラメーター '%1' に NULL は指定できません」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13863	-1276	「使用中の設定は変更できません」
13864	-860	「指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした」
13865	-861	「集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。」
13866	-862	「集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります」
13867	-863	「グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。」
13868	-303	「ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。」
13869	-864	「文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。」
13870	-866	「%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。」
13871	-867	「前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません」
13872	-868	「'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。」
13873	-869	「データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13874	-870	「要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。」
13876	-872	「%1 から結果セットが返されません。」
13877	-873	「%1 から複数の結果セットが返されました。」
13878	-686	「Java VM を開始するキャッシュが足りません。」
13880	-874	「カラム名は %1 でなければなりません。」
13881	-1275	「無効なドメイン '%1'」
13882	-876	「クライアントでメモリが不足しています。」
13883	122	「非決定的な結果が返されました」
13884	-1274	「インデックス '%1' にはカラムがありません」
13885	-184	「テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。」
13886	124	「不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。」
13887	-162	「%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています」
13888	-877	「プロシージャー、トリガー、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。」

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
13889	-878	「インデックス '%1' をクラスタできません。」
13890	-879	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
13891	-1273	「テーブル '%1' にはカラムがありません」
13892	125	「%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。」
13893	-1272	「同期はすでに進行中です」
13894	-881	「%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。」
13895	-1215	「外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした」
13896	127	「%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。」
13897	-1214	「外部ライブラリ '%1' は使用中です」
13898	-883	「シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。」
13899	-1271	「同期ダウンロードは完了しませんでした」
13959	-974	「'%1' のファイル I/O に失敗しました。」
13960	-975	「'%1' のボリューム ID が不正です。」
16846	-840	「暗号化キーが不正であるか、見つかりません。」
36007	-628	「ゼロで除算しようとしました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	SQL Anywhere の SQLCODE	メッセージテキスト
1333336	-1177	「プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。」

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、英数字)

ALTER PUBLICATION を使用して同期エントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_SYNC_AS_PUB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-769
SQLSTATE	5RW14
Sybase エラーコード	13779

考えられる原因

ALTER PUBLICATION 文を使用して、同期エントリを修正しようとしました。

ALTER SYNCHRONIZATION を使用してパブリケーションエントリを変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY_PUB_AS_SYNC
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-770

SQLSTATE	5RW15
Sybase エラーコード	13780

考えられる原因

ALTER SYNCHRONIZATION 文を使用して、パブリケーションエントリを修正しようとしました。

ALTER 句が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_ALTER_CLAUSE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-125
SQLSTATE	53W01
Sybase エラーコード	13623

考えられる原因

PRIMARY KEY 句、FOREIGN KEY 句、または UNIQUE 句は、ALTER TABLE 文のただ 1 つの句である必要があります。

その他の情報

- 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

ATTACH TRACING TO LOCAL DATABASE は、強力な暗号化が施されているデータベースでは使用できません。

エラー定数	SQLE_NO_LOCAL_CONNECTIONS_TO_ENCRYPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1088

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	WW069
Sybase エラーコード	13426

考えられる原因

ローカルデータベースは強力に暗号化されているので、ATTACH TRACING 文の LOCAL DATABASE 句を使用できません。接続文字列でデータベースの暗号化キーを指定する必要があります。

その他の情報

- 「ATTACH TRACING 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DatabaseKey (DBKEY) 接続パラメーター」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

ATTACH TRACING は、トレースデータベースに接続できませんでした

エラー定数	SQLE_ATTACH_TRACING_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1097
SQLSTATE	08W95
Sybase エラーコード	13418

考えられる原因

トレーシングデータベースへの接続を確立できませんでした。接続文字列を確認し、他のクライアントが接続できることを確認してください。別のサーバーにトレーシングを追加しようとしている場合は、接続がファイアウォールでブロックされている可能性があります。

その他の情報

運用データベースまたはトレーシングデータベースのいずれかで TCP/IP プロトコルが使用されていない場合にも、このエラーが表示される可能性があります。

- 「ATTACH TRACING 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-x dbeng12/dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

AUTHORIZATION が OFF の場合、サービス定義には文が必要です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_AUTH_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-931
SQLSTATE	42W9E
Sybase エラーコード	13554

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off に設定されている場合、指定したサービスタイプのサービス定義には、文の指定が必要です。

AUTHORIZATION が Off の場合はユーザー名を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SERVICE_REQUIRES_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-918
SQLSTATE	42W96
Sybase エラーコード	13566

考えられる原因

AUTHORIZATION が Off の場合は、有効なユーザー名を指定する必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「CREATE SERVICE 文 [HTTP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「CREATE SERVICE 文 [SOAP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER SERVICE 文 [HTTP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER SERVICE 文 [SOAP Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

BACKUP 句 '%1' が '%2' と競合します

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	最初の BACKUP 句。
パラメーター 2	2 番目の BACKUP 句。
重大度	16
SQLCODE	-1057
SQLSTATE	WB016
Sybase エラーコード	13456

考えられる原因

BACKUP 文で指定した句が相互に排他的です。

BACKUP を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。

エラー定数	SQLE_BACKUP_HAS_UNCOMMITTED_TRANS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1028
SQLSTATE	WB014
Sybase エラーコード	13482

考えられる原因

BACKUP...WAIT BEFORE START または BACKUP...WAIT AFTER END を実行しようとした接続には、コミットされていないトランザクションがあります。COMMIT または ROLLBACK を実行してからバックアップを実行する必要があります。

BLOB プライマリキーでテーブル '%1' に同期エントリを作成できません。

エラー定数	SQLE_BLOB_IN_SYNC_TABLE_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-779
SQLSTATE	5RW18
Sybase エラーコード	13789

考えられる原因

BLOB プライマリキーでテーブルの同期エントリを作成しようとしました。

BLOB への参照が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_BLOB_REFS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1107
SQLSTATE	54W11
Sybase エラーコード	13407

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

特定の BLOB への参照の最大数を超えました。Ultra Light では、単一の BLOB への参照は最大で 256 です。

blocking_others_timeout によりロールバックが発生しました。

エラー定数	SQLE_BLOCKING_OTHERS_ROLLBACK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-1344
SQLSTATE	WW148
Sybase エラーコード	13212

考えられる原因

blocking_others_timeout オプション設定よりも長時間、この接続によって別の接続がブロックされたため、この接続はロールバックされました。この接続が切断されるまで、この接続のすべての要求はこのエラーを受け取ります。

その他の情報

- 「blocking_others_timeout オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- blocking_others_timeout 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

C 言語の文字列が完結していません。

エラー定数	SQLE_UNTERMINATED_C_STR
ODBC 2 ステータス	22024
ODBC 3 ステータス	22024
重大度	16
SQLCODE	-634
SQLSTATE	22024

Sybase エラーコード	13682

考えられる原因

C 文字列ホスト変数の最後のバイトには、NULL 文字が含まれている必要があります。

CDATA に名前が必要です。

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_NAMED_CDATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-903
SQLSTATE	WX011
Sybase エラーコード	13580

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT クエリの CDATA ディレクティブに、名前が指定されていません。

CHECKPOINT 文にはロールバックログが必要です。

エラー定数	SQLE_CHECKPOINT_REQUIRES_UNDO
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-212
SQLSTATE	42W20
Sybase エラーコード	13653

考えられる原因

データベースサーバーがロールバックログなしのバルクモードで実行されているときは、CHECKPOINT 文は使用できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

CircularString のジオメトリはサポートされていません ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRCULAR_METHOD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	CircularString が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16
SQLCODE	-1494
SQLSTATE	2FW84
Sybase エラーコード	13608

考えられる原因

このメソッドまたは操作では、CircularString 要素を持つジオメトリがサポートされていません。

cookie が無効なためアプリケーションの登録を取り消せません。

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-785
SQLSTATE	5RW24
Sybase エラーコード	13795

考えられる原因

アプリケーションが正常に登録されていないか、すでに登録が解除されています。

CREATE DATABASE 文では重複オプションは許可されていません

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CREATE_DB_OPTION
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1221
SQLSTATE	42U08
Sybase エラーコード	13296

考えられる原因

CREATE DATABASE 文を実行するときに、オプションのいずれかを複数回指定しました。

CREATE SERVICE にはサービスタイプが必要です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_TYPE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-915
SQLSTATE	42W92
Sybase エラーコード	13569

考えられる原因

CREATE SERVICE 文では、サービスタイプを指定する必要があります。

CREATE/DROP STATISTICS 文では、仮想テーブルを参照できません。

エラー定数	SQLE_HISTOGRAMS_NOT_SUPPORTED_ON_OBJECT

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-858
SQLSTATE	42W67
Sybase エラーコード	13861

考えられる原因

CREATE/DROP STATISTICS を使用して、ビューまたはリモートテーブルなど、仮想データベースオブジェクトの 1 つ以上のヒストグラムを作成／削除しようとしました。CREATE STATISTICS 文および DROP STATISTICS 文が参照できるのは、接続している SQL Anywhere データベースにあるベーステーブル、ローカルテンポラリテーブル、またはグローバルテンポラリテーブルのみです。

DB 領域 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかった DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-138
SQLSTATE	52W13
Sybase エラーコード	1802

考えられる原因

データベースサーバーが見つけることができない DB 領域にアクセスしようとしました。

DB 領域 '%1' にテーブルまたはインデックスが含まれているため削除できません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_CONTAINS_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	DB 領域の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1120
SQLSTATE	55W26
Sybase エラーコード	13393

考えられる原因

DB 領域を削除しようとしましたが、この DB 領域にはテーブルまたはインデックスが含まれます。テーブルかインデックスまたはその両方を削除してから、DB 領域を削除してください。

DB 領域が最大ファイルサイズに達しています。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-604
SQLSTATE	04W07
Sybase エラーコード	5006

考えられる原因

DB 領域がディスクページの最大数に達しました。DB 領域は通常、オペレーティングシステムの最大ファイルサイズに制限されています。これは致命的なエラーです。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「追加の DB 領域の考慮事項」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「SQL Anywhere のサイズと数の制限」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

db_init が呼び出されていないか db_init の呼び出しに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DB_INIT_NOT_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-739
SQLSTATE	55W07
Sybase エラーコード	13752

考えられる原因

dblib エントリポイントに渡された SQLCA が db_init の呼び出しによって初期化されていないか、db_init の呼び出しが失敗しました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「db_init 関数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「SQLCA (SQL Communication Area)」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

DBA のみがオプション '%1' を設定できます。

エラー定数	SQLE_OPTION_REQUIRES_DBA
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14

SQLCODE	-204
SQLSTATE	42W46
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは、DBA 権限を持つユーザーのみ設定できます。

dbicu ライブラリが必要ですが、インストールされていません

エラー定数	SQLE_ICU_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1076
SQLSTATE	WC012
Sybase エラーコード	13438

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバーにロードできません。dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていることを確認してください。

dbicu ライブラリとサーバーのバージョンが一致しません。

エラー定数	SQLE_ICU_DLL_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1124
SQLSTATE	WC014
Sybase エラーコード	13389

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

このデータベースに必要な ICU コンポーネントをサーバーにロードできません。dbicu ライブラリの適切なバージョンがインストールされていることを確認してください。

Dbmlsync サーバーがタイムリーなシャットダウンに失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SHUTDOWN_SLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1379
SQLSTATE	5RW49
Sybase エラーコード	13195

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文を処理するために新しい dbmlsync サーバーがデータベースサーバーによって起動され、そのプロセスのシャットダウン要求は成功しましたが、指定されたタイムアウト値の範囲内で、そのプロセスがシャットダウンしませんでした。

Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_START_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1375
SQLSTATE	5RW45
Sybase エラーコード	13191

考えられる原因

データベースサーバーが、新しい dbmlsync プロセスの起動に失敗したか、または SYNCHRONIZE 文で指定されたポート番号上で稼働している既存の dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。

Dbmlsync サーバーの起動に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_START_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1388
SQLSTATE	WW164
Sybase エラーコード	13180

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプターが新しい dbmlsync プロセスの起動に失敗したか、またはタイムアウトまでにサーバーが要求の処理を開始しませんでした。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

Dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。詳細については、Dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_SHUTDOWN_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1387
SQLSTATE	WW163
Sybase エラーコード	13181

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプターがサーバーをシャットダウンしようとしたときにエラーが発生しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_CONNECT_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1376
SQLSTATE	5RW46
Sybase エラーコード	13192

考えられる原因

データベースサーバーが dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。

Dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_CONNECT_SERVER_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1386
SQLSTATE	WW162
Sybase エラーコード	13182

考えられる原因

Mobile Link エージェントアダプターが dbmlsync サーバーへの接続に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

dbmlsync ダウンロードフェーズとの競合が検出されました。

エラー定数	SQLE_RECORDING_CONFLICT_DETECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-828
SQLSTATE	WW027
Sybase エラーコード	13834

考えられる原因

Dbmlsync はこのエラーを使用して、他の接続によって修正されたローとのダウンロードフェーズ競合を検出します。

DBN/DBF パラメーターが、この代替サーバー名のデータベースと一致しません。

エラー定数	SQLE_WRONG_DB_ON_ALT_SERVER_NAME
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1036
SQLSTATE	08W90
Sybase エラーコード	13475

考えられる原因

指定した DBN または DBF パラメーターが、指定した代替サーバー名を使用しているデータベースと一致しません。

dbrsakp 共有オブジェクトをロードできません

エラー定数	SQLE_RSA_LOAD_FAILED

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1584
SQLSTATE	08WA9
Sybase エラーコード	12521

考えられる原因

サーバーは、Windows プラットフォームに dbrsakp DLL を、または UNIX プラットフォームに libdbrsakp 共有オブジェクトをロードできませんでした。

DESCRIBE 文で無効な型が指定されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIBE_TYPE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-161
SQLSTATE	07W01
Sybase エラーコード	13634

考えられる原因

DESCRIBE 文で指定した Java タイプに、対応する SQL タイプがありません。

DML 派生テーブルで許可されていない外部参照

エラー定数	SQLE_SELECT_DML_OUTER_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1529
SQLSTATE	42U09
Sybase エラーコード	12576

考えられる原因

INSERT、UPDATE、DELETE, または MERGE 文に基づいた派生テーブルでは、外部参照の使用は許可されません。これらの派生テーブルは非相関サブクエリでのみ表示できます。

DTC トランザクションはこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_DTC_TRANSACTIONS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-799
SQLSTATE	0AW10
Sybase エラーコード	13809

考えられる原因

DTC トランザクションをサポートしていないプラットフォームにこの機能を登録しようとしました。

FETCH 文中の絶対または相対オフセットの指定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FETCH_POSITION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-263
SQLSTATE	42W25

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	6259

考えられる原因

無効か NULL のオフセットを FETCH 文で指定しました。

FETCH 文の中の変数の数が正しくありません。

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_FETCH_VARIABLES
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	16
SQLCODE	-264
SQLSTATE	42W26
Sybase エラーコード	553

考えられる原因

FETCH 文で指定した変数の数が、SELECT リストの項目数と一致しません。

FIPS モードでは %1 アルゴリズムは使用できません

エラー定数	SQLE_FIPS_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	アルゴリズムの名前。
重大度	19
SQLCODE	-1071
SQLSTATE	0AW16
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

サーバーが FIPS モードで実行されているときは、指定したアルゴリズムを使用できません。

FOR UPDATE が READ ONLY カーソルに誤って指定されました

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_CURSOR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-813
SQLSTATE	42W36
Sybase エラーコード	7301

考えられる原因

更新可能でないクエリに対し、カーソル FOR UPDATE を宣言しようとしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、INTERSECT、EXCEPT、UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリは、読み込み専用です。ansi_update_constraints オプションがオンの場合は、ジョインを含むクエリは、読み込み専用になります。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「ansi_update_constraints オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR ではなく PREPARE で指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_CURSOR_UPDATABILITY_CHANGED
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-1290
SQLSTATE	42WD4

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13651

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文に FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を指定しました。FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR 文ではなく、PREPARE 文で指定する必要があります。

GROUP BY 句には定数式を使用できません。

エラー定数	SQLE_NO_CONSTANTS_IN_GROUP_BY
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-928
SQLSTATE	42W9D
Sybase エラーコード	13557

考えられる原因

GROUP BY 句で定数を使用しました。定数は、クエリの GROUP BY 句に使用しないでください。GROUP BY 句では、定数であるビュー内のカラムを参照することができます。また、定数であるビューのカラムを使用する式を使用できます。

GROUP BY リストの式が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_GROUPBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1236
SQLSTATE	54W14
Sybase エラーコード	13282

考えられる原因

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。

HTTP オプション '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効な HTTP オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-939
SQLSTATE	42W83
Sybase エラーコード	13548

考えられる原因

無効な値を HTTP オプションに指定しました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

HTTP サーバーからの応答が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_RESPONSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-988
SQLSTATE	WW057
Sybase エラーコード	13501

考えられる原因

リモート HTTP サーバーからの応答が無効でした。空か、形式が間違っているか、ヘッダー情報が欠けていた可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

HTTP ヘッダー '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HTTP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効な HTTP ヘッダーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-940
SQLSTATE	42W84
Sybase エラーコード	13547

考えられる原因

無効な値を HTTP ヘッダーに指定しました。

HTTP ヘッダー '%1' は予約されているため変更できません

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_RESERVED_XXX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーの原因となっているヘッダー。
重大度	16
SQLCODE	-1094
SQLSTATE	WW070
Sybase エラーコード	13421

考えられる原因

指定した HTTP ヘッダーは予約されてるため変更できません。

HTTP 要求に失敗しました。ステータスコード '%1'

エラー定数	SQLE_HTTP_REQUEST_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	HTTP ステータスコード。
重大度	19
SQLCODE	-983
SQLSTATE	WW052
Sybase エラーコード	13506

考えられる原因

HTTP 要求から失敗を示すステータスコードが返されました。

I/O エラーです。%1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	24
SQLCODE	-305
SQLSTATE	40W04
Sybase エラーコード	3013

考えられる原因

SQL Anywhere がハードディスクに障害を検出しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ICU 照合 '%1' は他の照合にデフォルト設定されました。

エラー定数	SQLE_COLLATION_DEFAULT_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	ICU 照合の指定子。
重大度	10
SQLCODE	201
SQLSTATE	01WC4
Sybase エラーコード	13397

考えられる原因

指定された ICU 照合は使用できません。他の照合が代用されました。これによって、適した結果が生成される場合もあれば、そうでない場合もあります。ICU の構造のために、使用された照合は認識されていませんが、指定された照合に対する最善の代替照合でした。このデータベースが他のプラットフォームで使用されている場合、異なる照合が選択されることがあり、操作は異なる結果を生成することがあります。

その他の情報

- 「ICU とは何か、いつ必要になるか」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

Identity 属性はカラム '%1' に適合しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_IDENTITY_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-725
SQLSTATE	WO019
Sybase エラーコード	11212

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの identity 属性が実際のカラムの identity 属性と異なります。

IMMEDIATE REFRESH テキストインデックスには文を使用できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_IMMEDIATE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1182
SQLSTATE	WT015
Sybase エラーコード	13333

考えられる原因

immediate refresh を指定して作成されたインデックスには、REFRESH TEXT INDEX および TRUNCATE TEXT INDEX を使用できません。テキストインデックスを、immediate refresh を使用するように変更することや、immediate refresh の使用を停止するように変更することはできません。

INSERT 文に指定した値の数が正しくありません。

エラー定数	SQLE_WRONG_NUM_OF_INSERT_COLS
ODBC 2 ステータス	21S01
ODBC 3 ステータス	21S01
重大度	16
SQLCODE	-207
SQLSTATE	53002
Sybase エラーコード	213

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

挿入しようとする値の数が、INSERT 文で指定したカラム数と一致しません。またはカラムが指定されていない場合は、テーブル内のカラム数と一致しません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

INSERT...ON EXISTING UPDATE は許可されません：即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_UPDATE_ON_EXISTING_DEP_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	依存している即時マテリアライズドビューの名前。
パラメーター 2	挿入が実行されたベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1204
SQLSTATE	55W33
Sybase エラーコード	13311

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがベーステーブルにある場合は、そのベーステーブルに対して ON EXISTING 句を含む Insert 文を使用することはできません。

INSTEAD OF トリガーのあるビューで位置付け更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER_POSITIONED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15

SQLCODE	-1127
SQLSTATE	42W3B
Sybase エラーコード	13386

考えられる原因

ビューの INSTEAD OF トリガー (ネストされている可能性あり) が含まれる位置付け更新、位置付け削除、プット、ワイド挿入操作を試行しました。これらの操作は、ビューの INSTEAD OF トリガーでサポートされていません。

IQ データベースコマンドラインの不正なオプションまたはパラメーター値 : %1

エラー定数	SQLE_IQ_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	無効なコマンドラインオプション。
重大度	18
SQLCODE	-744
SQLSTATE	08W51
Sybase エラーコード	13757

考えられる原因

無効なコマンドラインオプションが使用されました。オプションは -iq で始まっていますが、オプションが無効か、不正なパラメーターが含まれています。

IQ データベースにはログが必要です。

エラー定数	SQLE_IQ_LOG_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-933
SQLSTATE	0AQ48
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

IQ データベースには、トランザクションログファイルを使用する必要があります。

IQ メモリマネージャーを初期化できません : %1

エラー定数	SQLE_IQ_MEMORY_MANAGER_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	18
SQLCODE	-745
SQLSTATE	08W52
Sybase エラーコード	13758

考えられる原因

System V 共有メモリが要求されましたが、割り当てることができませんでした。

JAR '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_JAR_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	JAR の名前。
重大度	16
SQLCODE	-811

SQLSTATE	42W58
Sybase エラーコード	13821

考えられる原因

この名前の JAR はデータベースには存在しません。

Java VM を開始するキャッシュが足りません。

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_INSUFFICIENT_CACHE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-686
SQLSTATE	WP015
Sybase エラーコード	13878

考えられる原因

使用できるキャッシュが不足しているために Java VM を起動できませんでした。キャッシュサイズを大きくしてデータベースサーバーを再起動してください。

Java オブジェクトをデシリアライズできません。

エラー定数	SQLE_JAVA_DESERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-663
SQLSTATE	WW018
Sybase エラーコード	13745

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

永続的な Java オブジェクトをデータベースカラムから読み込むことはできません。オブジェクトのクラスが削除されたか、修正された可能性があります。

Java クラス '%1' にインデックスを作成できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_INDEX_ON_JAVA_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	クラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-704
SQLSTATE	WW022
Sybase エラーコード	13748

考えられる原因

Java クラスの型でインデックスを作成しようとしました。このようなインデックスを必要とする操作を行おうとしました。

jConnect は暗号化をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_NO_ENCRYPTION_FOR_JCONNECT
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-941
SQLSTATE	08W69
Sybase エラーコード	13548

考えられる原因

jConnect を使用して、接続の暗号化タイプを指定しました。jConnect は暗号化をサポートしていません。

Kerberos ログインが失敗しました。

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1069
SQLSTATE	28W12
Sybase エラーコード	13445

考えられる原因

Kerberos ログインに失敗しました。クライアントでユーザーのプリンシパルを KDC に対して認証できなかったか、サーバーでクライアントを認証できませんでした。考えられる主な原因は、Kerberos のプリンシパルがサインインしていないか、プリンシパルのチケットの期限が切れているか、クライアント、サーバー、または KDC のシステム時刻の差が数分を超えていることです。LogFile 接続パラメーターまたはサーバーの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

Kerberos ログインはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_KERBEROS_LOGONS_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1070
SQLSTATE	28W13
Sybase エラーコード	13444

考えられる原因

クライアントかサーバーまたはその両方で Kerberos ログインがサポートされていません。Kerberos がプラットフォームでサポートされていないか、GSS-API ランタイムを含む Kerberos クライアントソフトウェアがクライアントにインストールされていない、またはクライアントで見つからないか、Kerberos がサーバーで有効になっていません。LogFile 接続パラメーターまたはサーバーの -z オプションを使用すると、詳細情報を確認できます。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

LineString には少なくとも 2 つのポイントを含める必要があります ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_LINESTRING_MIN_POINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1483
SQLSTATE	2FW78
Sybase エラーコード	13089

考えられる原因

LineString に単一ポイントのみが含まれています。

その他の情報

- 「サポートされる空間データ型とその階層」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING はミラーリングされたテーブルで許可されていません

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MIRRORED_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1035
SQLSTATE	WL008
Sybase エラーコード	13476

考えられる原因

LOAD TABLE ...WITH FILE NAME LOGGING 文はデータベースをミラーリングしているときは使用できません。ロード対象のファイルが、他方のサーバーからアクセスできない可能性があります。

LOAD TABLE エラー : %1

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	検出されたエラーの説明
重大度	16
SQLCODE	-1188
SQLSTATE	WL013
Sybase エラーコード	13327

考えられる原因

LOAD TABLE 文が失敗しました。メッセージによって、発生した実際の問題が特定されます。

その他の情報

- SQL Anywhere :「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

LOAD TABLE エラー : データファイルのロー %1 で無効なコンテンツが検出されました

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_DATA_FILE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なコンテンツが発生したデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-1496

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	WL017
Sybase エラーコード	13606

考えられる原因

LOAD TABLE 文は、指定されたデータファイルの、示された行でスキャンエラーが発生したため、失敗しました。このことは、行がトランケートされている場合や、デリミターがない場合などに発生する場合があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「テーブルのインポート」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

LOAD TABLE オプション '%1' はフォーマット %2 とは併用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_TABLE_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	オプションの名前。
パラメーター 2	LOAD TABLE フォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1289
SQLSTATE	WL016
Sybase エラーコード	13659

考えられる原因

指定された LOAD TABLE オプションは、LOAD TABLE FORMAT では有効でありません。

LOAD TABLE は許可されません：初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_WITH_IMV

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	依存している初期化された即時マテリアライズドビューの名前。
パラメーター 2	ロードが実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1191
SQLSTATE	WL015
Sybase エラーコード	13324

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、LOAD TABLE は許可されません。

MESSAGE...FOR CONNECTION メッセージが多すぎます

エラー定数	SQLE_CONNECTION_MESSAGE_QUEUE_FULL
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-1303
SQLSTATE	54W16
Sybase エラーコード	13457

考えられる原因

MESSAGE...FOR CONNECTION 文を実行しましたが、接続に対して最大数のメッセージがすでにキューイングされています。

MIME タイプ '%1' が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MIMETYPE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	MIME タイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1123
SQLSTATE	WW085
Sybase エラーコード	13390

考えられる原因

MIME タイプの指定子が不正です。

Mobile Link が値 '%2' の認証ステータス '%1' を返したため、同期に失敗しました。

エラー定数	SQLE_MOBILINK_AUTHENTICATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	認証ステータスの番号。
パラメーター 2	認証値の番号。
重大度	14
SQLCODE	-1497
SQLSTATE	28W17
Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

Mobile Link によって、失敗を示す認証ステータスがリモートデータベースに返されました。ステータスと値の番号は、認証が失敗した理由を示しています。たとえば、パスワードが無効であった、リモートの同期がすでに進行中である、などの理由が示されます。

その他の情報

- 「authenticate_parameters 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「authenticate_user 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』

Mobile Link クライアントサポートライブラリのロードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_SYNC_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1580
SQLSTATE	WW207
Sybase エラーコード	12525

考えられる原因

SYNCHRONIZE コマンドを使用するには、データベースサーバーが実行されているのと同じコンピューターに、Mobile Link クライアントをインストールする必要があります。

Mobile Link 通信エラー : コード : %1、パラメーター : %2、システムコード : %3

エラー定数	SQLE_MOBILINK_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	Mobile Link 通信エラーコード。
パラメーター 2	Mobile Link 通信エラーのパラメーター (存在する場合)。
パラメーター 3	システムエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1305

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	0AWD5
Sybase エラーコード	13454

考えられる原因

Mobile Link サーバーとの通信中にエラーが発生しました。

その他の情報

- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順)」983 ページ

NODETYPE=DIRECT のクラウドデータベースサーバーに接続する場合は、サーバー名のみを指定できます

エラー定数	SQLE_SERVER_NAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1582
SQLSTATE	08WA8
Sybase エラーコード	12523

考えられる原因

クラウドデータベースサーバーに接続するときは、NODETYPE=DIRECT の場合にのみ、接続文字列でサーバー名を指定できます。クラウドデータベースサーバーへの接続に、その他の NODETYPE 値を使用するときは、サーバー名を指定できません。通常、クラウドデータベースサーバーへの接続では、1 つ以上のクラウドデータベースサーバーを指定するために、HOST 接続パラメーターまたは HOST プロトコルオプションが使用されます。

NULL 属性はカラム '%1' に適合しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_NULL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	カラムの名前。

重大度	16
SQLCODE	-724
SQLSTATE	WO018
Sybase エラーコード	11211

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定したカラムの NULL 属性が実際のカラムの NULL 属性と異なります。

NULL に対して、インジケーター変数が用意されていません。

エラー定数	SQLE_NO_INDICATOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-181
SQLSTATE	22002
Sybase エラーコード	13635

考えられる原因

データベースから NULL の値を検索しようとしましたが、その値にインジケーター変数を指定しませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere：「インジケーター変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「インジケーター変数値のまとめ」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：「インジケーター変数」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

NULL を許可するカラムの数が制限を超えています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_NULL_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	23000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	23000
重大度	16
SQLCODE	-733
SQLSTATE	23504
Sybase エラーコード	233

考えられる原因

NULL が許可されるカラム数がそのカラムに許可されている制限を超えるように、テーブル定義を作成または変更しようとしました。制限値はデータベースページサイズの機能で、約 8*(page-size - 30) です。

OLAP 関数の先頭または最後のサイズが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FRAME_BOUNDARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-957
SQLSTATE	22X13
Sybase エラーコード	13531

考えられる原因

先頭または最後のサイズの式が、NULL または負の値に評価されました。

ON 条件は OUTER JOIN の NULL 入力側および保護側にないテーブルを参照しているため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_OUTERREFERENCE_ON_CONDITION
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1507
SQLSTATE	42WE7
Sybase エラーコード	12596

考えられる原因

定義に不正な ON 条件が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「マテリアライズドビューの制限」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

ON 条件は OUTER JOIN の両側を参照する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_PSNS_ON_CONDITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1371
SQLSTATE	42WE4
Sybase エラーコード	13191

考えられる原因

定義に不正な ON 条件が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

OPENXML クエリのメモリが足りません。

エラー定数	SQLE_XQUERY_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-912
SQLSTATE	WX016
Sybase エラーコード	13572

考えられる原因

OPENXML クエリによって使用されるメモリは、単一のローによって返される要素または属性の最大距離に比例することがあります。たとえば、一部のローがドキュメントの最初と最後の両要素の値を使用しているクエリは、ドキュメントのサイズに比例したメモリを使用することがあります。解決法の 1 つとして、キャッシュサイズを増やすことが挙げられます。また、離れた要素を参照するクエリを複数のクエリに分割して、それぞれが近くの要素を参照するようにし、結果を結合する方法もあります。

OPENXML に渡されたフラグ値は不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_OPENXML_FLAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-893
SQLSTATE	WX004
Sybase エラーコード	13590

考えられる原因

3 番目の引数として OPENXML に渡されるフラグ値は、1 (属性中心のマッピング) または 2 (要素中心のマッピング) でなければなりません。

ORDER BY 句で使用されている、'%1' に対する関数またはカラムの参照は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ORDER BY 句内で、直接または式の中で参照されているカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-854
SQLSTATE	42W65
Sybase エラーコード	104

考えられる原因

ORDER BY 句に関数またはカラムの参照を指定しましたが、セマンティック上無効です。たとえば、DISTINCT クエリでは ORDER BY 句で参照できるのはクエリの SELECT リスト内の項目のみです。

その他の情報

- SQL Anywhere：「GROUP BY 句」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「GROUP BY 句：クエリ結果のグループへの編成」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「MAX 関数 [集合]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ORDER BY 句にあるため、カラム '%1' を更新できません

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_ORDER_BY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ORDER BY 句にあるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-814

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	42W37
Sybase エラーコード	6267

考えられる原因

ORDER BY 句にあるカラムを更新しようとしました。ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

ORDER BY 句の指定が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-152
SQLSTATE	53005
Sybase エラーコード	108

考えられる原因

ORDER BY リスト内で使用した整数が SELECT リストのカラム数を上回ったか、セマンティック上無効な ORDER BY 式を指定しました。たとえば、UNION クエリでは、結果の順序を指定するために整数のみ指定できます。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

OUTER JOIN の NULL 入力側にある NULL 入力不可のカラムが SELECT リストに 1 つ以上存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_ISNOTNULL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	15
SQLCODE	-1508
SQLSTATE	42WE8
Sybase エラーコード	12595

考えられる原因

OUTER JOIN のいずれかの NULL 入力側に対する NULL 入力不可のカラムが 1 つも含まれていない SELECT リストを持つマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

OUTER JOIN の保護側にあるテーブルのプライマリキーカラムが SELECT リストに存在する必要があるため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1509
SQLSTATE	42WE9
Sybase エラーコード	12594

考えられる原因

OUTER JOIN の保護側のいずれかのテーブルのプライマリキーカラムが含まれていない SELECT リストを持つマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

その他の情報

- 「マテリアライズドビュー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「ALTER MATERIALIZED VIEW 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

RAISERROR が実行されました : %1

エラー定数	SQLE_RAISERROR_STMT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	RAISERROR メッセージ文字列。
重大度	16
SQLCODE	-631
SQLSTATE	WW012
Sybase エラーコード	0

考えられる原因

RAISERROR 文が実行されました。RAISERROR 文に関連する文字列がエラーメッセージの本文に含まれます。

RAISERROR のエラー番号 %1 は、17000 未満にしないでください。

エラー定数	SQLE_ERROR_NUMBER_OUT_OF_RANGE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	エラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-296
SQLSTATE	53W07
Sybase エラーコード	2732

考えられる原因

RAISERROR 文に無効なエラー番号を指定しました。番号は、17000 以上にしてください。

READTEXT 文や WRITETEXT 文はビューを参照できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_OPERATION_ON_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-708
SQLSTATE	42W50
Sybase エラーコード	285

考えられる原因

Transact-SQL READTEXT 文または WRITETEXT 文がビュー内のテキストカラムを参照できません。ビューの参照をベーステーブルの名前と置き換えてください。

RECURSIVE キーワードなしの再帰は許可されません。

エラー定数	SQLE_RECURSIVE_KEYWORD_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-938
SQLSTATE	42WA0
Sybase エラーコード	13549

考えられる原因

再帰クエリの共通テーブル式は、WITH RECURSIVE 句を使用して定義する必要があります。

RESTORE によってデータベース '%1' を起動できません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_START
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-719
SQLSTATE	WB010
Sybase エラーコード	13728

考えられる原因

RESTORE を実行したデータベースが起動できませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' に書き込むことができません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_WRITE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-718
SQLSTATE	WB009
Sybase エラーコード	13727

考えられる原因

RESTORE がデータベースファイルの 1 つに書き込みができませんでした。

RESTORE によってファイル '%1' を開くことができません。

エラー定数	SQLE_RESTORE_UNABLE_TO_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	データベースファイルのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-717
SQLSTATE	WB008
Sybase エラーコード	13726

考えられる原因

RESTORE がデータベースファイルの 1 つを開けませんでした。

ROLLBACK TO SAVEPOINT は使用できません。

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-221
SQLSTATE	3B002
Sybase エラーコード	13654

考えられる原因

アトミック操作内で、ROLLBACK TO SAVEPOINT をアトミック操作前に確立されたセーブポイントに対して実行しようとしました。

ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対する GROUP BY リストの式が多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_GROUPING_EXPRESSIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-944
SQLSTATE	42WA1
Sybase エラーコード	13544

考えられる原因

要求された ROLLUP、CUBE、または GROUPING SETS 操作に対して、GROUP BY リストで指定した式が多すぎます。SQL Anywhere を実行している現在の環境では、この数の式は、要求した操作に対して GROUP BY リストで使用できません。

SELECT INTO を最適化しているときに検出された警告はエラーとして処理されます。

エラー定数	SQLE_SELECT_INTO_WARNING_TREATED_AS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-995
SQLSTATE	WP016
Sybase エラーコード	13495

考えられる原因

クエリの最適化中に警告が検出された場合、SELECT...INTO #TEMPTABLE 文を続行できません。この問題を修正するには、INTO 句を削除してクエリをテストし、報告された警告を解決してください。

SELECT 句にないため、カラム '%1' を更新できません

エラー定数	SQLE_UPDATE_NOT_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	SELECT 句にないカラムの名前。

重大度	15
SQLCODE	-815
SQLSTATE	42W38
Sybase エラーコード	7740

考えられる原因

SELECT リストに明示的にないカラムを更新しようとしました。ansi_update_constraints オプションは、この更新が許可されるかどうかを制御します。

SELECT 文以外は記述できません。

エラー定数	SQLE_DESCRIBE_NONSELECT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	16
SQLCODE	-160
SQLSTATE	07005
Sybase エラーコード	3819

考えられる原因

C 言語インターフェイスで、SELECT 文以外の文の SELECT リストを記述しようとしました。Ultra Light では、SELECT 以外の文のスキーマを取り出そうとするとこのエラーが発生する可能性があります。

その他の情報

- 「DESCRIBE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SELECT 文が複数行を返しています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECORDS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-185
SQLSTATE	21000
Sybase エラーコード	13637

考えられる原因

SELECT 文をカーソルなしで使用しようとしましたが、文カーソルは複数のローを返しました。このコンテキストでは、単一のローの SELECT 文だけを使用できます。

SELECT リストに NULL 入力可能な式に対する SUM 関数は含まれていますが、同じ式に対する COUNT 関数が含まれていないため、マテリアライズドビューを即時ビューに変更することはできません

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_COUNT_NULL_EXPR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1327
SQLSTATE	42WCE
Sybase エラーコード	13229

考えられる原因

定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数が含まれているが、同じ式に対する COUNT 関数は含まれていないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

SELECT リストのカラムが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_SELECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1235
SQLSTATE	54W13
Sybase エラーコード	13283

考えられる原因

SELECT リスト内の式が多すぎる文を実行しました。SELECT リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。

SELECT リストの中にカラムが 2 つ以上指定されています

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_SELECT_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-151
SQLSTATE	53023
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

複数のカラムを持つサブクエリを SELECT リストに入力しました。カラムが 1 つだけになるように SELECT リストを変更してください。

その他の情報

- SQL Anywhere：「サブクエリの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SOAP ヘッダー '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SOAP_HEADER_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	無効な SOAP ヘッダーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1114
SQLSTATE	42W86
Sybase エラーコード	13400

考えられる原因

無効な値を SOAP ヘッダーに指定しました。

SQL 記述子名が正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_NAME
ODBC 2 ステータス	33000
ODBC 3 ステータス	33000
重大度	21
SQLCODE	-642
SQLSTATE	33000
Sybase エラーコード	601

考えられる原因

まだ割り当てられていない記述子を解除しようとしました。

その他の情報

- 「DEALLOCATE DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SQL スクリプト DLL をロードできません。

エラー定数	SQLE_INVALID_SCRIPT_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1150
SQLSTATE	WW091
Sybase エラーコード	13362

考えられる原因

SQL スクリプト DLL をロードできません。DLL がないか、見つかったバージョンが使用中のデータベースサーバーのバージョンと一致しない可能性があります。

SQL の識別子が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SQL_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W06
重大度	16
SQLCODE	-760
SQLSTATE	07W06
Sybase エラーコード	13771

考えられる原因

C 言語インターフェイスを通して、無効な識別子を指定しました。たとえば、カーソル名に NULL 文字列を指定した可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SQL Anywhere C API のサポート」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「識別子」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light の識別子」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SQL 文にエラーがあります。

エラー定数	SQLE_STATEMENT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-132
SQLSTATE	26501
Sybase エラーコード	13629

考えられる原因

準備文の識別子が無効です。Embedded SQL では、OPEN または EXECUTE はエラーになります。

SQLDA 中のフィールドが足りません。

エラー定数	SQLE_SQLDA_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16
SQLCODE	-182
SQLSTATE	07002
Sybase エラーコード	13636

考えられる原因

要求された値をすべて検索するだけのフィールドが SQLDA にありません。

SQLDA に不正な sqllen フィールドがあります。

エラー定数	SQLE_INVALID_SQLLEN
ODBC 2 ステータス	HY090
ODBC 3 ステータス	HY090
重大度	16
SQLCODE	-856
SQLSTATE	07W08

Sybase エラーコード	13859

考えられる原因

SQLDA の sqllen フィールドに指定された長さが無効です。可変長のデータ型の長さには負の数を指定しないでください。DT_BINARY 型と DT_VARCHAR 型の長さは 1 より大きい必要があります。

SQLDA のデータ型が無効です。

エラー定数	SQLE_SQLDA_INVALID_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W05
重大度	16
SQLCODE	-759
SQLSTATE	07W05
Sybase エラーコード	13770

考えられる原因

SQLDA 変数に指定したデータ型が無効です。

SQLDA フィールドがマルチロー SQLDA と矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SQLDA_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	07001
ODBC 3 ステータス	07W04
重大度	16
SQLCODE	-700
SQLSTATE	07W04
Sybase エラーコード	13721

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

マルチロー SQLDA のローの一部または全部が、配列操作 (挿入、フェッチ、実行) に対して同等に定義されていません。指定されたカラムは、個々のローでは同じ (型、長さ) に定義する必要があります。

SRID %1 から %2 への変換はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NO_XFORM_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	値の SRID。
パラメーター 2	変換対象の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1444
SQLSTATE	2FW37
Sybase エラーコード	13128

考えられる原因

値の空間参照系を指定されたターゲットに変換する方法はありません。

その他の情報

2 つの空間参照系の間で ST_Transform を呼び出そうとしたときに、片方または両方の SRS 定義に TRANSFORM DEFINITION (ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文で TRANSFORMATION DEFINITION 句を使用した、PROJ.4 による投射記述を使用して指定) が存在しない場合に、このエラーが発生する可能性があります。また、ある SRID から別の SRID に CAST を実行するときにも、このエラーが発生する可能性があります。関連する SRS に TRANSFORMATION DEFINITION を追加する必要があります。または、両方の SRID で同じ座標系が使用されている場合には、ST_SRID メソッドを使用すれば、値そのものを変更することなく値の SRID を変更できます。

SRID %1 からの変換はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NO_SRC_XFORM_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	値の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1445
SQLSTATE	2FW38
Sybase エラーコード	13127

考えられる原因

指定された空間参照系の値から変換する方法はありません。

その他の情報

- SQL Anywhere : ST_Geometry タイプの ST_SRID メソッド『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- SQL Anywhere :「ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「Ultra Light での空間データのサポート」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

SRID %1 は、地理空間参照系を識別しません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NOT_GEOGRAPHIC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
重大度	16
SQLCODE	-1477
SQLSTATE	2FW70
Sybase エラーコード	13095

考えられる原因

メソッド ST_Lat() と ST_Long() は、地理空間参照系に対してのみ使用できます。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SRID %1 は、テーブル '%3' のカラム '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_TAB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
パラメーター 2	参照カラムの名前。
パラメーター 3	参照元テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1474
SQLSTATE	2FW67
Sybase エラーコード	13098

考えられる原因

指定された空間参照系は、テーブルのカラムによって使用されており、変更できません。

SRID %1 は、ドメイン "%3"."%2" によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
パラメーター 2	ドメインの所有者。
パラメーター 3	ドメインの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1476
SQLSTATE	2FW69

Sybase エラーコード	13096

考えられる原因

指定された空間参照系は、ユーザー定義ドメインによって使用されており、変更できません。

SRID %1 は、プロシージャ '%3' のパラメーター '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_INUSE_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
パラメーター 2	参照するパラメーター名。
パラメーター 3	参照するプロシージャー名。
重大度	16
SQLCODE	-1475
SQLSTATE	2FW68
Sybase エラーコード	13097

考えられる原因

指定された空間参照系は、プロシージャーのパラメーターによって使用されており、変更できません。

SRID=%1 のジオメトリは、メソッド %2 ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_ROUND_EARTH_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ジオメトリの SRID。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 2	この SRID がサポートされていないメソッドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1435
SQLSTATE	2FW28
Sybase エラーコード	13137

考えられる原因

指定されたメソッドでは、特定の空間参照系でのジオメトリがサポートされていません。たとえば、このメソッドでは曲面データがサポートされていない可能性があります。

ST_CircularString セグメントの %1 と %2 の間の中間点 (%3) は同一直線上にありますが、開始点と終了点の間にはありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRC_COLLINEAR_MIDPOINT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ST_CircularString セグメントの開始ポイント。
パラメーター 2	ST_CircularString セグメントの終了ポイント。
パラメーター 3	ST_CircularString セグメントの指定された中間ポイント。
重大度	16
SQLCODE	-1516
SQLSTATE	2FF72
Sybase エラーコード	12588

考えられる原因

CircularString セグメントの中間ポイントが開始ポイントと終了ポイントを持つ共線である場合、その結果は開始ポイントと終了ポイント間の直線として解釈されます。この場合、中間ポイントは、開始ポイントと終了ポイント間の行セグメント上に位置している必要があります。

ST_CircularString は、%1 ポイントからは構築できません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRC_NUM_POINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定された不正なポイント数。
パラメーター 2	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1410
SQLSTATE	2FF71
Sybase エラーコード	13162

考えられる原因

circularstring ジオメトリは、3 つのポイントと、オプションで指定できる任意の数のポイントペアで構成されている必要があります。

ST_Geometry 引数は、SQL 関数 %1 ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_SPATIAL_IN_BUILTIN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	SQL 関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1478
SQLSTATE	2FW71
Sybase エラーコード	13094

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

指定された SQL 関数では、ジオメトリパラメーターはサポートされていません。

ST_MultiSurface には、交点が無効な要素が含まれています ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_MULTISURF_I
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な ST_MultiSurface が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16
SQLCODE	-1502
SQLSTATE	2FW89
Sybase エラーコード	13601

考えられる原因

ST_MultiSurface の 2 つの ST_Surface 値の内部は、交差できません。ST_MultiSurface の任意の 2 つの要素の境界は、有限な数のポイント (行セグメントなどではなく) で交差できます。

その他の情報

- 「ST_Surface タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- 「ST_MultiSurface タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

SYNCHRONIZE 文がタイムアウトになりました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1377
SQLSTATE	5RW47

Sybase エラーコード	13193

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文が、指定されたタイムアウト値内に完了しませんでした。詳細については、sp_get_last_synchronize_result() の呼び出し結果をチェックしてください。

sys または public ユーザー ID にログイン ID をマップすることはできません。

エラー定数	SQLE_LOGON_SYSMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-248
SQLSTATE	28W07
Sybase エラーコード	13696

考えられる原因

ログイン ID に SYS または PUBLIC を割り当てようとしました。

System V リソースを割り当てることができません。

エラー定数	SQLE_IQ_SYSTEM_V_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-746
SQLSTATE	08W53
Sybase エラーコード	13759

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

IQ が System V リソースを割り当てることができませんでした。使用していない System V セマフォと共有メモリのセグメントを削除するか、これらのリソースのオペレーティングシステム設定値を大きくしてください。

TLS ハンドシェイクに失敗しました。

エラー定数	SQLE_TLS_HANDSHAKE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-829
SQLSTATE	08W59
Sybase エラーコード	13835

考えられる原因

TLS ハンドシェイクプロセスでエラーが発生したため、接続に失敗しました。

Transact-SQL 外部ジョインは現在無効になっています。

エラー定数	SQLE_TSQL_OUTER_JOINS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1099
SQLSTATE	55W25
Sybase エラーコード	13416

考えられる原因

tsql_outer_joins 接続オプションの設定によって、クエリで Transact-SQL の外部ジョインを指定する機能が現在無効になっています。Transact-SQL の外部ジョインは、このリリースの SQL Anywhere では推奨されなくなりました。

Transact-SQL 機能がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TSQL_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-611
SQLSTATE	0AW02
Sybase エラーコード	176

考えられる原因

SQL Anywhere でサポートされていない Transact-SQL 機能を使用しようとしました。

Transact-SQL の外部ジョインで使用されるジョインタイプが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_JOIN_TYPE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-681
SQLSTATE	52W24
Sybase エラーコード	305

考えられる原因

無効なジョインタイプが、Transact-SQL 外部ジョイン比較演算子のあるクエリによって使用されました。

Transact-SQL の外部ジョインの WHERE 句の式が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TSQL_OJ_EXPRESSION

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-680
SQLSTATE	52W23
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

Transact-SQL 構文を使用するクエリの WHERE 句の式の中に、別のテーブルからカラムを参照しているサブクエリや式と、NULL 入力テーブルのカラムの比較が含まれています。

TREAT AS は拡張タイプでのみ使用できます。%1 を %2 として処理することはできません。

エラー定数	SQLE_TREAT_AS_ONLY_EXTENDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	変換できなかった値。
パラメーター 2	変換の対象となるデータ型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1361
SQLSTATE	53020
Sybase エラーコード	13201

考えられる原因

値を別のデータ型として処理しようとしているときにエラーが発生しました。

TRUNCATE TABLE は許可されません : 初期化された即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_TRUNCATE_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	依存している初期化された即時マテリアライズドビューの名前。
パラメーター 2	TRUNCATE TABLE が実行されたテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1193
SQLSTATE	55W30
Sybase エラーコード	13322

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、TRUNCATE TABLE は許可されません。

TRUNCATE TABLE 文は、ビューには使用できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_TRUNCATE_VIEW
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-702
SQLSTATE	42W49
Sybase エラーコード	4708

考えられる原因

ビューに TRUNCATE TABLE を使用しようとしました。TRUNCATE TABLE はビューに使用できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

TRUNCATE の後に value-sensitive カーソルが使用されています

エラー定数	SQLE_HOLD_CURSOR_AFTER_TRUNCATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-1241
SQLSTATE	24001
Sybase エラーコード	13273

考えられる原因

TRUNCATE の後、または COMMIT によってすべてのローが ON COMMIT DELETE ROWS として宣言されたテンポラリテーブルから削除された後、WITH HOLD で開かれた value-sensitive カーソルを使用しようとしました。

Ultra Light データベースステータスがリストアされました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_STATE_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	142
SQLSTATE	WW114
Sybase エラーコード	13276

考えられる原因

テンポラリファイルからデータベースステータスがリストアされました。これには、サスペンドされた接続、トランザクション、カーソルが含まれます。

その他の情報

- 「テンポラリテーブルの管理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

Ultra Light データベース展開ファイルが無効です (コード : %1、ファイル : %2)

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_DEPLOY_FILE_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	診断コード。
パラメーター 2	存在する場合、関連付けられているファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-1625
SQLSTATE	WU002
Sybase エラーコード	12481

考えられる原因

Ultra Light のデータベース展開ファイルが無効です。これは、不正なファイルが展開された場合やファイルが破損している場合に発生します。診断コード 1 は、ファイルが展開ファイルでないこと、またはその後に破損したことを示します。診断コード 2 は、ファイルのサイズが無効であることを示します。

Ultra Light では使用できない機能です。

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_IN_ULTRALITE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-749
SQLSTATE	0AW07
Sybase エラーコード	13762

考えられる原因

Ultra Light データベースでサポートされていない文を実行したり、機能を使用したりしようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード

Ultra Light のカーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) がリストアされました。

エラー定数	SQLE_CURSOR_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	134
SQLSTATE	WW041
Sybase エラーコード	13518

考えられる原因

カーソル (あるいは結果セットまたはテーブル) が正しく開き、カーソル位置がサスペンド状態からリストアされました。

Ultra Light の接続がリストアされました。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_RESTORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	133
SQLSTATE	WW040
Sybase エラーコード	13519

考えられる原因

接続が正しく行われ、トランザクションがサスペンド状態からリストアされました。

UNION、INTERSECT、または EXCEPT の Select リストの長さが一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_UNION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-153
SQLSTATE	53026
Sybase エラーコード	205

考えられる原因

UNION、INTERSECT、または EXCEPT を指定しましたが、その操作の SELECT 文が select リストにカラム数と同じ数を持っていません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「UNION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「INTERSECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「EXCEPT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「UNION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

UNLOAD TABLE は、ビューのアンロードには使用できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNLOAD_A_VIEW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-643
SQLSTATE	WL004
Sybase エラーコード	13672

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

UNLOAD TABLE がビューの名前で指定されています。UNLOAD TABLE は、テーブルのアンロードにだけ使用できます。

URI '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_URI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な URI。
重大度	16
SQLCODE	-980
SQLSTATE	WW049
Sybase エラーコード	13509

考えられる原因

指定した URI は無効です。

USING 属性のサービスにあるプロパティ '%1' はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていないプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1024
SQLSTATE	42WAF
Sybase エラーコード	13486

考えられる原因

サポートされていないプロパティの USING 属性がサービス定義に含まれています。

USING 属性は、FORMAT 属性または GROUP 属性と共存できません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_COEXIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1026
SQLSTATE	42WB1
Sybase エラーコード	13484

考えられる原因

指定したサービスタイプのサービス定義では、USING 属性を FORMAT または GROUP 属性と一緒に指定できません。

VALIDATE 文はベーステーブルを参照しなければなりません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_VALIDATE_OBJECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-720
SQLSTATE	42W51
Sybase エラーコード	13729

考えられる原因

VALIDATE 文は、ローカルベーステーブルを参照する必要があります。ビュー、IQ テーブル、またはリモートサーバーのオブジェクトは参照できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

VERIFY と RENAME を同時に使用することはできません。

エラー定数	SQLE_RENAME_WITH_VERIFY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1398
SQLSTATE	42WE5
Sybase エラーコード	12599

考えられる原因

VERIFY によって DB 領域に書き込まれることはないため、DB 領域の名前変更は、リストア検証中は実行できません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_INCONSISTENT_ZM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1420
SQLSTATE	2FW11
Sybase エラーコード	13152

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に含まれている複数のジオメトリ間で、座標次元の数が異なっています。たとえば、あるポイントには Z 値があり、別のポイントには Z 値がありません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 で無効なバイト順マーク %1 です

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_INVALID_BOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	バイトオーダーマークの値。
パラメーター 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1421
SQLSTATE	2FW12
Sybase エラーコード	13151

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に無効なバイトオーダーマークが含まれています。このことは、Well-Known-Binary 形式ではないバイナリ文字列が使用されている場合に発生する可能性があります。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が親の有効なサブタイプではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_TYPE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていないタイプコード値。
パラメーター 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1418
SQLSTATE	2FW09
Sybase エラーコード	13154

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に親ジオメトリ内の子ジオメトリが含まれており、その子は、親によって許可されているいずれのタイプでもありません。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : オフセット %2 のタイプコード %1 が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていないタイプコード値。
パラメーター 2	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1417
SQLSTATE	2FW08
Sybase エラーコード	13155

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列に、サポートされていないタイプコードが含まれています。

Well-Known-Binary (WKB) の解析エラー : 入力の終わりが予期されているものと異なります。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE_UNEXPECTED_EOF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1419
SQLSTATE	2FW10
Sybase エラーコード	13153

考えられる原因

Well-Known-Binary 文字列が短すぎました。

Well-Known-Text (WKT) の解析エラー : オフセット %1 の次元が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKT_PARSE_INCONSISTENT_ZM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出された Well-Known-Text 文字列内のオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1414
SQLSTATE	2FW05
Sybase エラーコード	13158

考えられる原因

指定されたオフセットで、座標次元が混在していることが検出されました。たとえば、コレクション内のあるジオメトリには Z 値があり、別のジオメトリには Z 値がありません。

Window 関数が述語に使用されています。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_WINDOW_PREDICATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-964
SQLSTATE	42WA8
Sybase エラーコード	13526

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Window 関数が、SELECT 文の WHERE 句または HAVING 句で使用されています。SELECT 文を抽出テーブルにする、Window 関数を抽出テーブルの SELECT リストに設定する、または導出カラムを参照するように述語を変更することを検討してください。

Window 関数には ORDER BY が必要です。

エラー定数	SQLE_OBSOLETE_ORDERBY_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-965
SQLSTATE	42WA9
Sybase エラーコード	13525

考えられる原因

RANK 関数と RANGE キーワードを使用する Window 関数には、ORDER BY 句を指定する必要があります。

WRITETEXT は許可されません : 即時マテリアライズドビュー %1 は %2 に依存しています

エラー定数	SQLE_WRITETEXT_TABLE_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	依存している即時マテリアライズドビューの名前。
パラメーター 2	ベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1203
SQLSTATE	55W32
Sybase エラーコード	13312

考えられる原因

依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるベーステーブルでは、WRITETEXT は許可されません。依存している初期化された即時マテリアライズドビューがあるベーステーブルでは、トリガーを起動しないオペレーションは許可されません。

WRITETEXT または READTEXT に無効な値を持つ TEXTPTR があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXTPTR_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-608
SQLSTATE	22W03
Sybase エラーコード	7123

考えられる原因

WRITETEXT または READTEXT 文に無効な TEXTPTR 値を指定しました。

WRITETEXT または READTEXT のカラムのデータ型が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEXT_IMAGE_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-609
SQLSTATE	53W09
Sybase エラーコード	7139

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

テキスト (text) またはイメージ (image) データを格納するように定義されていないカラムを WRITETEXT または READTEXT 文で参照しました。

XML 出力に制御文字があります。

エラー定数	SQLE_CONTROL_CHARACTER_IN_XML_OUTPUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-911
SQLSTATE	WX015
Sybase エラーコード	13573

考えられる原因

XML コンテンツを生成するときに、16 進数の 20 未満のスペース以外の文字が検出されました。XML コンテンツとして使用する前に、制御文字を含む文字列を Base64 でエンコードすることを検討してください。そのためには、FOR XML クエリまたは SQLX 関数で、LONG BINARY などの型に文字列をキャストします。

XML パーサーエラー : %1

エラー定数	SQLE_XML_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	XML パーサーによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-888
SQLSTATE	WX002
Sybase エラーコード	13595

考えられる原因

XML インスタンスが正しく解析されるのは、XML 1.0 仕様の定義に従った正しい形式である場合だけです。

XMLGEN 評価が失敗しました。

エラー定数	SQLE_XMLGEN_EVALUATION_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-906
SQLSTATE	WX013
Sybase エラーコード	13577

考えられる原因

XQuery コンストラクターで参照される変数のいずれかが、引数のリストで見つかりませんでした。

XPath パーサーエラー : %1

エラー定数	SQLE_XQUERY_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	XPath パーサーによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-892
SQLSTATE	WX003
Sybase エラーコード	13591

考えられる原因

XPath の式が正しくないか、現在サポートされていない機能を使用しています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

XQuery コンストラクターが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_XQUERY_CONSTRUCTOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-905
SQLSTATE	WX012
Sybase エラーコード	13578

考えられる原因

XMLGEN に最初の引数として渡された XQuery コンストラクターが無効です。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、あ～さ)

アイテム '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0001
ODBC 3 ステータス	42S01
パラメーター 1	すでに存在するアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-110
SQLSTATE	52010
Sybase エラーコード	12006

考えられる原因

ファイル、テーブル、ビュー、カラム、制約、外部キー、またはパブリケーションを、既存のものと同じ名前を使って作成しようとしました。

アクティブなデータベースがないため要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_DENIED_NO_DATABASES
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	14
SQLCODE	-76
SQLSTATE	08W28
Sybase エラーコード	950

考えられる原因

現在、稼働中のデータベースがないため、サーバーは要求を拒否しました。

アクティブなデータベース要求を 2 つ出そうとしました。

エラー定数	SQLE_DOUBLE_REQUEST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-298
SQLSTATE	42W22
Sybase エラーコード	13663

考えられる原因

Embedded SQL で、処理中の要求があるのにデータベースに要求を送信しようとしました。データベースにアクセスしている各スレッドに対して個別の SQLCA および接続を使用するか、スレッド同期呼び出しを使用して SQLCA が一度に 1 つのスレッドのみによってアクセスされるようにしてください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「マルチスレッドまたは再入可能コードでの SQLCA 管理」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「複数の SQLCA の使用」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「SQLCA (SQL Communication Area)」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「変更のキャンセル」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「複数の接続の管理」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

アクティブな登録された接続があるため '%1' の登録を取り消せません。

エラー定数	SQLE_DEREG_APP_IN_USE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-786
SQLSTATE	5RW25
Sybase エラーコード	13796

考えられる原因

アプリケーションに登録されているアクティブな接続があるにもかかわらず、アプリケーションの登録を取り消そうとしました。

値 %1 は、対象先にとって大きすぎます。

エラー定数	SQLE_OVERFLOW_ERROR
ODBC 2 ステータス	22003
ODBC 3 ステータス	22003
パラメーター 1	オーバーフローを引き起こした値。
重大度	16

SQLCODE	-158
SQLSTATE	22003
Sybase エラーコード	220

考えられる原因

送信先カラムまたはホスト変数に対して大きすぎる値が、データベースに入力されたか、データベースからフェッチされました。たとえば、値 10 が、DECIMAL (3,2) フィールドに与えられました。

その他の情報

- 「CAST 関数 [データ型変換]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「データ型変換」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

値 %1 は座標系 %2 の範囲外です (SRS の境界 [%3, %4] を 50% 以上超過)

エラー定数	SQLE_SLERR_OBJECT_OUT_OF_SRS_BOUNDS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	定義されている境界の外にある値。
パラメーター 2	範囲外の座標名。
パラメーター 3	空間参照系で許可されている最小値。
パラメーター 4	空間参照系で許可されている最大値。
重大度	16
SQLCODE	-1484
SQLSTATE	2FW79
Sybase エラーコード	13088

考えられる原因

空間参照系で指定された境界の外にあるポイントがジオメトリに含まれています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

値 %1 をデータ型 %2 に変換できません。

エラー定数	SQLE_CONVERSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメーター 1	変換できなかった値。
パラメーター 2	変換の対象となるデータ型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-157
SQLSTATE	53018
Sybase エラーコード	257

考えられる原因

値を別のデータ型に変換しようとしたときにエラーが発生しました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「データ型変換」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light データ型変換関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

値 '%1' をタイプ %2 として処理することはできません。動的タイプは %3 です。

エラー定数	SQLE_TREAT_AS_DYNAMIC_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	変換できなかった値。
パラメーター 2	変換の対象となるデータ型の名前。
パラメーター 3	変換できなかった値の型。
重大度	16
SQLCODE	-1362

SQLSTATE	53021
Sybase エラーコード	13200

考えられる原因

値を別のデータ型として処理しようとしているときにエラーが発生しました。値の動的タイプが変換先の型と一致していません。

値 '%2' は、'%1' フォーマット指定オプションの有効な設定ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な値。
パラメーター 2	フォーマット指定オプション。
重大度	16
SQLCODE	-1433
SQLSTATE	2FW26
Sybase エラーコード	13139

考えられる原因

指定オプションによって値が受け入れられませんでした。

値がトランケートされました。

エラー定数	SQLE_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	01004
ODBC 3 ステータス	01004
重大度	10
SQLCODE	101

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	01004
Sybase エラーコード	7337

考えられる原因

値に対して十分大きくないホスト変数または SQLDA 変数に、データをフェッチしようとしました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「インジケーター変数：トランケートされた値に対する使用」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

圧縮エラー：%1

エラー定数	SQLE_COMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-959
SQLSTATE	WW037
Sybase エラーコード	13529

考えられる原因

圧縮中にエラーが発生しました。

圧縮または暗号化の使用中は付加できません

エラー定数	SQLE_UNLOAD_CANNOT_APPEND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1187
SQLSTATE	WL012
Sybase エラーコード	13328

考えられる原因

圧縮または暗号化の使用中は、UNLOAD 文によってファイルに付加することはできません。compressed キーワードまたは encrypted キーワードが指定されたか、付加先のファイルが圧縮または暗号化されています。

アトミックなオペレーション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_ATOMIC_OPERATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-267
SQLSTATE	42W28
Sybase エラーコード	13640

考えられる原因

アトミック操作中に、COMMIT または ROLLBACK 文を実行しようとしました。

アトミックな複合文では、結果セットは使用できません。

エラー定数	SQLE_RESULT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-222
SQLSTATE	3BW02

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13655

考えられる原因

アトミック複合文内で、INTO 句のない SELECT 文、または RESULT CURSOR 文を使用しました。

アプリケーションの cookie が無効なため接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_REG_CONN
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-784
SQLSTATE	5RW23
Sybase エラーコード	13794

考えられる原因

指定した cookie に対してアプリケーション登録が見つかりませんでした。

暗号化 DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_MISSING_ENCRYPTION_DLL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードできなかった暗号化 DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-976
SQLSTATE	08W70
Sybase エラーコード	13513

考えられる原因

暗号化 DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

暗号化 DLL を初期化できませんでした : '%1'

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_INITIALIZATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	初期化に失敗した理由 (理由が判明している場合)。
重大度	19
SQLCODE	-984
SQLSTATE	WW053
Sybase エラーコード	13505

考えられる原因

暗号化 DLL を初期化しようとしましたが、失敗しました。

その他の情報

- SQL Anywhere :「Encryption (ENC) 接続パラメーター」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere :「トランスポートレイヤーセキュリティ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light : ULEnableAesFipsDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化エラー : %1

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-895

SQLSTATE	08W66
Sybase エラーコード	13589

考えられる原因

暗号化中にエラーが発生しました。

暗号化が有効になっていません。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1143
SQLSTATE	55W27
Sybase エラーコード	13370

考えられる原因

暗号化を有効にしないで暗号化を使用しようとしました。ULEnableAesDBEncryption または ULEnableAesFipsDBEncryption を呼び出して暗号化を有効にしてください。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースのキャッシュサイズの調整」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULEnableAesDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化が有効になっていません。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_NOT_ENABLED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	140

SQLSTATE	01005
Sybase エラーコード	13369

考えられる原因

暗号化キーを指定したが暗号化が有効になっておらず、データベースも暗号化されていません。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースのキャッシュサイズの調整」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light Embedded SQL を使用したデータの暗号化」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

暗号化キーが不正であるか、見つかりません。

エラー定数	SQLE_BAD_ENCRYPTION_KEY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-840
SQLSTATE	08W62
Sybase エラーコード	16846

考えられる原因

データベースはキーで暗号化されています。データベースを起動するためのキーが指定されていないか、指定されたキーが間違っていました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「-ek dbeng12/dbsrv12 データベースオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「DatabaseKey (DBKEY) 接続パラメーター」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「データベースの暗号化と復号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light DBKEY 接続パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースのセキュリティ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

安全な HTTP 接続はこのプラットフォームではサポートされていません

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1030
SQLSTATE	WW063
Sybase エラーコード	13480

考えられる原因

安全な HTTP 接続が試行されましたが、このプラットフォームではサポートされていません。

依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルでは、オペレーションは認められません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPERATION_FOR_TBL_WITH_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1202
SQLSTATE	55W31
Sybase エラーコード	13313

考えられる原因

依存する即時マテリアライズドビューがあるテーブルには、要求されたオペレーションは適用できません。

依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。

エラー定数	SQLE_MAINTENANCE_OF_IMV_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1219
SQLSTATE	42WC8
Sybase エラーコード	13298

考えられる原因

ベーステーブルに依存する即時マテリアライズドビューのメンテナンスに失敗しました。

位置 %1 が無効です (有効な値は %2～%3)。

エラー定数	SQLE_SLWARN_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定された位置。
パラメーター 2	サポートされている最小の位置。
パラメーター 3	サポートされている最大の位置。
重大度	16
SQLCODE	-1489
SQLSTATE	01F01
Sybase エラーコード	13083

考えられる原因

指定された位置が無効です。位置は、指定された最小値と最大値の間である必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

一致するテキストインデックスがありません。

エラー定数	SQLE_TEXT_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1158
SQLSTATE	WT003
Sybase エラーコード	13355

考えられる原因

CONTAINS クエリで参照されているすべてのカラムに単一のテキストインデックスが存在する必要があります。

イベント '%1' がすでに存在します。

エラー定数	SQLE_EVENT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	すでに存在するイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-772
SQLSTATE	WE002
Sybase エラーコード	13782

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前でイベントを作成しようとしました。

イベント '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EVENT_NOT_FOUND

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかったイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-771
SQLSTATE	WE001
Sybase エラーコード	13781

考えられる原因

データベースに存在しない名前でイベントを参照しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「イベント」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

イベント '%1' の開始日時が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_START
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-793
SQLSTATE	WE007
Sybase エラーコード	13803

考えられる原因

イベントの開始日に無効な日付を指定しました。

イベント '%1' は使用中です。

エラー定数	SQLE_EVENT_IN_USE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	使用中のイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-835
SQLSTATE	WE009
Sybase エラーコード	13841

考えられる原因

現在使用中のイベントを削除しようとしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかったスケジュールの名前。
パラメーター 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-773
SQLSTATE	WE003
Sybase エラーコード	13783

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースに存在していない名前でスケジュールを参照しようとしました。

イベント '%2' に対するスケジュール '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SCHEDULE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	すでに存在するスケジュールの名前。
パラメーター 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-774
SQLSTATE	WE004
Sybase エラーコード	13784

考えられる原因

指定したイベントに関して、データベースですでに存在する名前でスケジュールを作成しようとしました。

イベント '%2' の時刻 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_TIME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	時刻の値。
パラメーター 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-792
SQLSTATE	WE006
Sybase エラーコード	13802

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

無効な起動時刻や終了時刻でスケジュールを作成しようとしました。

イベント '%2' の曜日または月 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_DAY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	曜日または日付。
パラメーター 2	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-791
SQLSTATE	WE005
Sybase エラーコード	13801

考えられる原因

無効な曜日または日付でスケジュール作成しようとしました。

イベントオブジェクト名 '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_EVENT_OBJECT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	イベントオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1264
SQLSTATE	WE015
Sybase エラーコード	13246

考えられる原因

指定された名前は、イベントオブジェクト (通知キューまたはユーザーイベント) では無効です。名前は、長さ 32 文字 (バイト) までに制限され、「*」や「@」など、特定の文字を使用することはできません。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' が満杯なため、通知は破棄されました

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_FULL
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	146
SQLSTATE	WE011
Sybase エラーコード	13785

考えられる原因

指定されたキューが満杯であり、キューから通知が読み込まれるまでイベント通知を受信しません。保留中の通知は廃棄されています。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	イベント通知キューの名前。
重大度	11

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1263
SQLSTATE	WE014
Sybase エラーコード	13247

考えられる原因

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作が失敗しました。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベント通知キュー '%1' に警告は見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_NOT_FOUND_WARN
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	148
SQLSTATE	WE013
Sybase エラーコード	13248

考えられる原因

指定されたイベント通知キューは見つかりませんでした。操作はスキップされます。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

イベントパラメーター '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_EVENT_PARAMETER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	イベントパラメーターの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1267
SQLSTATE	WE018
Sybase エラーコード	13243

考えられる原因

イベント通知に、指定されたイベントパラメーターが見つかりませんでした。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インスタンス化 '%1' は過負荷に一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR_OVERLOAD
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	新しい指定で使用されるタイプ名とデータ型。
パラメーター 2	無効な式。
パラメーター 3	使用可能なコンストラクターのオーバーロード。
重大度	11
SQLCODE	-1341
SQLSTATE	42X06
Sybase エラーコード	13215

考えられる原因

新しい指定と一致させようとしているときに、指定された引数タイプに一致する定義済みコンストラクターオーバーロードが見つかりませんでした。CAST を使用して適切な呼び出しを選択することが必要となる場合があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

インデックス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0012
ODBC 3 ステータス	42S12
パラメーター 1	見つからなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-183
SQLSTATE	52W03
Sybase エラーコード	6226

考えられる原因

存在しないインデックスを使用して、操作を実行しようとしました。スペルが間違っていないかチェックしてください。インデックス名をユーザー ID で修飾する必要があるかどうかをチェックしてください。

その他の情報

- 「データベースオブジェクトの名前とプレフィクス」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

インデックス '%1' にはカラムがありません

エラー定数	SQLE_INDEX_HAS_NO_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	インデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1274
SQLSTATE	0EW01
Sybase エラーコード	13884

考えられる原因

カラムなしのインデックスを作成しようとしました。

インデックス '%1' をクラスタできません。

エラー定数	SQLE_CLUSTERED_INDEX_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	クラスタードインデックスにできなかったインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-878
SQLSTATE	42W74
Sybase エラーコード	13889

考えられる原因

クラスタードインデックス (キーインデックスを含む) を作成しようとしましたが、新しいインデックスを作成できませんでした。理由としては、たとえばテーブルにクラスタードインデックスがすでにあることが考えられます。

インデックスのカラムを変更することはできません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-127
SQLSTATE	53W05
Sybase エラーコード	4939

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

プライマリキーまたは外部キーの一部であるカラムの定義を、削除または修正しようとしました。インデックスのあるカラムを削除しようとしました。この場合は、インデックスまたはキーを削除し、ALTER 文を実行して、インデックスまたはキーを元に戻してください。

その他の情報

- SQL Anywhere :「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere :「外部キー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere :「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「Ultra Light のテーブルとカラム」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light :「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インデックス名 '%1' があいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_INDEX_NAME
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11
パラメーター 1	あいまいなインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-678
SQLSTATE	52W40
Sybase エラーコード	1921

考えられる原因

文がユニークでないインデックス名を参照しました。インデックス名には、はじめにテーブル名か所有者名またはその両方を付けてください。

その他の情報

- Ultra Light :「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

インデックス名 '%1' はユニークではありません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NAME_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	S0011
ODBC 3 ステータス	42S11

パラメーター 1	無効なインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-111
SQLSTATE	52W04
Sybase エラーコード	1921

考えられる原因

既存のインデックスと同じ名前を使って、インデックスを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere :「CREATE INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ウィンドウ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_WINDOW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかったウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-947
SQLSTATE	42WA3
Sybase エラーコード	13541

考えられる原因

SELECT 文のウィンドウリストで定義されていないウィンドウ名を参照しようとしました。

ウィンドウ '%1' では、ORDER BY は許可されません。

エラー定数	SQLE_ORDERBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-949
SQLSTATE	42WA5
Sybase エラーコード	13539

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときに、インラインのウィンドウまたは参照されるウィンドウのいずれかに ORDER BY がある場合があります。

ウィンドウ '%1' では、フレームは許可されません。

エラー定数	SQLE_FRAME_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-950
SQLSTATE	42WA6
Sybase エラーコード	13538

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から参照されるウィンドウでは、フレームを使用できません。

ウィンドウ '%1' への参照には、PARTITION BY は許可されません。

エラー定数	SQLE_PARTITIONBY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ウィンドウの名前。
重大度	16
SQLCODE	-948
SQLSTATE	42WA4
Sybase エラーコード	13540

考えられる原因

インラインのウィンドウ指定から既存のウィンドウ名が参照されるときは、インラインの指定に PARTITION BY 句を含めないでください。

埋め込まれた SRID (%1) が指定された SRID (%2) と競合しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_CONFLICT_EMBED_PARAM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	解析された文字列内の SRID。
パラメーター 2	パラメーターとして指定された SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1426
SQLSTATE	2FW19
Sybase エラーコード	13146

考えられる原因

空間メソッドの SRID パラメーターとは異なる組み込み SRID を持つ文字列が、そのメソッドに対する呼び出しに含まれていました。

埋め込まれた SRID が矛盾しています (%1 と %2)。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_CONFLICT_EMBED_EMBED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	1 番目の SRID。
パラメーター 2	2 番目の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1427
SQLSTATE	2FW20
Sybase エラーコード	13145

考えられる原因

文字列表現のジオメトリに、複数の異なる空間参照系のオブジェクトが含まれています。

埋め込み SQL を処理しているプリプロセッサーと、データベースインターフェイスライブラリのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_PP_DBLIB_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08801
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-230
SQLSTATE	08W18
Sybase エラーコード	13657

考えられる原因

実行プログラムが、データベースインターフェイスライブラリと一致しないバージョンの sqlpp で前処理された Embedded SQL のソースファイルを保有しています。

エイリアス '%1' がユニークではありません。

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_UNIQUE

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-830
SQLSTATE	42W60
Sybase エラーコード	13836

考えられる原因

同じエイリアスが SELECT リストで 2 回以上使用されています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「クエリ結果にある名前が変更されたカラム」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

エイリアス '%1' の定義は、最初の参照前に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_ALIAS_NOT_YET_DEFINED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-831
SQLSTATE	42W61
Sybase エラーコード	13837

考えられる原因

式にエイリアスへの参照が入っていますが、このエイリアスは、SELECT リストの後の部分で定義されています。エイリアスへの参照の前にエイリアスを定義してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「クエリ結果にある名前が変更されたカラム」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

エスケープシーケンス '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_SEQ
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22025
パラメーター 1	エスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-630
SQLSTATE	22025
Sybase エラーコード	7705

考えられる原因

LIKE パターンで使用されているエスケープ文字が無効です。エスケープ文字に続く文字は、特殊文字の '%'、'_'、'[' またはエスケープ文字そのものです。

エスケープ文字 '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ESCAPE_CHAR
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	22019
パラメーター 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-629
SQLSTATE	22019
Sybase エラーコード	7707

考えられる原因

エスケープ文字の文字長は 1 バイトにしてください。

エスケープ文字 '%1' が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_ESCAPE_CHARACTER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200B
パラメーター 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-1137
SQLSTATE	2200B
Sybase エラーコード	13376

考えられる原因

指定されたエスケープ文字は使用できません。

エスケープ文字 '%1' の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_ESCAPE_CHARACTER
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2200C
パラメーター 1	無効なエスケープ文字。
重大度	16
SQLCODE	-1136
SQLSTATE	2200C
Sybase エラーコード	13377

考えられる原因

指定されたエスケープ文字は使用できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

オープンカーソルが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CURSORS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-1230
SQLSTATE	54W12
Sybase エラーコード	13287

考えられる原因

単一の Ultra Light データベースで開いていることが可能なカーソルの数を超えました。文を使用し終わったら文を解放していることを確認してください。

その他の情報

- 「Embedded SQL を使用した Ultra Light C++ アプリケーション開発」『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- 「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

同じプライマリキーを持つ 2 つのローが、テーブル '%1' 用にダウンロードされています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_ROW_FOUND_IN_DOWNLOAD
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	ダウンロードするテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	145
SQLSTATE	01W27
Sybase エラーコード	13254

考えられる原因

同期スクリプトが、ダウンロードで同じプライマリキーを持つ重複ローを生成しています。この動作は、一般に、同期スクリプトに問題があることを示しています。ダウンロードされたローのうちのどれがデータベースに適用されるかについての保証はありません。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

オブジェクト '%1' を削除または変更できません。少なくとも 1 つのオブジェクト (%2 '%3') が依存しています。

エラー定数	SQLE_OBJECT_HAS_DEPENDENTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	削除または修正できなかったオブジェクトの名前。
パラメーター 2	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトのタイプ。
パラメーター 3	削除または修正できなかったオブジェクトに依存するオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1037
SQLSTATE	55W16
Sybase エラーコード	13474

考えられる原因

削除または修正しようとしたテーブルまたはカラムなどのオブジェクトは、マテリアライズドビューなど別のオブジェクトで使用されているので、自動的に無効にできません。このオブジェクトに依存しているオブジェクトを無効にするか、削除すると、このオブジェクトを削除または修正できます。

オプション '%1' が認識されません

エラー定数	SQLE_UNRECOGNIZED_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1002
SQLSTATE	WW062
Sybase エラーコード	13494

考えられる原因

指定したオプションが認識されませんでした。このオプションのスペルが間違っている可能性があります。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続文字列とパラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light 同期パラメーターとネットワークプロトコルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' が複数回指定されています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_OPTION
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	重複するオプションの名前。
重大度	10
SQLCODE	139
SQLSTATE	01W26
Sybase エラーコード	13415

考えられる原因

特定のオプションを複数回指定しました。オプションの最後のインスタンスだけが使用され、その前のインスタンスは無視されます。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続文字列とパラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light 同期パラメーターとネットワークプロトコルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' が無効です -- PUBLIC 設定がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効なオプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-200
SQLSTATE	42W16
Sybase エラーコード	155

考えられる原因

SET OPTION 文のオプション名が間違っている可能性があります。ユーザーに対してオプションを設定できるのは、そのオプションにデータベース管理者が PUBLIC 値を与えている場合だけです。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SET OPTION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「データベースオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「SET OPTION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' の設定が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_SETTING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	無効なオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-201
SQLSTATE	42W17
Sybase エラーコード	5849

考えられる原因

SET 文のオプションに無効な値が指定されました。数値だけを許可するオプションや、On と Off の値だけを許可するオプションがあります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SET OPTION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SET OPTION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

オプション '%1' は PUBLIC な設定のみが許されています。

エラー定数	SQLE_NOT_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-202
SQLSTATE	42W43
Sybase エラーコード	13685

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは PUBLIC だけです。このオプションを他のユーザーに定義することはできません。

オプション '%1' はテンポラリオプションとしてのみ設定できます。

エラー定数	SQLE_OPTION_IS_TEMP_ONLY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-216
SQLSTATE	42W52
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文で指定したオプションは、テンポラリオプションとしてのみ設定できます。

オプション '%1' はプロシージャー内から設定できません。

エラー定数	SQLE_OPTION_IN_PROCEDURE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	設定できなかったオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-217
SQLSTATE	42W53
Sybase エラーコード	5878

考えられる原因

SET OPTION 文に指定したオプションは、プロシージャー内から設定できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

オプションウォッチリストに含まれているため、データベースオプション "%1" を設定できません

エラー定数	SQLE_OPTION_ON_WATCH_LIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1180
SQLSTATE	WW096
Sybase エラーコード	13335

考えられる原因

オプションウォッチリストに含まれているデータベースオプションを設定しようとしました。オプションウォッチリストは、削除されているか旧式になっているオプションの参照を検出しやすくするために使用されます。

オフセット %1 の Well-Known-Binary (WKB) の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKB_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出されたバイナリ文字列内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1407
SQLSTATE	2FF23
Sybase エラーコード	13165

考えられる原因

ジオメトリの Well-Known-Binary を解析中に、エラーが検出されました。

オフセット %1 のジオメトリ内部直列化の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SERIAL_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	内部直列化内のバイトオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1415
SQLSTATE	2FW06
Sybase エラーコード	13157

考えられる原因

内部直列化文字列の解析中にエラーが発生しました。

オフセット %2 の Well-Known-Text (WKT) スキャニング '%1' の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_WKT_PARSE_NEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	問題が検出されたテキスト。
パラメーター 2	問題が検出された入力文字列内のオフセット。
重大度	16
SQLCODE	-1406
SQLSTATE	2FF22
Sybase エラーコード	13166

考えられる原因

ジオメトリの Well-Known-Text を解析中に、エラーが検出されました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

オプティマイザーは有効なアクセスプランを構成できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPTIMIZE_QUERY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-727
SQLSTATE	WI010
Sybase エラーコード	13730

考えられる原因

データベースサーバーは、指定された要求に対して有効なアクセスプランを作成できませんでした。これは SQL Anywhere の内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。クエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

オペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1106
SQLSTATE	WW077
Sybase エラーコード	13408

考えられる原因

必要なオペレーションに指定されているパブリケーションが多すぎます。たとえば、最終ダウンロードタイムスタンプを取り出すときは、パブリケーションを 1 つだけ選択できます。

親が開いていません：'%1'

エラー定数	SQLE_EXPLICIT_TAG_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	開いているタグの中にない親のタグ ID。
重大度	16
SQLCODE	-900
SQLSTATE	WX008
Sybase エラーコード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT には、ローが読み込まれたときに開かれるローの親のタグが必要です。FOR XML EXPLICIT 句を削除した状態で、クエリによって返されるローの順序を確認してください。

カーソルオプションの値が変更されました。

エラー定数	SQLE_CURSOR_OPTIONS_CHANGED
ODBC 2 ステータス	01S02
ODBC 3 ステータス	01S02
重大度	10
SQLCODE	121
SQLSTATE	01S02
Sybase エラーコード	13857

考えられる原因

関連するクエリに対して要求されたカーソルオプションの値が、データベースサーバーでサポートされていませんでした。類似したオプション設定で置き換えられました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

カーソルが宣言されていません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_DECLARED
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-170
SQLSTATE	24W01
Sybase エラーコード	557

考えられる原因

宣言されていないカーソルを OPEN しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「カーソルの使い方」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

カーソルが開きません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_NOT_OPEN
ODBC 2 ステータス	34000
ODBC 3 ステータス	34000
重大度	16
SQLCODE	-180
SQLSTATE	24501
Sybase エラーコード	559

考えられる原因

開いていないカーソルを使用しようとしました。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「カーソルの使い方」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

カーソルが有効な状態にありません。

エラー定数	SQLE_CURSOR_INVALID_STATE
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-853
SQLSTATE	24000
Sybase エラーコード	557

考えられる原因

操作に対して有効な状態でないカーソルを使用しようとしました。たとえば、カーソルにエラーが発生している可能性があります。Ultra Light では、準備文の結果セット (カーソル) が開いている状態で、その文にパラメーターを設定しようとすると、このエラーが発生します。

その他の情報

- SQL Anywhere：「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：ULPreparedStatement クラス [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

カーソルでローをユニークに識別できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UNIQUELY_IDENTIFY_ROWS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-295
SQLSTATE	09W05
Sybase エラーコード	311

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

ローをユニークに識別するカラムセットが作成できない SELECT 文で、UNIQUE カーソルを開きました。テーブルの 1 つがプライマリキーまたは一意性制約で定義できません。あるいは SELECT 文に UNION、INTERSECT、EXCEPT、または GROUP BY が含まれています。

カーソルの INSERT/DELETE は、1 つのテーブルしか変更できません。

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_TABLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-199
SQLSTATE	09W04
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

複数のテーブルの値を指定して、カーソルに INSERT を行おうとしました。またはジョインを含むカーソルから DELETE を行おうとしました。INSERT は一度に 1 つのテーブルに対して行ってください。DELETE の場合は、FROM 句を使ってどのテーブルから削除するのかを指定してください。

その他の情報

- SQL Anywhere：「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「DELETE 文 (位置付け) [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「DELETE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

カーソルのオープンがエラーになりました。

エラー定数	SQLE_OPEN_CURSOR_ERROR
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000

重大度	15
SQLCODE	-171
SQLSTATE	07003
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

SELECT、CALL、または EXEC ではない文でカーソルを開こうとしました。

カーソルの現在のローがありません。

エラー定数	SQLE_NO_CURRENT_ROW
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-197
SQLSTATE	24503
Sybase エラーコード	560

考えられる原因

カーソルの現在のローで操作をしようとしましたが、カーソルがロー上にありませんでした。カーソルは、カーソルの先頭のローの前か、末尾のローの後か、削除されたローの中にあります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

カーソルは FETCH NEXT 操作に制限されています。

エラー定数	SQLE_NO_SCROLL_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1106
ODBC 3 ステータス	HY106

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-668
SQLSTATE	09W06
Sybase エラーコード	13710

考えられる原因

NO SCROLL カーソルで無効な FETCH 操作が検出されました。前方専用カーソルの場合、許可されている FETCH 操作は FETCH RELATIVE 0 と FETCH NEXT (FETCH RELATIVE 1) だけです。

カーソルはすでに開いています。

エラー定数	SQLE_CURSOR_ALREADY_OPEN
ODBC 2 ステータス	24000
ODBC 3 ステータス	24000
重大度	16
SQLCODE	-172
SQLSTATE	24502
Sybase エラーコード	558

考えられる原因

すでに開いているカーソルを OPEN しようとしました。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「カーソルの使い方」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

カーソル名 '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_CURSOR_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	カーソルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-683
SQLSTATE	WJ004
Sybase エラーコード	13714

考えられる原因

カーソルをすでに存在している名前で宣言しようとしました。カーソル名は 1 つの接続内で必ずユニークにしてください。

その他の情報

- 「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

外項ブレーカーの初期化中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_INITIALIZING_EXT_TERMBREAKER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1393
SQLSTATE	WT028
Sybase エラーコード	13177

考えられる原因

内部エラーが発生したため、外部の単語区切りを初期化できませんでした。

解析エラー：%1

エラー定数	SQLE_INVALID_PARSE_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004

パラメーター 1	解析エラーの説明。
重大度	18
SQLCODE	-95
SQLSTATE	08W49
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

接続文字列を解析中にエラーが発生しました。

解析エラー：%1

エラー定数	SQLE_INVALID_DSN_NAME
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメーター 1	無効なデータソース名。
重大度	18
SQLCODE	-754
SQLSTATE	08W54
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

接続文字列で無効なデータソース名が使用されました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「接続パラメーターと接続文字列」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「接続パラメーター」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light 接続文字列とパラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light 接続パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

解凍エラー：%1

エラー定数	SQLE_DECOMPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-960
SQLSTATE	WW038
Sybase エラーコード	13530

考えられる原因

解凍中にエラーが発生しました。

外部オブジェクト '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_OBJECT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	Java クラスまたは外部オブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-810
SQLSTATE	42W57
Sybase エラーコード	13820

考えられる原因

この名前の Java クラスまたは外部オブジェクトはデータベースには存在しません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

外部環境 '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	外部環境の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1205
SQLSTATE	WJ030
Sybase エラーコード	13310

考えられる原因

追加されていない外部環境に対してオブジェクトを定義しようとしました。

外部環境は結果セットをサポートしていません。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_NO_RESULT_SET_SUPPORT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1213
SQLSTATE	WJ031
Sybase エラーコード	13301

考えられる原因

結果セットをサポートしていない外部環境に対して動的結果セットを定義しようとしました。

外部関数のプラットフォーム指定子と、現在のオペレーティングシステムが一致しません。

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_PLATFORM_FAILURE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-618
SQLSTATE	WW004
Sybase エラーコード	13675

考えられる原因

動的にロードされたモジュールの外部エントリポイント呼び出しに使われたオペレーティングシステムが、現在稼働中の OS と異なります。

外部関数の呼び出しのためのリソースを割り付けられませんでした。

エラー定数	SQLE_ERROR_CALLING_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-622
SQLSTATE	WW008
Sybase エラーコード	13679

考えられる原因

オペレーティングシステムのリソースが不足しているため、外部関数を呼び出すことができませんでした。オペレーティングシステムでスレッドがサポートされている場合は、スレッド数を最大に増やしてください。

外部キー '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_FOREIGN_KEY_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000

ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	存在しない外部キーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-145
SQLSTATE	52W07
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

外部キーのスペルを間違えたか、外部キーが存在しません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「外部キー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

外部キーカラムがプライマリキーまたは "%1" の一意性制約に一致しません

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プライマリテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1226
SQLSTATE	42R04
Sybase エラーコード	13291

考えられる原因

外部キーを作成しようとしましたが、指定されたカラムは参照先テーブルのプライマリキーまたは一意性制約に一致しません。

外部キーのカラム '%1' にプライマリキーと異なる定義があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_DEF
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	問題のあるカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-113
SQLSTATE	53030
Sybase エラーコード	1721

考えられる原因

外部キーのカラムのデータ型が、プライマリキーのカラムのデータ型と異なります。ALTER TABLE を使用して、いずれかのカラム定義を変更してください。

その他の情報

- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

外部参照は TPF 入力テーブルで許可されていません。

エラー定数	SQLE_TPF_OUTER_REFERENCES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1607
SQLSTATE	WP022
Sybase エラーコード	12499

考えられる原因

TPF 入力テーブルの select リストでは、外部参照の使用は許可されません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

外部事前フィルターの初期化中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_INITIALIZING_EXT_PREFILTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1396
SQLSTATE	WT027
Sybase エラーコード	13178

考えられる原因

内部エラーが発生したため、外部事前フィルターを初期化できませんでした。

外部事前フィルターを使用したテキストインデックスには、バイナリと文字列の両方のカラムを含めることができません

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_MIXED_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1512
SQLSTATE	WT034
Sybase エラーコード	12592

考えられる原因

テキストインデックスに指定された 1 つ以上 (ただしすべてではない) カラムのデータ型がバイナリであり、かつ、テキスト設定オブジェクトには、指定された事前フィルターライブラリが存在します。事前フィルターライブラリを使用するテキストインデックスでは、バイナリカラムまたは文字列データ型のいずれかを使用できますが、両方は使用できません。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

外部プロシージャーまたはファンクションは、どのサーバータイプについても許可されません。

エラー定数	SQLE_PROC_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1579
SQLSTATE	WO031
Sybase エラーコード	12526

考えられる原因

クエリが full-passthrough モードで処理されていない場合は、サーバータイプを問わず、外部プロシージャーまたは外部関数の呼び出しが許可されません。

外部プロセスが起動時に終了したため、外部環境を開始できません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_PID_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1567
SQLSTATE	WP019
Sybase エラーコード	12538

考えられる原因

外部プロセスが起動時に終了されたため、外部環境を起動する要求を完了できませんでした。通常、この問題はクライアントの設定に関する問題によって発生します。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

外部ライブラリ '%1' は使用中です

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	使用中の外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1214
SQLSTATE	WW108
Sybase エラーコード	13897

考えられる原因

外部ライブラリは、現在使用中であるため、アンロードできません。

外部ライブラリ '%1' をロードできませんでした

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_LIBRARY_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードされていない外部ライブラリ。
重大度	16
SQLCODE	-1215
SQLSTATE	WW109
Sybase エラーコード	13895

考えられる原因

外部ライブラリは、現在ロードされていないため、アンロードできません。

外部ライブラリからエラーが発生しました : -%1: %2

エラー定数	SQLE_TEXT_USER_SPECIFIED_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	外部ライブラリによって指定されたエラー番号。
パラメーター 2	外部ライブラリによって指定されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1504
SQLSTATE	WT032
Sybase エラーコード	13156

考えられる原因

テキストインデックスで使用されている外部ライブラリによって、特定のエラーが報告されました。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「テキスト設定オブジェクトに影響するデータベースオプション」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

書き込みアクセスが拒否されました。

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_WRITE_ACCESS_DENIED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-1086
SQLSTATE	42Z00
Sybase エラーコード	13428

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

読み込み専用モードで Ultra Light データベースに書き込もうとして拒否されました。Ultra Light データベースは、Mobile Link へのアップロードの送信中は変更できません。

仮想インデックスの作成に %1 を超えるカラム数が使用されています

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_VIRTUAL_INDEX_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	仮想インデックスのカラムの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-887
SQLSTATE	54W50
Sybase エラーコード	13597

考えられる原因

最大数を超えるカラム数で仮想インデックスを作成しようとしました。

カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのあるテキストインデックスを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_PREFILTER_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	外部事前フィルターライブラリが許可されていないカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1493
SQLSTATE	WT031

Sybase エラーコード	13210

考えられる原因

テキストインデックス内のいずれかのカラムがバイナリまたは文字列データ型でない場合、外部事前フィルターライブラリのないテキスト設定オブジェクトが必要です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

カラム "%1" で外部事前フィルターライブラリのないテキストインデックスを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_NO_PREFILTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	外部事前フィルターライブラリを必要とするカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1492
SQLSTATE	WT030
Sybase エラーコード	13198

考えられる原因

バイナリカラムにテキストインデックスを構築するには、指定された外部事前フィルターライブラリを持つテキスト設定オブジェクトが必要です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

カラム '%1' が複数のテーブルで見つかったか、SELECT リストの中に 2 つ以上使用されています。相関名が必要です

エラー定数	SQLE_COLUMN_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	あいまいなカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-144
SQLSTATE	52002
Sybase エラーコード	209

考えられる原因

クエリブロックで参照されている複数のテーブルに存在するか、またはクエリブロックの SELECT リストで複数回使用されているカラムに対して相関名を指定していません。このカラムに相関名を追加する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「複数の外部キー関係がある場合のキージョイン」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「式内のカラム名」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

カラム '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメーター 1	見つからなかったカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-143
SQLSTATE	52003
Sybase エラーコード	207

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラム '%1' に指定されたデータ型は、実際のデータ型と互換性がありません。

エラー定数	SQLE_OMNI_DATATYPE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	カラム名。
重大度	12
SQLCODE	-721
SQLSTATE	WO015
Sybase エラーコード	11209

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムのデータ型は、リモートテーブルにあるカラムの実際のデータ型と互換性がありません。

カラム '%1' に指定された長さは実際の長さと異なります。

エラー定数	SQLE_OMNI_LENGTH_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	カラム名。
重大度	16
SQLCODE	-723
SQLSTATE	WO017
Sybase エラーコード	11210

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

CREATE EXISTING 文で指定されたカラムの長さがリモートテーブル内のカラムの長さと異なります。

カラム '%1' に対する SET 句の使用法が正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_SET_CLAUSE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S03
パラメーター 1	無効な SET 句。
重大度	15
SQLCODE	-846
SQLSTATE	42U03
Sybase エラーコード	13852

考えられる原因

同じカラムに対して SET 句が複数あるなど、UPDATE 文に無効な SET 句が含まれています。

カラム '%1' は、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_INDEXED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	インデックスで見つからなかったカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1101
SQLSTATE	WW073
Sybase エラーコード	13413

考えられる原因

指定したカラムは、それを含んでいるテーブルのどのインデックスにも属していません。

カラム '%1' はリモートテーブルに存在しません。

エラー定数	SQLE_OMNI_NOSUCH_COLUMN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	カラムの名前。
重大度	11
SQLCODE	-722
SQLSTATE	WO016
Sybase エラーコード	11208

考えられる原因

CREATE EXISTING 文内で指定されるカラムがリモートテーブルにありません。

カラム数が少なすぎます。

エラー定数	SQLE_FOR_XML_EXPLICIT_TOO_FEW_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-902
SQLSTATE	WX010
Sybase エラーコード	13581

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT には、タグのカラム、親のカラム、1 つ以上のデータカラムの 3 つのカラムが少なくとも必要です。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

カラム番号が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_NUMBER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-159
SQLSTATE	42W13
Sybase エラーコード	182

考えられる原因

無効なカラム番号を指定したか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

カラムまたは変数 '%1' のデータ型はサポートされていません

エラー定数	SQLE_OMNI_UNSUPPORTED_DATATYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	カラムまたは変数の名前。
重大度	12
SQLCODE	-736
SQLSTATE	WO022
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

リモートテーブルでサポートされていないデータ型を使用してカラムが定義されています。または USING 句および LOCATION 句でサポートされていないデータ型を使用して変数が定義されています。

カラム名は %1 でなければなりません。

エラー定数	SQLE_NO_XML_IDENTIFIER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	名前を付ける必要があるカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-874
SQLSTATE	WX001
Sybase エラーコード	13880

考えられる原因

名前のないカラムは、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、SELECT リストの名前のないカラムに名前を付けてください。

監査用のトランザクションログファイルが必要です。

エラー定数	SQLE_AUDITING_WITHOUT_TRANSACTION_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-913
SQLSTATE	42W91
Sybase エラーコード	13571

考えられる原因

このデータベースは、トランザクションログファイルを使用せずに実行されています。トランザクションログユーティリティ (dblog) を使用してトランザクションログファイルを作成してから、監査を行ってください。

その他の情報

- 「データベースアクティビティの監査」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「トランザクションログユーティリティ (dblog)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

監視サーバー "%1" を削除または変更するにはパートナーへの接続が必要です。

エラー定数	SQLE_MIRROR_DROP_ARBITER_REQUIRES_PARTNER_CONN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	監視サーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1632
SQLSTATE	WW242
Sybase エラーコード	12474

考えられる原因

パートナーサーバーに接続されていない監視に対する削除または変更が試行されました。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

関数 '%1' での '%2' 句の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_FUNCTION_DOES_NOT_ALLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	関数の名前。
パラメーター 2	許可されていない SQL 句。
重大度	16
SQLCODE	-1330
SQLSTATE	42WE0
Sybase エラーコード	13226

考えられる原因

指定された SQL 句を使用しようとしましたが、この関数のコンテキストでは、このような使用方法は許可されていません。この関数は、クエリで直接使用されたか、名前付きウィンドウ内で間接的に使用された可能性があることに注意してください。

関数 '%1' では '%2' 句の使用が必須です。

エラー定数	SQLE_FUNCTION_REQUIRES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	関数の名前。
パラメーター 2	必須の SQL 句。
重大度	16
SQLCODE	-1331
SQLSTATE	42WE1
Sybase エラーコード	13225

考えられる原因

指定された関数を必須 SQL 句を使用せずにその関数のコンテキストで呼び出そうとしました。この関数は、クエリで直接使用されたか、名前付きウィンドウ内で間接的に使用された可能性があることに注意してください。

関数 '%1' のパラメーター数が誤りです。

エラー定数	SQLE_WRONG_PARAMETER_COUNT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-154
SQLSTATE	37505

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	174

考えられる原因

データベース関数に与えたパラメーターの数が違っています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SQL 関数」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light SQL 関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

関数 '%1' は不明です。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_FUNC
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	データベース関数ではない関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-148
SQLSTATE	42W05
Sybase エラーコード	176

考えられる原因

クエリ定義またはクエリカラム名中で、データベース関数の名前を間違えています。たとえば、MAX の代わりに MAXIMUM を使っています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SQL 関数」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light SQL 関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

関数またはプロシージャー '%1' に引数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ARGUMENTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメーター 1	関数またはプロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-994
SQLSTATE	42WAC
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

データベースサーバーで処理できない引数リストを指定しました。これは、関数またはストアドプロシージャーの引数リストが長すぎる場合に起こることがあります。ページサーズを大きくしてデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

キー制約によって関連付けられているテーブルはどちらも、永久テーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。グローバルテンポラリテーブルの場合は、どちらか一方のテーブルが共有されていれば、他方のテーブルも共有されている必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_TABLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-850
SQLSTATE	42R02
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

キー制約関係にあるテーブルは、ともに永久ユーザーテーブルであるか、ON COMMIT DELETE ROWS を指定して作成されていないテンポラリテーブルである必要があります。ALTER TABLE を使用して、いずれか、または両方のテーブルの定義を変更してください。

記憶フォーマット '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_STGFORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な格納フォーマット文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1470
SQLSTATE	2FW63
Sybase エラーコード	13102

考えられる原因

指定された格納フォーマット文字列は無効です。

記述子のインデックスが正しくありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DESCRIPTOR_INDEX
ODBC 2 ステータス	S1002
ODBC 3 ステータス	07009
重大度	26
SQLCODE	-640
SQLSTATE	07009
Sybase エラーコード	8201

考えられる原因

記述子領域に関して使用されているインデックス番号が範囲を超えています。

その他の情報

- 「SQLDA (SQL descriptor area)」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

既存のローと競合しているため、ダウンロードに失敗しました

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-839
SQLSTATE	0AW11
Sybase エラーコード	13845

考えられる原因

同期中に、ダウンロードストリーム内の 1 つ以上のローと Ultra Light データベースでローカルに変更されたローの間で競合が発生しました。ダウンロードはロールバックされました。ローカルデータベースでの変更と同期を協調させるか、またはローカルデータベースの変更が完了した時点で再同期することによって、このエラーを回避できます。

その他の情報

- 「競合検出」『Mobile Link サーバー管理』
- 「競合の検出と解決の変更」『Mobile Link クイックスタート』
- 「競合の解決」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Ultra Light アプリケーションへの同期の追加」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

起動するのに必要なメモリが不足しています。

エラー定数	SQLE_NO_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-86
SQLSTATE	08W13
Sybase エラーコード	708

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベースサーバーを起動しましたが、十分なメモリがなかったため終了しました。

機能 '%1' の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_SECURE_FEATURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	SQL 文または機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1084
SQLSTATE	57W02
Sybase エラーコード	13430

考えられる原因

使用しようとした機能は、データベースサーバーの起動時にサーバーの管理者によって無効にされています。

機能 '%2' を必要とする文 '%1' の使用は許可されません。

エラー定数	SQLE_SECURE_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	SQL 文の名前。
パラメーター 2	機能の名前。
重大度	14
SQLCODE	-1142
SQLSTATE	57W04
Sybase エラーコード	13371

考えられる原因

使用しようとした文は、データベースサーバーの起動時にサーバーの管理者によって無効にされている機能を必要とします。

キュー '%1' でイベント通知が失われました

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATIONS_LOST
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	イベント通知キューの名前。
重大度	10
SQLCODE	147
SQLSTATE	WE012
Sybase エラーコード	13249

考えられる原因

指定されたキューでイベント通知が失われています。この動作は、キューが破棄されるときに保留中の通知があった場合に発生します。保留中の通知は破棄されます。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

行 %1 に無効な要求ログフォーマットがあります。

エラー定数	SQLE_INVALID_REQUEST_LOG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ログファイル内の行番号。
重大度	16
SQLCODE	-999
SQLSTATE	WW020

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13493

考えられる原因

要求ログファイルのフォーマットが無効です。この要求ログファイルはソフトウェアの古いバージョンを使って作成されている可能性があります。

行 %2 の '%1' の付近に、言語の拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_EXTENSION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメーター 2	行番号。
重大度	10
SQLCODE	107
SQLSTATE	01W07
Sybase エラーコード	5703

考えられる原因

実行している文に、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、SQL_FLAGGER_WARNING_LEVEL オプションを別の値に設定してください。

その他の情報

- 「sql_flagger_warning_level オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

行 %2 の '%1' の付近に、言語の使用できない拡張機能が検出されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_SYNTAX_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	構文が検出された場所にある単語または記号。
パラメーター 2	行番号。
重大度	16
SQLCODE	-627
SQLSTATE	0AW03
Sybase エラーコード	538

考えられる原因

実行しようとしている文には、sql_flagger_error_level オプションの現在の設定では許可されていない構文が含まれます。文を修正するか、sql_flagger_error_level オプションを別の値に設定してください。

共通テーブル式参照に循環があります。

エラー定数	SQLE_COMMON_TABLE_EXPRESSION_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-914
SQLSTATE	42W93
Sybase エラーコード	13570

考えられる原因

複数の共通テーブル式では、循環は許容されません。

共有テンポラリテーブルに対して無効なコミットアクションです。

エラー定数	SQLE_INVALID_SHARED_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1089
SQLSTATE	52W26
Sybase エラーコード	13425

考えられる原因

ON COMMIT PRESERVE ROWS または NOT TRANSACTIONAL としてグローバル共有テンポラリテーブルを宣言する必要があります。

曲線には、ほぼ対蹠点の %1 と %2 が含まれています ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_NEARLY_ANTIPODAL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	1 番目のポイント。
パラメーター 2	2 番目のポイント。
パラメーター 3	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1482
SQLSTATE	2FW77
Sybase エラーコード	13090

考えられる原因

曲線には、ほぼ対蹠点の 2 つのポイントが含まれています。これらのポイントによって、曲面の空間参照系にあいまいなセグメントが定義されます。

その他の情報

- 「曲面空間参照系の制限」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

許容値 %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_TOLERANCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な許容値。
重大度	16
SQLCODE	-1500
SQLSTATE	2FW87
Sybase エラーコード	13603

考えられる原因

指定された許容値は、空間参照系で使用できません。許容値は、領域の境界に基づいて選択する必要があります。

句 '%1' に無効な属性 '%2' があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの属性。
パラメーター 2	属性の値またはエラーの原因。
重大度	16
SQLCODE	-991
SQLSTATE	WW060
Sybase エラーコード	13498

考えられる原因

プロシージャーに指定した属性値が無効です。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

空間カラム '%1' は単一の SRID に制約されていないため、インデックスに含めることはできません

エラー定数	SQLE_SLERR_CREATE_INDEX_NOSRID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1454
SQLSTATE	2FW47
Sybase エラーコード	13118

考えられる原因

指定された空間カラムは、単一の空間参照系からの値を持つように制約されていないため、空間インデックスに含めることができません。カラム定義は "col ST_Geometry(SRID=0)" の形式とする必要があります。

空間カラム '%1' はプライマリキーまたはユニークインデックスに含めることはできません

エラー定数	SQLE_SLERR_CREATE_INDEX_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1453
SQLSTATE	2FW46
Sybase エラーコード	13119

考えられる原因

プライマリキーまたはユニークインデックスに空間カラムを含めることはできません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

空間機能 %1 はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NYI
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていない機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1413
SQLSTATE	2FW03
Sybase エラーコード	13159

考えられる原因

指定された機能はサポートされていません。

空間参照系 "%1" は予約されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_RESERVED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	予約された空間参照系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1472
SQLSTATE	2FW65

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13100

考えられる原因

指定された空間参照系は、システムで使用するために予約されています。

その他の情報

- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

空間参照系 %1 では、CircularString のジオメトリはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CIRCULAR_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	曲面の空間参照系の SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1495
SQLSTATE	2FW85
Sybase エラーコード	13607

考えられる原因

このメソッドでは、CircularString 要素を持つジオメトリがサポートされていません。

空間参照系 %1 と %2 が混在しています (%3 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_MIXED_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	1 番目の空間参照系の SRID。
パラメーター 2	2 番目の空間参照系の SRID。
パラメーター 3	空間参照系の混在が検出された値またはメソッド。

重大度	16
SQLCODE	-1402
SQLSTATE	2FF10
Sybase エラーコード	13170

考えられる原因

このメソッドでは、空間参照系が異なる複数のジオメトリの操作はサポートされていません。

空間参照系 %1 は、使用中のため修正できません

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_INUSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	座標系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1471
SQLSTATE	2FW64
Sybase エラーコード	13101

考えられる原因

この座標系は現在使用されており、削除できません。

その他の情報

- 「ALTER SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

空間参照系 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_NO_SRS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の名前。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1459
SQLSTATE	2FW52
Sybase エラーコード	13113

考えられる原因

指定された空間参照系は定義されていません。

空間参照系 '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1461
SQLSTATE	2FW54
Sybase エラーコード	13111

考えられる原因

指定された空間参照系はすでに存在します。

空間参照系が認識できません (%1)。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRID_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
重大度	16

SQLCODE	-1409
SQLSTATE	2FF59
Sybase エラーコード	13163

考えられる原因

指定された SRID は、定義されている空間参照系と一致しません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「空間参照系 (SRS) と空間参照系識別子 (SRID)」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- SQL Anywhere：「ST_Geometry タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- Ultra Light：「ST_Geometry タイプ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

空間参照系の Well-Known-Text (WKT) は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_SRS_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1441
SQLSTATE	2FW34
Sybase エラーコード	13131

考えられる原因

指定された文字列は、Well-Known-Text フォーマットでの有効な空間参照系定義を表していません。

空間参照系のタイプはサポートされていません ('%1')。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_BAD_SRS_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていない空間参照系タイプ。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1464
SQLSTATE	2FW57
Sybase エラーコード	13108

考えられる原因

指定された空間参照系タイプはサポートされていません。

空間参照系は使用する SRID を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_NOSRID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1462
SQLSTATE	2FW55
Sybase エラーコード	13110

考えられる原因

空間参照系を作成する場合、使用する SRID を指定するために、文で IDENTIFIED BY を指定する必要があります。

空間測定単位 "%1" は予約されています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_RESERVED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	予約された測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1473

SQLSTATE	2FW66
Sybase エラーコード	13099

考えられる原因

指定された測定単位は、システムで使用するために予約されています。

その他の情報

- 「CREATE SPATIAL REFERENCE SYSTEM 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

空間ライブラリで内部エラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_SLERR_INTERNAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1480
SQLSTATE	2FW73
Sybase エラーコード	13092

考えられる原因

予期しないエラーが発生しました。

クライアント／サーバーの通信プロトコルのバージョンが違います。

エラー定数	SQLE_PROTOCOL_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-88
SQLSTATE	08W15

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	1602

考えられる原因

クライアントとサーバーのプロトコルバージョンが異なるため、接続に失敗しました。クライアントとサーバーのソフトウェアバージョンは必ず同一にしてください。

クライアントアプリケーションで、データの転送が許可されませんでした ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_DISALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1172
SQLSTATE	WW093
Sybase エラーコード	13341

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバーによって開始されたデータの転送が拒否されました。サーバーによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションで、要求されたデータの転送を拒否する検証コールバックが登録されました。

クライアントアプリケーションでは、データの転送は許可されていません ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_NO_VALIDATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1171
SQLSTATE	WW092
Sybase エラーコード	13342

考えられる原因

クライアントアプリケーションでは、サーバーによって開始されたデータの転送は許可されていません。サーバーによって開始されたデータの転送を許可するために、アプリケーションでは、クライアントライブラリに検証コールバックメカニズムを登録する必要があります。

クライアントが複数回リダイレクトされました。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_REDIRECTS
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-1380
SQLSTATE	08WA4
Sybase エラーコード	13188

考えられる原因

プライマリサーバーによって接続が別のサーバーにリダイレクトされましたが、そのサーバーもその接続をリダイレクトしようとしました。

クライアントサーバーのバージョンとデータベースサーバーのバージョンが適合しません。

エラー定数	SQLE_DBLIB_ENGINE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	21
SQLCODE	-231

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	08W19
Sybase エラーコード	13658

考えられる原因

実行ファイルで、データベースサーバーのバージョン番号に一致しないデータベースインターフェイスライブラリが使用されました。

その他の情報

- 「SQL Anywhere サーバーのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』
- 「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

クライアントでメモリが不足しています。

エラー定数	SQLE_CLIENT_OUT_OF_MEMORY
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-876
SQLSTATE	08W65
Sybase エラーコード	13882

考えられる原因

データベースクライアントがメモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

クライアントバージョンまたはクライアントインターフェイスではサポートされていない機能です。

エラー定数	SQLE_NOT_SUPPORTED_BY_CLIENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1148

SQLSTATE	0AW19
Sybase エラーコード	13363

考えられる原因

サーバーによってサポートされているが、クライアントによってサポートされていない機能を使用しようとしました。この機能を使用するには、クライアントライブラリをアップグレードするか、他のクライアントインターフェイスを使用する必要があります。いくつかの機能は、jConnect クライアントインターフェイスおよび Open Client クライアントインターフェイスによってサポートされていません。

クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') にアクセスする際にパーミッションエラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_PERMS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1200
SQLSTATE	WW103
Sybase エラーコード	13315

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバーからのデータ転送要求に対してオブジェクトにアクセスしようとしたときにパーミッションエラーが発生したことが報告されました。オブジェクトにアクセスするために必要なオペレーティングシステム認証がクライアントアプリケーションにない可能性があります。

クライアントライブラリで、転送中のオブジェクト ('%1') を開く際にエラーが発生したことが報告されました

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_OPEN_ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1201
SQLSTATE	WW102
Sybase エラーコード	13314

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバーからのデータ転送要求に対してオブジェクトを開こうとしたときにエラーが発生したことが報告されました。オブジェクトの名前が無効であることや、オブジェクトがないことなどの理由が考えられます。

クライアントライブラリで、転送中のデータにアクセスする際にエラーが発生したことが報告されました ('%1')

エラー定数	SQLE_CLIENT_TRANSFER_ACCESS_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	アプリケーションとの間で転送されているオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1173
SQLSTATE	WW094
Sybase エラーコード	13340

考えられる原因

クライアントアプリケーションで、サーバーからの転送要求に対してデータにアクセスしようとしたときにエラーが発生したことが報告されました。クライアントアプリケーションでデータオブジェクトに対するパーミッションが不足していることや、オペレーティングシステムで報告された他のエラーなどの理由が考えられます。

クラウドデータベースサーバーに接続するときにデータベース名を指定する必要があります

エラー定数	SQLE_NO_DEFAULT_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1581
SQLSTATE	08WA7
Sybase エラーコード	12524

考えられる原因

クラウドデータベースサーバーに接続するときは、接続文字列でデータベース名を指定する必要があります。クラウドデータベースサーバーにはデフォルトのデータベースがありません。

クラス '%1' はパブリックなフィールド '%2' がありません。

エラー定数	SQLE_FIELD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定したフィールドが見つからなかったクラスの名前。
パラメーター 2	見つからなかったフィールドの名前。
重大度	16
SQLCODE	-93
SQLSTATE	WW013
Sybase エラーコード	13703

考えられる原因

式が参照したフィールドは、存在しないか、パブリックではありません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

クラス '%1' を JAR から圧縮解除できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_DECOMPRESS_CLASS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	JAR 内のクラスファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-652
SQLSTATE	WP003
Sybase エラーコード	13742

考えられる原因

ZIP ファイルまたは JAR ファイルからクラスファイルが抽出されるには、Java ランタイムライブラリをインストールする必要があります。

クラス '%1' を削除できません : JAR のメンバーです。

エラー定数	SQLE_CLASS_MEMBER_OF_JAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	削除できないクラスファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-653
SQLSTATE	WP004
Sybase エラーコード	13743

考えられる原因

まだ JAR の一部であるクラスファイルを削除しようとしました (クラスファイルは JAR とともに削除する必要があります)。

クラス '%1' を使用して Java オブジェクトをシリアル化できません。

エラー定数	SQLE_JAVA_SERIALIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	シリアル化できない値のクラス。
重大度	16
SQLCODE	-662
SQLSTATE	WI009
Sybase エラーコード	13744

考えられる原因

Java オブジェクトは、永続的なデータベースカラムとしてシリアル化できません。

クラス '%2' のフィールド '%1' は NULL になることはできません。

エラー定数	SQLE_FIELD_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	NULL にできないフィールドの名前。
パラメーター 2	フィールドを持つクラスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-649
SQLSTATE	WW015
Sybase エラーコード	13741

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

NULL 値にできない Java データ型の Java オブジェクトフィールドに SQL の NULL 値を保存しようとしました。たとえば、Java の 'int' データ型は NULL にできません。

クラスのバイトコードが不正です。

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_BYTE_CODE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-670
SQLSTATE	WP005
Sybase エラーコード	13746

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に渡されたバイナリ式は、不正な Java クラスです。

繰り返されないイベント '%1' の開始日時が過去に設定されています。

エラー定数	SQLE_EVENT_START_TIME_IN_PAST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	スケジュールされているイベントの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1128
SQLSTATE	WE010
Sybase エラーコード	13385

考えられる原因

イベントを開始する日付や時刻に、すでに過ぎた日時を設定しましたが、イベントは繰り返されません。

グリッドサイズ %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_GRID_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なグリッドサイズ。
重大度	16
SQLCODE	-1499
SQLSTATE	2FW86
Sybase エラーコード	13604

考えられる原因

指定されたグリッドサイズは、空間参照系で使用できません。グリッドサイズは、領域の境界に基づいて選択する必要があります。

その他の情報

- 「「グリッドにスナップ」と許容度が空間の計算に与える影響」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

グループ化されたクエリに、複数の異なる集合関数が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_DISTINCT_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-863
SQLSTATE	42W70

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13867

考えられる原因

複数の DISTINCT 集合関数が、グループ化された同じクエリに指定されています。これが許容されるのは、Hash Group By 演算子が使用できる場合だけです。Hash Group By 演算子が使用できない場合は、クエリブロックに含めることが可能な DISTINCT 集合関数は最大で 1 つです。

その他の情報

- SQL Anywhere：「クエリの集合関数」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「集合関数」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「集合式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

警告：%1

エラー定数	SQLE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	警告メッセージ。
重大度	10
SQLCODE	200
SQLSTATE	01000
Sybase エラーコード	13619

考えられる原因

警告が発生しました。警告の原因となった状況がメッセージに示されます。

計算カラム '%1' を挿入または更新できません。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_WRITE_ATTEMPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	カラム名。
重大度	16

SQLCODE	-703
SQLSTATE	WW023
Sybase エラーコード	4406

考えられる原因

計算カラム値は明示的に修正できません。値は、計算式の値から暗黙的に決定されます。

計算カラムの依存に循環があります。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1078
SQLSTATE	42WBD
Sybase エラーコード	13436

考えられる原因

テーブルの計算カラム間の依存に循環があります。循環は許可されていません。

計算カラムはこのデータベースではサポートされません。

エラー定数	SQLE_COMPUTED_COLUMNS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-709
SQLSTATE	0AW06
Sybase エラーコード	13722

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

現在のデータベースが古いデータベースで、計算 (マテリアライズされた) カラム用のカタログサポートを持っていません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

計算カラムを使用したリモートテーブルの作成はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_COMPUTED_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-732
SQLSTATE	WO021
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

計算カラムは、リモートロケーションを指定する CREATE TABLE 文ではサポートされません。

言語 '%1' はサポートされていないため、'%2' を使用します。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	クライアントが要求した言語の名前。
パラメーター 2	サーバーがメッセージ文字列を送信するために使用する言語の名前。
重大度	10
SQLCODE	116
SQLSTATE	01W14
Sybase エラーコード	13615

考えられる原因

アプリケーションが要求した言語は、アプリケーションが接続しているサーバーではサポートされていません。代わりに、サーバーは示されている言語でメッセージ文字列を送信します。

言語仕様が変更されました。

エラー定数	SQLE_LANGUAGE_EXTENSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-135
SQLSTATE	0AW01
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

使用した SQL 文は特定のバージョンの SQL では有効かもしれませんが、SQL Anywhere では無効です。

現在のコンテキストでは、外部関数呼び出し '%2' によって使用されるバージョン 'V%1' のインターフェイスの実行はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_INCOMPATIBLE_EXTERNAL_CALL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	呼び出された外部関数の API バージョン。
パラメーター 2	呼び出された外部関数の名前。
重大度	16
SQLCODE	-818
SQLSTATE	WW026

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13824

考えられる原因

外部関数を呼び出そうとしました。関連するライブラリをロードしようとしましたが、サーバーとの互換性がないため、失敗しました。ダイナミックライブラリが、サーバーがサポートしていない外部関数 API や、サーバーがサポートしているよりも新しい外部関数 API を使用しているため、互換性の不一致が発生しました。このことは、外部 API に現在のコンテキストのデータとの互換性がない場合にも発生する可能性があります。

現在のサーバーが preferred とマーク付けされている場合は、フェールオーバーを実行することはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_FORCE_FAILOVER_ON_PREFERRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1314
SQLSTATE	WW136
Sybase エラーコード	13242

考えられる原因

ALTER DATABASE SET PARTNER FAILOVER を実行しようとしましたが、現在のサーバーは preferred とマーク付けされています。このような場合にフェールオーバーの強制実行を試行することは許可されません。

現在の接続ではないリモート JDBC 接続は閉じることができません

エラー定数	SQLE_CANNOT_CLOSE_JDBC_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-998

SQLSTATE	WO026
Sybase エラーコード	711

考えられる原因

リモート JDBC 接続を閉じようとするとき、指定する接続はローカル接続でなければなりません。

現在の接続はすでに '%1' に '%2' として登録されています。

エラー定数	SQLE_CONN_ALREADY_REGISTERED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。
パラメーター 2	登録済みの接続ラベル。
重大度	16
SQLCODE	-787
SQLSTATE	5RW26
Sybase エラーコード	13797

考えられる原因

この接続を 2 回以上登録しようとしました。

交差要素を持つ ST_GeomCollection では、操作はサポートされていません ("%1" 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_GEOM_COLL_INTERSECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な ST_GeomCollection が検出されたメソッドまたはコンテキスト。
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1503
SQLSTATE	2FW90
Sybase エラーコード	13197

考えられる原因

ST_GeomCollection には、ST_MultiSurface では無効な方法で交差する要素が含まれています。この操作は、このタイプのジオメトリではサポートされていません。

その他の情報

- 「ST_GeomCollection タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』
- 「ST_MultiSurface タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

更新できないクエリに対して、更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-192
SQLSTATE	42W31
Sybase エラーコード	7301

考えられる原因

暗黙的に読み込み専用であるクエリを対象に、挿入、更新、または削除の操作を行おうとしました。DISTINCT、GROUP BY、HAVING、EXCEPT、INTERSECT、または UNION を含むクエリや、集合関数を含むクエリ、またはジョインを含むクエリは、暗黙的に読み込み専用です。クエリがビューを参照する場合は、そのビューが更新不可になる場合があります。

更新できないリモートクエリに対して、更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_EXT_TAB
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

重大度	15
SQLCODE	-728
SQLSTATE	42W35
Sybase エラーコード	7338

考えられる原因

現在はサポートされていないリモートテーブル上で、更新または削除の操作を実行しようとしました。このような操作には、たとえば、位置付け更新、位置付け削除、およびローカルテーブルとプロキシテーブル間のジョインを含む更新または削除などがあります。また、異なるリモートサーバー上にある複数のプロキシテーブル間のジョインを含む更新や削除においても、このエラーが発生します。

交点マトリックス '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_RELATE_MATRIX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	インターセクションマトリックス文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1399
SQLSTATE	2FF04
Sybase エラーコード	13173

考えられる原因

指定された値は、有効なインターセクションマトリックス文字列ではありません。有効な文字列は 9 文字で構成され、各文字は T、F、*、0、1、2 のいずれかになります。

構文エラーです。IQ 指定オプションを指定するには IQ PATH が必要です。

エラー定数	SQLE_IQ_PATH_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-687
SQLSTATE	42W48
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベースサーバーが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください (たとえば DATE は "DATE")。

後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。

エラー定数	SQLE_OMNI_BACKWARDS_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-661
SQLSTATE	WO006
Sybase エラーコード	13733

考えられる原因

後方スクロールカーソルはリモートオブジェクトではサポートされません。前方スクロールカーソルだけを使用してください。

この CPU では、空間のサポートは利用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_CPU_NEED_SSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1515
SQLSTATE	2FW91
Sybase エラーコード	12589

考えられる原因

32 ビット Windows と 32 ビット Linux の空間データサポートには、SSE2 命令をサポートする CPU が必要となります。

その他の情報

- 「空間データの使用」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

この外部プロシージャーの呼び出しには、パラメーター数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-625
SQLSTATE	WW010
Sybase エラーコード	13680

考えられる原因

32 ビット Windows の外部関数の呼び出しには、最大 256 のパラメーターしか使用できません。

このサーバーには、'%1' 機能をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ライセンスが付与されていない機能。

重大度	16
SQLCODE	-1260
SQLSTATE	0A002
Sybase エラーコード	13253

考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。

このサーバーには、'%1' 接続をサポートするためのライセンスが付与されていません

エラー定数	SQLE_CONNECTION_PROTOCOL_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ライセンスが付与されていない接続タイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1261
SQLSTATE	0A003
Sybase エラーコード	13252

考えられる原因

この版の SQL Anywhere でライセンスが付与されていない接続プロトコルまたは API を使用しようとしました。

この接続のシーケンス '%1' には 'currval' 演算子はまだ定義されていません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_CURRVAL_NOT_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1363
SQLSTATE	52W51
Sybase エラーコード	13199

考えられる原因

シーケンスジェネレーターの currval 演算子は、現在の接続中に nextval がシーケンスに対して呼び出された場合にのみ定義されます。

この接続はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-955
SQLSTATE	WW035
Sybase エラーコード	13533

考えられる原因

指定した SQLCA と名前の (または名前のない) 接続は、すでに存在します。接続する前に、既存の接続を切断するか、別の接続名を指定してください。

その他の情報

- 「CONNECT 文 [ESQL] [Interactive SQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

この操作は、同期スキーマ変更内でしか実行できません。

エラー定数	SQLE_REQUIRES_SYNC_SCHEMA_CHANGE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1329
SQLSTATE	5RW41
Sybase エラーコード	13227

考えられる原因

同期スキーマ変更内でのみ許可される操作を実行しようとしました。

この操作はグループ循環を起こします。

エラー定数	SQLE_GROUP_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-122
SQLSTATE	42W02
Sybase エラーコード	314

考えられる原因

グループにメンバーを追加しようとしましたが、メンバーが自分自身に属する結果になっています。メンバーシップは直接と間接の場合があります。

このタイプの空間参照系では、指定した軸順序はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_AXISORD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1468

SQLSTATE	2FW61
Sybase エラーコード	13104

考えられる原因

指定された軸順序は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

このタイプの文に対してプランを生成することはできません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-894
SQLSTATE	0AW14
Sybase エラーコード	13589

考えられる原因

サポートされていない文のタイプの実行プランを表示しようとしました。

このデータベースでは V4 C/C++ API はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_V4API_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1605
SQLSTATE	WP020
Sybase エラーコード	12500

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

現在のデータベースに V4 C/C++ の API のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、DB 領域のパーミッションのサポートを利用できません

エラー定数	SQLE_DBSPACE_PERMS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1183
SQLSTATE	0AW22
Sybase エラーコード	13332

考えられる原因

実行されている文には、DB 領域のパーミッションのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはこの機能がありません。DB 領域のパーミッションをサポートしているバージョンのサーバーを使用して、データベースを再作成またはアップグレードしてください。

このデータベースでは、WITH NULLS NOT DISTINCT 句のユニークインデックスはサポートされていません

エラー定数	SQLE_UNIQUE_INDEX_NULLS_NOT_DISTINCT_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1392
SQLSTATE	52W53
Sybase エラーコード	13178

考えられる原因

現在のデータベースに NULLS NOT DISTINCT 句が指定されたユニークインデックス用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、外部環境はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_EXTERN_ENV_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1206
SQLSTATE	WW104
Sybase エラーコード	13309

考えられる原因

現在のデータベースに外部環境用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、空間のサポートは利用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NEED_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1412
SQLSTATE	2FW02
Sybase エラーコード	13160

考えられる原因

空間機能を使用するようにデータベースをアップグレードする必要があるため、空間サポートを伴う操作はこのデータベースで使用できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

このデータベースでは、シーケンスジェネレーターはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1369
SQLSTATE	52W52
Sybase エラーコード	13193

考えられる原因

現在のデータベースにシーケンスジェネレーター用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

その他の情報

- 「ユニークな値を生成するためのシーケンスの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「CREATE SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

このデータベースでは、データベースミラーリングオプションはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_MIRRORING_OPTIONS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1307
SQLSTATE	WW130
Sybase エラーコード	13443

考えられる原因

現在のデータベースには、データベースミラーリングサーバーおよびオプション用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースでは、同期スキーマ変更およびスクリプトバージョンはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1319
SQLSTATE	WW137
Sybase エラーコード	13237

考えられる原因

現在のデータベースに同期スキーマの変更とスクリプトバージョン用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースではテキストインデックスはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_TEXT_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1166
SQLSTATE	WT011
Sybase エラーコード	13347

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

現在のデータベースにテキストインデックス用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースに対して同期プロファイルはサポートされていません

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1225
SQLSTATE	42W78
Sybase エラーコード	13292

考えられる原因

現在のデータベースに同期プロファイル用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースに対して統合化ログインはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_UNSUPPORTED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-246
SQLSTATE	28W05
Sybase エラーコード	13694

考えられる原因

現在のデータベースは古いバージョンのデータベースなので、統合化ログイン ID をデータベースユーザー ID にマッピングするための情報がありません。統合化ログインを使用するには、データベースをアップグレードする必要があります。

このデータベースに対してログインポリシーはサポートされていません

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1196
SQLSTATE	WW099
Sybase エラーコード	13319

考えられる原因

現在のデータベースにログインポリシー用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

このデータベースは暗号化されたテーブルをサポートしていません

エラー定数	SQLE_ENCRYPTED_TABLES_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1047
SQLSTATE	55W20
Sybase エラーコード	13464

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

暗号化がサポートされていないデータベースに、暗号化されたテーブルを作成しようとしました。

このデータベースはキー不使用の暗号化を使用するため、要求された操作を実行できません

エラー定数	SQLE_KEYLESS_ENCRYPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1109
SQLSTATE	WW079
Sybase エラーコード	13405

考えられる原因

暗号化キーに対して要求した操作に失敗しました。この Ultra Light データベースでは、キーを使用しない暗号化が使用されています。このエラーは、難読化などにより、キーを使用しないデータベースの暗号化キーを変更しようとしたときに発生する可能性があります。

このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません

エラー定数	SQLE_PLATFORM_NOT_LICENSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1262
SQLSTATE	0A004
Sybase エラーコード	13251

考えられる原因

このプラットフォームでは、この版の SQL Anywhere を利用できません。このプラットフォームで SQL Anywhere を使用するための異なるライセンスキーを使用してください。

このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html を参照してください。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ENDIAN_FAILURE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1149
SQLSTATE	08W99
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースを現在のプラットフォームで起動すると、エンディアンに起因したデータベースファイルの破損が起こる可能性があるため、データベースを起動できないと判断されました。逆のエンディアンを使用したプラットフォームでは、問題なく起動処理が続行されます。詳細情報と処理の続行方法については、http://www.ianywhere.jp/sas/os.html を参照してください。

その他の情報

- http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_cant_change_platform.html

このプラットフォームではデータベース '%1' を起動できません。http://ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html を参照してください。

エラー定数	SQLE_POSSIBLE_DATABASE_CORRUPTION

ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1147
SQLSTATE	08W98
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースが破損している可能性があると判断されました。詳細情報と処理の続行方法については、http://www.ianywhere.jp/sas/os.html を参照してください。

その他の情報

- ianywhere.com/developer/product_manuals/sqlanywhere/notes/en/endian_corruption_warning.html

このプロシージャーに対する引数はリテラル文字列である必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_NEED_CONSTANT_ARGUMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1216
SQLSTATE	WT017
Sybase エラーコード	13297

考えられる原因

このプロシージャーは、引数としてリテラル文字列のみを受け入れます。

この文を実行中に接続でテーブルロックを保持することはできません。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_HAS_LOCKS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1324
SQLSTATE	WW142
Sybase エラーコード	13232

考えられる原因

テーブルロックを保持している接続によって、文の実行が試みられました。文の実行が開始される前のロックも含めて、すべてのロックが解放されなかった場合には、文が実行される前にロックが解放される必要があります。

このミラーサーバーの親サーバーは現在接続されていません。

エラー定数	SQLE_PARENT_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1349
SQLSTATE	WW152
Sybase エラーコード	13208

考えられる原因

文を実行するには、ミラーサーバーからその親への接続が必要ですが、親に現在接続されていません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

このミラーサーバーの親は、プライマリサーバーではありません。

エラー定数	SQLE_PARENT_NOT_PRIMARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1350
SQLSTATE	WW153
Sybase エラーコード	13207

考えられる原因

文を実行するには、ミラーサーバーから親サーバーへの接続が必要ですが、親がプライマリサーバーではありません。サーバーの親への接続文字列が、プライマリサーバーの接続文字列と一致しません。

このユーザーには外部ログインが存在するため、削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_HAS_EXTERNLOGINS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1220
SQLSTATE	WO028
Sybase エラーコード	13300

考えられる原因

ユーザーの外部ログインがまだ存在するため、削除できません。

このユーザーのログインポリシーにより接続は許可されませんでした

エラー定数	SQLE_CONNECTION_DISALLOWED_BY_LOGIN_POLICY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1212
SQLSTATE	28W15
Sybase エラーコード	13303

考えられる原因

ユーザーのログインポリシーに従って、接続試行は許可されませんでした。DBA 権限を持つユーザーが ALTER USER 文を使用してこのユーザーをリセットすることが必要な場合があります。

コミットされていないデータを保留にしたままで、トランザクションにエンリストすることはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WITH_UNCOMMITTED_DATA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-802
SQLSTATE	55W11
Sybase エラーコード	13812

考えられる原因

コミットされていない保留中のデータがある状態では、接続をトランザクションにエンリストすることはできません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

コミットされていないトランザクションとの同期またはアップグレードはできません。

エラー定数	SQLE_UNCOMMITTED_TRANSACTIONS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-755
SQLSTATE	0AW08
Sybase エラーコード	13765

考えられる原因

Ultra Light データベースの同期またはスキーマのアップグレードを実行しようとしましたが、Ultra Light データベースの中にコミットされていない変更があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「トランザクション」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light でのトランザクション処理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サーバー %1 でエラーが発生したため、同期に失敗しました。

エラー定数	SQLE_SERVER_SYNCHRONIZATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	サーバーからのエラーの説明。
重大度	16
SQLCODE	-857
SQLSTATE	0AW12
Sybase エラーコード	13860

考えられる原因

サーバーで同期が失敗しました。詳細については同期ログファイルを参照してください。

サーバー '%1' に接続できません : %2

エラー定数	SQLE_OMNI_CONNECT_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	接続できなかったサーバーの名前。
パラメーター 2	サーバークラスドライバーから返された、より詳しい原因の情報。
重大度	16
SQLCODE	-656
SQLSTATE	WO001
Sybase エラーコード	11206

考えられる原因

リモートサーバーに接続しようとしました。リモートサーバーが実行されているかどうかをチェックしてください。

サーバー '%1' の外部ログインが見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_EXTLOGIN_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートサーバーの名前。
重大度	11
SQLCODE	-712
SQLSTATE	WO013
Sybase エラーコード	11221

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

サーバーに外部ログインが行われましたが、ユーザーが存在しません。

サーバー '%1': %2

エラー定数	SQLE_OMNI_REMOTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートサーバーの名前。
パラメーター 2	リモートサーバーからのメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-660
SQLSTATE	WO005
Sybase エラーコード	13732

考えられる原因

リモートサーバーによってメッセージが生成されました。これには、メッセージテキストが含まれています。

サーバー上で TLS の初期化に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TLS_INIT_FAILED_ON_SRV
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-838
SQLSTATE	08W61
Sybase エラーコード	13844

考えられる原因

サーバーで TLS ライブラリを初期化できなかったため、接続に失敗しました。

サーバーが DB 領域の最大ファイルサイズを超えてページにアクセスしようとしました。

エラー定数	SQLE_ACCESS_BEYOND_END_OF_MAX_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-605
SQLSTATE	04W08
Sybase エラーコード	5006

考えられる原因

データベースが、最大ディスクページを超えたページ番号にアクセスしようとしました。これは致命的な内部エラーです。

サーバーが見つからないため自動起動できません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_OR_START
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-764
SQLSTATE	08W55
Sybase エラーコード	13774

考えられる原因

サーバーに接続できなかったため、クライアントはサーバーの自動起動を実行できませんでした。データベースファイルが指定されなかったために自動起動が失敗した可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「よくある質問 - SQL Anywhere」『SQL Anywhere 12 紹介』
- SQL Anywhere :「データベースサーバー起動時のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere :「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light :「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng12)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サーバー機能名 '%1' がデータベース内に見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_CAPABILITY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サーバー機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-761
SQLSTATE	WO014
Sybase エラーコード	13723

考えられる原因

ALTER SERVER 文が定義されていない機能に対して実行されました。

サーバータイプではテキストインデックスが許可されません。

エラー定数	SQLE_TEXT_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1511
SQLSTATE	WT033

Sybase エラーコード	12593

考えられる原因

クエリが full-passthru モードで処理される場合、サーバータイプではテキストインデックスが許可されません。

その他の情報

- 「CREATE TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

サーバーは TCP/IP 接続を構築できません。

エラー定数	SQLE_TCP_CONNECTIONS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1372
SQLSTATE	08WA3
Sybase エラーコード	13190

考えられる原因

データベースサーバーは、TCP/IP 接続を確立できません。パーソナルサーバー (dbeng) では、デフォルトで TCP/IP 接続が許可されません。このエラーは、ネットワークサーバー (dbsrv) が -xd コマンドラインオプションを指定して起動された場合にも発生する可能性があります。診断トレーシングとアプリケーションプロファイリングを使用するには、TCP/IP 接続を確立できる必要があります。

サーバーを起動するには、データベース名が必要です。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NAME_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-87

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	08W14
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベース名が指定されていません。データベースサーバーを起動するには、データベース名が必要です。

その他の情報

- SQL Anywhere：「データベースサーバーの起動」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng12)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サービス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定したが、見つからなかったサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-920
SQLSTATE	42W98
Sybase エラーコード	13564

考えられる原因

データベースに存在しない名前でサービスを参照しようとしました。

サービス '%1' は使用中です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	使用中のサービスの名前。

重大度	16
SQLCODE	-924
SQLSTATE	55W15
Sybase エラーコード	13567

考えられる原因

現在使用中のサービスを削除しようとしました。

サービス '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	すでに存在するサービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-919
SQLSTATE	42W97
Sybase エラーコード	13565

考えられる原因

データベースにすでに存在する名前でサービスを作成しようとしました。

サービスタイプでは、属性 '%1' は許可されません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_ATTR_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	許可されない属性の名前。
重大度	16

SQLCODE	-1027
SQLSTATE	42WB2
Sybase エラーコード	13483

考えられる原因

指定したサービスタイプのサービス定義では、その属性を指定できません。

サービス定義のホスト変数参照には名前が必要です。

エラー定数	SQLE_HOSTVAR_MUST_BE_NAMED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-926
SQLSTATE	42W9B
Sybase エラーコード	13559

考えられる原因

名前のないホスト変数参照を使用してサービスを作成しようとしました。

サービスに重複した属性 '%1' があります。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_DUPLICATE_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	重複する属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1025
SQLSTATE	42WB0

Sybase エラーコード	13485

考えられる原因

サービス定義に重複する属性が含まれています。

サービスの属性 '%1' の値がありません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_MISSING_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1023
SQLSTATE	42WAE
Sybase エラーコード	13487

考えられる原因

値のない USING、FORMAT、または GROUP 属性がサービス定義に含まれています。

サービスの属性 '%1' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_SERVICE_PARM_INVALID_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な属性の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1022
SQLSTATE	42WAD
Sybase エラーコード	13488

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

サービス定義に無効な値の USING、FORMAT、または GROUP 属性が含まれています。

サービス文定義が無効であるか、サポートされていません。

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1269
SQLSTATE	42WCC
Sybase エラーコード	13250

考えられる原因

指定された文は無効か、サービスのコンテキスト内ではサポートされていません。

サービス文定義とサービスタイプが矛盾しています。

エラー定数	SQLE_SERVICE_STATEMENT_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-927
SQLSTATE	42W9C
Sybase エラーコード	13558

考えられる原因

文が必要なタイプのサービスに対して文が指定されていないか、そのサービスタイプに文を定義できないのに文を指定しました。

サービス名 '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SERVICE_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サービスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-925
SQLSTATE	42W95
Sybase エラーコード	13560

考えられる原因

無効な名前でサービスを作成しようとしました。使用できない文字が名前に含まれているか、サービスに指定された URL PATH 設定と名前が競合している可能性があります。

再帰カラム %1 : '%2' から '%3' への変換では、精度が失われます。

エラー定数	SQLE_BAD_RECURSIVE_COLUMN_CONVERSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	再帰サブクエリのカラム番号。
パラメーター 2	変換前のデータ。
パラメーター 3	変換後のデータ。
重大度	16
SQLCODE	-945
SQLSTATE	42WA2
Sybase エラーコード	13543

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

再帰サブクエリの各カラムは、最初のサブクエリの対応するカラムのデータ型に、精度を失わずに変換できる必要があります。最初のサブクエリのカラムを適切なデータ型にキャストしてみてください。

再帰クエリが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_RECURSION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-921
SQLSTATE	42W99
Sybase エラーコード	13563

考えられる原因

再帰クエリは、最初のクエリと反復クエリの UNION ALL で構成されている必要があります。反復クエリで使用できる唯一の集合操作が UNION ALL です。共通テーブル式の名前への再帰参照は、反復クエリにのみ使用可能であり、DISTINCT、ORDER BY、または集合関数を使用する SELECT 内では使用できません。また、再帰参照は、外部ジョインの NULL 入力テーブルやサブクエリでは使用できません。

再帰クエリのカラムリストがありません。

エラー定数	SQLE_NO_RECURSIVE_COLUMN_LIST
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-922
SQLSTATE	42W9A
Sybase エラーコード	13562

考えられる原因

再帰クエリを定義する共通テーブル式には、カラムリストがなければなりません。

再帰反復が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RECURSIVE_ITERATIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-923
SQLSTATE	57015
Sybase エラーコード	13561

考えられる原因

現在の max_recursive_iterations オプションの設定で許容されている回数よりも多くの反復を再帰クエリが実行しました。

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	104
SQLSTATE	01W04
Sybase エラーコード	532

考えられる原因

SCROLL カーソルからローをフェッチしました。ローは以前同じカーソルからフェッチされており、その時点から、そのローの 1 つか複数のカラムが更新されています。更新されたカラムがカーソルによってフェッチされた可能性があります。この警告は単にテーブルのローが更新されていることを示しています。カーソルが複数のテーブルに関係している場合、複数のテーブルからのローが更新されています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

最後に読み込まれた後で、ローは更新されています。操作はキャンセルされました。

エラー定数	SQLE_ROW_UPDATED_SINCE_READ
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-208
SQLSTATE	22W02
Sybase エラーコード	554

考えられる原因

SCROLL カーソルとして宣言されたカーソルに、UPDATE (位置付け) 操作または DELETE (位置付け) 操作を行おうとしましたが、変更するローは最後に読み出してから更新されています。このエラーは更新内容が失われる問題が発生するのを防ぎます。

その他の情報

- 「更新内容の消失」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「ローロック」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「カーソルを使用する利点」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「カーソルの感知性と独立性レベル」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

最後の同期アップロードのステータスは不明です。

エラー定数	SQLE_SYNC_STATUS_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-952
SQLSTATE	WW032
Sybase エラーコード	13536

考えられる原因

最後の同期アップロードのステータスは不明です。現在の操作は、成功したアップロードが同期されるまで実行できません。

その他の情報

- 「アップロードの処理方法」『Mobile Link クイックスタート』

最大パラメーター数 '%1' を超えました。

エラー定数	SQLE_INVALID_MAXIMUM_PARAMETERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	許容されるパラメーターの最大数。
重大度	16
SQLCODE	-1122
SQLSTATE	WW084
Sybase エラーコード	13391

考えられる原因

当該 Web クライアントプロシージャーまたはファンクションの許容される最大パラメーター数を超えました。

最大文字列長を超えました。

エラー定数	SQLE_MAX_STRING_LENGTH_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	15
SQLCODE	-1313
SQLSTATE	54W17
Sybase エラーコード	13266

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

文字列操作で、サーバーで許可されている最大長を超える文字列が作成されようとしました。

座標 %1 の座標バウンドがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_MUSTBOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	座標名。
重大度	16
SQLCODE	-1467
SQLSTATE	2FW60
Sybase エラーコード	13105

考えられる原因

指定された座標のバウンドが指定されていません。

座標系 %1 で無効な境界です ("BETWEEN %2 AND %3" の付近)

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_BOUNDS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な境界を持つ座標。
パラメーター 2	無効な境界の 1 番目の値。
パラメーター 3	無効な境界の 2 番目の値。
重大度	16
SQLCODE	-1501
SQLSTATE	2FW88

Sybase エラーコード	13602

考えられる原因

指定された座標の境界は無効です。

座標次元が混在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_MIXED_DIM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1408
SQLSTATE	2FF25
Sybase エラーコード	13164

考えられる原因

このメソッドには、座標次元 (Z 値と M 値) が混在するジオメトリが含まれています。

サブクエリは複数行を返すことはできません。

エラー定数	SQLE_SUBQUERY_RESULT_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-186
SQLSTATE	21W01
Sybase エラーコード	512

考えられる原因

単一のローだけが使用できるコンテキストで、複数行を返すサブクエリを使用しました。サブクエリが WHERE 句にある場合は、IN キーワードを使用できることがあります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「サブクエリの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

サブスクリプション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サブスクリプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1326
SQLSTATE	5RW40
Sybase エラーコード	13230

考えられる原因

存在しないサブスクリプションを変更 (ALTER)、削除 (DROP)、または参照しようとしました。

参照カラムが重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_REFERENCING_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-636
SQLSTATE	42W40
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

参照している選択リストに重複したカラム名を指定しました。

参照整合性を保つためにテーブル %1 からローが削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_DELETED_TO_MAINTAIN_REFERENTIAL_INTEGRITY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	テーブル名。
重大度	10
SQLCODE	137
SQLSTATE	01W24
Sybase エラーコード	13489

考えられる原因

ダウンロード中にプライマリローを削除したため、参照の整合性を保つためにその外部ローも削除されました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「外部キー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

シーケンス %1 で使用できる値はありません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1355
SQLSTATE	52W48
Sybase エラーコード	13205

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

このシーケンスから取得できる値がありません。次に生成される値が最大値より大きくなるか、または最小値よりも小さくなり、かつ、シーケンスが NO CYCLE を使用して指定されています。

シーケンス %1 の次の値を除外する範囲は指定できません

エラー定数	SQLE_INVALID_ALTER_SEQUENCE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1510
SQLSTATE	52W54
Sybase エラーコード	13080

考えられる原因

シーケンスの MINVAL または MAXVAL 境界を変更しようとしましたが、この値が適用されると、シーケンスの nextval 式の次の呼び出しが無効になります。これらの値に対する範囲境界を変更する場合は、RESTART WITH 句を使用して、新しい範囲内にある値を指定することも必要となります。

その他の情報

- 「ユニークな値を生成するためのシーケンスの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「ALTER SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

シーケンス '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1359

SQLSTATE	52W44
Sybase エラーコード	13209

考えられる原因

この名前のシーケンスはデータベースに存在しません。

シーケンス '%1' で同一のオプションに複数の設定が指定されています

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_SEQUENCE_OPTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1357
SQLSTATE	52W50
Sybase エラーコード	13203

考えられる原因

同一シーケンスオプションの複数の設定がシーケンス定義で指定されました。設定が同じである場合でも、各オプションは 1 回だけ指定できます。

シーケンス '%1' に対する操作 '%2' は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SEQUENCE_OPERATION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	試行した操作の名前。
パラメーター 2	シーケンスの名前。
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1353
SQLSTATE	52W46
Sybase エラーコード	13207

考えられる原因

シーケンスオブジェクトに対して無効な操作が試行されました。シーケンスに対する有効な操作は、currval と nextval のみです。

シーケンス '%1' の定義が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_SEQUENCE_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1356
SQLSTATE	52W49
Sybase エラーコード	13204

考えられる原因

無効な組み合わせの変更子がシーケンスに使用されました。MAXVAL が MINVAL より大きいこと、および START WITH が MINVAL と MAXVAL の間であることを確認してください。

シーケンス '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シーケンスの名前。
重大度	16

SQLCODE	-1354
SQLSTATE	52W47
Sybase エラーコード	13206

考えられる原因

指定された名前のシーケンスはすでに存在します。

その他の情報

- 「CREATE SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER SEQUENCE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

シーケンス '%1' は別の接続で使用中です。

エラー定数	SQLE_SEQUENCE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1366
SQLSTATE	42WE3
Sybase エラーコード	13196

考えられる原因

別の接続によって現在使用されているシーケンスを削除しようとしました。

シーケンス名 '%1' があいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_SEQUENCE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメーター 1	あいまいなシーケンスの名前。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1358
SQLSTATE	52W45
Sybase エラーコード	13208

考えられる原因

ユニークでないシーケンス名が文によって参照されました。シーケンス名には、はじめに所有者名を付けてください。

シェイプファイル属性の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_PARSE_ATTRIBUTES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1423
SQLSTATE	2FW14
Sybase エラーコード	13149

考えられる原因

シェイプファイルに無効な属性が含まれています。

シェイプファイルのファイル名が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_INVALID_FILENAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1424
SQLSTATE	2FW15

Sybase エラーコード	13148

考えられる原因

指定されたシェイプファイルのファイル名が無効です。

シェイプファイルレコードの解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_PARSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1422
SQLSTATE	2FW13
Sybase エラーコード	13150

考えられる原因

シェイプファイルに無効なレコードが含まれています。

ジオメトリ式は、ORDER BY 句では使用できません ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_GEOM_ORDER_BY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ジオメトリ式。
重大度	16
SQLCODE	-1531
SQLSTATE	2FW92
Sybase エラーコード	12574

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

ORDER BY 句ではジオメトリ式を使用できません。ORDER BY 句の指定では、ST_LinearHash() メソッドを使用すれば、空間インデックスに使用したのと同じ規則を使用してジオメトリ値を順序付けることができます。または、ST_AsText() などの変換メソッドを使用して、文字列表現でローを順序付けることもできます。

ジオメトリの変換に失敗しました (エラー %1)。

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	投影ライブラリからのエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1405
SQLSTATE	2FF15
Sybase エラーコード	13167

考えられる原因

空間参照系を別の空間参照系に変換していたときにエラーが発生しました。このエラーは、最初のジオメトリ内のポイントが、変換定義の境界の範囲外にある場合に発生する可能性があります。このエラーは、特定の変換定義に関して報告されている可能性もあります。変換ライブラリの整数エラーコードが、変換定義の診断に使用されている可能性があります。

式にサポートされていないデータ型があります。

エラー定数	SQLE_DATATYPE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	14
SQLCODE	-624
SQLSTATE	WW009
Sybase エラーコード	10356

考えられる原因

サポートされていないパラメーターまたは結果データ型で、外部関数または Java メソッドが宣言されました。または、サポートされていない結果データ型の Java フィールド参照を行おうとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「SQL データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light のデータ型」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

識別子 '%1' が長すぎます。

エラー定数	SQLE_IDENTIFIER_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	長すぎる識別子。
重大度	15
SQLCODE	-250
SQLSTATE	54003
Sybase エラーコード	103

考えられる原因

長さ 128 バイトを超える識別子を指定しました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「識別子」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light の識別子」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

式を更新できません。

エラー定数	SQLE_NON_UPDATEABLE_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-190
SQLSTATE	53W02
Sybase エラーコード	230

考えられる原因

更新しようとしたクエリのカラムは、テーブルのカラムではなく、データベースの式です。

その他の情報

- SQL Anywhere：「式」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light の式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

シグネチャ '%1' はプロシージャーのパラメーターと一致しません。

エラー定数	SQLE_SIGNATURE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	シグネチャーの値。
重大度	16
SQLCODE	-737
SQLSTATE	42W54
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

シグネチャーでのタイプの数はプロシージャーパラメーターの数と一致している必要があります。DYNAMIC RESULT SETS 句が指定されている場合、動的結果セットの数はシグネチャーにある数と一致している必要があります。

システムコマンドが失敗し、リターンコード %1 が返されました。

エラー定数	SQLE_SYSTEM_COMMAND_FAILED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リターンコードの値。
重大度	16
SQLCODE	-910
SQLSTATE	38W01
Sybase エラーコード	13574

考えられる原因

システムコマンドの実行時に、0 以外のリターンコードが返されました。

システムのイベントタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_EVENT_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかったシステムのイベントタイプの名前。
重大度	11
SQLCODE	-806
SQLSTATE	WE008
Sybase エラーコード	13816

考えられる原因

データベースに存在しないシステムのイベントタイプの名前でイベントを作成しようとしました。

実行時 SQL エラーです -- %1

エラー定数	SQLE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-300
SQLSTATE	40000
Sybase エラーコード	13664

考えられる原因

内部データベースエラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。関連するクエリ文を変更することによって、この問題を回避できます。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support のサポートセンターに問い合わせてください。

指定された DB 領域でアイテム (%1) を生成できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_DBSPACE_FOR_CREATE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	作成できなかったアイテムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-648
SQLSTATE	08W36
Sybase エラーコード	13702

考えられる原因

指定した DB 領域が無効です。たとえば、インデックスは基本となるテーブルと同じ型の DB 領域に作成してください。

指定された DB 領域の少なくとも 1 つが調整されていませんでした

エラー定数	SQLE_DBSPACE_NOT_CALIBRATED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-860
SQLSTATE	WW028
Sybase エラーコード	13864

考えられる原因

開いていない DB 領域、または小さすぎる DB 領域を調整しようとしました。

指定された外部キー (%1) は使用できません。

エラー定数	SQLE_UNENFORCEABLE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	外部キーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-729
SQLSTATE	23507
Sybase エラーコード	549

考えられる原因

実行できない外部キーを作成しようとしました。実行可能にするためには、指定されたキーに対するプライマリテーブルと外部テーブルが同じサーバー上に存在する必要があります。UNENFORCED キーワードを使用して、実行できない外部キー仕様を作成できます。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

指定されたセッション名 '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACE_EVENT_SESSION_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントのセッション名。
重大度	11
SQLCODE	-1634
SQLSTATE	WE020
Sybase エラーコード	12469

考えられる原因

指定したトレースイベントのセッション名は無効です。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

指定されたデータベースが見つかりません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-83
SQLSTATE	08W10
Sybase エラーコード	911

考えられる原因

データベースサーバーが、指定したデータベースを見つけられませんでした。データベースサーバーが、開けないデータベースファイル、またはネットワークで見つからなかったデータベース

ファイルを起動しようとしました。稼働中でないデータベース名に接続しようとた可能性もあります。

指定されたデータベースは無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-84
SQLSTATE	08W11
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

指定したデータベースファイルは無効です。データベースサーバーは停止しました。

指定されたデータベースファイルはすでに使用されています。

エラー定数	SQLE_FILE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-816
SQLSTATE	08W56
Sybase エラーコード	924

考えられる原因

ファイルがすでに使用されているため、データベースサーバーは指定したデータベースを起動できませんでした。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「このコンピューターのデータベースを起動して接続する (dbeng12)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「別のコンピューターのデータベースを起動して接続 (dbsrv12)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は異なるバージョンのソフトウェアで作成されています。

エラー定数	SQLE_FILE_WRONG_VERSION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1005
SQLSTATE	08W86
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定されたデータベースファイルは別のバージョンのソフトウェアで作成されたので、このバージョンで読み込むことができません。

その他の情報

- SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード

指定されたデータベースを開始できません。'%1' はデータベースではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_NOT_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

パラメーター 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1004
SQLSTATE	08W85
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースファイルではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1007
SQLSTATE	08W88
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクションログではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は無効なトランザクションログミラーです。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1008
SQLSTATE	08W72
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なトランザクションログミラーではありません。

指定されたデータベースを開始できません。'%1' は有効なデータベースファイルではありません。

エラー定数	SQLE_FILE_BAD_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1006
SQLSTATE	08W87
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したファイルは有効なデータベースではありません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「データベースサーバーの起動」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

指定されたデータベースを開始できません。'%1': トランザクションログファイル が見つかりません

エラー定数	SQLE_LOG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1017
SQLSTATE	08W81
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルが見つかりませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。このサーバーで開始するには、'%1' をアップグレードする必要があります (機能 %2 がありません)

エラー定数	SQLE_UPGRADE_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースファイルの名前。
パラメーター 2	データベースファイルにない機能。
重大度	11
SQLCODE	-1012
SQLSTATE	08W76
Sybase エラーコード	840

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

このサーバーで開始するには、指定したデータベースをアップグレードする必要があります。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログ '%1' または、そのミラー '%2' は無効です。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_REDO_OR_MIRROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
パラメーター 2	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1009
SQLSTATE	08W73
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログがトランザクションログミラーと異なります。トランザクションログ、またはそのミラーが無効です。

指定されたデータベースを開始できません。トランザクションログで、'%1' は操作を予期していません。

エラー定数	SQLE_EXPECTING_NO_REDO
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1010
SQLSTATE	08W74

Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログに操作が含まれますが、データベースサーバーでは操作が想定されていませんでした。

指定されたデータベースを開始できません。不明な暗号化アルゴリズムです

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_ENCRYPTION_ALGORITHM
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-1011
SQLSTATE	08W75
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

このサーバーでサポートされていないアルゴリズムでデータベースが暗号化されています。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これは、予想された長さよりも短いためです。

エラー定数	SQLE_LOG_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1020

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	08W84
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルが短すぎます。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはオフセットがデータベースのオフセットと一致しないためです。

エラー定数	SQLE_LOG_OFFSETS_DONT_MATCH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1018
SQLSTATE	08W82
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルに、データベースファイルで予想していたオフセットと一致しないオフセットがあります。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはデータベースファイルがログファイルよりも後に使用されているためです。

エラー定数	SQLE_LOG_OLDER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログファイルの名前。

重大度	11
SQLCODE	-1019
SQLSTATE	08W83
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースファイルがトランザクションログファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを開始できません。ログファイル '%1' を使用できません。これはログファイルがデータベースファイルよりも後に使用されているためです。

エラー定数	SQLE_LOG_NEWER_THAN_DB
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	トランザクションログのミラーファイルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1016
SQLSTATE	08W80
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

トランザクションログファイルがデータベースファイルよりも最近使用されています。

指定されたデータベースを起動できません：%1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001

パラメーター 1	データベースを起動できなかった理由 (理由が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-82
SQLSTATE	08W09
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

データベースサーバーが、指定されたデータベースを起動できませんでした。詳細については、データベースサーバーメッセージウィンドウを確認してください。サーバーが自動的に起動されていた場合は、-o データベースサーバーオプションを使用してデータベースサーバーのメッセージを表示するか、またはサーバーを手動で起動すると、データベースを起動できなかった理由に関する詳細情報を取得できることがあります。

指定されたデータベースを起動できません：データベース %1 を起動するにはサーバーをアップグレードする必要があります。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_VER_NEWER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	起動できなかったデータベースの名前 (名前が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-934
SQLSTATE	08W67
Sybase エラーコード	13552

考えられる原因

データベースのバージョンがサーバーのバージョンよりも新しいため、データベースサーバーはデータベースを起動できませんでした。データベースを起動できるようにするには、データベースのバージョン以降にサーバーをアップグレードする必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード

指定されたデータベースを起動できません : ログファイルエラー

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_DATABASE_LOG_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-935
SQLSTATE	08W68
Sybase エラーコード	13553

考えられる原因

ログファイルが見つからないか別のデータベースのログファイルである、またはその他の理由により、データベースサーバーはデータベースを起動できませんでした。詳細については、サーバーメッセージウィンドウを確認してください。

指定されたデータベースを停止できません : %1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_STOP_DATABASE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースを停止できなかった理由 (理由が判明している場合)。
重大度	11
SQLCODE	-1384
SQLSTATE	08WA5
Sybase エラーコード	13184

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベースサーバーが、指定されたデータベースを停止できませんでした。

指定されたトランザクションの独立性が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRANSACTION_ISOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-676
SQLSTATE	WJ003
Sybase エラーコード	7374

考えられる原因

指定したトランザクション独立性は無効です。

指定されたリスナーを登録できませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_REGISTER_LISTENER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-992
SQLSTATE	54W04
Sybase エラーコード	13497

考えられる原因

リスナーの最大数に達した、クラス名がすでに使用されている、またはシステムリソースがないために、指定したリスナーを登録できませんでした。

指定されたローカル接続 ID が見つかりません。

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-996
SQLSTATE	WO024
Sybase エラーコード	709

考えられる原因

指定した接続 ID の接続がありません。

指定した HTTP ヘッダーに不正な文字または非 ASCII 文字が含まれています

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_ASCII
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1095
SQLSTATE	WW071
Sybase エラーコード	13420

考えられる原因

HTTP ヘッダーには印刷可能な ASCII 文字が含まれる必要があります。

指定した HTTP ヘッダーは不正です

エラー定数	SQLE_HTTP_HEADER_ATTRIBUTE_MALFORMED
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1096
SQLSTATE	WW072
Sybase エラーコード	13419

考えられる原因

HTTP ヘッダーにコロンの区切り文字がないか、折り返しの構造が間違っています。

指定した UTF-16 エンディアンは、データで見つかった Byte Order Mark に一致しません

エラー定数	SQLE_UTF16_ENDIAN_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1189
SQLSTATE	WC004
Sybase エラーコード	13326

考えられる原因

指定した UTF-16 エンコードは、データの予期されるエンディアンを明示的に指定していますが、データの最初で見つかった Byte Order Mark は、データが逆のエンディアンでエンコードされていることを示しています。

指定した外項ブレーカーは無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EXT_TERMBREAKER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1395
SQLSTATE	WT026
Sybase エラーコード	13175

考えられる原因

テキスト設定で指定された外部の単語区切り名が無効です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

指定した外部事前フィルター名は無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_EXT_PREFILTER_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1394
SQLSTATE	WT029
Sybase エラーコード	13176

考えられる原因

テキスト設定で指定された外部事前フィルター名が無効です。

その他の情報

- 「テキスト設定オブジェクトの作成または変更時の指定項目」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「CREATE TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER TEXT CONFIGURATION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

指定した時間内でテーブルロックを取得できません。

エラー定数	SQLE_LOCK_TIMEOUT

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	21
SQLCODE	-1175
SQLSTATE	42WC4
Sybase エラーコード	13338

考えられる原因

LOCK TABLE 文が、指定された時間内に一部のロックを取得できませんでした。

指定したストップリストが長すぎます。

エラー定数	SQLE_TEXT_STOPLIST_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1240
SQLSTATE	WT018
Sybase エラーコード	13277

考えられる原因

テキスト設定のストップリストは 8000 バイト未満にしてください。

指定した多角形フォーマット '%1' は、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_POLYFORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	多角形フォーマット文字列。

重大度	16
SQLCODE	-1469
SQLSTATE	2FW62
Sybase エラーコード	13103

考えられる原因

指定された多角形フォーマットは、このタイプの空間参照系ではサポートされていません。

指定したロギングタイプ ('%1') は無効か、サポートされていないか、または互換性がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_LOGGING_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定されたロギングタイプ。
重大度	19
SQLCODE	-1151
SQLSTATE	WL010
Sybase エラーコード	13261

考えられる原因

LOAD TABLE に対して指定されたロギングタイプは、使用されているバージョンのデータベースではサポートされていないか、文の他の指定と互換性がないか、ロード先の特定のテーブルではサポートされていません。

自動データベースアップグレードが適用されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_WARNING
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	149
SQLSTATE	WW234
Sybase エラーコード	13684

考えられる原因

データベースが以前のバージョンのソフトウェアによるものです。起動中に自動データベースアップグレードが発生します。その後は、データベースを以前のバージョンのソフトウェアで開くことができません。

その他の情報

- 「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

自動ミラーサーバーの親を割り当てることができません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ASSIGN_AUTO_PARENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1360
SQLSTATE	WW156
Sybase エラーコード	13202

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER または ALTER MIRROR SERVER 文によってミラーの親の自動割り当てを要求されましたが、親サーバーが見つかりませんでした。auto_add_server オプションが設定されていないか、または無効なサーバー名に設定されている可能性があります。

その他の情報

- 「コピーノードへの親の自動割り当て」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「SET MIRROR OPTION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

自動ラベルが足りないため '%1' に接続を登録できません。

エラー定数	SQLE_CONN_REG_AUTO_LABEL_EXHAUSTED

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-790
SQLSTATE	5RW29
Sybase エラーコード	13800

考えられる原因

代わりに、指定のラベルを使用して登録できます。

集合関数 GROUPING への引数は GROUP BY 句のグループカラムである必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUPING_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-962
SQLSTATE	42WA7
Sybase エラーコード	13527

考えられる原因

集合関数 GROUPING への引数として指定できるのは、グループカラムだけです。1 つのグループカラム式以外のものが含まれている引数は、使用できません。

集合関数では、NULL 値は無視されます。

エラー定数	SQLE_NULL_VALUE_ELIMINATED
ODBC 2 ステータス	01000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	01003
重大度	10
SQLCODE	109
SQLSTATE	01003
Sybase エラーコード	409

考えられる原因

集合関数の式引数が、1 つまたは複数のローについて NULL と評価されました。

集合関数の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_AGGREGATES_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-150
SQLSTATE	42W06
Sybase エラーコード	13204

考えられる原因

集合関数の使用が不適切です。たとえば、SELECT 文では、集合関数が外部参照を構成していないかぎり、その集合関数を WHERE 句の述部の中に指定できません。また、集合関数を、UPDATE 文の SET 句の中に指定したり、CHECK 制約の中で使用したりすることはできません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「クエリ結果を要約する集合関数」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「集合関数」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light 集合関数」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

修飾されたカラム参照で使用されている所有者 '%1' は相関名 '%2' と一致していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_QUALIFICATION

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	カラム参照で指定された所有者名。
パラメーター 2	正しく参照されていない相関名。
重大度	15
SQLCODE	-845
SQLSTATE	42U02
Sybase エラーコード	13851

考えられる原因

テーブル名に対する、修飾されたカラム参照がクエリにありますが、相関名がそのテーブルについて使用されたか、テーブルの所有者がカラム参照で指定された所有者名と一致しません。所有者による修飾を削除し、相関名のみでカラム参照を修飾してください。

集約関数の ORDER BY が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ORDERBY_IN_AGGREGATE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-904
SQLSTATE	42W90
Sybase エラーコード	13579

考えられる原因

集合関数で ORDER BY を使用できるのは、SELECT リストに DISTINCT 集合関数がないか、ORDER BY の最初のカラムと等しい DISTINCT カラムのある DISTINCT 集合関数が 1 つある場合だけです。また、ORDER BY 句が完全に同じでないかぎり、並べ替えた複数の集合関数を同じ SELECT リストの中で使用することはできません。

集約式 '%1' に複数のカラムが含まれ、その 1 つ以上が外部参照です。

エラー定数	SQLE_MULTIPLE_AGGREGATE_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-861
SQLSTATE	42W68
Sybase エラーコード	13865

考えられる原因

ネストされたクエリに含まれている subselect の中に、外部参照を含むパラメーターを指定した集合関数があります。この場合、外部参照に指定できるのは式で参照されるカラムのみです。

その他の情報

- SQL Anywhere：「相関サブクエリと非相関サブクエリ」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「集合関数を使用できる場所」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「FROM 句」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「FROM 句 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

集約式 '%1' は SELECT リストまたは HAVING 句サブクエリのいずれかに記述されている必要があります

エラー定数	SQLE_INVALID_AGGREGATE_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	エラーになった集約式。
重大度	15
SQLCODE	-862

SQLSTATE	42W69
Sybase エラーコード	13866

考えられる原因

外部参照を含む集約式は、SELECT リスト式 (subselect) の中、または FROM 句の中に集約されるカラムを持つテーブルが含まれているクエリの HAVING 句サブクエリの中で使用する必要があります。

出力ファイルのディレクトリが存在しません。

エラー定数	SQLE_DIRECTORY_INACCESSIBLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-978
SQLSTATE	WW047
Sybase エラーコード	13511

考えられる原因

ディレクトリが存在しないので、ファイルを書き込むことができません。

出力ファイルを書き込めません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_WRITE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-979
SQLSTATE	WW048
Sybase エラーコード	13510

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

出力ファイルの作成または書き込みができません。ファイルがロックされているか、読み込み専用である可能性があります。

準備文の種類が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-133
SQLSTATE	07W03
Sybase エラーコード	13630

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。

照合 '%1' はこのプラットフォームではサポートされていません。

エラー定数	SQLE_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サポートされていない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1116
SQLSTATE	WC013
Sybase エラーコード	13398

考えられる原因

指定した照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

照合 '%1' を認識できません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベース照合ではない名前。
重大度	16
SQLCODE	-1506
SQLSTATE	WC018
Sybase エラーコード	12597

考えられる原因

指定された照合は不明です。名前のスペルが正しいことを確認してください。

その他の情報

- SQL Anywhere：「サポートされている照合と代替照合」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「CREATE DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「初期化ユーティリティ (dbinit)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light collation 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light でサポートされている照合」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

照合が無効です："%1"

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な照合文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1163

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	WT008
Sybase エラーコード	13350

考えられる原因

照合が見つからなかったか、適合化オプションが無効でした。

使用中の設定は変更できません

エラー定数	SQLE_CONFIG_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1276
SQLSTATE	55W34
Sybase エラーコード	13863

考えられる原因

開かれた接続によって使用されている設定オブジェクトを修正しようとしました。

使用できるプランがありません。このタイプの文に対しては、NOEXEC プランは生成できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_FOR_NOEXEC_PLAN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1176
SQLSTATE	0AW20
Sybase エラーコード	13337

考えられる原因

IQ によって NOEXEC プランを生成できない文のタイプの NOEXEC プランを取得しようとしました。

シングルバイトコンバーターの利用時には、文字変換のエラーまたは警告レポートは使用できません。

エラー定数	SQLE_CHARACTER_CONVERSION_REPORT_NOT_AVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-883
SQLSTATE	WC007
Sybase エラーコード	13898

考えられる原因

on_charset_conversion_failure オプションを設定し、警告またはエラーをレポートしようとしました。シングルバイトからシングルバイトへのコンバーターを使用する場合、この設定は使用できません。

スキーマのアップグレードは現在有効ではありません。

エラー定数	SQLE_SCHEMA_UPGRADE_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-953
SQLSTATE	WW033
Sybase エラーコード	13535

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベースが同時に使用中であるため、スキーマをアップグレードできません。たとえば、すべてのカーソルを閉じないと、スキーマをアップグレードできません。

その他の情報

- SQL Anywhere :「アンロードユーティリティ (dbunload)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere :「アップグレードユーティリティ (dbupgrad)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere :「SQL Anywhere サーバーのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』
- Ultra Light :「Ultra Light のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

スキーマファイル '%1' にアクセスできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_SCHEMA_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイル名、または名前が指定されていないことを示す値。
重大度	16
SQLCODE	-951
SQLSTATE	WW031
Sybase エラーコード	13537

考えられる原因

現在の操作を実行するには、Ultra Light にスキーマファイルが必要です。スキーマファイルが指定されていない、指定したファイルにアクセスできない、または指定したファイルが破損しています。

スクリプトファイルの行の区切りに文デリミタ "go" がありません

エラー定数	SQLE_SCRIPT_MISSING_DELIMITER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	15
SQLCODE	-1315
SQLSTATE	WW046
Sybase エラーコード	13241

考えられる原因

Ultra Light では、スクリプトファイル内でコメント化されていないすべての SQL 文 (最後の文を含む) の後に、独立した行で "go" を続ける必要があります。文字列の場合は、文を終了するために "¥ngo" を使用できます。

その他の情報

- 「Ultra Light 用 Interactive SQL ユーティリティ (dbisql)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

スクロール位置 '%1' が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_POSITION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	不正なスクロール位置。
重大度	16
SQLCODE	-820
SQLSTATE	24504
Sybase エラーコード	13826

考えられる原因

サポートされていない場所へスクロールしようとしました。スクロールする場所は、-2147483647 と 2147483646 の間である必要があります。

ストア DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_STORE_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードできなかったストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-646
SQLSTATE	08W34
Sybase エラーコード	13699

考えられる原因

ストア DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

ストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できません

エラー定数	SQLE_STORE_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エントリポイントが失敗したストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-647
SQLSTATE	08W35
Sybase エラーコード	13700

考えられる原因

ストア DLL エントリポイントを検索または実行しようとしましたが、失敗しました。

ストアドプロシージャー内のリモートテーブルに関わる式を処理できません。

エラー定数	SQLE_OMNI_EXPRESSION_IN_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	12
SQLCODE	-823
SQLSTATE	WO023
Sybase エラーコード	13829

考えられる原因

ストアドプロシージャー内にリモートテーブルを含む式がサーバーで発生しました。式が複雑すぎて処理できませんでした。

ストップリストの値が無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_STOPLIST_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1391
SQLSTATE	WT025
Sybase エラーコード	13181

考えられる原因

ストップリストに指定された値が無効です。

ストップリストの値には NULL は指定できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_STOPLIST_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1389
SQLSTATE	WT023

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13179

考えられる原因

テキスト設定ストップリストの値を NULL にすることはできません。ストップリストを削除するには、ALTER TEXT CONFIGURATION...DROP STOPLIST 文を使用します。

スナップショットアイソレーションが無効または保留になっています

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ISOLATION_DISABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1054
SQLSTATE	55W23
Sybase エラーコード	13459

考えられる原因

スナップショットアイソレーションが無効になっているか、そのアクティブ化が保留になっています。スナップショットアイソレーションを有効にしてから、使用してください。

スナップショットアイソレーションを非スナップショットトランザクションで使用しようとしました。

エラー定数	SQLE_NON_SNAPSHOT_TRANSACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1065
SQLSTATE	42WBB
Sybase エラーコード	13449

考えられる原因

トランザクションでスナップショットアイソレーションを使用しようとしましたが、このトランザクションはスナップショットアイソレーションを指定して開始されていません。

スナップショット開始後にテーブルが作成または変更されました

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_TABLE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1061
SQLSTATE	42WB8
Sybase エラーコード	13452

考えられる原因

スナップショットトランザクションで使用しようとしたテーブルは、トランザクション開始後に作成または変更されています。

スナップショット中は文を使用できません

エラー定数	SQLE_STATEMENT_NOT_ALLOWED_IN_SNAPSHOT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1062
SQLSTATE	42WB9
Sybase エラーコード	13451

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

未完了のスナップショットがある接続で CREATE INDEX、DROP INDEX、ALTER INDEX、または ALTER TABLE を使用しようとしました。接続のカーソルがすべて閉じていることを確認してください。

スナップショットトランザクションで更新の競合が発生しました。

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_UPDATE_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1064
SQLSTATE	42WBA
Sybase エラーコード	13450

考えられる原因

スナップショットトランザクションで更新または削除しようとしたローは、スナップショットの開始後に別のトランザクションによって変更されています。

すべてのカラム参照引数は、同じテーブルを参照しなければなりません。

エラー定数	SQLE_TEXT_TOO_MANY_TABLE_REFERENCES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1157
SQLSTATE	WT002
Sybase エラーコード	13356

考えられる原因

CONTAINS クエリ内のすべてのカラム参照は、同じテーブルを参照しなければなりません。

その他の情報

- 「CONTAINS 探索条件」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

すべてのスレッドがブロックされています。

エラー定数	SQLE_THREAD_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-307
SQLSTATE	40W06
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザーがそのローをロックしています。また、他のすべてのスレッド (-gn サーバーオプションを参照してください) は、ロックが解除されるのを待ってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

その他の情報

- 「-gn dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「トランザクションのブロックとデッドロック」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

正規表現 '%2' 中の '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_REGULAR_EXPRESSION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	2201B
パラメーター 1	正規表現が無効である理由。
パラメーター 2	無効な正規表現。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1135
SQLSTATE	2201B
Sybase エラーコード	13378

考えられる原因

指定された正規表現は無効です。

制約 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CONSTRAINT_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメーター 1	見つからなかった制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-929
SQLSTATE	42U04
Sybase エラーコード	13556

考えられる原因

制約名のスペルを間違えたか、探している制約は別のテーブルにあります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「テーブルとカラム制約」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

制約 '%1' の違反です：テーブル '%2' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_TABLE_CONSTRAINT_VIOLATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000

パラメーター 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメーター 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1091
SQLSTATE	23508
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとしました。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

制約 '%1' の違反です : テーブル '%3' のカラム '%2' の値が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COLUMN_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	無効な値によって違反となった制約の名前 (定義されている場合)。
パラメーター 2	無効な値を割り当てられたカラムの名前。
パラメーター 3	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-209
SQLSTATE	23506
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

CHECK 制約に違反する挿入または更新をしようとしました。CHECK 制約は FALSE のとき違反になり、条件が TRUE または UNKNOWN と評価されるときはそのままの状態になります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

制約 '%1' への参照または操作が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_CONSTRAINT_REF
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S23
パラメーター 1	指定された目的に使用できない制約の名前。
重大度	16
SQLCODE	-937
SQLSTATE	42U06
Sybase エラーコード	13550

考えられる原因

制約に対して無効な操作を指定しました。たとえば、主キー制約を変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「テーブルとカラム制約」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

セーブポイント '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SAVEPOINT_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	セーブポイントの名前。
重大度	16
SQLCODE	-220
SQLSTATE	3B001
Sybase エラーコード	6401

考えられる原因

存在しないセーブポイントへロールバックしようとしました。

セーブポイントには、ロールバックログが必要です。

エラー定数	SQLE_SAVEPOINTS_REQUIRE_UNDO
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-213
SQLSTATE	3BW01
Sybase エラーコード	13656

考えられる原因

データベースサーバーが、ロールバックログなしでバルクモードで実行されているときは、セーブポイントは使用できません。

セキュリティトークンを生成する場合のツール名または管理ユーザーが無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TOOL_NAME_OR_ADMIN_USER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1585
SQLSTATE	08WB1
Sybase エラーコード	12520

考えられる原因

セキュリティトークンの生成用に指定したツール名または admin ユーザーが無効です。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

接続エラー：%1

エラー定数	SQLE_CONNECTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	接続エラーの説明。
重大度	16
SQLCODE	-832
SQLSTATE	08W60
Sybase エラーコード	13838

考えられる原因

データベースサーバーとの接続を確立しようとして、データベースとの接続を試みる前にエラーが発生しました。このエラーの例としては、接続時の通信リンクの初期化失敗があります。LogFile 接続パラメーターを使用してデバッグログファイルを作成すると、詳細な情報が記載されている場合があります。

接続が切断されました。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_TERMINATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-308
SQLSTATE	40W07
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

データベース接続は終了され、トランザクションはロールバックされました。接続が終了した理由には、DBA が DROP CONNECTION 文を実行した、データベースサーバーが停止した、またはデータベースサーバーへのネットワーク接続で割り込みが発生した、などが考えられます。

その他の情報

- SQL Anywhere：「DROP CONNECTION 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「ROLLBACK 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ROLLBACK 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

接続がタイムアウトしました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_CONNECTION_TIMED_OUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-982
SQLSTATE	WW051
Sybase エラーコード	13507

考えられる原因

活動がないため、リモートホストへの接続がタイムアウトになりました。

接続が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CONNECTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-108
SQLSTATE	08W02
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

DISCONNECT または SET CONNECTION 文で指定した接続名が無効です。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere :「DISCONNECT 文 [ESQL] [Interactive SQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere :「SET CONNECTION statement [Interactive SQL] [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

接続しているテンポラリテーブルが多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_TEMP_TABLES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-817
SQLSTATE	52W41
Sybase エラーコード	13823

考えられる原因

CREATE TABLE または DECLARE LOCAL TEMPORARY TABLE 文でテンポラリテーブルを作成しようとしましたが、その結果テンポラリテーブルに使用される個別のテーブル ID の数が、現在の接続では制限を超えています。

その他の情報

- SQL Anywhere :「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere :「DECLARE LOCAL TEMPORARY TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

接続できません : サーバーは要求された暗号化タイプを受け入れませんでした。

エラー定数	SQLE_ENCRYPTION_TYPE_NOT_ACCEPTED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16

SQLCODE	-1145
SQLSTATE	08W97
Sybase エラーコード	13367

考えられる原因

サーバーは特定の暗号化タイプのみを受け入れますが、接続の暗号化タイプは受け入れられるタイプのいずれでもありません。サーバーが受け入れる暗号化タイプを設定するには、-ec サーバーオプションを使用します。

接続できません。サーバー定義が循環しています。

エラー定数	SQLE_OMNI_CIRCULAR_CONNECT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-657
SQLSTATE	WO002
Sybase エラーコード	13593

考えられる原因

ローカルデータベースにマッピングされているリモートサーバーに接続しようとしました。

接続パラメーターファイルが見つかりません。

エラー定数	SQLE_NO_PROFILE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-654
SQLSTATE	08W37

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13706

考えられる原因

接続プロファイルがある接続文字列を解析しようとしましたが、接続パラメーターファイルが見つかりませんでした。

接続パラメーター文字列の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_GEN_PARSE_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-655
SQLSTATE	08W38
Sybase エラーコード	13707

考えられる原因

接続文字列を解析できませんでした。文字列または接続パラメーターファイルに構文エラーがあります。

接続を完了するためにログインリダイレクションが必要ですが、クライアントではサポートされていません

エラー定数	SQLE_LOGIN_REDIRECTION_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-1551
SQLSTATE	08WA6
Sybase エラーコード	12554

考えられる原因

別のサーバーに接続がリダイレクトされる必要がありますが、使用しているバージョンのクライアントライブラリでは、ログインのリダイレクトがサポートされていません。ログインのリダイレクトを使用するには、クライアントライブラリをアップグレードする必要があります。または、別のサーバーに接続するか、論理サーバーの設定を変更します。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

設定ファイルを読み込み中にエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_SLERR_CONFIG_FILE_ERR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1438
SQLSTATE	2FW31
Sybase エラーコード	13134

考えられる原因

空間サポート用の設定ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。このエラーは、"st_geometry_config.tgz" ファイルがインストールされていない場合に発生する可能性があります。

設定名 %1 は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_CONFIG_NO_SUBFILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1439

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	2FW32
Sybase エラーコード	13133

考えられる原因

指定された設定はサポートされていません。

ゼロで除算しようとしました。

エラー定数	SQLE_DIV_ZERO_ERROR
ODBC 2 ステータス	22012
ODBC 3 ステータス	22012
重大度	16
SQLCODE	-628
SQLSTATE	22012
Sybase エラーコード	36007

考えられる原因

0 による除算を伴う操作が検出されました。

その他の情報

- 「divide_by_zero_error オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- divide_by_zero_error 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

前回のアップロードのステータスが不明の場合、Mobile Link リモート ID は変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_ML_REMOTE_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1118

SQLSTATE	0AW17
Sybase エラーコード	13395

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、リモート ID を使用して同期の進行状況を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからリモート ID を変更してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere：「リモート ID の設定」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light：「Ultra Light ml_remote_id オプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

前回のアップロードのステータスが不明の場合、同期の user_name は変更できません

エラー定数	SQLE_CANNOT_CHANGE_USER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-867
SQLSTATE	0AW13
Sybase エラーコード	13871

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、user_name を使用して同期を追跡します。前回行われたアップロードのステータスが不明な場合は、この状態を解消してからユーザーを変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザー」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere：「Mobile Link ユーザーの作成」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light：「User Name 同期パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

前回のエラーが RESIGNAL の前になくなりました。

エラー定数	SQLE_PREVIOUS_ERROR_LOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-825
SQLSTATE	WP011
Sybase エラーコード	13831

考えられる原因

ストアドプロシージャーの例外ハンドラー中の RESIGNAL 文が実行されましたが、前回のエラーの内容が使用できませんでした。このエラーの原因としては、SELECT 文が例外ハンドラーで結果セットを返していることが考えられます。

宣言されていないタグ ID : '%1'

エラー定数	SQLE_UNDECLARED_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	宣言されていないタグ ID の値。
重大度	16
SQLCODE	-901
SQLSTATE	WX009
Sybase エラーコード	13580

考えられる原因

テーブルの Tag カラムのそれぞれの値は、少なくとも 1 つのカラム名の TagNumber フィールドで宣言する必要があります。

選択されたデータベースは、現在アクティブではありません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	14
SQLCODE	-74
SQLSTATE	08W30
Sybase エラーコード	950

考えられる原因

選択されたデータベースはアクティブではありません。データベースは起動中か、停止中です。

相関名 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	無効な相関名。
重大度	16
SQLCODE	-142
SQLSTATE	52W02
Sybase エラーコード	208

考えられる原因

相関名のスペルを間違えたか、相関名のかわりにテーブル名を使用しました。

相関名 '%1' は、ROWID 関数では使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_FOR_ROWID

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な相関名。
重大度	15
SQLCODE	-1113
SQLSTATE	42WBF
Sybase エラーコード	13401

考えられる原因

使用した相関名は ROWID 関数に有効ではありませんでした。ROWID 関数には、ベーステーブル、テンポラリテーブル、グローバルテンポラリテーブル、またはプロキシテーブルの相関名だけを使用できます。ROWID 関数の引数では、ビュー、派生テーブル、共通テーブル式、またはプロシージャーを参照できません。

相関名 '%1' への参照が不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_CORRELATION_NAME_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	正しく参照されていない相関名。
重大度	15
SQLCODE	-824
SQLSTATE	42U01
Sybase エラーコード	13830

考えられる原因

クエリのテーブル式に、そのテーブル式に入っていない相関名への参照が含まれています。

操作 '%1' は次の理由で失敗しました : '%2'

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_FAILED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	操作の名前。
パラメーター 2	障害の原因。
重大度	16
SQLCODE	-1279
SQLSTATE	WW231
Sybase エラーコード	13808

考えられる原因

要求された操作が失敗しました。

操作が失敗しました。カラム '%1' のタイプがストリーミングをサポートしていません

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_STREAMABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	型が無効なカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-1100
SQLSTATE	WW045
Sybase エラーコード	13414

考えられる原因

ストリーミングをサポートするカラムの型は、BINARY、LONG BINARY、VARCHAR、LONG VARCHAR だけです。このエラーは、同じカラムにストリームオブジェクトを 2 回割り付けた場合にも発生する可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

操作は許可されていません

エラー定数	SQLE_ULTRALITEJ_OPERATION_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1278
SQLSTATE	WW230
Sybase エラーコード	13846

考えられる原因

要求された操作は、スキーマの修正中には許可されていません。

挿入したカラムが重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_INSERT_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-637
SQLSTATE	42W41
Sybase エラーコード	264

考えられる原因

Insert 文のカラム名のリストに重複したカラム名を指定しました。

増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。

エラー定数	SQLE_TEXT_HANDLES_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1390
SQLSTATE	WT024
Sybase エラーコード	13180

考えられる原因

MANUAL または AUTO REFRESH テキストインデックスの増分リフレッシュは、ハンドルが不足しているときには実行できません。テキストインデックスを再構築してから、増分リフレッシュを使用してください。

その他の情報

- 「REFRESH TEXT INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「テキストインデックスの再表示タイプ」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

即時マテリアライズドビュー %1 が依存している複数のテーブルを更新できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_TWO_TABLES_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	update 文で 2 つ以上のテーブルに依存しているビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1192
SQLSTATE	55W29
Sybase エラーコード	13323

考えられる原因

初期化された即時マテリアライズドビューが依存している 2 つ以上のテーブルを同時に更新しようとしました。即時マテリアライズドビューが依存しているベーステーブルを文で複数更新することはできません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

即時マテリアライズドビューの最後のユニークインデックスを削除できません。

エラー定数	SQLE_DELETE_UPDATABLE_MATVIEW_INDEX_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1184
SQLSTATE	55W21
Sybase エラーコード	13331

考えられる原因

即時マテリアライズドビューの、NULL 入力不可のカラムにある最後のユニークインデックスを削除しようとしました。即時マテリアライズドビューを有効にするには、NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスが 1 つ以上必要です。

即時マテリアライズドビューの定義に NULL 入力可能な式に対する SUM 関数を含めることはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SUM_NULL_EXPR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1286
SQLSTATE	42WCD
Sybase エラーコード	13668

考えられる原因

定義に NULL 入力可の式に対する SUM 関数を含む即時マテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

属性 '%1' で、'%3' と互換性のないオプション '%2' が設定されています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_OPTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの属性。
パラメーター 2	属性の 1 番目のオプション。
パラメーター 3	属性の 2 番目のオプション。
重大度	16
SQLCODE	-1131
SQLSTATE	WW088
Sybase エラーコード	13382

考えられる原因

この属性に指定されたオプションは互換性がありません。

測定単位 "%1" は角度単位ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UOM_NOT_ANGULAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1447
SQLSTATE	2FW40
Sybase エラーコード	13125

考えられる原因

指定された測定単位は、線形の測定単位ではありません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

測定単位 "%1" は距離単位ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UOM_NOT_LINEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1446
SQLSTATE	2FW39
Sybase エラーコード	13126

考えられる原因

指定された測定単位は、線形の測定単位ではありません。

測定単位 '%1' が認識できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UNKNOWN_UOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1404
SQLSTATE	2FF14
Sybase エラーコード	13168

考えられる原因

名前が、定義されている測定単位と一致しません。

測定単位 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_NO_UOM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	測定単位名。
重大度	16
SQLCODE	-1458
SQLSTATE	2FW51
Sybase エラーコード	13114

考えられる原因

指定された測定単位は、定義されていません。

測定単位 '%1' はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	測定単位の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1460
SQLSTATE	2FW53
Sybase エラーコード	13112

考えられる原因

指定された測定単位は、すでに定義されています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

測定単位を作成する場合は、CONVERT USING 句を指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_UOM_NOFACT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1455
SQLSTATE	2FW48
Sybase エラーコード	13117

考えられる原因

CONVERT USING 句を指定せずに、CREATE SPATIAL UNIT OF MEASURE 文が使用されました。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、た～は)

ダイナミックライブラリ '%1' をロードできませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_LOAD_LIBRARY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードできなかったダイナミックライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-620
SQLSTATE	WW006
Sybase エラーコード	13677

考えられる原因

このエラーは、通常、外部関数呼び出しで名前が指定されたダイナミックライブラリのロードに失敗した場合に発生します。

その他の情報

- SQL Anywhere :「SQL Anywhere 外部呼び出しインターフェイス」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light :「Ultra Light C++ アプリケーションのビルドと配置」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

ダイナミックライブラリ '%2' に '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_COULD_NOT_FIND_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかった関数の名前。
パラメーター 2	関数が見つからなかったダイナミックライブラリの名前。
重大度	19
SQLCODE	-621
SQLSTATE	WW007
Sybase エラーコード	13678

考えられる原因

ダイナミックライブラリ内に外部関数を見つけることができませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere :「SQL Anywhere 外部呼び出しインターフェイス」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light :「Ultra Light C++ アプリケーションのビルドと配置」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

ダイナミックライブラリ名が必要です。

エラー定数	SQLE_REQUIRE_DLL_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	19
SQLCODE	-619
SQLSTATE	WW005
Sybase エラーコード	13676

考えられる原因

呼び出す外部関数の名前にライブラリ名指定子を指定する必要があります。

タイプ %1 の式は、タイプ %2 とは和両立しません。

エラー定数	SQLE_SLERR_NOT_UNION_COMPAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	式 1 のタイプ。
パラメーター 2	式 2 のタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1479
SQLSTATE	2FW72
Sybase エラーコード	13093

考えられる原因

たとえば、UNION などの集合操作や COALESCE などの SQL 関数で、これらの 2 つのタイプは結合できません。

タイプ '%1' には '%2' というメソッドはありません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02

パラメーター 1	一致しないメソッドを持つタイプの名前。
パラメーター 2	一致しなかったメソッドの名前。
パラメーター 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1336
SQLSTATE	42X01
Sybase エラーコード	13220

考えられる原因

メソッド呼び出しと一致させようとしているときに、適切な名前のメソッドが見つかりませんでした。スペルが間違っていないかチェックしてください。

タイプ '%1' のミラーサーバーはすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_TYPE_ALREADY_DEFINED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サーバータイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1352
SQLSTATE	WW155
Sybase エラーコード	13205

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER 文で、すでに定義されているサーバータイプが指定されました。

タイプ '%1' は、%2 引数でインスタンス化することはできません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR_N_ARGS

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	インスタンス化できないタイプの名前。
パラメーター 2	指定された引数の数。
パラメーター 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1340
SQLSTATE	42X05
Sybase エラーコード	13216

考えられる原因

NEW 式が、コンストラクターメソッドが定義されていないデータ型に使用されました。

タイプ '%1' はインスタンス化可能ではありません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_CONSTRUCTOR
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	インスタンス化できないタイプの名前。
パラメーター 2	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1338
SQLSTATE	42X03
Sybase エラーコード	13218

考えられる原因

NEW 式が、コンストラクターメソッドが定義されていないデータ型に使用されました。

タイプ '%1' はメソッド呼び出しをサポートしていません ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_ON_NON_EXT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	データ型の名前。
パラメーター 2	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1335
SQLSTATE	42X00
Sybase エラーコード	13221

考えられる原因

メソッドが定義されていないデータ型の値に対してメソッドを呼び出そうとしました。

タイプ '%2' のプロシージャーサブタイプ '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_SUBTYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーのサブタイプ。
パラメーター 2	プロシージャーのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-987
SQLSTATE	WW056
Sybase エラーコード	13502

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

関数またはプロシージャーがそのプロシージャータイプに無効のサブタイプを使って指定されました。

タイプ COPY で定義されたミラーサーバー "%1" には、親定義は含まれていません。

エラー定数	SQLE_COPY_SERVER_NEEDS_PARENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーサーバー名。
重大度	16
SQLCODE	-1505
SQLSTATE	42WE6
Sybase エラーコード	13135

考えられる原因

タイプが COPY であるサーバーに対する CREATE MIRROR SERVER 文で、親サーバーが定義されていません。

その他の情報

- 「CREATE MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「子コピーノードを追加する方法」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

タイプ COPY のミラーサーバーが、ライセンスが付与された最大数を超えました。

エラー定数	SQLE_MIRROR_COPY_SERVER_LIMIT_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1383

SQLSTATE	WW160
Sybase エラーコード	13185

考えられる原因

定義可能なタイプ COPY のミラーサーバーの最大数は、データベースサーバーのライセンスによって制限されています。タイプ COPY のミラーサーバーがすでに許可されている最大数存在しているにもかかわらず、新しく作成しようとしました。

タイムアウトするまでに、キュー '%1' で通知がありませんでした

エラー定数	SQLE_EVENT_NOTIFICATION_QUEUE_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	イベント通知キューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1266
SQLSTATE	WE017
Sybase エラーコード	13244

考えられる原因

保留中の通知取得操作がタイムアウトしました。指定されたタイムアウトが経過する前に通知が届きませんでした。

その他の情報

- Ultra Light：「ML_GET_SERVER_NOTIFICATION 関数 [システム]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

タイムアウトになったため、要求が中断されました。

エラー定数	SQLE_REQUEST_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1043
SQLSTATE	57W01
Sybase エラーコード	13468

考えられる原因

現在の要求は、データベースオプション request_timeout の値よりも長く実行されたので、実行中にキャンセルされました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

ダウンロードをリトライできません。アップロードが完了していません

エラー定数	SQLE_DOWNLOAD_RESTART_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1102
SQLSTATE	WW074
Sybase エラーコード	13412

考えられる原因

Mobile Link サーバーでダウンロードを再開できませんでした。Mobile Link サーバーで完全なアップロードストリームが受信されていません。

その他の情報

- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバー管理』

多角形が無効です：外部リングがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NO_EXT

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1449
SQLSTATE	2FW42
Sybase エラーコード	13123

考えられる原因

指定された多角形は、外部リングを持たないため無効です。

多角形が無効です：外部リングが複数あります。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_MULT_EXT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1451
SQLSTATE	2FW44
Sybase エラーコード	13121

考えられる原因

複数の外部リングが存在し、それらのリングによって単一の有効な多角形が作成されません。

多角形のネストが無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NESTING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-1450
SQLSTATE	2FW43
Sybase エラーコード	13122

考えられる原因

指定されたリングは、有効な多角形として解釈できません。

多角形のフォーマット '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_ORD
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な多角形フォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1448
SQLSTATE	2FW41
Sybase エラーコード	13124

考えられる原因

指定された多角形フォーマットは、有効なフォーマットではありません。

多角形のリングの順序が再設定されました。

エラー定数	SQLE_SLWARN_POLYGON_RING_REORIENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1490
SQLSTATE	01FW1

Sybase エラーコード	13082

考えられる原因

多角形のリングが、入力時に自動的に再方向付けされました。これは単なる通知です。

単語の長さが許容範囲を超えています。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_TERM_LENGTH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1162
SQLSTATE	WT007
Sybase エラーコード	13351

考えられる原因

単語の最小長と最大長はどちらも、0 より大きく、かつ 60 以下にしてください。

チェックサムがこのデータベースで有効にされていません。

エラー定数	SQLE_CHECKSUMS_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-971
SQLSTATE	WW042
Sybase エラーコード	13517

考えられる原因

チェックサムが有効でないデータベースで、チェックサム検証を実行しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重複キーカラム (%1)

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_KEY_COLUMN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	重複するカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1085
SQLSTATE	42WC0
Sybase エラーコード	13429

考えられる原因

プライマリキー、外部キー、または一意性制約のキー、またはインデックスに対するカラムのリストで重複するカラム名を指定しました。

地理空間参照系に楕円パラメーターがありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_NOELLIPSOID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1465
SQLSTATE	2FW58
Sybase エラーコード	13107

考えられる原因

地理空間参照系を作成する場合は、楕円パラメーターを DEFINITION 句で指定するか、または明示的に指定する必要があります。これらのパラメーターは、ポイント間の距離を計算するために使用されます。

通信エラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_COMMUNICATIONS_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
重大度	21
SQLCODE	-85
SQLSTATE	08W12
Sybase エラーコード	1602

考えられる原因

アプリケーションとサーバー間の通信に問題があります。

その他の情報

- 「通信プロトコル」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ネットワーク通信のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

通信環境を作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CREATE_STREAMS_ENV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-740
SQLSTATE	WW024
Sybase エラーコード	13753

考えられる原因

通信環境を作成できませんでした。環境を作成するためのリソースが不足しているか、言語リソースファイルが見つかりません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

定義文字列 '%1' の解析エラーです。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_BADWKT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	座標系の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1463
SQLSTATE	2FW56
Sybase エラーコード	13109

考えられる原因

指定された定義文字列は、その座標系の有効な既知のテキストではありません。

ディスク書き込みの失敗 '%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DISK_WRITE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	書き込めなかったファイルの名前。
重大度	21
SQLCODE	-303
SQLSTATE	40W05
Sybase エラーコード	13868

考えられる原因

ディスクへの書き込みに失敗しました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ディレクトリ %1 を作成できません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CREATE_DIRECTORY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	作成できなかったディレクトリのファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1610
SQLSTATE	08WB6
Sybase エラーコード	12496

考えられる原因

ディレクトリの作成要求に失敗しました。

データのフォーマットが認識できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UNKOWNN_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1434
SQLSTATE	2FW27
Sybase エラーコード	13138

考えられる原因

指定された文字列のフォーマットは、ジオメトリを解析する場合には認識できません。

データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、CHAR 照合または適合化がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_CHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1140
SQLSTATE	WC015
Sybase エラーコード	13373

考えられる原因

指定した CHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース "%1" を開始できません。このプラットフォームでは、NCHAR 照合または適合化がサポートされていません。

エラー定数	SQLE_NCHAR_COLLATION_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベース名。
重大度	16
SQLCODE	-1141
SQLSTATE	WC016
Sybase エラーコード	13372

考えられる原因

指定した NCHAR 照合は、現在のプラットフォームではサポートされていません。

データベース "%1" をリカバリする必要があります。

エラー定数	SQLE_DATABASE_NEEDS_RECOVERY
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リカバリが必要なデータベースのファイル名。
重大度	21
SQLCODE	-665
SQLSTATE	08W41
Sybase エラーコード	13709

考えられる原因

データベースは最後に使用されたときに異常終了しました。データベースリカバリを実行しなければなりません。

データベース %1 を起動できません。監査が有効な場合は、読み込み専用モードを使用できません。

エラー定数	SQLE_AUDITING_DB_READ_ONLY
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1063
SQLSTATE	08W93
Sybase エラーコード	840

考えられる原因

指定したデータベースは監査が有効になっているので、読み込み専用で起動できません。

データベース '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_DATABASE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定されたデータベースの名前またはデフォルトのデータベース名。
重大度	16
SQLCODE	-954
SQLSTATE	WW034
Sybase エラーコード	13534

考えられる原因

指定されたデータベースが見つかりませんでした。接続文字列で、目的のデータベースを正しく指定してください。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースへの接続」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース '%1' に対して指定したファイルシステムボリュームが見つかりません

エラー定数	SQLE_FILE_VOLUME_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1112
SQLSTATE	WW082
Sybase エラーコード	13402

考えられる原因

データベースファイル名で指定したファイルシステムボリュームが見つかりませんでした。ボリューム名または序数を確認してください。

データベース '%1' の暗号化に失敗しました

エラー定数	SQLE_ENCRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	暗号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1243
SQLSTATE	WW118
Sybase エラーコード	13271

考えられる原因

データベースファイルの暗号化に失敗しました。

データベース '%1' の削除に失敗しました。

エラー定数	SQLE_DROP_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	削除できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-651
SQLSTATE	WW017
Sybase エラーコード	13705

考えられる原因

データベースファイルの削除に失敗しました。実行中のデータベースを削除しようとしました。エラーが発生する前に、データベースの一部が削除されました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere :「データベースの消去」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere :「DROP DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere :「消去ユーティリティ (dberase)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light :「Ultra Light ユーティリティ消去 (ulerase)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース '%1' の復号化に失敗しました

エラー定数	SQLE_DECRYPT_DATABASE_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	復号化できなかったデータベースの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1244
SQLSTATE	WW119
Sybase エラーコード	13270

考えられる原因

データベースファイルの復号化に失敗しました。

データベースが起動できません -- %1

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	データベースが起動できなかった理由。
重大度	11
SQLCODE	-105
SQLSTATE	08001
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

指定したデータベースが起動できません。そのデータベースが存在しない、データベースではない、破壊されている、またはサポートされていない古いフォーマットであるなどの原因が考えられます。

データベースが作成されました

エラー定数	SQLE_DATABASE_CREATED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	136
SQLSTATE	WW061
Sybase エラーコード	13494

考えられる原因

接続が開いたときに指定したスキーマを使用して、指定した Ultra Light データベースが作成されました。

データベースサーバーが dbmlsync サーバーのシャットダウンに失敗しました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SHUTDOWN_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1378
SQLSTATE	5RW48
Sybase エラーコード	13194

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文を処理するために新しい dbmlsync サーバーがデータベースサーバーによって起動されましたが、そのプロセスをシャットダウンしようとしているときにエラーが発生しました。

データベースサーバー外の関数呼び出しはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_EXTERNAL_CALLS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-617
SQLSTATE	WW003
Sybase エラーコード	13674

考えられる原因

動的にロードされたモジュールに含まれる関数を呼び出すストアドプロシージャーを呼び出そうとしました。ストアドプロシージャーを呼び出したオペレーティングシステムでは、このような動作はサポートされていません。

データベースサーバーが見つかりません。

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_RUNNING
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-100
SQLSTATE	08W01
Sybase エラーコード	7950

考えられる原因

データベースサーバーが実行されていないか、起動または停止の途中であるか、インターフェイスライブラリでデータベースサーバーを見つけることができません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「接続のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng12)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_ERROR
ODBC 2 ステータス	08S01
ODBC 3 ステータス	08S01
パラメーター 1	要求された文字セットの名前。
重大度	21
SQLCODE	-869
SQLSTATE	08W64
Sybase エラーコード	13873

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベースサーバーで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は失敗します。

データベースサーバーで文字セット '%1' 間とのデータ変換を実行できません。変換が正しくない可能性があります。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARACTER_SET_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	要求された文字セットの名前。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	10
SQLCODE	115
SQLSTATE	01W13
Sybase エラーコード	13614

考えられる原因

アプリケーションによって要求された文字セットがサポートされていないので、データベースサーバーで、要求された文字セットとの間で文字データを変換できません。接続は成功しますが、すべての文字が正確に変換されない可能性があります。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

データベースサーバーに接続できる限界数を超えています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-102
SQLSTATE	08W03
Sybase エラーコード	1601

考えられる原因

サーバーに接続できるコンピューター数を超えてしまいました。ネットワークデータベースサーバーを実行している場合は、制限数がライセンス契約に指定されています。サーバーは少量のキャッシュを使用して実行されているため、これ以上のデータベース接続を受け入れることができません。パーソナルデータベースサーバーの接続は、10 に制限されています。

その他の情報

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エディションとライセンス」『SQL Anywhere 12 紹介』

データベースサーバーのコマンドラインが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COMMAND_LINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18
SQLCODE	-81
SQLSTATE	08W08
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

コマンドラインが無効だったため、データベースサーバーを起動できませんでした。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

データベースサーバーはすでに起動しています。

エラー定数	SQLE_ENGINE_ALREADY_RUNNING
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	HY000
重大度	18
SQLCODE	-96
SQLSTATE	08W23
Sybase エラーコード	7950

考えられる原因

同じ名前のサーバーがすでに実行されているためデータベースサーバーを起動できませんでした。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「接続のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng12)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースサーバーはマルチユーザーモードで実行していません。

エラー定数	SQLE_ENGINE_NOT_MULTIUSER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-89
SQLSTATE	08W16
Sybase エラーコード	7203

考えられる原因

データベースサーバーはバルクロード (-b オプション) 用に起動されており、ネットワークサーバーとしては使用できません。データベースサーバーを停止して、-b スイッチなしで再起動してください。

その他の情報

- 「-b dbeng12/dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

データベースサーバー名 '%1' に、プライマリまたはミラーサーバーと同じ名前を指定することはできません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_NAME_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サーバー名。
重大度	16

SQLCODE	-1381
SQLSTATE	WW159
Sybase エラーコード	13187

考えられる原因

タイプ PRIMARY または MIRROR を使用して定義されたミラーサーバーは、実際のサーバー名と同じ名前にすることはできません。

その他の情報

- 「CREATE MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- AlternateServerName データベースプロパティ『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

データベースサーバーを起動することができません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-80
SQLSTATE	08W07
Sybase エラーコード	708

考えられる原因

データベースサーバーを起動できませんでした。データベースサーバーの実行に十分なメモリがありません。実行プログラムが見つからなかった可能性もあります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「接続のトラブルシューティング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light エンジンユーティリティ (uleng12)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

データベースサーバーを起動することができません。サーバーに致命的なエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_FATAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1033
SQLSTATE	08W89
Sybase エラーコード	13478

考えられる原因

致命的なエラーまたはアサーションエラーが発生したため、データベースサーバーの起動に失敗しました。詳細については、Windows のイベントログまたは UNIX のシステムログを参照するか、データベースサーバーを手動で起動してください。

データベースサーバーを起動できません：ライセンスファイルがありません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_START_ENGINE_MISSING_LICENSE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	17
SQLCODE	-1179
SQLSTATE	08WA2
Sybase エラーコード	708

考えられる原因

サーバーライセンスファイルが見つからなかったため、データベースサーバーを起動できませんでした。サーバーライセンスファイルはサーバー実行プログラムと同じ名前で拡張子 ".lic" が付いています。

その他の情報

たとえば、データベースサーバーが *myserver.exe* という名前の実行ファイルであるときは、サーバーは実行ファイルと同じディレクトリにある *myserver.lic* というライセンスファイルを参照します。

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「SQL Anywhere のファイル検索方法」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「データベースサーバーの配備」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

データベースサーバーを停止できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_STOP_SERVER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-607
SQLSTATE	WW002
Sybase エラーコード	13673

考えられる原因

サーバーが、現時点ではサーバー自身を停止できないと決定しました。通常は、このエラーは発生しません。

データベースストア DLL (%1) のバージョンが不正です。

エラー定数	SQLE_STORE_VERSION_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	データベースストア DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-711
SQLSTATE	08W47

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13701

考えられる原因

データベースストア DLL とサーバー DLL のバージョンが一致しません。

データベースに接続されていません。

エラー定数	SQLE_NOT_CONNECTED
ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
重大度	16
SQLCODE	-101
SQLSTATE	08003
Sybase エラーコード	13622

考えられる原因

データベースに接続していません。または、DISCONNECT 文を実行した後、データベースに再接続していません。

データベースに接続できません。

エラー定数	SQLE_CONNECTIONS_DISABLED
ODBC 2 ステータス	08005
ODBC 3 ステータス	08005
重大度	16
SQLCODE	-99
SQLSTATE	08W04
Sybase エラーコード	4224

考えられる原因

ネットワークデータベースサーバーへの接続が無効になりました。接続が有効になるまで、このエラーメッセージが表示されます。

データベースのアップグレードができません。

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_NOT_POSSIBLE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-673
SQLSTATE	08W43
Sybase エラーコード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。データベースが古すぎるためアップグレードできません。

データベースのアップグレードができません。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

エラー定数	SQLE_DBO_DOES_NOT_OWN_ROWGENERATOR
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-826
SQLSTATE	08W57
Sybase エラーコード	13832

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

データベースのアップグレードができません。ユーザーテーブルに、システムテーブル範囲のテーブル ID が設定されています。

エラー定数	SQLE_USER_TABLES_IN_SYSTEM_RANGE
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	21
SQLCODE	-827
SQLSTATE	08W58
Sybase エラーコード	13833

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。ユーザー dbo は RowGenerator テーブルの所有者ではありません。

データベースのアップグレードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_UPGRADE_FAILED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	20
SQLCODE	-672
SQLSTATE	08W42
Sybase エラーコード	3451

考えられる原因

データベースをアップグレードしようとしましたが、失敗しました。これは、システムテーブル変更の定義に使用する SQL スクリプトファイルのいずれかを見つけられなかったために起こります。

データベースの起動／停止の要求は拒否されました。

エラー定数	SQLE_START_STOP_DATABASE_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-75
SQLSTATE	08W29
Sybase エラーコード	6004

考えられる原因

データベースを起動また停止するパーミッションがありません。必要なパーミッションはサーバーコマンドラインで決定されます。

その他の情報

- 「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「-gd dbeng12/dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「-gk dbeng12/dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- StartDBPermission サーバープロパティ『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

データベースの作成に失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_DATABASE_NOT_CREATED
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメーター 1	データベースが作成されなかった理由。
重大度	14
SQLCODE	-645
SQLSTATE	08W33
Sybase エラーコード	928

考えられる原因

データベースファイルの初期化に失敗しました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「SQL Anywhere データベースの作成」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースの制約が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_CONSTRAINTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-936
SQLSTATE	54W02
Sybase エラーコード	13551

考えられる原因

対応するシステムテーブルがいっぱいであるため、新しい制約を作成できませんでした。データベースを再ロードすると、未使用の領域が解放されます。

データベースの内部エラー %1 -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーの ID。
重大度	18
SQLCODE	-301
SQLSTATE	40W01

Sybase エラーコード	13665

考えられる原因

内部データベースエラーが発生しました。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「ROLLBACK 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ROLLBACK 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベースのバックアップを起動できません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-241
SQLSTATE	WB002
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

データベースのバックアップを開始できませんでした。バックアップがすでに実行中であるか、必要な権限 (BACKUP、DBA、または REMOTE DBA) がありません。

データベースのページサイズが大きすぎます：%1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_BIG
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメーター 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-97

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	08W22
Sybase エラーコード	927

考えられる原因

実行中のサーバーの最大ページサイズを超えるページサイズのデータベースを起動しようとしました。コマンドラインからこのデータベースを指定するか、必要なページサイズで、サーバーを再起動してください。

データベースのページサイズが小さすぎます : %1

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_TOO_SMALL
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメーター 1	データベース名。
重大度	14
SQLCODE	-972
SQLSTATE	54W03
Sybase エラーコード	13516

考えられる原因

ロードしようとした統計情報が、現在のデータベースのページサイズに対して大きすぎました。ページサイズを大きくしてこのデータベースを再構築すると、このエラーを防ぐことができます。

データベースのユーザーが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_USERS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1104

SQLSTATE	54W10
Sybase エラーコード	13410

考えられる原因

データベースへのアクセスが許可されているユーザーの最大数を超えました。単一の Ultra Light データベースへのアクセスが許可されているユーザーの最大数は 4 です。

データベースはアクティブです。

エラー定数	SQLE_DATABASE_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-664
SQLSTATE	08W40
Sybase エラーコード	13708

考えられる原因

実行しようとした操作 (CREATE ENCRYPTED、CREATE DECRYPTED、ALTER DATABASE) は、データベースの実行中には行うことができません。データベースを停止すると、操作を行うことができます。

データベースファイルが削除できません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_DELETE_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-243
SQLSTATE	WB004
Sybase エラーコード	13660

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベースファイルを削除しようとしましたが、削除できませんでした。現在使用中のデータベースファイルと同名のファイルを指定しないでください。

データベースファイルが指定されていません。

エラー定数	SQLE_NO_DATABASE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	11
SQLCODE	-72
SQLSTATE	08W39
Sybase エラーコード	4001

考えられる原因

データベースサーバーは起動しましたが、データベースファイルが指定されていません。サーバーは停止しました。

その他の情報

- 「データベースの開始と停止」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「START DATABASE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

データベースページの検証は次のコードで失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_DATABASE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23
SQLCODE	-1186
SQLSTATE	WI003
Sybase エラーコード	13329

考えられる原因

Ultra Light データベース検証が、データベースページの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

その他の情報

- 「Ultra Light データベースの検証」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

データベース名 'utility_db' はユーティリティデータベース用に予約されています。

エラー定数	SQLE_DB_ALIAS_RESERVED_UTILDB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-985
SQLSTATE	08W20
Sybase エラーコード	13504

考えられる原因

"utility_db" という名前のデータベースを起動しようとしています。この名前は、ユーティリティデータベースのために予約されています。

データベース名がユニークではありません。

エラー定数	SQLE_ALIAS_CLASH
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-77
SQLSTATE	08W27
Sybase エラーコード	1801

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

先に起動したデータベースと名前が競合するため、データベースを起動できませんでした。

データベースを起動中に外部環境を起動することはできません。

エラー定数	SQLE_EXTENV_START_ON_STARTUP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1557
SQLSTATE	WP018
Sybase エラーコード	12548

考えられる原因

データベースが起動中であったため、外部環境を起動できませんでした。データベースの起動が完了するまで待機してから、外部環境を起動してください。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

テーブル "%1" のカーソルを閉じることができません。LOAD TABLE は実行できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_LOAD_TEMP_WITH_CURSOR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1155
SQLSTATE	WL011

Sybase エラーコード	13358

考えられる原因

オープンカーソルがあるテンポラリテーブルで LOAD TABLE を実行することはできません。カーソルを閉じようとしましたが、失敗しました。失敗した LOAD TABLE によって、テンポラリテーブル内のすべてのローが削除され、そのためにカーソルが無効になります。

テーブル %1、インデックス %2 のインデックスの検証は次のコードで失敗しました：%3

エラー定数	SQLE_CORRUPT_ULTRALITE_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
パラメーター 2	インデックスの名前。
パラメーター 3	見つかった破損の具体的な種類。
重大度	23
SQLCODE	-1185
SQLSTATE	WI002
Sybase エラーコード	13330

考えられる原因

Ultra Light データベース検証が、指定されたインデックスの検証中に失敗しました。コードによって、検証の失敗に関するより具体的な情報がわかります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「VALIDATE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「sa_validate システムプロシージャー」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「データベースの検証」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「検証ユーティリティ (dbvalid)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースの検証」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light データベース検証ユーティリティ (ulvalid)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-141
SQLSTATE	42W33
Sybase エラーコード	2706

考えられる原因

テーブルの名前のスペルを間違えたか、テーブル名を所有者名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「データベースオブジェクトの名前とプレフィクス」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「グループが所有するテーブルの参照」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「FROM 句」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「FROM 句 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' から定義されているよりも多いカラムを削除しようとしています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	カラムが削除できなかったテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-124
SQLSTATE	42W44

Sybase エラーコード	207

考えられる原因

テーブル内のカラム数が 1 未満になることはありません。ALTER TABLE には、カラム削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のテーブル内のカラム数よりも多く存在します。

テーブル '%1' 内のローのプライマリキーがテーブル '%3' 内の外部キー '%2' によって参照されています。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_VALUE_REF
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	修正されているローを含むテーブルの名前。
パラメーター 2	参照元テーブルの外部インデックス (またはロール) の名前。
パラメーター 3	プライマリローを参照する外部テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-198
SQLSTATE	23W05
Sybase エラーコード	547

考えられる原因

ローを削除または修正しようとしましたが、そのローのプライマリキー値がデータベースのどこかで参照されています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「DELETE によるデータの削除」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「DELETE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「外部キーによる参照整合性の確保」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「DELETE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' に、MERGE 文の ANSI カーディナリティ違反があります

エラー定数	SQLE_MERGE_CARDINALITY_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	更新するテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1211
SQLSTATE	23509
Sybase エラーコード	13304

考えられる原因

MERGE 文を実行しようとしていて、かつ同じローが複数回 WHEN MATCHED 句のターゲットになっています。

テーブル '%1' に指定されたヒントが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_HINT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ヒントが指定されたテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-970
SQLSTATE	42U07
Sybase エラーコード	13520

考えられる原因

現在の文で指定されたヒントが、このコンテキストでは無効です。1 つの文の中では、テーブルへのすべての参照は同じヒントを指定するか、ヒントをまったく指定しないでください。

テーブル '%1' には、ROWID 関数への無効な参照が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_ROWID_PLACEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な参照があるテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1115
SQLSTATE	42WC1
Sybase エラーコード	13399

考えられる原因

計算カラム式または CHECK 制約内では ROWID 関数を使用できません。

テーブル '%1' にはカラムがありません

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_NO_COLUMNS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1273
SQLSTATE	0EW00
Sybase エラーコード	13891

考えられる原因

カラムなしのテーブルを作成しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' には空間カラム '%2' は含まれていますが、プライマリキーはありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_UPDDEL_NO_PK
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	空間カラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1452
SQLSTATE	2FW45
Sybase エラーコード	13120

考えられる原因

UPDATE 文または DELETE 文は、テーブルにプライマリキーが定義されている場合を除き、空間カラムを含むテーブルに対しては実行できません。

テーブル '%1' には参照動作の外部キーが含まれています。

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_REFACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	参照動作を伴うテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-677
SQLSTATE	56001
Sybase エラーコード	547

考えられる原因

テーブル名の変更ができませんでした。テーブルには参照動作の外部キーが含まれています。テーブル名を変更するには、外部キー制約を削除してください。

テーブル '%1' にはプライマリキーが定義されていません。

エラー定数	SQLE_NO_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	プライマリキーを持たないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-118
SQLSTATE	55008
Sybase エラーコード	1719

考えられる原因

この操作を実行するには、参照テーブルにプライマリキーが必要です。たとえば、プライマリキーがないテーブルを参照しながら外部キーを追加したり、INSERT 文の ON EXISTING 句を使用したりした可能性があります。参照テーブルにプライマリキーを追加する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light のテーブルの作成」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light でのプライマリキーの一意性」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' にはユニークな相関名が必要です。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_NEEDED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ユニークな相関名が必要なテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-137
SQLSTATE	52W15
Sybase エラーコード	315

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

テーブルをそれ自身にジョインするジョインを指定しました。1 つのテーブルを複数回使用する場合は、ユニークな相関名が必要となります。

テーブル '%1' の DB 領域が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DBSPACE_FOR_TABLE_UNAVAILABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	DB 領域が見つからなかったテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-821
SQLSTATE	52W19
Sybase エラーコード	13827

考えられる原因

データベースサーバーが見つけることができない DB 領域のテーブルにアクセスしようとしました。ALTER DBSPACE 文を使用して、その DB 領域に関連するファイル名を変更することが必要な場合があります。

テーブル '%1' の MERGE 文は失敗しました。文で RAISERROR が指定されています

エラー定数	SQLE_MERGE_USER_SPECIFIED_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	マージ先のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1254
SQLSTATE	23510
Sybase エラーコード	13259

考えられる原因

1 つ以上のマージ操作分岐で RAISERROR 句を含む MERGE 文を実行しようとしていて、かつ入力ローのいずれかがこれらの分岐のいずれかの条件を満たしています。

テーブル '%1' のカラム情報にアクセスできませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_COLUMNS_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-667
SQLSTATE	WO008
Sybase エラーコード	11207

考えられる原因

テーブルのカラム情報にアクセスできませんでした。テーブルのパーミッションをチェックしてください。

テーブル '%1' の最大ローサイズを超過します。

エラー定数	SQLE_MAX_ROW_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1132
SQLSTATE	WW089
Sybase エラーコード	13381

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

最大ローサイズが 64 KB よりも大きいテーブルを作成または変更しようとしました。Ultra Light では、最大ローサイズ (各カラムの格納に必要なバイト数の合計) が 64 KB 未満になるようにテーブルを定義する必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere :「SQL Anywhere のサイズと数の制限」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light :「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light :「Ultra Light のテーブルとカラム」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light J :「Ultra Light および Ultra Light Java Edition データベースの制限事項」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' のすべて NULL のローを更新または削除できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_NULL_ROW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	修正できないテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-734
SQLSTATE	09W08
Sybase エラーコード	13750

考えられる原因

指定したテーブル内のローを修正または削除しようとしました。そのローは、外部ジョインの NULL 入力テーブルの一部です。しかし、1 つ以上の ON 条件で評価が TRUE とならなかったために、このテーブルですべてが NULL のローが生成されました。現在カーソルはそのローに位置しています。UPDATE 文または DELETE 文が正しいことを確認してください。

テーブル '%1' のトリガーまたは外部キーは有効でなくなりました。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NO_LONGER_VALID

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-837
SQLSTATE	42W64
Sybase エラーコード	13843

考えられる原因

トリガー定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。外部キーの参照動作を施行するには、システム生成トリガーを使用できます。

テーブル '%1' のプライマリキーがユニークではありません : プライマリキー値 ('%2')

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	問題が検出されたテーブルの名前。
パラメーター 2	エラーの原因となった、重複したプライマリキー値。
重大度	14
SQLCODE	-193
SQLSTATE	23W01
Sybase エラーコード	2601

考えられる原因

新しいローをテーブルに追加しようとしましたが、新しいローが既存のローと同じプライマリキー値を使っています。データベースは追加を行っていません。たとえば、学生番号 86004 の学生を追加しようとした場合で、すでに同じ番号の学生がいたときに起こります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「プライマリキー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' のローが、BEFORE トリガーで修正または削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_REMODIFIED_OR_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-833
SQLSTATE	42W62
Sybase エラーコード	13839

考えられる原因

BEFORE トリガーがローを更新または削除したためにトリガーが起動して、元のオペレーションを完了できませんでした。UPDATE 文または DELETE 文によってローが変更されないようにトリガーを書き直してください。

テーブル '%1' は外部ジョイン循環です。

エラー定数	SQLE_OUTER_JOIN_CYCLE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	循環されるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-136

SQLSTATE	52W14
Sybase エラーコード	315

考えられる原因

テーブルの循環を引き起こす外部ジョインを指定しました。

テーブル '%1' はすでにインクルードされています。

エラー定数	SQLE_TABLE_ALREADY_INCLUDED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-822
SQLSTATE	5RW36
Sybase エラーコード	13828

考えられる原因

パブリケーションまたは同期の定義を追加または更新しようとして、同じテーブルを 2 回含めました。

その他の情報

- SQL Anywhere:「CREATE PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere :「ALTER PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light :「CREATE PUBLICATION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light :「ALTER PUBLICATION 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' は同期サブスクリプションの一部であり、同期スキーマ変更内でしか変更できません。

エラー定数	SQLE_SYNC_CONTAINS_TABLE

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-819
SQLSTATE	5RW35
Sybase エラーコード	13825

考えられる原因

同期サブスクリプションに属するテーブルは変更できません。ただし、同期スキーマ変更内で変更する場合、および dbmlsync を使用して変更する場合を除きます。

テーブル '%1' はパブリケーションを持っています。

エラー定数	SQLE_TABLE_HAS_PUBLICATIONS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	パブリケーションを持つテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-281
SQLSTATE	5RW02
Sybase エラーコード	13643

考えられる原因

パブリケーションが定義されているテーブルを削除しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「テーブルの削除」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light テーブルの削除」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%1' を参照する即時ビューを作成するには、テーブルを所有している必要があります。

エラー定数	SQLE_NO_PERMS_FOR_IMV
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1270
SQLSTATE	42WD3
Sybase エラーコード	13754

考えられる原因

マテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしていて、かつ所有していないテーブルがビューによって参照されています。この操作を実行するには、マテリアライズドビューによって参照されているすべてのテーブルを所有しているか、DBA 権限を持っている必要があります。

テーブル '%1' をパブリケーション '%2' に含めるには同期する必要があります。

エラー定数	SQLE_TABLE_MUST_SYNCHRONIZE_IN_PUB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
パラメーター 2	パブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1328
SQLSTATE	WW143
Sybase エラーコード	13228

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

パブリケーションには、SYNCHRONIZE OFF 制約を持つテーブルを含めることはできません。パブリケーション内のすべてのテーブルを同期してください。SYNCHRONIZE OFF 制約を持つテーブルをパブリケーションに追加しようとしたか、またはパブリケーションにすでに存在する、SYNCHRONIZE OFF が設定されたテーブルを変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' にカラム '%1' がありません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_NOT_FOUND_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S22
パラメーター 1	見つからなかったカラムの名前。
パラメーター 2	カラムを含んでいると予想されたテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-834
SQLSTATE	52005
Sybase エラーコード	13840

考えられる原因

カラム名のスペルを間違えたか、探しているカラムは別のテーブルにあります。

テーブル '%2' に対するインデックス '%1' を見つけることができません。

エラー定数	SQLE_NOT_FOUND_IN_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なインデックスの名前。

パラメーター 2	無効なインデックスを持つテーブルの名前。
重大度	11
SQLCODE	-189
SQLSTATE	WI005
Sybase エラーコード	2727

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーを再現できた場合は、Sybase に連絡してください。このインデックスを削除して再作成すれば、操作を続行できます。

テーブル '%2' のインデックス '%1' はユニークでなければなりません。

エラー定数	SQLE_INDEX_NOT_UNIQUE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	ユニークにならないインデックスの名前。
パラメーター 2	そのインデックスがあるテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-196
SQLSTATE	23505
Sybase エラーコード	548

考えられる原因

挿入または更新しようとしたローと同じ値を持つローがカラム中に存在し、そのカラムには、複数のローが同じ値を持つことができない制約があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「CREATE INDEX 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%2' の外部キー '%1' に対応するプライマリキーの値がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	外部キーの名前。
パラメーター 2	外部キーを持つテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-194
SQLSTATE	23503
Sybase エラーコード	546

考えられる原因

他のテーブルの外部キーがあるローに挿入または更新をしようとしました。外部キーの値は NULL ではなく、プライマリキーには対応する値がありません。

その他の情報

- SQL Anywhere：「INSERT 文の整合性検査」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「INSERT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「INSERT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' の外部キー '%1' は、既存の外部キーと重複しています。

エラー定数	SQLE_DUPLICATE_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	新しい外部キーの役割名。
パラメーター 2	外部キーを持つテーブル。

重大度	16
SQLCODE	-251
SQLSTATE	52W06
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

すでに存在する外部キーを定義しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「外部キー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブル '%2' のカラム '%1' の値が変更されています。

エラー定数	SQLE_COLUMN_VALUE_CHANGED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	変更された値を含むカラムの名前。
パラメーター 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	10
SQLCODE	106
SQLSTATE	01W06
Sybase エラーコード	532

考えられる原因

レプリケートされた UPDATE によって、更新されたカラムの値がオリジナルの UPDATE を実行したときの値と一致しないことが検出されました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメーター 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-195
SQLSTATE	23502
Sybase エラーコード	233

考えられる原因

値が必要な場所にその値が指定されていません。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を NULL にすることはできません。データファイルの行 %3 で LOAD TABLE に無効なデータが指定されました。

エラー定数	SQLE_COLUMN_CANNOT_BE_NULL_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	23000
ODBC 3 ステータス	23000
パラメーター 1	NULL であってはならないカラムの名前。
パラメーター 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
パラメーター 3	無効なデータが含まれているデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-184

SQLSTATE	23501
Sybase エラーコード	13885

考えられる原因

値が必要な場合に値を指定しなかったか、データ変換が必要だったため、NULL 値になりました。カラム定義で NULL 値が禁止されているか、カラムは NOT NULL 外部キーの一部です。

テーブル '%2' のカラム '%1' を変更できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_MODIFY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	変更できなかったカラムの名前。
パラメーター 2	そのカラムを含むテーブルの名前。
重大度	14
SQLCODE	-191
SQLSTATE	42W32
Sybase エラーコード	230

考えられる原因

修正するパーミッションがないカラムを修正しようとしました。ビュー内で式 (たとえば column1 + column2) として定義されているカラムを修正しようとしました。

テーブル '%2' のテキストインデックス '%1' を作成するときにエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_CREATION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テキストインデックスの名前。
パラメーター 2	テーブルの名前。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1165
SQLSTATE	WT010
Sybase エラーコード	13348

考えられる原因

テキストインデックスの作成中に内部エラーが発生しました。

テーブル仕様 '%1' が複数のリモートテーブルを指定しています。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTUNIQUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-726
SQLSTATE	WO020
Sybase エラーコード	11215

考えられる原因

指定したテーブル仕様に対して、リモートサーバー上で複数のテーブルが見つかりました。データベース名または所有者名を仕様に追加してください。

テーブルに 2 つのプライマリキーを定義することはできません。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_TWICE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

重大度	16
SQLCODE	-126
SQLSTATE	52W05
Sybase エラーコード	1923

考えられる原因

CREATE TABLE 文中で、プライマリキーを 2 度指定しました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「CREATE TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「CREATE TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブルにはすでにプライマリキーが定義されています。

エラー定数	SQLE_EXISTING_PRIMARY_KEY
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-112
SQLSTATE	55013
Sybase エラーコード	1923

考えられる原因

プライマリキーがすでに定義されたテーブルにプライマリキーを追加しようとしました。新しいキーを追加する前に、現在のキーを削除してください。

テーブルのカラム数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_TABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-616
SQLSTATE	52W20
Sybase エラーコード	1702

考えられる原因

CREATE TABLE または ALTER TABLE 文でテーブルにカラムを追加しようとしました。結果的にテーブル内に作成されたカラム数が現在のデータベースのページサイズの制限を超えています。

テーブルの再編成はすでにテーブル "%1" で実行中です

エラー定数	SQLE_REORG_ALREADY_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	54000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1229
SQLSTATE	54W51
Sybase エラーコード	13288

考えられる原因

このテーブルで実行されている REORGANIZE TABLE 文がすでに存在します。このような文は、1 つのテーブルに対して常に 1 つしか実行できません。

テーブルは空でなければなりません。

エラー定数	SQLE_TABLE_MUST_BE_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

SQLCODE	-116
SQLSTATE	55W02
Sybase エラーコード	4901

考えられる原因

テーブルを修正しようとしましたが、データベースサーバーは、そのテーブルにローがない場合だけ修正できます。

テーブルは使用されています。

エラー定数	SQLE_TABLE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-214
SQLSTATE	42W21
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

他のアクティブなユーザーが使用中のテーブルを変更または削除しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「テーブル変更」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「テーブルの削除」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- SQL Anywhere：「DROP TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light のカラム定義の変更」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light テーブルの削除」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「DROP TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

テーブルパラメーター化ファンクションはどのサーバータイプについても許可されません。

エラー定数	SQLE_TPF_NOT_ALLOWED_ACROSS_SERVERS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1578
SQLSTATE	WO009
Sybase エラーコード	12527

考えられる原因

クエリが full-passthrough モードで処理されていない場合は、どのサーバータイプであってもパラメーター化されたテーブル関数は許可されません。

テーブルまたはビュー '%1' に INSTEAD OF トリガーがあるため、操作に失敗しました。

エラー定数	SQLE_INSTEAD_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	INSTEAD OF トリガーのあるビューまたはテーブルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1126
SQLSTATE	42W3A
Sybase エラーコード	13387

考えられる原因

INSTEAD OF トリガーがターゲットのテーブルまたはビュー (別のビューにネストされている場合あり) で定義されているため成功することはない操作を実行しようとしました。

その他の情報

- 「CREATE VIEW 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER VIEW 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

テーブルまたはビュー '%1' はこの文では使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TABLE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1321
SQLSTATE	WW139
Sybase エラーコード	13235

考えられる原因

指定されたテーブルまたはビューは、この文で使用できません。たとえば、この文ではテンポラリテーブルやテンポラリビューを使用できない可能性があります。

テーブル名 '%1' はあいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TABLE_NAME
ODBC 2 ステータス	S0013
ODBC 3 ステータス	42S13
パラメーター 1	あいまいなテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-852
SQLSTATE	52W42
Sybase エラーコード	13856

考えられる原因

文がユニークでないテーブル名を参照しました。テーブル名には、はじめに所有者名を付けてください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テキストインデックス %1 は、テキストプロシージャー %2 では使用できません

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_INDEX_FOR_PROC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テキストインデックスの名前。
パラメーター 2	不正なインデックスが指定されたプロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1526
SQLSTATE	WT036
Sybase エラーコード	12579

考えられる原因

指定されたテキストプロシージャーはテキストインデックスでは使用できません。テキストプロシージャーの文字セットとアクセスするテキストインデックスの文字セットを対応させる必要があります。

テキストインデックス %1 を再表示する必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_MATCHING_INDEX_NOT_REFRESHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	再表示する必要があるテキストインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1253
SQLSTATE	WT019
Sybase エラーコード	13260

考えられる原因

クエリに一致するテキストインデックスがありますが、使用する前に再表示する必要があります。

テキストインデックスが含まれる外部ライブラリの使用をサポートするには、データベースのアップグレードが必要です。

エラー定数	SQLE_TEXT_EXT_UPGRADE_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1522
SQLSTATE	WT035
Sybase エラーコード	12582

考えられる原因

現在のデータベースには、事前フィルターおよび単語区切りの外部ライブラリ用のカタログサポートがありません。この機能を使用するには、データベースを最新版にアップグレードしてください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere サーバーのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』
- 「テキストインデックスの概念と参照」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「高度：外部単語区切りライブラリと事前フィルターライブラリ」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

テキストインデックスにより参照されているテキスト設定を変更または削除することはできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_ALTER_CONFIG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1168
SQLSTATE	WT012
Sybase エラーコード	13345

考えられる原因

移植されたテキストインデックスにより参照されているテキスト設定や、テキストプロシージャーにより現在使用されているテキスト設定を変更または削除することはできません。設定をコピーし、そのコピーを変更するか、テキストプロシージャーですべてのカーソルを閉じ、設定を使用するすべてのインデックスをトランケートします。

テキストインデックスの一部であるテーブルにはアクセスできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CANNOT_USE_TEXT_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1169
SQLSTATE	WT013
Sybase エラーコード	13344

考えられる原因

テキストインデックスの一部として作成されたテーブルを直接操作することはできません。

テキストクエリーには 300 語以上含めることはできません。

エラー定数	SQLE_TEXT_QUERY_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1370

SQLSTATE	WT022
Sybase エラーコード	13192

考えられる原因

テキストクエリには、300 以下の単語を使用してください。

テキストクエリで、NEAR 演算子の使用が無効です。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_NEAR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1207
SQLSTATE	WT016
Sybase エラーコード	13308

考えられる原因

NEAR 演算子への引数としては、単語、プレフィクス、および他の NEAR 演算子のみ許可されます。

テキストクエリパーサーエラー : %1

エラー定数	SQLE_TEXT_PARSER_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テキストクエリパーサーによって返されたエラーメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1164
SQLSTATE	WT009
Sybase エラーコード	13349

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

テキストクエリを解析できませんでした。

テキストクエリ文字列が定数ではないか、不明です。

エラー定数	SQLE_TEXT_QUERY_NOT_KNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1159
SQLSTATE	WT004
Sybase エラーコード	13354

考えられる原因

CONTAINS クエリへのクエリ文字列引数は、定数にするか、変数で NULL 以外の値にしてください。

テキスト設定 "%1" はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1161
SQLSTATE	WT006
Sybase エラーコード	13352

考えられる原因

指定されたテキスト設定名はすでに存在します。

テキスト設定 "%1"."%2" が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TEXT_CONFIG_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テキスト設定の作成者。
パラメーター 2	テキスト設定名。
重大度	16
SQLCODE	-1160
SQLSTATE	WT005
Sybase エラーコード	13353

考えられる原因

指定されたテキスト設定は存在しません。

テキスト設定 '%1' を作成できません。オプション '%2' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	設定の名前。
パラメーター 2	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1174
SQLSTATE	WT014
Sybase エラーコード	13339

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

テキスト設定のデータベースオプション設定を作成または変更する必要がある操作を実行しようとしましたが、オプションのいずれかが現在、テキスト設定に対して許可されていない値に設定されています。

テキスト設定を所有しているユーザーは削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TEXT_CONFIG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-1167
SQLSTATE	55W12
Sybase エラーコード	13346

考えられる原因

テキスト設定の作成者であるユーザーを削除しようとしました。まず、テキスト設定を削除してください。

テストハーネスによって内部エラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_TEST_HARNESS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-808
SQLSTATE	WW025
Sybase エラーコード	13818

考えられる原因

テストハーネスによって内部エラーが発生しました。

デッドロックが検出されました。

エラー定数	SQLE_DEADLOCK
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-306
SQLSTATE	40001
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

ローの読み込み／書き込みを行おうとしましたが、他のユーザーがそのローをロックしています。またそのユーザーは直接的または間接的に、トランザクションによってブロックされています。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。

デバイス上のファイルシステムにアクセスできません

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILESYSTEM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1108
SQLSTATE	WW078
Sybase エラーコード	13406

考えられる原因

Palm デバイスで VFS ファイルシステムを使用としましたが、この機能がデバイスで有効になっていませんでした。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

デフォルトの DB 領域 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_DEFAULT_DBSPACE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったデフォルトの DB 領域の名前。
重大度	11
SQLCODE	-1068
SQLSTATE	52W43
Sybase エラーコード	13446

考えられる原因

テーブルを作成するときに default_dbspace オプションで設定した DB 領域が見つかりませんでした。

テンポラリテーブル '%1' が、前回使用後から変更されました。

エラー定数	SQLE_TEMP_TABLE_DEFINITION_CHANGED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブル名。
重大度	16
SQLCODE	-1397
SQLSTATE	WW165
Sybase エラーコード	13174

考えられる原因

テンポラリテーブルの定義が、ストアドプロシージャーまたはトリガーで最後に使用されてから変更されています。プロシージャーを再コンパイルしてください。

テンポラリテーブルが使用されました。

エラー定数	SQLE_TEMPORARY_TABLE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	102
SQLSTATE	01W02
Sybase エラーコード	13075

考えられる原因

クエリの条件を満たすためにテンポラリテーブルが作成されました。この警告は OPEN 文でのみ発生します。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

テンポラリテーブル間のキー制約には、一意性制約を持たないプライマリキーが必要です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-865
SQLSTATE	42R03
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

結合されたインデックスをデータベースで使用している場合は、テンポラリテーブル間のキー制約には (一意性制約ではない) プライマリキーが必要です。ALTER TABLE を使用してプライマリテーブルの定義を変更するか、データベースを再構築してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テンポラリテーブル上では LOAD TABLE を ON COMMIT DELETE ROWS と併用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TEMP_TABLE_COMMIT_ACTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-993
SQLSTATE	WL007
Sybase エラーコード	13496

考えられる原因

LOAD TABLE 文は完了時に自動的にコミットします。ロードされるテンポラリテーブルが ON COMMIT DELETE ROWS を使って宣言された場合、ローは完了時に破棄されます。

テンポラリテーブルに対しては RESTRICT 以外の参照整合性アクションは許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_FOREIGN_KEY_ACTION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-849
SQLSTATE	42R01
Sybase エラーコード	1709

考えられる原因

テンポラリテーブルに対してサポートされていない参照整合性アクションを指定しようとしました。

テンポラリ領域の制限を超えています。

エラー定数	SQLE_TEMP_SPACE_LIMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1000
SQLSTATE	54W05
Sybase エラーコード	13492

考えられる原因

接続がテンポラリ領域の使用制限を越えました。この制限は、テンポラリファイルのあるドライブに残っている空き領域の容量にも基づきます。使用していないファイルをドライブから削除するか、空き領域がこれより大きいドライブにテンポラリファイルを格納してください。テンポラリファイルのディレクトリを指定する -dt サーバーオプションを確認してください。

同期オプション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-805
SQLSTATE	5RW33
Sybase エラーコード	13815

考えられる原因

定義されていない同期オプションを削除しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

同期オプション '%1' にセミコロン、等号、または中カッコが含まれているか、オプションが NULL です。

エラー定数	SQLE_BAD_SYNC_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	同期オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-797
SQLSTATE	5RW32
Sybase エラーコード	13807

考えられる原因

無効な値で同期オプションを設定しようとしました。

同期オプションが長すぎます。

エラー定数	SQLE_SYNC_OPTION_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-809
SQLSTATE	5RW34
Sybase エラーコード	13819

考えられる原因

同期オプションのリストをデータベースのページサイズよりも長くすることはできません。

同期がすでに進行中のため、Ultra Lite は同期できません

エラー定数	SQLE_SYNC_NOT_REENTRANT

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1110
SQLSTATE	WW080
Sybase エラーコード	13404

考えられる原因

すでに同期を実行中の Ultra Lite データベースに対して同期を実行しようとしました。別の同期を開始するには、現在実行中の同期が完了するまで待機する必要があります。Ultra Lite では、同期によってほとんどの操作を同時に実行できますが、一度にアクティブにできるのは 1 つの同期だけです。一般に、これは 2 つの異なるスレッドによって同時に、同期または文の呼び出しが行われたことによって発生します。

同期サーバーがアップロードのコミットに失敗しました。

エラー定数	SQLE_UPLOAD_FAILED_AT_SERVER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-794
SQLSTATE	0AW09
Sybase エラーコード	13804

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしました。同期セッション中に完全なアップロードストリームが送信されましたが、統合データベースにコミットできませんでした。アップロードが失敗した理由は、同期ログファイルを参照してください。

その他の情報

- 「アップロードの処理方法」『Mobile Link クイックスタート』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

同期処理ではテーブル '%1' にプライマリキーを含める必要があります。

エラー定数	SQLE_PK_NOT_IN_SYNC_ARTICLE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-778
SQLSTATE	5RW17
Sybase エラーコード	13788

考えられる原因

テーブルのプライマリキーを同期のエントリに含める必要があります。

同期スキーマ変更では、データを修正することはできません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_CHANGE_DISALLOWS_DML
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1342
SQLSTATE	5RW42
Sybase エラーコード	13214

考えられる原因

同期スキーマ変更内でデータ変更操作を実行しようとしました。

同期スキーマ変更はすでに進行中です。

エラー定数	SQLE_SYNC_SCHEMA_IN_PROGRESS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1322
SQLSTATE	WW140
Sybase エラーコード	13234

考えられる原因

START SYNCHRONIZATION SCHEMA CHANGE 文はすでに進行中です。

同期するテーブルがデータベースに含まれていません。

エラー定数	SQLE_NO_TABLES_TO_SYNCHRONIZE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	150
SQLSTATE	01W28
Sybase エラーコード	12598

考えられる原因

このデータベースには同期するテーブルがありません。Mobile Link サーバーへのアクセスは行われませんでした。

同期ダウンロードは完了しませんでした

エラー定数	SQLE_INCOMPLETE_SYNCHRONIZATION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

SQLCODE	-1271
SQLSTATE	0AW23
Sybase エラーコード	13899

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしました。同期セッション中、統合データベースから不完全なダウンロードストリームを受信しました。アップロードが失敗した理由は、同期ログファイルを参照してください。

同期に失敗し、内部エラー %1 が返されました。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_INTERNAL_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	内部エラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-1373
SQLSTATE	5RW43
Sybase エラーコード	13189

考えられる原因

SYNCHRONIZE 文の実行中に、内部エラーが発生しました。

同期に失敗しました。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

エラー定数	SQLE_MLA_SYNC_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1385

SQLSTATE	WW161
Sybase エラーコード	13183

考えられる原因

同期が正常に終了しませんでした。詳細については、dbmlsync のログファイルを確認してください。

同期に失敗しました。詳細については、sp_get_last_synchronize_result (%1) への呼び出しの結果を確認してください。

エラー定数	SQLE_SYNCCMD_SYNCH_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	同期でエラーが発生した接続 ID
重大度	16
SQLCODE	-1374
SQLSTATE	5RW44
Sybase エラーコード	13190

考えられる原因

同期が完了しましたが、同期の終了コードでは、同期が正常に終了しなかったことが示されています。詳細については、sp_get_last_synchronize_result() の呼び出し結果をチェックしてください。

同期の情報が指定されていません

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_REQUIRED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1111

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	WW081
Sybase エラーコード	13403

考えられる原因

同期呼び出しには、同期に関する情報を指定する必要があります。

同期の情報が不完全か無効です。'%1' を確認してください。

エラー定数	SQLE_SYNC_INFO_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	正しく初期化されていないパラメーターの名前。
重大度	16
SQLCODE	-956
SQLSTATE	WW036
Sybase エラーコード	13532

考えられる原因

同期の情報が不完全か無効です。示されたパラメーターを修正してから、同期を再度実行してください。'init_verify' と示されている場合は、InitSyncInfo 関数が呼び出されていません。

その他の情報

- 「Ultra Light の同期パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULSyncParms クラス [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』
- ul_sync_info 構造体 [Ultra Light C および Embedded SQL データタイプ]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

同期はすでに進行中です

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_IN_PROGRESS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16

SQLCODE	-1272
SQLSTATE	0AW24
Sybase エラーコード	13893

考えられる原因

Ultra Light データベースを同期しようとしましたが、このデータベースは別のスレッドで同期中です。

同期プロファイル '%1' が見つかりません

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1217
SQLSTATE	42W75
Sybase エラーコード	13302

考えられる原因

データベースが見つけることができない同期プロファイルにアクセスしようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期プロファイル '%1' に無効なパラメーター '%2' があります

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な同期プロファイルの名前。
パラメーター 2	問題があるプロファイルのパラメーターの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1224
SQLSTATE	42W77
Sybase エラーコード	13293

考えられる原因

無効なパラメーター設定を含む文字列を使用して、同期プロファイルを作成または変更しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期プロファイル '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_SYNC_PROFILE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	同期プロファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1223
SQLSTATE	42W76
Sybase エラーコード	13294

考えられる原因

すでに存在する同期プロファイルを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「Mobile Link 同期プロファイル」『Mobile Link クライアント管理』
- SQL Anywhere：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Mobile Link]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「同期プロファイルオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「CREATE SYNCHRONIZATION PROFILE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

同期メッセージタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOT_SYNC_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	同期メッセージタイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-765
SQLSTATE	5RW11
Sybase エラーコード	13775

考えられる原因

このデータベースで定義されていない同期メッセージタイプを参照しました。

統合化ログイン ID ゲストは、ゲストデータベースのユーザー ID に対してのみマップできます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_GUESTMAP
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-247
SQLSTATE	28W06

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13695

考えられる原因

ゲストログイン ID をゲスト以外にマッピングしようとしました。

統合化ログインが許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_STANDARD_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-205
SQLSTATE	28W02
Sybase エラーコード	13689

考えられる原因

login_mode データベースオプションが Standard に設定されていますが、統合化ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、明示的なユーザー ID を指定してください。

統合化ログインが失敗しました。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_FAILED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-245
SQLSTATE	28W04
Sybase エラーコード	13691

考えられる原因

統合化ログインに失敗しました。サーバーコンピューターのシステムアカウントを持っていません。

統合化ログインが必要です。標準ログインは許可されていません。

エラー定数	SQLE_INVALID_INTEGRATED_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-206
SQLSTATE	28W03
Sybase エラーコード	13690

考えられる原因

login_mode データベースオプションに Integrated が設定されていますが、標準ログインを行おうとしました。オプション設定を変更するか、統合化ログインを使用してください。

統合されたユーザーに対する個別のグループマッピングが多すぎます。

エラー定数	SQLE_INTEGRATED_LOGON_TOO_MANY_MAPPINGS
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1003
SQLSTATE	28W10
Sybase エラーコード	13490

考えられる原因

統合されたユーザーはデータベースに明示的なマッピングがありませんが、グループマッピングがあります。ただし、個別のグループマッピングが多すぎます。このユーザーの個別のグループマッピング数を減らすか、明示的なマッピングを追加する必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

動的メモリが足りません。

エラー定数	SQLE_DYNAMIC_MEMORY_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	S1001
ODBC 3 ステータス	HY001
重大度	17
SQLCODE	-78
SQLSTATE	08W26
Sybase エラーコード	9119

考えられる原因

データベースサーバーが動的メモリを割り当てようとしたときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「-ca dbeng12/dbsrv12 サーバーオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

登録 cookie が足りないため '%1' を登録できません。

エラー定数	SQLE_APP_REG_COOKIE_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-789
SQLSTATE	5RW28
Sybase エラーコード	13799

考えられる原因

アプリケーションの登録を 1 つ解除しないと、このアプリケーションを登録できません。

閉じられたオブジェクトに対する操作は無効です

エラー定数	SQLE_ULTRALITE_OBJ_CLOSED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-908
SQLSTATE	55W14
Sybase エラーコード	13575

考えられる原因

閉じられた Ultra Light オブジェクトにアクセスしようとしました。

トランザクションが終了していないため、トランザクションログの名前の変更はできません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_CANNOT_RENAME_LOG_YET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-242
SQLSTATE	WB003
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出しが、トランザクションログの最後のページを読み込みました。現在アクティブな接続のいくつかが、トランザクションを部分的に終了しており、トランザクションログの名前が変更できません。db_backup 呼び出しを再発行してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

トランザクションで 2 つ目のスナップショットの起動を試みています。

エラー定数	SQLE_SNAPSHOT_ALREADY_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1232
SQLSTATE	42WC9
Sybase エラーコード	13285

考えられる原因

別のスナップショットがすでにアクティブであるときに、トランザクションが新しいスナップショットの開始 (たとえば、BEGIN SNAPSHOT 文の使用) を試みました。

トランザクションにエンリストされている場合は、コミットまたはロールバックできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_COMMIT_OR_ROLLBACK_WHILE_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-800
SQLSTATE	55W09
Sybase エラーコード	13810

考えられる原因

トランザクションにエンリストされている接続で、コミットやロールバックを明示的に実行しようとしました。トランザクションの Commit/Abort プロトコルを使用する必要があります。

トランザクションにすでにエンリストされている場合は、さらにトランザクションにエンリストすることはできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_ENLIST_WHILE_ALREADY_ENLISTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-801
SQLSTATE	55W10
Sybase エラーコード	13811

考えられる原因

トランザクションにすでにエンリストされている接続を、別のトランザクションにエンリストしようとしました。

トランザクションログバックアップページの一部だけが、満杯になっています。

エラー定数	SQLE_BACKUP_PAGE_INCOMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	110
SQLSTATE	01W10
Sybase エラーコード	13683

考えられる原因

トランザクションログに対して DB_LOG_BACKUP_READ_WAIT が発行され、返されたページが満杯ではありませんでした。同じページに対して要求を再発行してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

トランザクションログはトランケートされました。

エラー定数	SQLE_LOG_TRUNCATED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-244
SQLSTATE	WB005
Sybase エラーコード	13661

考えられる原因

トランザクションログである操作が行われている間に、別の操作によってトランザクションログがトランケートされました。

トランザクションログファイルへの書き込みエラーが発生しました。

エラー定数	SQLE_ERROR_WRITING_LOG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-107
SQLSTATE	08W17
Sybase エラーコード	3619

考えられる原因

データベースサーバーが、トランザクションログファイルの書き込み中に I/O エラーを受け取りました。ディスクがいっぱいであるか、ログファイル名が無効である可能性があります。

トランザクションログファイルを開けません -- %1

エラー定数	SQLE_CANNOT_OPEN_LOG

ODBC 2 ステータス	08003
ODBC 3 ステータス	08003
パラメーター 1	トランザクションログファイルを開けなかった理由。
重大度	16
SQLCODE	-106
SQLSTATE	08W05
Sybase エラーコード	2561

考えられる原因

データベースサーバーが指定したトランザクションログファイルを開くことができませんでした。トランザクションログファイル名に無効なデバイスまたはディレクトリが含まれていることがあります。その場合はトランザクションログユーティリティ (dblog) を使用して、トランザクションログファイルのある位置を確認し、変更できます。

その他の情報

- 「トランザクションログユーティリティ (dblog)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「トランザクションログ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません

エラー定数	SQLE_MIRROR_LOG_WITH_DB_MIRROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1178
SQLSTATE	WW095
Sybase エラーコード	13336

考えられる原因

トランザクションログミラーリングは、データベースミラーリングで使用できません。DBLOG ユーティリティを使用して、トランザクションログミラーリングを無効にしてください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

トランザクションをエンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_ENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-803
SQLSTATE	WL005
Sybase エラーコード	13813

考えられる原因

トランザクションをエンリストしようとしましたが、現在、DTC を使用できません。

トランザクションを再エンリストできません。DTC がダウンしている可能性があります。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_REENLIST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	17
SQLCODE	-804
SQLSTATE	WL006
Sybase エラーコード	13814

考えられる原因

トランザクションをリカバリしようとしましたが、現在、DTC を使用できません。

トリガー '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_NOT_FOUND

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったトリガーの名前。
重大度	11
SQLCODE	-268
SQLSTATE	52W10
Sybase エラーコード	9819

考えられる原因

トリガーの名前のスペルを間違えたか、トリガー名をユーザー名で修飾しませんでした。

トリガーアクション内での COMMIT/ROLLBACK は許可されません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-273
SQLSTATE	2D501
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガーアクションの実行中に、許可されていない文を実行しようとしました。COMMIT と ROLLBACK 文はトリガーからは実行できません。

トリガー定義中の REFERENCES 句が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_COL_REFS
ODBC 2 ステータス	37000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-272
SQLSTATE	52W12
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガー定義に無効な REFERENCES 句を指定しました。BEFORE INSERT トリガー中で古い相関名を指定した可能性があります。または AFTER DELETE トリガー中で新しい相関名を指定した可能性があります。いずれの場合でも値は存在しないため、参照できません。

トリガーの定義が既存のトリガーと矛盾しています。

エラー定数	SQLE_TRIGGER_DEFN_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S01
重大度	15
SQLCODE	-271
SQLSTATE	52W11
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガーを作成しようとしましたが、同じ名前のトリガーがすでに存在しています。

トリガーの定義で参照されているカラムは削除または名前の変更ができません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_IN_TRIGGER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15

SQLCODE	-269
SQLSTATE	53W06
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

トリガーの定義で参照されているカラムを削除しようとしたか、その名前を変更しようとしました。ALTER 文を実行する前に、トリガーを削除してください。

トリガー名 '%1' はあいまいです。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_TRIGGER_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	あいまいなトリガーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-855
SQLSTATE	42W66
Sybase エラーコード	13858

考えられる原因

文がユニークでないトリガー名を参照しました。トリガー名は、テーブル名か所有者名または両方で修飾してください。

トレーシングしたクエリ (%1、%2) は存在しません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACED_PLAN
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	指定されたロギングセッション ID。
パラメーター 2	指定されたクエリ ID。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1154
SQLSTATE	55W28
Sybase エラーコード	13359

考えられる原因

診断トレーシングによって保存され、logging_session_id とクエリ ID によって識別されるクエリのグラフィカルなプランを生成しようとしました。しかし、このデータベースにそのようなクエリは存在しません。クエリは、トレーニングされた場合、他のデータベースに送信されました。

トレースイベント '%1' が 1 つ以上のセッションによって参照されています。参照しているセッションを先に削除してください。

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_IS_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1636
SQLSTATE	WE022
Sybase エラーコード	12476

考えられる原因

指定したトレースイベント名は使用されており、参照しているセッションを削除しないと削除はできません。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

トレースイベント '%1' の引数が多すぎます。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_PARAMETERS_FOR_TRACE_EVENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1638
SQLSTATE	WE024
Sybase エラーコード	12471

考えられる原因

指定したトレースイベントに対する引数が多すぎます。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

トレースイベント '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1635
SQLSTATE	WE021
Sybase エラーコード	12470

考えられる原因

指定されたトレースイベント名はすでに存在します。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

トレースイベント '%1' は無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACE_EVENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントの名前。
重大度	11
SQLCODE	-1633
SQLSTATE	WE019
Sybase エラーコード	12473

考えられる原因

指定したトレースイベント名は無効です。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

トレースイベントセッション '%1' はアクティブです。アクティブなセッションを停止してからセッションを削除してください。

エラー定数	SQLE_TRACE_EVENT_SESSION_IS_ACTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	トレースイベントのセッション名。

重大度	11
SQLCODE	-1637
SQLSTATE	WE023
Sybase エラーコード	12472

考えられる原因

指定したトレースイベントセッションはアクティブです。アクティブなセッションは削除できません。

その他の情報

- 「監視サーバー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ALTER MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「DROP MIRROR SERVER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

トレース接続はすでにアクティブになっています

エラー定数	SQLE_TRACING_ALREADY_ATTACHED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1098
SQLSTATE	08W96
Sybase エラーコード	13417

考えられる原因

このデータベースは、送信側 (トレース対象のデータベース) または受信側 (トレーシングデータベース) として、すでにトレース接続が確立しています。1 つのデータベースでは、一度に 1 ストリームのトレーシングデータだけを送信または受信できます。

トレースを再表示できません : sa_diagnostic_tracing_level ロー %1 に無効なトレース指定があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRACING_SPEC

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なローのプライマリキー。
重大度	16
SQLCODE	-1082
SQLSTATE	WW066
Sybase エラーコード	13432

考えられる原因

トレーシングレベルに無効な値の組み合わせを指定しました。たとえば、指定した条件がトレーシングタイプに有効ではないか、指定したトレーシングタイプがスコープに有効ではない可能性があります。

トレースを再表示できません : 少なくとも 1 つの有効化されているトレースレベルを指定する必要があります。

エラー定数	SQLE_NO_TRACING_LEVELS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1081
SQLSTATE	55W24
Sybase エラーコード	13433

考えられる原因

テーブル sa_diagnostic_tracing_level にロー (トレーシングレベル) がないか、有効になっているトレーシングレベルがありません。

トレースを再表示できません : ロー %2 でオブジェクト %1 の検出に失敗しました。

エラー定数	SQLE_TRACING_OBJ_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定したオブジェクトの名前。
パラメーター 2	チェックに失敗したローのプライマリキー。
重大度	11
SQLCODE	-1083
SQLSTATE	WW067
Sybase エラーコード	13431

考えられる原因

オブジェクト名のスペルを間違えたか、オブジェクト名をユーザー名 (テーブル名) で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく Employees を参照しているか、"DBA"."Employees"."Employees_trigger" ではなく Employees_trigger を参照している可能性があります。

トレースを再表示できません : ロー %2 に指定されている %1 を収集するには、volatile_statistics を収集する必要があります

エラー定数	SQLE_NO_VOLATILE_LEVEL_SPEC
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーの原因となったトレーシングレベル。
パラメーター 2	チェックに失敗したローのプライマリキー。
重大度	16
SQLCODE	-1087
SQLSTATE	WW068

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	13427

考えられる原因

不揮発性と接続の統計値を収集するには、揮発性の統計値を収集する必要があります。

内部関数で Java VM のヒープが足りなくなりました : %1

エラー定数	SQLE_JAVA_VM_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-165
SQLSTATE	WP008
Sybase エラーコード	13740

考えられる原因

Java 仮想マシンに割り当てられた領域の量が不十分なため、新規オブジェクトの割り当てを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_heap_size = nnnnnnnn

内部関数でネームスペースのヒープが足りなくなりました : %1

エラー定数	SQLE_NAMESPACE_HEAP_EXHAUSTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	内部関数はデバッグ用。
重大度	16
SQLCODE	-164
SQLSTATE	WP007

Sybase エラーコード	13739

考えられる原因

Java の Namespace に割り当てた領域の量が不十分なため、Java クラスのロードを続行できません。次のように指定してサイズを増やしてください。SET OPTION PUBLIC.java_namespace_size = nnnnnnnn

内部用のスレッドが起動できませんでした。

エラー定数	SQLE_THREAD_START_FAILURE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-626
SQLSTATE	WW011
Sybase エラーコード	13681

考えられる原因

このエラーは、Windows 95 固有のエラーです。外部関数の実行に必要なオペレーティングシステムのスレッドを開始できませんでした。

内部ロールバックログが破損しています。

エラー定数	SQLE_LOG_CORRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	22
SQLCODE	-311
SQLSTATE	WI004
Sybase エラーコード	932

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

COMMIT または ROLLBACK の処理中に、内部ロールバックログに破損が発見されました。これは致命的な内部エラーです。

名前付きの制約が存在するのに名前のないカラム制約の変更が試みられました。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_CONSTRAINT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S24
重大度	16
SQLCODE	-930
SQLSTATE	42U05
Sybase エラーコード	13555

考えられる原因

名前のないカラムの制約の変更を要求しましたが、1 つ以上の名前付き制約があります。

入力パラメーターインデックスが範囲外です。

エラー定数	SQLE_BAD_PARAM_INDEX
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-689
SQLSTATE	WJ005
Sybase エラーコード	13717

考えられる原因

有効なパラメーターの範囲は、1 から、準備された文または呼び出し可能な文に指定したホスト変数の数までです。

その他の情報

- SQL Anywhere：「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：ULPreparedStatement クラス [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

入力文字列は base64 でエンコードされていません。

エラー定数	SQLE_BASE64_DECODING_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-961
SQLSTATE	WW039
Sybase エラーコード	13528

考えられる原因

base64 の復号化中にエラーが発生しました。

認証違反です。

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-98
SQLSTATE	08W21
Sybase エラーコード	13620

考えられる原因

特定のアプリケーションだけが使用できるように設定されたサーバーに接続しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

認証に失敗しました。

エラー定数	SQLE_AUTHENTICATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	16
SQLCODE	-218
SQLSTATE	08W48
Sybase エラーコード	13621

考えられる原因

database_authentication オプションまたは connection_authentication オプションの設定が正しくありません。

ハードディスクに空き領域がありません。'%1' -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_FULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ディスクに書き込めなかったファイルの名前。
重大度	17
SQLCODE	-304
SQLSTATE	40W03
Sybase エラーコード	3618

考えられる原因

ハードディスクに空き領域がありません。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

パーミッションがありません：%1

エラー定数	SQLE_PERMISSION_DENIED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	必要なパーミッションの説明。
重大度	16
SQLCODE	-121
SQLSTATE	42501
Sybase エラーコード	262

考えられる原因

特定の動作を行うために必要なパーミッションがありません。メッセージは、実際に必要なパーミッションと動作が行われているオブジェクトを指定します。

その他の情報

- 「パーミッション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「GRANT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

パススルー SQL スクリプトに失敗しました

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_SQL_SCRIPT_FAILED_E
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1238
SQLSTATE	WW112
Sybase エラーコード	13280

考えられる原因

パススルー SQL スクリプトが、不明なエラーで失敗しました。エラーを Mobile Link にレポートするためにデータベースを同期してください。サーバー管理者に問い合わせる必要がある場合があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

SQL パススルー機能は、Mobile Link クライアントでサポートされなくなりました。リモートデータベース機能の集中管理に置き換えられました。「リモートデータベースの集中管理」『Mobile Link サーバー管理』を参照してください。

パススルー SQL スクリプトに失敗しました

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_SQL_SCRIPT_FAILED_W
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	141
SQLSTATE	01006
Sybase エラーコード	13289

考えられる原因

パススルー SQL スクリプトが失敗しました。エラーを Mobile Link にレポートするためにデータベースを同期してください。サーバー管理者に問い合わせる必要がある場合があります。

その他の情報

SQL パススルー機能は、Mobile Link クライアントでサポートされなくなりました。リモートデータベース機能の集中管理に置き換えられました。「リモートデータベースの集中管理」『Mobile Link サーバー管理』を参照してください。

パススルー文は、現在のパススルーと一致しません。

エラー定数	SQLE_PASSTHROUGH_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-287
SQLSTATE	5RW08
Sybase エラーコード	13649

考えられる原因

パススルーは追加されます。つまり、後続する PASSTHROUGH 文によって、パススルーを受信するユーザーのリストにユーザーが追加されます。PASSTHROUGH 文は、すべて PASSTHROUGH ONLY であるか、すべて PASSTHROUGH ONLY 以外にしてください。

パススルーモードでは文を使用できません。

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_IN_PASSTHROUGH
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-707
SQLSTATE	0AW05
Sybase エラーコード	13631

考えられる原因

文を実行しようとしましたが、パススルーモードでは実行できません。たとえば、バッチ文を実行しました。

パスワードに不正な文字が含まれています。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	11
SQLCODE	-963
SQLSTATE	08005
Sybase エラーコード	13528

考えられる原因

指定したパスワードに不正な文字が含まれています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パスワードの長さは %1 文字以内です。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメーター 1	パスワードの最大長。
重大度	15
SQLCODE	-958
SQLSTATE	54W08
Sybase エラーコード	13530

考えられる原因

パスワードの長さが、サーバーで許可されている長さを超えています。

パスワードの有効期限が切れています。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1152
SQLSTATE	08WA0
Sybase エラーコード	13361

考えられる原因

有効なユーザー ID を使用して接続しようとしましたが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。有効期限が切れた現在のパスワードとともに NewPassword 接続パラメーターを指定することによって、パスワードを変更できます。

パスワードの有効期限が切れていますが、変更できません。データベースは読み込み専用です。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_EXPIRED_READONLY_DB
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	16
SQLCODE	-1153
SQLSTATE	08WA1
Sybase エラーコード	13360

考えられる原因

有効なユーザー ID を使用して読み込み専用データベースに接続しようとしましたが、有効期限が切れたパスワードが使用されました。データベースサーバーコマンドラインで -r オプションなしでデータベースを起動しないと、パスワードを変更できません。-r を削除すると、データベースを修正できます。

パスワードは最低 %1 文字以上でなければなりません。

エラー定数	SQLE_PASSWORD_TOO_SHORT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメーター 1	パスワードの最小長。
重大度	14
SQLCODE	-738
SQLSTATE	54W07
Sybase エラーコード	573

考えられる原因

min_password_length の現在のオプション設定で許可されているよりも短いパスワードを指定しています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

派生テーブル '%1' にはカラム %2 に対する名前がありません。

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	派生テーブルの名前。
パラメーター 2	名前がないカラムの番号。
重大度	16
SQLCODE	-163
SQLSTATE	52004
Sybase エラーコード	209

考えられる原因

派生テーブルの指定カラムには、カラム名がありません。クエリの指定に SELECT リストのエイリアスを使用するか、派生カラム指定子を使用してください。

その他の情報

- SQL Anywhere：「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「SELECT 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

派生テーブル '%1' の SELECT リストに '%2' と一致する式がありません

エラー定数	SQLE_NO_MATCHING_SELECT_ITEM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	派生テーブルの名前。
パラメーター 2	一致する式がないエイリアスの名前。
重大度	15
SQLCODE	-812

SQLSTATE	42W59
Sybase エラーコード	13822

考えられる原因

派生テーブルの AS 句で指定したエイリアスには、派生テーブルの SELECT 文で一致する式がありません。SELECT リストの各項目には、派生テーブルの AS 句に一致するエイリアスがあることを確認します。その逆も確認します。

その他の情報

- SQL Anywhere：「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「FROM 句」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「式のサブクエリ」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

破損したページ (ページ '%1') の読み込みをリトライしています。

エラー定数	SQLE_CORRUPT_PAGE_READ_RETRY
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	ページ ID。
重大度	10
SQLCODE	143
SQLSTATE	WW115
Sybase エラーコード	13275

考えられる原因

Ultra Light が、破損したデータベースページを検出したため、読み込み操作を再度試みます。ミラーファイルは、有効になっている場合、再試行に使用されます。再試行が失敗した場合、エラーが通知されます。

その他の情報

- SQL Anywhere：「チェックサムを使用した破損の検出」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースの破損」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パターンが長すぎます。

エラー定数	SQLE_PATTERN_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-606
SQLSTATE	WW001
Sybase エラーコード	7706

考えられる原因

LIKE 演算子のパターンが長すぎます。126 文字以下のパターンは、すべてサポートされています。内容によっては、254 文字の長さのパターンもサポートされています。254 文字より長いパターンはサポートされていません。

バックアップ／リストア DLL (%1) のエントリポイントを実行できませんでした

エラー定数	SQLE_BACKUP_ENTRY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	見つからなかったエントリポイントの名前。
重大度	19
SQLCODE	-692
SQLSTATE	08W45
Sybase エラーコード	13719

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL エントリポイントを検索または実行しようとしましたが、失敗しました。

バックアップ／リストア中にエラーが発生しました：%1

エラー定数	SQLE_BACKUP_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	21
SQLCODE	-697
SQLSTATE	08W46
Sybase エラーコード	13720

考えられる原因

BACKUP 文または RESTORE 文の実行中にエラーが発生しました。

バックアップ／リストア用 DLL "%1" をロードできません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_NOT_LOADED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードできなかった DLL の名前。
重大度	19
SQLCODE	-691
SQLSTATE	08W44
Sybase エラーコード	13718

考えられる原因

バックアップ／リストア DLL をロードしようとしましたが、失敗しました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

バックアップはデータベースファイル '%1' を開けません。

エラー定数	SQLE_BACKUP_UNABLE_TO_OPEN_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1079
SQLSTATE	WB017
Sybase エラーコード	13435

考えられる原因

バックアップ時にデータベースファイルを開くことができません。ファイルが消去されたか、破損している可能性があります。

バックアップファイル '%1' はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_BACKUP_FILE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-967
SQLSTATE	WB012
Sybase エラーコード	13523

考えられる原因

通常この BACKUP 文で作成されるファイルが、すでに存在しています。

バックアップファイルの内容が矛盾しています。

エラー定数	SQLE_RESTORE_INCONSISTENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	23
SQLCODE	-715
SQLSTATE	WB006
Sybase エラーコード	13724

考えられる原因

複数のディスクデバイスまたはテープデバイスにバックアップされた内容の不一致が RESTORE 中に検出されました。

バックアップファイルのフォーマットが無効です。

エラー定数	SQLE_RESTORE_INVALID_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	21
SQLCODE	-716
SQLSTATE	WB007
Sybase エラーコード	13725

考えられる原因

RESTORE に使用するアーカイブファイルのフォーマットが無効です。

バックアップログ '%1' が開けません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_OPEN_BACKUP_LOG
ODBC 2 ステータス	OK

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	バックアップのログファイル名。
重大度	10
SQLCODE	119
SQLSTATE	WB011
Sybase エラーコード	13776

考えられる原因

サーバーで、バックアップログを開くことができず、BACKUP または RESTORE 文の実行を記録できません。バックアップログファイルを見つけるのに使用した環境変数の設定を確認してください。ログを保存するディレクトリは、すでに存在している必要があります。

その他の情報

- 「SALOGDIR 環境変数」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「BACKUP 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

ハッシュエラー：%1

エラー定数	SQLE_HASH_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-1259
SQLSTATE	08W92
Sybase エラーコード	13255

考えられる原因

ハッシュ中にエラーが発生しました。

パブリケーション '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-280
SQLSTATE	5RW01
Sybase エラーコード	13642

考えられる原因

パブリケーションの名前のスペルを間違えたか、パブリケーション名をユーザー名で修飾しませんでした。

その他の情報

- SQL Anywhere：「パブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- Ultra Light：「Ultra Light パブリケーション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

パブリケーション '%1' から定義されているよりも多いアーティクルを削除しようとしています。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_ARTICLES_DELETED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	アーティクルを削除できなかったパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1318
SQLSTATE	42W89
Sybase エラーコード	13238

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

パブリケーション内のアーティクル数が 1 未満になることはありません。ALTER PUBLICATION には、アーティクルの削除を行う (DROP/DELETE) 句が現在のパブリケーション内のアーティクル数よりも多く存在します。

パブリケーション '%2' のテーブル '%1' のカラムサブセットが、パブリケーション '%3' データベース指定した値と一致しません。

エラー定数	SQLE_COLUMN_SUBSET_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	テーブルの名前。
パラメーター 2	1 番目のパブリケーションの名前。
パラメーター 3	2 番目のパブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1325
SQLSTATE	WW138
Sybase エラーコード	13231

考えられる原因

テーブル内のカラムは、そのテーブルを参照する、サブスクライブされたすべてのパブリケーションと同じである必要があります。

パブリケーションタイプで操作が競合しています。

エラー定数	SQLE_CONFLICTING_PUB_TYPE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-1060

SQLSTATE	5RW38
Sybase エラーコード	13453

考えられる原因

パブリケーションのタイプに適用できない操作を実行しようとしました。たとえば、スクリプト化されたアップロードパブリケーションに固有の操作をログスキャンのパブリケーションに適用しました。

パブリケーションで使用するテーブル '%1' のプライマリキーを更新できません。

エラー定数	SQLE_ARTICLE_PK_CANNOT_BE_UPDATED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-780
SQLSTATE	5RW19
Sybase エラーコード	13790

考えられる原因

パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリキーは更新できません。データベースオプションの prevent_article_pkey_update を Off に設定すると、パブリケーションに含まれるテーブルのプライマリキーを更新できます。

パブリケーションの述部は評価されませんでした

エラー定数	SQLE_PUBLICATION_PREDICATE_IGNORED
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	138
SQLSTATE	01W25
Sybase エラーコード	13423

考えられる原因

SQL サポートなしで Ultra Light が初期化されたので、パブリケーションの述部が評価されませんでした。テーブルは、パブリケーションの述部が指定されていない場合と同じようにアップロードされます。

その他の情報

- ULTableSchema.GetPublicationPredicate メソッド [Ultra Light C++]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULTableSchema.GetPublicationPredicate メソッド [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』
- TableSchema.getPublicationPredicate メソッド [Ultra Light for M-Business Anywhere]『Ultra Light M-Business Anywhere プログラミング (旧式)』

パラメーター '%1' に NULL は指定できません

エラー定数	SQLE_PARAMETER_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	パラメーターの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1277
SQLSTATE	WW229
Sybase エラーコード	13862

考えられる原因

指定されたパラメーターには NULL を指定できません。

比較 '%1' はジオメトリでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_COMPARISON_PREDICATE

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	比較関係のタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1440
SQLSTATE	2FW33
Sybase エラーコード	13132

考えられる原因

ジオメトリ値は、< or > などの演算子を使用して比較することができません。ジオメトリの比較には、= と <> のみを使用できます。

引数 "%1" はカラム参照である必要があります。

エラー定数	SQLE_TEXT_BAD_COLUMN_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	引数番号。
重大度	16
SQLCODE	-1156
SQLSTATE	WT001
Sybase エラーコード	13357

考えられる原因

CONTAINS の引数はカラム参照である必要があります。

引数の名前がありません。

エラー定数	SQLE_NO_SQLX_ARGUMENT_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-907
SQLSTATE	WX014
Sybase エラーコード	13576

考えられる原因

名前のない引数は、XML 要素名または属性名として使用できません。AS を使用して、引数リストの名前のない項目に名前を付けてください。

非決定的な結果が返されました

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_RESULT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	122
SQLSTATE	01W18
Sybase エラーコード	13883

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。また、結果を適切に定義するためには、文に ORDER BY を指定する必要があります。文に ORDER BY がない場合は、サーバーは、要求された数のローが含まれていれば、どのような結果のサブセットでも返すことができます。

その他の情報

- 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SELECT、UPDATE、DELETE クエリブロック内のロー制限句」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

非地理空間参照系に楕円パラメーターが指定されていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_ELLIPSOID

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1466
SQLSTATE	2FW59
Sybase エラーコード	13106

考えられる原因

ELLIPSOID パラメーターは、地理空間参照系に対してのみ指定できます。

必要な演算子が含まれていません。

エラー定数	SQLE_REQUIRED_OPERATORS_EXCLUDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	18
SQLCODE	-969
SQLSTATE	WI011
Sybase エラーコード	13521

考えられる原因

exclude_operators オプションによって必要なデータフロー演算子が除外されているため、データベースサーバーは、指定された要求に対して有効なアクセスプランを作成できませんでした。必要な演算子を再び有効にして、文を実行してください。

ビュー '%1' の INSTEAD OF トリガーと WITH CHECK OPTION が競合しています。

エラー定数	SQLE_CHECK_TRIGGER_CONFLICT
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	INSTEAD OF トリガーのあるビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-1125
SQLSTATE	42W39
Sybase エラーコード	13388

考えられる原因

INSTEAD OF トリガーと競合している WITH CHECK OPTION 句が含まれるオペレーションを試みました。WITH CHECK OPTION 句で定義されたビューは、INSTEAD OF トリガーのあるビュー (ネストされている可能性あり) を参照できません。

ビュー '%1' のトリガータイプが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_VIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1133
SQLSTATE	42W3C
Sybase エラーコード	13380

考えられる原因

ビューにトリガーを作成しようとしましたが、そのトリガーのタイプはベーステーブルのみでサポートされています。ビューに作成できるのは INSTEAD OF トリガーだけです。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効です。

エラー定数	SQLE_VIEW_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000

パラメーター 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1040
SQLSTATE	55W18
Sybase エラーコード	13471

考えられる原因

無効なビューを参照しようとしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビュー '%1' を使用できません。このビューは無効になっています。

エラー定数	SQLE_VIEW_DISABLED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1038
SQLSTATE	55W17
Sybase エラーコード	13473

考えられる原因

無効になっているビューを参照しようとしました。ビューを有効にすると、再度使用できるようになります。

ビューがテンポラリオブジェクトである '%1' を参照しています。ビューは、永久オブジェクトだけを参照できます。

エラー定数	SQLE_VIEW_OVER_TEMP_OBJECT
ODBC 2 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	テンポラリオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-766
SQLSTATE	42U00
Sybase エラーコード	4412

考えられる原因

ローカルテンポラリテーブルなどの一時的なオブジェクトではなく、永久オブジェクトだけを参照してください。

ビューで、カラムのパーミッションを GRANT することはできません。

エラー定数	SQLE_NO_COLUMN_PERMS_FOR_VIEWS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-635
SQLSTATE	52W22
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

ビューに対して、カラムのパーミッションを付与することはできません。

ビューに定義されるカラムの数が SELECT 文と一致しません。

エラー定数	SQLE_VIEW_DEFINITION_ERROR
ODBC 2 ステータス	21S02
ODBC 3 ステータス	21S02

重大度	20
SQLCODE	-114
SQLSTATE	53011
Sybase エラーコード	4409

考えられる原因

ビューを作成しようとしましたが、CREATE VIEW 文の一部として指定したカラムリストは、ビューの SELECT 文の項目リストと対応しません。

ビューまたは派生テーブル '%1' では、CONTAINS クエリは許可されません。

エラー定数	SQLE_TEXT_INVALID_VIEW_FOR_CONTAINS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	CONTAINS を使用して問い合わせることができないビューまたは派生テーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1283
SQLSTATE	WT020
Sybase エラーコード	13791

考えられる原因

CONTAINS を使用してビューまたは派生テーブルに問い合わせることができるのは、ビューまたは派生テーブルによって TOP、FIRST、DISTINCT、GROUP BY、FOR XML のいずれも使用していない場合のみです。また、検索するカラムのリストは、ビューの FROM 句内の 1 つのベーステーブルによって揃うものにしてください。カラムを複数のテーブルのカラムにしたり、FROM 句内の別のビューや派生テーブルのカラムにしたりすることはできません。

その他の情報

- 「FROM 句」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「通常のビュー」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「FROM 句：テーブルの指定」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ファイル %1 はすでに存在します

エラー定数	SQLE_FILE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	すでに存在するファイルのファイル名
重大度	16
SQLCODE	-1609
SQLSTATE	08WB5
Sybase エラーコード	12497

考えられる原因

そのファイルまたはディレクトリがすでに存在しているため、ファイルまたはディレクトリの作成要求が失敗しました

ファイル %1 をコピーできません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_COPY_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	コピーするファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1611
SQLSTATE	08WB7
Sybase エラーコード	12495

考えられる原因

ファイルのコピー要求に失敗しました。

ファイル %1 を削除できません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_DELETE_FILE
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	削除するファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1608
SQLSTATE	08WB4
Sybase エラーコード	12498

考えられる原因

ファイルの削除要求に失敗しました。

ファイル %1 を送信先 %2 にコピーできません

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_COPY_DB_FILE_INTO_CLOUD
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	クライアントコンピューター上のファイルのファイル名。
パラメーター 2	クラウド内の送信先ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-1593
SQLSTATE	08WB2
Sybase エラーコード	12512

考えられる原因

リクエストされた送信先クラウドにクライアントデータベースファイルをコピーできませんでした。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ファイル '%1' にアクセスできません -- %2

エラー定数	SQLE_CANNOT_ACCESS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイル名。
パラメーター 2	エラーの原因。
重大度	19
SQLCODE	-602
SQLSTATE	WL002
Sybase エラーコード	13670

考えられる原因

ファイルにアクセスできません。たとえば、LOAD TABLE が参照したファイルが存在しないか、読み込むことができません。メッセージでは、エラーの原因が説明されています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ファイルシステムエラー：%1

エラー定数	SQLE_OMNI_FILE_SYSTEM_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーの説明。
重大度	12
SQLCODE	-1066
SQLSTATE	WO027
Sybase エラーコード	13448

考えられる原因

このエラーは、ファイルディレクトリをプロキシテーブルとしてアクセスしているときに発生した、基本となるファイルシステムのエラーに起因します。

ファンクション '%1' に無効なパラメーター '%2' ('%3') があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_W_PARM
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
パラメーター 1	関数の名前。
パラメーター 2	パラメーターの名前。
パラメーター 3	エラーの原因となったパラメーターに関する情報。
重大度	18
SQLCODE	-1090
SQLSTATE	08W94
Sybase エラーコード	13424

考えられる原因

パラメーターを評価中にエラーが発生しました。

フィールドに対して不正な型を参照しました。

エラー定数	SQLE_INVALID_FIELD_REFERENCE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-94
SQLSTATE	WW014
Sybase エラーコード	13738

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

式が非 Java 値のフィールドまたはメソッドを参照しようとしました。. と >> によるフィールド参照は、Java オブジェクトに適用された場合だけ有効です。

フォーマット '%1' は、UNLOAD 文ではサポートされていません

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_UNLOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定したフォーマット。
重大度	19
SQLCODE	-1530
SQLSTATE	WL018
Sybase エラーコード	12575

考えられる原因

UNLOAD 文でサポートされていないファイル形式が指定されました。

フォーマット指定構文が無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1431
SQLSTATE	2FW24
Sybase エラーコード	13141

考えられる原因

フォーマット指定が無効です。

フォーマットタイプ '%1' はここでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_FMT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なフォーマットタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1429
SQLSTATE	2FW22
Sybase エラーコード	13143

考えられる原因

指定されたフォーマットタイプは、このコンテキストでは使用できません。

フォーマット文字列の引数番号 %1 が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_FORMAT_STRING_ARG_NUM
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	引数番号。
重大度	16
SQLCODE	-294
SQLSTATE	53W08
Sybase エラーコード	2749

考えられる原因

PRINT または RAISERROR 文のフォーマット文字列で無効な引数番号を指定しました。この番号は、1 ～ 20 の数値でなければならず、指定した引数の数を超えることはできません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

複合 ORDER BY は RANGE とは併用できません。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COMPOSITE_ORDERBY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-966
SQLSTATE	42WAA
Sybase エラーコード	13524

考えられる原因

RANGE キーワードを使用する Window 関数には、1 つのカラムでのみ ORDER BY を指定できます。

復号化エラー : %1

エラー定数	SQLE_DECRYPT_ERROR
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	発生したエラーの説明。
重大度	11
SQLCODE	-851
SQLSTATE	08W63
Sybase エラーコード	13855

考えられる原因

復号化中にエラーが発生しました。

複数のテーブルパラメーターはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_ONLY_SINGLE_TABLE_PARM_SUPPORTED

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1606
SQLSTATE	WP021
Sybase エラーコード	12501

考えられる原因

パラメーター化されたテーブル関数には、最大で単一のテーブルパラメーターしか使用できません。

複数の統合ユーザーを定義することはできません。

エラー定数	SQLE_CONSOLIDATED_USER_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-289
SQLSTATE	5RW10
Sybase エラーコード	13767

考えられる原因

データベースにすでに統合ユーザーが存在するときに、統合パーミッションを付与しようとしたか、1 つの文で複数のユーザーに統合パーミッションを付与しようとしました。

不正な FOR XML EXPLICIT タグ値 : '%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_TAG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	不正なタグ値。
重大度	16
SQLCODE	-897
SQLSTATE	WX005
Sybase エラーコード	13584

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT タグ値は、0 より大きく、256 より小さい値でなければなりません。また、Tag カラムでは NULL 値は使用できません。

不正な JAR ファイルです。

エラー定数	SQLE_BAD_JAR_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-730
SQLSTATE	WP010
Sybase エラーコード	13737

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な JAR ファイルではありませんでした。

不正なカーソル処理をしようとしました。

エラー定数	SQLE_CURSOROP_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
重大度	16
SQLCODE	-187

SQLSTATE	09W02
Sybase エラーコード	9526

考えられる原因

不正なカーソル処理をしようとしました。たとえば、SELECT でも BATCH でもない文のカーソルを OPEN しています。

その他の情報

- SQL Anywhere：「カーソルの使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- SQL Anywhere：「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「複数ローのフェッチ」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

不正なカラム定義：%1

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_COLUMN_DEFINITION
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-1046
SQLSTATE	55W19
Sybase エラーコード	13465

考えられる原因

許可されていない方法でカラムを定義しようとしています。

不正なカラム名：'%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_COLUMN_NAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	カラム名が不正である理由。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-899
SQLSTATE	WX007
Sybase エラーコード	13582

考えられる原因

FOR XML EXPLICIT カラムの名前は、感嘆符 (!) で区切られた最大 4 個のフィールドで構成できます。最初の 2 つのカラムの名前は、Tag と Parent でなければなりません。

不正なデータ変換

エラー定数	SQLE_CANNOT_CONVERT
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10
SQLCODE	103
SQLSTATE	01W03
Sybase エラーコード	518

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、挿入時、更新時、またはホストのバインド変数としてデータベースに提供された値か、データベースからホスト変数または SQLDA に取り出された値です。

不正なデータ変換 : ロー %2 のカラム '%1' に NULL が挿入されました。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CONVERT_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメーター 1	NULL が挿入されたカラムの名前。

パラメーター 2	無効なデータ変換が発生したデータファイルのロー番号。
重大度	10
SQLCODE	124
SQLSTATE	01W01
Sybase エラーコード	13886

考えられる原因

データベースは、値を要求された型に変換できませんでした。変換しようとしている値は、データファイルでデータベースに提供され、LOAD TABLE を使用して挿入されました。カラムに NULL 値が挿入されています。

その他の情報

- 「データ型変換」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

不正なパラメーターです。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER
ODBC 2 ステータス	08004
ODBC 3 ステータス	08004
重大度	18
SQLCODE	-735
SQLSTATE	08W24
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

パラメーターを評価中にエラーが発生しました。

不正な比較です。

エラー定数	SQLE_INVALID_COMPARISON
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-710
SQLSTATE	52W25
Sybase エラーコード	13749

考えられる原因

サポートされていない 2 つの引数を比較しようとしました。たとえば、オブジェクトのクラスが有効な compareTo メソッドをサポートしている場合を除いて、Java オブジェクトを他の Java オブジェクトと比較はできません。

部分ダウンロードが見つかりませんでした

エラー定数	SQLE_PARTIAL_DOWNLOAD_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1103
SQLSTATE	WW075
Sybase エラーコード	13411

考えられる原因

同期しているユーザーの部分ダウンロードが見つかりませんでした。このエラーは、存在しない部分ダウンロードから再開しようとしたとき、または存在しない部分ダウンロードをロールバックしようとしたときに発生する可能性があります。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバー管理』

不明な FOR XML EXPLICIT ディレクティブ : '%1'

エラー定数	SQLE_BAD_FOR_XML_EXPLICIT_DIRECTIVE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	不明なディレクティブ。
重大度	16
SQLCODE	-898
SQLSTATE	WX006
Sybase エラーコード	13583

考えられる原因

有効な FOR XML EXPLICIT ディレクティブは、id、idref、idrefs、hide、element、xml、cdata です。

不明なバックアップ操作です。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	20
SQLCODE	-240
SQLSTATE	WB001
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

db_backup への呼び出し中に、無効なバックアップ文操作が指定されました。

プライマリキーがないためテーブル '%1' と同期できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_SYNC_TABLE_WITHOUT_PK
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	テーブルの名前。
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-777
SQLSTATE	5RW16
Sybase エラーコード	13787

考えられる原因

同期するテーブルには、プライマリキーが含まれている必要があります。

プライマリキーカラム '%1' はすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_PRIMARY_KEY_COLUMN_DEFINED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでにプライマリキーに入っているカラムの名前。
重大度	16
SQLCODE	-119
SQLSTATE	52009
Sybase エラーコード	1909

考えられる原因

プライマリキーの定義の中に、同じカラム名を 2 度リストしました。

プライマリサーバーにクォーラムがないため、トランザクションがコミットされない可能性があります

エラー定数	SQLE_LOST_QUORUM_ON_COMMIT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1597
SQLSTATE	WW166

Sybase エラーコード	12509

考えられる原因

パートナーサーバーと監視サーバーとのクォーラムが失われたばかりのプライマリサーバーでトランザクションをコミットしようとしました。トランザクションはコミットされた可能性もあれば、コミットされていない可能性もあります。パートナーサーバーがどのサーバーを新しいプライマリサーバーとするかを決定しようとします。

その他の情報

- 「データベースミラーリング」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「プライマリサーバー障害」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「コミットされていない操作のリカバリ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

プランがありません。このタイプの文またはデータベースでは、HTML_PLAN 関数はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_HTML_PLAN_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1177
SQLSTATE	0AW21
Sybase エラーコード	1333336

考えられる原因

クエリ (SQL Anywhere クエリまたはリモートデータアクセス/CIS 分解クエリ) の HTML プランを取得しようとしました。純正な IQ クエリでは HTML_PLAN はサポートされています。

プランに仮想インデックスが含まれている可能性があります

エラー定数	SQLE_USING_VIRTUAL_INDEXES
ODBC 2 ステータス	01S01
ODBC 3 ステータス	01S01
重大度	10

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	129
SQLSTATE	01W20
Sybase エラーコード	13596

考えられる原因

仮想インデックスが、この接続で現在有効になっています。生成されるプランには、仮想インデックスが含まれていることがあります。

その他の情報

- 「インデックスコンサルタントの推奨内容」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

プリフェッチの間にデッドロックされたためロールバックが発生しました。

エラー定数	SQLE_ROLLBACK_ON_PREFETCH
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	13
SQLCODE	-684
SQLSTATE	WW019
Sybase エラーコード	1205

考えられる原因

プリフェッチ可能としてオープンカーソルのいずれかがフェッチ操作を実行中であり、プリフェッチ中にデッドロックが発生しました。これはデッドロック状態であり、トランザクションがロールバックされるよう選択されました。このエラーを受け取った要求は実行されませんでした。ただし、カーソルを閉じる要求の場合、カーソルは閉じられました。

プリンシパルミラーサーバーはすでに定義されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_PARTNERS_ALREADY_DEFINED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1311
SQLSTATE	WW134
Sybase エラーコード	13278

考えられる原因

親サーバーを持たないミラーサーバーを作成しようとしましたが、2 つのプリンシパルミラーサーバーがデータベースですでに定義されています。

プロシージャー '%1' からの戻り値のタイプ void はすべての式で使用できません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_RETURNS_VOID
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメーター 1	プロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-705
SQLSTATE	53019
Sybase エラーコード	257

考えられる原因

Java の void 型は、SQL のどの型にもマッピングされません。したがって、void を返すプロシージャーは SQL 式で使用できません。

プロシージャー '%1' の呼び出しに必要なパラメーター名がありません。

エラー定数	SQLE_PARAMETER_NAME_MISSING
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	プロシージャー名。
重大度	16
SQLCODE	-639
SQLSTATE	42W42
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

このプロシージャーの呼び出しで、位置を指定する引数が名前付きパラメーターの後に指定されています。

プロシージャー '%1' は処理されない例外 '%2' で終了しました。

エラー定数	SQLE_UNHANDLED_EXTENV_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	未処理の例外を返したプロシージャーの名前。
パラメーター 2	未処理の例外の、Java クラスの完全修飾名。
重大度	16
SQLCODE	-91
SQLSTATE	WP001
Sybase エラーコード	13735

考えられる原因

Java プロシージャーは、アクティブな例外によって終了しました。また、この例外は、SQL ではエラーステータスとして示されます。

プロシージャー '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002

ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったプロシージャーの名前。
重大度	11
SQLCODE	-265
SQLSTATE	52W09
Sybase エラーコード	504

考えられる原因

プロシージャーの名前のスペルを間違えたか、プロシージャー名をユーザー名で修飾しませんでした。

プロシージャー '%1' は有効でなくなりました。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_NO_LONGER_VALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	プロシージャーの名前。
重大度	15
SQLCODE	-836
SQLSTATE	42W63
Sybase エラーコード	13842

考えられる原因

プロシージャー定義をカタログからロードできません。テーブルまたはカラムの名前が変更されていないか、予約語が使用されていないかを調べてください。このプロシージャーが内部プロシージャーの場合、古いバージョンを使用している可能性があります。正常に実行するには、データベースのアップグレードが必要な場合があります。

プロシージャー '%2' にパラメーター '%1' がありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_PARAMETER_NAME

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	見つからなかったパラメーターの名前。
パラメーター 2	パラメーターが見つからなかったプロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-615
SQLSTATE	42W47
Sybase エラーコード	201

考えられる原因

このプロシージャーのパラメーターと一致しないプロシージャーのパラメーター名を指定しました。パラメーター名のスペルをチェックしてください。

プロシージャー '%2' の引数 %1 に NULL は指定できません。

エラー定数	SQLE_ARGUMENT_CANNOT_BE_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	NULL であってはならない引数番号。
パラメーター 2	NULL パラメーターを受け取ることができないプロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-90
SQLSTATE	WP000
Sybase エラーコード	409

考えられる原因

スカラ引数を予期しているプロシージャーに NULL 値を引き渡しました。たとえば、'int' 引数を持つ Java プロシージャーは、NULL 値を受け取ることができません。

プロシージャー、トリガー、イベント、またはバッチでは SETUSER を実行できません。

エラー定数	SQLE_SETUSER_NOT_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-877
SQLSTATE	42W09
Sybase エラーコード	13888

考えられる原因

ストアドプロシージャー、トリガー、イベントハンドラー、またはバッチでは SETUSER 文を使用できません。また、EXECUTE IMMEDIATE 文から SETUSER 文を呼び出すこともできません。

プロシージャーが完了しました。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_COMPLETE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	105
SQLSTATE	01W05
Sybase エラーコード	13618

考えられる原因

このプロシージャーで取得できる結果セットはこれ以上ありません。OPEN 文または RESUME 文によってプロシージャーの実行が完了された可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

プロシージャー結果セットのカラムが多すぎます

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_COLUMNS_IN_PROC_RES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1237
SQLSTATE	54W15
Sybase エラーコード	13281

考えられる原因

GROUP BY リスト内の式が多すぎる文を実行しました。GROUP BY リスト内の式の数は 60000 個までに制限されています。CREATE PROCEDURE 文または ALTER PROCEDURE 文を実行しました。結果的にプロシージャーの結果セット内に作成されたカラムの数がサーバーの制限を超えています。

プロシージャータイプ '%1' が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_PROCEDURE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-986
SQLSTATE	WW055
Sybase エラーコード	13503

考えられる原因

関数またはプロシージャーが無効のタイプを使って指定されました。

プロシージャータイプ '%1' の NAMESPACE 属性が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_NAMESPACE_ATTRIBUTE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの NAMESPACE 属性。
重大度	16
SQLCODE	-989
SQLSTATE	WW058
Sybase エラーコード	13500

考えられる原因

NAMESPACE 属性はタイプ SOAP のプロシージャーにのみ適用可能です。

プロシージャータイプ '%2' の '%1' 属性が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_WITH_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの属性。
パラメーター 2	プロシージャーのタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1034
SQLSTATE	WW064
Sybase エラーコード	13477

考えられる原因

このプロシージャータイプには、この属性を使用できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

プロシージャーは '%1' によって使用されています。

エラー定数	SQLE_PROCEDURE_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-215
SQLSTATE	42W23
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザーが使用しているプロシージャーを、削除しようとしました。

プロシージャーまたは関数 '%2' のパラメーター '%1' にデフォルト値がありません。

エラー定数	SQLE_NO_DEFAULT_FOR_PARM
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	パラメーターの名前。
パラメーター 2	プロシージャーまたはファンクションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1001
SQLSTATE	08W71
Sybase エラーコード	13491

考えられる原因

プロシージャーまたはファンクションの引数として DEFAULT を使おうとしましたが、対応するパラメーターにデフォルト値がありません。

プロシージャーまたはトリガー内では、データ定義文は使用できません。

エラー定数	SQLE_DDL_NOT_ALLOWED_IN_PROCEDURES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-623
SQLSTATE	52W21
Sybase エラーコード	154

考えられる原因

プロシージャーまたはトリガーの定義にデータ定義文 (CREATE、DROP、GRANT、REVOKE、ALTER など) が含まれています。これらの文は、プロシージャーまたはトリガーの内部では使用できません。

プロシージャーまたはトリガーの呼び出しのネストが深すぎます。

エラー定数	SQLE_NESTING_TOO_DEEP
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-274
SQLSTATE	42W29
Sybase エラーコード	217

考えられる原因

定義されたプロシージャーまたはトリガーが、無限再帰の原因となっています。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

文がタイムアウトになりました : '%1'

エラー定数	SQLE_STATEMENT_TIMEOUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	文のタイプ
重大度	16
SQLCODE	-1231
SQLSTATE	57W05
Sybase エラーコード	13286

考えられる原因

文が、割り当てられた時間または指定された時間内に完了しなかったため、失敗しました。

文が無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_STATEMENT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-130
SQLSTATE	07W02
Sybase エラーコード	13628

考えられる原因

準備文が無効です。Embedded SQL では、OPEN または EXECUTE はエラーになります。

その他の情報

- 「準備文の使用方法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

文に NUMBER(*) 関数の不正な使用が含まれています。

エラー定数	SQLE_INVALID_NUMBER
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-864
SQLSTATE	42W71
Sybase エラーコード	13869

考えられる原因

NUMBER 関数と IDENTITY 関数は、最も外側にある SELECT ブロックの SELECT リストの中でのみ使用できます。サブクエリまたは述部の中では使用できません。

文に非決定的関数 '%1' の不正な用法が含まれています。

エラー定数	SQLE_NONDETERMINISTIC_FUNCTION
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	エラーが発生したユーザー定義非決定的関数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-889
SQLSTATE	42W79
Sybase エラーコード	13594

考えられる原因

非決定的関数は、検査制約またはその他の種類の整合性制約に表示できません。クエリ、ビュー、または派生テーブル内であれば、どこにでも表示できます。ただし、SELECT リストのエイリアスの式に非決定的関数が含まれる場合、そのエイリアスはクエリの他の場所で参照できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

文のサイズの制限値が無効です

エラー定数	SQLE_INVALID_CURSOR_RANGE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-674
SQLSTATE	09W07
Sybase エラーコード	13713

考えられる原因

FIRST n または TOP n は、結果のサイズを制限するために SELECT 文で使用されます。サイズ制限は定数で、1 ～ 32766 の整数にしてください。

文のサイズまたは複雑度がサーバーの制限を超えています。

エラー定数	SQLE_SYNTACTIC_LIMIT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
重大度	19
SQLCODE	-890
SQLSTATE	54W01
Sybase エラーコード	404

考えられる原因

文に、処理が不可能なサイズの構成が 1 つ以上含まれています。最大キャッシュサイズ、ページサイズ、またはスタックサイズを増やすと、このエラーが解決する場合があります。内部の制限を超えないようにクエリを再作成することを検討してください。たとえば、サイズの大きい IN-list がクエリに含まれている場合は、IN-list の値をテンポラリテーブルに挿入することを検討します。次に、このテンポラリテーブルを、元の文の中の別のテーブルにジョインするクエリを再作成します。

文の実行がユーザーによって中断させられました。

エラー定数	SQLE_INTERRUPTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-299
SQLSTATE	57014
Sybase エラーコード	3621

考えられる原因

文を実行中にキャンセルしました。データベースはロールバックなしで操作を停止できました。文が INSERT、UPDATE、または DELETE の場合、変更はすべてキャンセルされます。文がデータ定義文 (CREATE TABLE など) の場合、その文はキャンセルされますが、関連する動作として実行された COMMIT はキャンセルされません。

その他の情報

- データベースユーザーまたはアプリケーションによって明示的に文がキャンセルされた場合に、このエラーが返される可能性があります。Web ブラウザのタイムアウトや再表示といった動作、または接続を閉じる要求によっても、このエラーが発生する場合があります。

文を実行することができませんでした。

エラー定数	SQLE_CANNOT_EXECUTE_STMT
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	111
SQLSTATE	01W08
Sybase エラーコード	590

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

PREPARE...WITH EXECUTE 文に対し、実行できない SQL 文を指定しました。出力 SQLDA を指定している場合は、その中に準備した文の DESCRIBE が格納されます。文の実行中に、要求ログにこの警告が表示されるのは正常な現象です。

その他の情報

- 「SQLDA (SQL descriptor area)」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

ベーステーブル '%1' の挿入／更新に対して WITH CHECK OPTION が違反しています。

エラー定数	SQLE_WITH_CHECK_OPTION_VIOLATION
ODBC 2 ステータス	S1000
ODBC 3 ステータス	44000
パラメーター 1	更新するベーステーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-632
SQLSTATE	44000
Sybase エラーコード	550

考えられる原因

ビューによって (ネストされて) 示されたベーステーブルで、挿入または更新操作を実行しようとしました。しかし、修正したロー内の 1 つ以上の値が WITH CHECK OPTION 違反をトリガーしました。この違反は、そのローの FALSE または UNKNOWN を評価するビューの WHERE 句を作成することで、修正された値によって 1 つ以上のローがビューの範囲外になったときに発生します。

別のテーブルからの外部キー参照があるテンポラリテーブルには、LOAD TABLE は使用できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOAD_TABLE_WITH_FOREIGN_KEY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

重大度	16
SQLCODE	-1146
SQLSTATE	WL009
Sybase エラーコード	13366

考えられる原因

LOAD TABLE 文は、障害が発生するとテンポラリテーブル内のすべてのローを削除します。ロードされるテンポラリテーブルによってエラーが発生する場合、外部キーが孤立します。

変換定義 '%1' は無効です。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_TRANSFORM_DEF
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な変換定義文字列。
重大度	16
SQLCODE	-1442
SQLSTATE	2FW35
Sybase エラーコード	13130

考えられる原因

指定された文字列は、有効な変換定義を表していません。

変換定義が長すぎます。

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_DEF_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1443

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	2FW36
Sybase エラーコード	13129

考えられる原因

指定された変換定義が長すぎます。

変数 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	見つからなかった変数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-260
SQLSTATE	42W14
Sybase エラーコード	137

考えられる原因

作成されていない SQL 変数または削除された SQL 変数を削除しようとしたか、値を設定しようとしました。

ポイント %1 の変換に失敗しました (エラー %2)

エラー定数	SQLE_SLERR_TRANSFORM_POINT_FAIL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	変換できなかったポイント。
パラメーター 2	投影ライブラリからのエラーコード。
重大度	16
SQLCODE	-1532

SQLSTATE	2FF17
Sybase エラーコード	12573

考えられる原因

空間参照系を別の空間参照系に変換していたときにエラーが発生しました。このエラーは、最初のジオメトリ内のポイントが、変換定義の境界の範囲外にある場合に発生する可能性があります。このエラーは、特定の変換定義に関して報告されている可能性もあります。変換ライブラリの整数エラーコードが、変換定義の診断に使用されている可能性があります。

ポイント 3 つの CircularString が、ポイント 5 つの CircularString に変換されました。

エラー定数	SQLE_SLWARN_CIRCULARSTRING_3POINT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1491
SQLSTATE	01FW2
Sybase エラーコード	13081

考えられる原因

3 つのポイントを持つ円の CircularString を含む曲線が、5 つのポイントを持つ円を使用するように変換されました。これは単なる通知です。

その他の情報

- 「ST_CircularString タイプ」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

ポイントが %1 と重複しています。

エラー定数	SQLE_SLERR_DUPLICATE_POINT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	重複したポイント。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1400
SQLSTATE	2FF05
Sybase エラーコード	13172

考えられる原因

2 つの同一の隣接ポイントが LineString または CircularString ジオメトリに含まれています。このことは、無効なジオメトリであることを示しています。

ポイントのないジオメトリ間の距離を算出する際、SRID=%1 のジオメトリはサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_ROUND_EARTH_UNSUPPORTED_DIS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ジオメトリの SRID。
重大度	16
SQLCODE	-1436
SQLSTATE	2FW29
Sybase エラーコード	13136

考えられる原因

曲面データを操作する場合、ポイントのないジオメトリ間の距離はサポートされません。

他の '%1' を排他アプリケーションとして登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。

重大度	16
SQLCODE	-783
SQLSTATE	5RW22
Sybase エラーコード	13793

考えられる原因

排他アプリケーションを登録しようとしましたが、同じアプリケーションの他のインスタンスがすでに登録されています。

他の接続が '%1' のローをロックしています

エラー定数	SQLE_ROW_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	エラーを引き起こすテーブル。
重大度	21
SQLCODE	-1281
SQLSTATE	42W80
Sybase エラーコード	13805

考えられる原因

他の接続によってロックされているローの修正または削除を行おうとしました。その接続がコミットまたはロールバックすると、ローのロックが解除されます。

他の接続はすでに '%1' として登録されています。

エラー定数	SQLE_NOT_UNIQUE_CONN_REG_LABEL
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	登録済みの接続ラベル。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-788
SQLSTATE	5RW27
Sybase エラーコード	13798

考えられる原因

同じアプリケーションですでに使用されているラベルで接続を登録しようとしました。

他の排他インスタンスが実行されているため、'%1' を登録できません。

エラー定数	SQLE_SAME_EXCLUSIVE_APP_RUNNING
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	アプリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-782
SQLSTATE	5RW21
Sybase エラーコード	13792

考えられる原因

アプリケーションを開こうとしましたが、同じアプリケーションの他の排他インスタンスがすでに登録されています。

ホスト変数が足りません。

エラー定数	SQLE_NOT_ENOUGH_HOST_VARS
ODBC 2 ステータス	07002
ODBC 3 ステータス	07002
重大度	16

SQLCODE	-188
SQLSTATE	07001
Sybase エラーコード	13638

考えられる原因

バインド変数、文、SELECT リスト項目のいずれかに、ホスト変数の数が不足しています。

ホスト変数はバッチで使用できません。

エラー定数	SQLE_HOSTVARS_IN_BATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-807
SQLSTATE	07W07
Sybase エラーコード	13817

考えられる原因

ホスト変数の参照を含むバッチを実行しようとしました。ホスト変数は、バッチ内ではサポートされていません。

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、ま～わ)

まだデータベースに接続されています。

エラー定数	SQLE_STILL_ACTIVE_CONNECTIONS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-109

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	08W06
Sybase エラーコード	6001

考えられる原因

まだ接続しているデータベースを停止しようとしました。

マテリアライズドビュー %1 では、LOAD TABLE は許可されません

エラー定数	SQLE_LOAD_TABLE_ON_MATVIEW_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ロードが試行されたマテリアライズドビューの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1190
SQLSTATE	WL014
Sybase エラーコード	13325

考えられる原因

マテリアライズドビューでは、LOAD TABLE 文は許可されません。

マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。NULL 入力不可なカラムにユニークなインデックスがありません。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_NO_UNIQUE_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1233

SQLSTATE	42WCA
Sybase エラーコード	13284

考えられる原因

NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスがないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。マテリアライズドビューにユニークインデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

マテリアライズドビュー %1 を即時に変更できません。すでに初期化されています。

エラー定数	SQLE_IMMEDIATE_MV_REFRESH_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1170
SQLSTATE	42WC3
Sybase エラーコード	13343

考えられる原因

初期化済みのステータスにすでになっているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。ビューをトランケートしてから、再表示タイプを変更してください。

マテリアライズドビュー '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MATVIEW_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	見つからなかったマテリアライズドビューの名前。
重大度	11

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1041
SQLSTATE	42WB5
Sybase エラーコード	13470

考えられる原因

マテリアライズドビューの名前のスペルを間違えたか、マテリアライズドビュー名をユーザー名で修飾しませんでした。たとえば、"DBA"."Employees" ではなく "Employees" を参照しています。

マテリアライズドビュー '%1' でトリガーを作成できません。

エラー定数	SQLE_INVALID_TRIGGER_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	マテリアライズドビューの名前
重大度	14
SQLCODE	-1134
SQLSTATE	42W3D
Sybase エラーコード	13379

考えられる原因

マテリアライズドビューでトリガーを作成しようとしました。マテリアライズドビューは、トリガーの有効な対象ではありません。

マテリアライズドビュー '%1' を使用できません。このビューは初期化されていません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_USE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	マテリアライズドビューの名前。
重大度	14

SQLCODE	-1077
SQLSTATE	42WBC
Sybase エラーコード	13437

考えられる原因

マテリアライズドビューを使用しようとしましたが、ビューはまだ初期化されていません。マテリアライズドビューを作成または有効にした後に初めて使用するには、REFRESH MATERIALIZED VIEW 文を使用して 1 回以上初期化する必要があります。

マテリアライズドビューのサポートは、このデータベースでは利用できません

エラー定数	SQLE_MAT_VIEWS_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1029
SQLSTATE	0AW15
Sybase エラーコード	13481

考えられる原因

実行している文には、マテリアライズドビューのサポートが必要ですが、使用されているデータベースにはマテリアライズドビューの機能がありません。

マテリアライズドビューを更新できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_UPDATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	設定が間違っているオプションの名前。

重大度	14
SQLCODE	-1052
SQLSTATE	42WB7
Sybase エラーコード	13461

考えられる原因

マテリアライズドビューを更新または再表示しようとしましたが、データベースオプションのいずれかが現在、マテリアライズドビューの更新時に許可されない値に設定されているか、オプションの設定が、ビュー作成時の値と一致しません。

マテリアライズドビューを作成できません。オプション '%1' に不適切な設定があります。

エラー定数	SQLE_CANNOT_CREATE_MATVIEW
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	設定が間違っているオプションの名前。
重大度	14
SQLCODE	-1051
SQLSTATE	42WB6
Sybase エラーコード	13460

考えられる原因

マテリアライズドビューを作成しようとしましたが、データベースオプションのいずれかが現在、マテリアライズドビューの作成時に許可されない値に設定されています。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。COUNT(*) が SELECT リストの一部に必要です。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MISSING_COUNT
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1199
SQLSTATE	42WC6
Sybase エラーコード	13316

考えられる原因

定義の SELECT リストに COUNT(*) が含まれていないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークなインデックスがありません

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_NON_AGGR_INDEX
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1218
SQLSTATE	42WC7
Sybase エラーコード	13299

考えられる原因

非集合の NULL 入力不可のカラムにユニークインデックスがないマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。マテリアライズドビューにユニークインデックスを作成してから、再表示タイプを変更してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に複数のクエリブロックを含めることはできません。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_MULTIBLE_BLOCK_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1181
SQLSTATE	42WC5
Sybase エラーコード	13334

考えられる原因

定義に複数のクエリブロックが含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に不正な構成体が含まれています。

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_ERR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	15
SQLCODE	-1268
SQLSTATE	42WCB
Sybase エラーコード	13786

考えられる原因

定義に不正な構成体が含まれているマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

マルチパッチのシェイプファイルの形状はサポートされていません。

エラー定数	SQLE_SLERR_SHAPE_MULTIPATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1425
SQLSTATE	2FW16
Sybase エラーコード	13147

考えられる原因

シェイプファイルにマルチパッチオブジェクトが含まれていますが、このようなタイプはサポートされていません。

ミラー '%1' がデータベース '%2' と一致しません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_MISMATCH
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーファイルの名前
パラメーター 2	データベースファイルの名前
重大度	16
SQLCODE	-1138
SQLSTATE	WW090
Sybase エラーコード	13375

考えられる原因

指定したミラーファイルが、データベースファイルと対応していません。このエラーは、データベースが正常に停止されなかった場合、または誤ったミラーファイルが指定された場合に発生します。ミラーファイルを移動または破棄してから続行するか、別のミラーを指定する必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ミラー子サーバーの作成に失敗しました。

エラー定数	SQLE_CHILD_SERVER_CREATION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1351
SQLSTATE	WW154
Sybase エラーコード	13206

考えられる原因

プライマリサーバーでの子サーバーの作成が失敗したか、または許可されませんでした。

ミラーサーバー "%1" が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーサーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1308
SQLSTATE	WW131
Sybase エラーコード	13409

考えられる原因

指定されたミラーサーバーがデータベースで見つかりませんでした。

ミラーサーバー "%1" はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_ALREADY_EXISTS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーサーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1309
SQLSTATE	WW132
Sybase エラーコード	13365

考えられる原因

データベースにすでに存在するミラーサーバーを作成しようとしました。

ミラーサーバー "%1" は別のサーバーによって参照されています。

エラー定数	SQLE_MIRROR_SERVER_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーサーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1310
SQLSTATE	WW133
Sybase エラーコード	13364

考えられる原因

データベース内の別のサーバーによって参照されているミラーサーバーを削除しようとしました。

ミラーサーバー "%1" は有効な親サーバーではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_MIRROR_PARENT

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ミラーサーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1312
SQLSTATE	WW135
Sybase エラーコード	13267

考えられる原因

循環を引き起こす原因となる、ミラーサーバーの親を定義しようとしました。

ミラーサーバーに接続できません。サーバー名 '%1' を使用してプライマリサーバーを探してください。

エラー定数	SQLE_CONNECTED_TO_MIRROR_SERVER
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
パラメーター 1	ミラーリングシステムのサーバー名。
重大度	11
SQLCODE	-1039
SQLSTATE	08W91
Sybase エラーコード	13472

考えられる原因

ミラーリングシステムでミラーサーバーに接続しようとしました。ミラーリングシステムのサーバー名を使用するように接続文字列または DSN を変更してください。

ミラーサーバー名 '%1' は、現在のサーバー名に一致しません。

エラー定数	SQLE_INVALID_CHILD_SERVER_NAME

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	サーバー名。
重大度	16
SQLCODE	-1348
SQLSTATE	WW151
Sybase エラーコード	13209

考えられる原因

CREATE MIRROR SERVER 文で指定されたサーバー名は、この文が子サーバーで実行される場合、現在のサーバー名と一致する必要があります。

ミラーファイルには、これより高い checksum_level が必要です。

エラー定数	SQLE_MIRROR_FILE_REQUIRES_CHECKSUMS
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	144
SQLSTATE	WW116
Sybase エラーコード	13274

考えられる原因

メディア障害から効果的に保護するために、ミラーファイルを使用しているときはページチェックサムを有効にしてください。checksum_level データベース作成オプションを指定してください。

その他の情報

- 「Ultra Light checksum_level 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ミラーリングされたデータベースに対して '%1' 文を使用することはできません

エラー定数	SQLE_STMT_NOT_ALLOWED_WITH_MIRRORING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーを起こす文。
重大度	16
SQLCODE	-1288
SQLSTATE	WW120
Sybase エラーコード	13666

考えられる原因

ミラーリングされたデータベースの使用中に、許可されていない文を実行しようとしました。

無効な多角形です：曲線がリンクではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_NON_RING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1487
SQLSTATE	2FW82
Sybase エラーコード	13085

考えられる原因

いずれかの曲線がリングではないため、多角形の作成に使用できません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

無効な多角形です：リングが SRID=%1 で許可されている値を超えています ('%2' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_RE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空間参照系の識別子。
パラメーター 2	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1488
SQLSTATE	2FW83
Sybase エラーコード	13084

考えられる原因

いずれかのリングが、指定された空間参照系でサポートされている値を超過しています。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

無効な多角形です：リングが閉じていません ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_RING_CLOSE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1485
SQLSTATE	2FW80
Sybase エラーコード	13087

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

指定されたいずれかの曲線が、閉じたリングではありません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

無効な多角形です：リングにゼロ領域があります ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_POLY_EMPTY_RING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1486
SQLSTATE	2FW81
Sybase エラーコード	13086

考えられる原因

指定されたいずれかのリングにゼロ領域が含まれているため、有効な多角形リングではありません。

その他の情報

- 「多角形リングの方向操作」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

無効なデータベースページサイズです。

エラー定数	SQLE_PAGE_SIZE_INVALID
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-644
SQLSTATE	08W32

Sybase エラーコード	927

考えられる原因

無効なページサイズのデータベースを作成しようとしました。SQL Anywhere データベースのページサイズは、2048、4096、8192、16384、または 32768 バイトである必要があります。Ultra Light データベースのページサイズは、1024、2048、4096、8192、または 16384 バイトである必要があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「適切なページサイズの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- Ultra Light：「Ultra Light page_size 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

無効なドメイン '%1'

エラー定数	SQLE_INVALID_DOMAIN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効なドメイン指定。
重大度	16
SQLCODE	-1275
SQLSTATE	54W52
Sybase エラーコード	13881

考えられる原因

無効なドメインを作成しようとしました。サイズ、位取り、精度が無効です。

無効なパスワード：%1

エラー定数	SQLE_INVALID_NEW_PASSWORD
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	パスワードが無効である理由、またはパスワードを検証する関数を呼び出せなかった理由。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	-1044
SQLSTATE	28W11
Sybase エラーコード	13467

考えられる原因

新しいユーザー ID の作成、またはパスワードの変更に失敗しました。verify_password_function オプションで指定した関数によってパスワードが無効になりました。

無効なバックアップ操作です。

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_OPERATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1021
SQLSTATE	WB013
Sybase エラーコード	3206

考えられる原因

前回のバックアップ操作が原因で、指定したバックアップ操作は無効です。

無効なバックアップパラメーター値です。

エラー定数	SQLE_INVALID_BACKUP_PARM_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1045
SQLSTATE	WB015

Sybase エラーコード	13466

考えられる原因

バックアップ操作に指定した 1 つまたは複数のパラメーターに無効な値があります。

無効なホスト変数です。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_INVALID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	17
SQLCODE	-155
SQLSTATE	42W07
Sybase エラーコード	7201

考えられる原因

C 言語インターフェイスを使用して、データベースに無効なホスト変数を指定しました。変数をホスト変数として指定したか、SQLDA を通して指定した可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- Ultra Light：「ホスト変数の宣言」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

無効なユーザー選択性の評価が指定されました。

エラー定数	SQLE_INVALID_USER_ESTIMATE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
重大度	10
SQLCODE	118
SQLSTATE	01W16
Sybase エラーコード	13617

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

リテラル定数でないか、0.0 から 100.0 (推定値はパーセントで指定されます) の範囲を超えたユーザー選択推定値を指定しました。推定値は無視されました。

その他の情報

- 「ESTIMATE_SOURCE 関数 [その他]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

メソッド '%1' は、%2 引数で呼び出すことはできません ('%3' 付近)。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_OVERLOAD_N_ARGS
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	メソッドの名前。
パラメーター 2	指定された引数の数。
パラメーター 3	無効な式。
重大度	11
SQLCODE	-1339
SQLSTATE	42X04
Sybase エラーコード	13217

考えられる原因

指定されたメソッドのオーバーロードは、指定された引数の数を使用して呼び出すことができません。

メソッド '%1' は現時点では呼び出せません。

エラー定数	SQLE_METHOD_CANNOT_BE_CALLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	メソッドの名前。

重大度	16
SQLCODE	-669
SQLSTATE	WJ001
Sybase エラーコード	13711

考えられる原因

このメソッドは今回呼び出すことができません。メソッドが適切に呼び出されているかどうかを確認してください。

メソッド呼び出し '%1' は過負荷と一致しません ('%2' 付近)。使用可能な過負荷は '%3' です。

エラー定数	SQLE_METHOD_NO_OVERLOAD
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	メソッドの呼び出しで使用されるメソッド名とデータ型。
パラメーター 2	無効な式。
パラメーター 3	使用可能なメソッドのオーバーロード。
重大度	11
SQLCODE	-1337
SQLSTATE	42X02
Sybase エラーコード	13219

考えられる原因

メソッドの呼び出しを一致させようとしましたが、指定された引数タイプに一致する定義済みオーバーロードが見つかりませんでした。CAST を使用して適切な呼び出しを選択することが必要となる場合があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

メッセージまたはデータ型を所有するユーザーは削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_MESSAGES_OR_DATATYPES
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-614
SQLSTATE	55W05
Sybase エラーコード	13632

考えられる原因

メッセージまたはユーザー定義データ型の作成者であるユーザーを削除しようとしました。まず、メッセージまたはユーザー定義のデータ型を削除してください。

メモリエラー -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_MEMORY_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	24
SQLCODE	-309
SQLSTATE	40W08
Sybase エラーコード	3013

考えられる原因

Ultra Light ランタイムは、Ultra Light データベースを格納するために使用されるシステムコールから予期しないエラーを受け取りました。たとえば、永続的なメモリへの書き込みの失敗などです。このエラーは、デバイス上に不良または破損した記憶領域があることを示す内部エラーです。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

その他の情報

- 「Ultra Light でのトランザクション処理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

文字カラム、変数、または値のデータ型のサイズが 32767 を超えました。

エラー定数	SQLE_CHAR_FIELD_SIZE_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	19
SQLCODE	-1093
SQLSTATE	54W09
Sybase エラーコード	13422

考えられる原因

宣言または変換で、バイト長が 32767 を超える文字型が指定されました。

文字セット '%1' から '%2' への変換が失敗しました。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_CONVERT_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	入力文字列の文字セット。
パラメーター 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-1075
SQLSTATE	WC011
Sybase エラーコード	13439

考えられる原因

サーバーは、指定された 2 つの文字セット間で変換できませんでした。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

文字セット '%1'、言語 '%2' はサポートされていません。代わりに言語 '%3' が使用されます。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_CHARSET_AND_LANGUAGE
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	サポートできない文字セットの名前。
パラメーター 2	サポートできない言語の名前。
パラメーター 3	サーバーが言語文字列を送信するために使用する言語の名前。
重大度	10
SQLCODE	117
SQLSTATE	01W15
Sybase エラーコード	13616

考えられる原因

アプリケーションが要求した文字セットは、アプリケーションが接続しているサーバーではサポートされていません。アプリケーションが要求した言語もサポートされていません。言語文字列は指定した言語で送信されます。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

モジュールの前処理でのユーザー ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_MODULE_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-104
SQLSTATE	28W01

Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

モジュールの前処理で、無効なユーザー ID またはパスワードを指定しました。

文字列 '%1' は、有効な座標名ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_COORDNAME
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な座標名。
重大度	16
SQLCODE	-1457
SQLSTATE	2FW50
Sybase エラーコード	13115

考えられる原因

指定された文字列は、座標の名前ではありません。座標名は、X、Y、Z、M、Latitude、および Longitude です。

文字列 '%1' は、有効な軸順序ではありません。

エラー定数	SQLE_SLERR_DDL_SRS_AXISORDER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効な軸順序。
重大度	16
SQLCODE	-1456
SQLSTATE	2FW49
Sybase エラーコード	13116

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

指定された文字列は、有効な軸順序ではありません。

文字列が長すぎます (%1)。

エラー定数	SQLE_STRING_PARM_TOO_LONG
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	54000
パラメーター 1	サーバーで許可されている長さを超えている文字列。
重大度	15
SQLCODE	-973
SQLSTATE	54W06
Sybase エラーコード	13515

考えられる原因

文字列の長さが、サーバーで許可されている長さを超えています。

文字列カラム '%1' のヒストグラムを出力できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_DUMP_STRING_HISTOGRAM
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	文字列データが含まれているカラムの名前。
重大度	10
SQLCODE	132
SQLSTATE	01W23
Sybase エラーコード	13585

考えられる原因

文字列が含まれているカラムのヒストグラムを取得しようとしました。文字列情報のヒストグラムは、読み込み可能なフォーマットで出力できません。この結果、情報は取得されません。カラムの特定の値または範囲の情報を取得するには、ESTIMATE 関数の使用を検討してください。

その他の情報

- 「ヒストグラムユーティリティ (dbhist)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ESTIMATE 関数 [その他]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

文字列データの右側がトランケートされます。

エラー定数	SQLE_STRING_RIGHT_TRUNCATION
ODBC 2 ステータス	22001
ODBC 3 ステータス	22001
重大度	16
SQLCODE	-638
SQLSTATE	22001
Sybase エラーコード	9502

考えられる原因

文字列データを割り当てるときに、スペースではない文字がトランケートされました。

その他の情報

- 「string_rtruncation オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「Transact-SQL と SQL/2008 の互換性オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

もっと情報が必要です。

エラー定数	SQLE_MORE_INFO
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	112

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLSTATE	01W09
Sybase エラーコード	13686

考えられる原因

この処理を完了するには、より詳細な情報が必要です。この情報は、統一化ログインを処理するために、データベースインターフェイスライブラリの内部で使用されます。アプリケーションには返しません。

ユーザー '%1' がトランザクションのレプリケーションを実行している間は、これらのパーミッションを取り消すことはできません。

エラー定数	SQLE_MUST_NOT_BE_REPLICATING
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1080
SQLSTATE	42WBE
Sybase エラーコード	13434

考えられる原因

レプリケーションを実行中のトランザクションがあるユーザーのパーミッションを取り消そうとしました。これは許可されていません。

ユーザー '%1' はこのデータベースのリモートユーザーではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_USER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02

パラメーター 1	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-285
SQLSTATE	5RW06
Sybase エラーコード	13647

考えられる原因

このデータベースのリモートユーザーではないユーザーに対して CREATE SUBSCRIPTION または PASSTHROUGH を実行しようとしました。このユーザーに対して GRANT REMOTE または GRANT CONSOLIDATE を実行してから、この操作を続行してください。

ユーザー '%1' はすでに EXECUTE パーミッションを付与されています。

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_EXEC_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでに EXECUTE パーミッションを持つユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-968
SQLSTATE	42WAB
Sybase エラーコード	13522

考えられる原因

ストアドプロシージャーの EXECUTE パーミッションをユーザーに与えようとしましたが、そのユーザーは、該当するプロシージャーの EXECUTE パーミッションをすでに持っていました。

ユーザー '%1' はすでにグループ '%2' のメンバーです。

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GROUP_MEMBERSHIP
ODBC 2 ステータス	42000

ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでにメンバーシップを持つユーザーの名前。
パラメーター 2	グループの名前。
重大度	16
SQLCODE	-312
SQLSTATE	42W34
Sybase エラーコード	13627

考えられる原因

特定のグループのメンバーシップをあるユーザーに与えようとしましたが、そのユーザーはすでにそのメンバーシップを持っています。

ユーザー '%1' はすでにこのデータベースのパブリッシャーです。

エラー定数	SQLE_ONLY_ONE_PUBLISHER
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	パブリッシャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-284
SQLSTATE	5RW05
Sybase エラーコード	13646

考えられる原因

パブリッシャーがすでに存在するときに、ユーザー ID に GRANT PUBLISH を実行しようとしました。

ユーザー '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_USER_ALREADY_EXISTS

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1198
SQLSTATE	WW101
Sybase エラーコード	13317

考えられる原因

データベースにすでに存在するユーザーを作成しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「新しいユーザーの作成」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「CREATE USER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Sybase Central での Ultra Light ユーザーの管理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「CREATE USER 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ユーザー '%1' はすでにパーミッションを付与されています。

エラー定数	SQLE_ALREADY_HAS_GRANT_PERMS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでに GRANT パーミッションを持つユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-120
SQLSTATE	42W01
Sybase エラーコード	13625

考えられる原因

GRANT OPTION パーミッションを付与しようとしたユーザーには、すでにそのパーミッションがあります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ユーザー '%1' はユーザーグループではありません。

エラー定数	SQLE_NOT_A_GROUP
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	グループと認識していたユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-123
SQLSTATE	42W03
Sybase エラーコード	13626

考えられる原因

グループにメンバーを追加しようとしましたが、そのグループに指定したユーザー ID は GROUP パーミッションを付与されていませんでした (つまり、それはグループではありませんでした)。

ユーザー '%1'に対するテンポラリオプションを設定することはできません。

エラー定数	SQLE_TEMPORARY_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	オプションを変更する必要があるユーザー ID。
重大度	16
SQLCODE	-203
SQLSTATE	42W45
Sybase エラーコード	13687

考えられる原因

TEMPORARY オプションは接続単位に設定するものであり、データベースサーバーに認識されている特定のオプションに対してのみ指定します。別のユーザーのオプションを変更するには、SET OPTION 文に TEMPORARY を指定しないでください。

ユーザー '%2' に対するデータベースオプション '%1' は不正な設定です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_ON_CONNECT
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	無効な値を持つデータベースオプションの名前。
パラメーター 2	接続しようとしたユーザーの名前。
重大度	10
SQLCODE	113
SQLSTATE	01W11
Sybase エラーコード	13688

考えられる原因

特定ユーザーの接続要求を処理するときに、サーバーが、無効な値が設定されているデータベースオプションを処理しました。サーバーではデフォルトのオプション値が使用されます。

ユーザー ID またはパスワードが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOGON
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
重大度	14
SQLCODE	-103
SQLSTATE	28000
Sybase エラーコード	4002

考えられる原因

無効なユーザー ID または間違ったパスワードを入力しました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「ユーザー」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light ユーザー」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ユーザー設定が存在するため、PUBLIC オプション '%1' を削除できません。

エラー定数	SQLE_UNSET_PUBLIC_ID
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	オプションの名前。
重大度	15
SQLCODE	-896
SQLSTATE	42W82
Sybase エラーコード	13587

考えられる原因

PUBLIC オプションを削除しようとしましたが、同じオプションを対象としたユーザー設定が存在します。ユーザー設定を削除してから、PUBLIC オプションを削除してください。

ユーザー定義データ型 '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_USER_TYPE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ユーザー定義型の名前。
重大度	16
SQLCODE	-613
SQLSTATE	52W18
Sybase エラーコード	2715

考えられる原因

この名前のユーザー定義型はデータベースには存在しません。

ユーザー定義の例外が通知されました。

エラー定数	SQLE_USER_DEFINED_EXCEPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-297
SQLSTATE	99999
Sybase エラーコード	13662

考えられる原因

ストアドプロシージャーまたはトリガーにより、ユーザー定義の例外が通知されました。このエラーは、例外ハンドラーのあるストアドプロシージャーまたはトリガー内でしか使用できません。データベースサーバーによるエラー発生ではないことが確実な、例外通知に使用されます。有効な SQLSTATE 値は 99000 ～ 99999 です。この値は、例外通知の SQL 文を実行するときにユーザーによって設定されます。

ユーザーによって中断させられました -- トランザクションはロールバックされました。

エラー定数	SQLE_TERMINATED_BY_USER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-302
SQLSTATE	40W02
Sybase エラーコード	3618

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベースが文を実行中にその文をキャンセルしました。ROLLBACK 文は自動的に実行されました。

ユーザーは使用中のシーケンスを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_SEQUENCES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-1367
SQLSTATE	42WE2
Sybase エラーコード	13195

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザーが使用中のシーケンスを所有しているユーザーを削除しようとしました。

ユーザーは使用中のテーブルを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_TABLES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-751
SQLSTATE	42W56
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザーが使用中のテーブルを所有するユーザーから、REVOKE CONNECT を実行しようとしました。

ユーザーは使用中のプロシージャーを所有しています。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_PROCEDURES_IN_USE
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
重大度	16
SQLCODE	-750
SQLSTATE	42W55
Sybase エラーコード	3702

考えられる原因

データベースの他のアクティブユーザーが使用中のプロシージャーを所有しているユーザーを削除しようとしました。

ユーザーメッセージ %1 が見つかりません。

エラー定数	SQLE_MESSAGE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	メッセージ番号。
重大度	16
SQLCODE	-612
SQLSTATE	52W17
Sybase エラーコード	2748

考えられる原因

このエラー番号のメッセージは、データベースには存在しません。

ユーザーメッセージ %1 はすでに存在しています。

エラー定数	SQLE_MESSAGE_ALREADY_EXISTS

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	データベースに存在するユーザーメッセージのエラー番号。
重大度	16
SQLCODE	-610
SQLSTATE	52W16
Sybase エラーコード	13624

考えられる原因

このエラー番号のメッセージはすでにデータベースに存在します。

要求されたデータ型として NULL の結果を返すことができません。

エラー定数	SQLE_VALUE_IS_NULL
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1050
SQLSTATE	22030
Sybase エラーコード	13461

考えられる原因

データベースから NULL である値を取り出し、NULL にはできない変数に割り当てようとしました。

要求された文字セット '%1' と '%2' 間の変換はできません。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER_2_CHARSETS
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	1 番目の要求された文字セットエンコードの名前。
パラメーター 2	2 番目の要求された文字セットエンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-891
SQLSTATE	WC008
Sybase エラーコード	13592

考えられる原因

サーバーは、指定された 2 つの文字セット間で変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

要求された文字セット '%1' とデータベース側文字セット '%2' 間の変換はできません。

エラー定数	SQLE_FAILED_TO_START_CONVERTER
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	要求された文字セットエンコードの名前。
パラメーター 2	データベースの文字セットエンコードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-870
SQLSTATE	WC002
Sybase エラーコード	13874

考えられる原因

サーバーは、指定された接続文字セットをデータベース文字セットに変換できません。これは、dbicu と dbicudt の各 DLL がインストールされていない場合に発生する可能性があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

要求された容量分 DB 領域 '%1' を拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

エラー定数	SQLE_NO_ROOM_TO_GROW_DBSPACE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	DB 領域の名前。
重大度	16
SQLCODE	-1121
SQLSTATE	57W03
Sybase エラーコード	13392

考えられる原因

ALTER DBSPACE 文を使用して DB 領域を拡張しようとしましたが、指定した容量分拡張するのに十分な空き領域がデバイスにありません。

要素は空セットです ('%1' 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_ELEMENT_IS_EMPTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	空のジオメトリが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1401
SQLSTATE	2FF06
Sybase エラーコード	13171

考えられる原因

ジオメトリの要素が空のセットです。空のジオメトリは、LineString または CircularString でのポイントとして使用できません。空の曲線は、複合曲線の要素として使用できません。空の曲線は多角形のリングとして使用できません。

呼び出そうとしたメソッドは、お使いのアプリケーションでは使用できません。

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_ENABLED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1092
SQLSTATE	0A001
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

有効になっていないメソッドを呼び出そうとしたか、有効になっていない機能を使用しようとしました。Ultra Light では、ULEnable 関数を使用するか、ULInitDatabaseManagerNoSQL ではなく ULInitDatabaseManager を使用して機能を有効にします。

読み込み専用データベースに対しての修正は禁止されています。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_DATABASE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	14
SQLCODE	-757
SQLSTATE	55W08
Sybase エラーコード	13768

考えられる原因

読み込み専用と宣言されているデータベース上で更新操作を実行しようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

読み込み専用のカーソルを更新しようとしました。

エラー定数	SQLE_READ_ONLY_CURSOR
ODBC 2 ステータス	S1009
ODBC 3 ステータス	HY092
重大度	16
SQLCODE	-633
SQLSTATE	42W30
Sybase エラーコード	7732

考えられる原因

読み込み専用と明示的に宣言されているカーソル上で、更新操作を実行しようとしました。

ラベル '%1' は見つかりません。

エラー定数	SQLE_LABEL_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	見つからなかったラベルの名前。
重大度	15
SQLCODE	-262
SQLSTATE	42W24
Sybase エラーコード	133

考えられる原因

LEAVE 文でラベルを参照しましたが、ラベルは見つかりませんでした。

リモートサーバー '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_FOUND

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートサーバーの名前。
重大度	11
SQLCODE	-659
SQLSTATE	WO004
Sybase エラーコード	11214

考えられる原因

追加されていないサーバーに対してオブジェクトを定義しようとしました。CREATE SERVER を使用して、リモートサーバー定義を追加してください。

リモートサーバー '%1' は現在読み込み専用に設定されています。

エラー定数	SQLE_OMNI_READONLY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートサーバーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-658
SQLSTATE	WO003
Sybase エラーコード	11248

考えられる原因

読み込み専用として設定されているサーバーに配置されたオブジェクトを更新しようとしました。ALTER SERVER を使用して、リモートサーバーを更新可能に再設定してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

リモートサーバーにはこの文をサポートする機能がありません。

エラー定数	SQLE_OMNI_SERVER_NOT_CAPABLE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-706
SQLSTATE	WO012
Sybase エラーコード	11227

考えられる原因

リモートサーバーでサポートされていない機能を必要とする文を実行しようとしました。

リモートサーバーはオートインクリメントするデータ型をサポートしていません。

エラー定数	SQLE_OMNI_AUTOINC_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	12
SQLCODE	-698
SQLSTATE	WO011
Sybase エラーコード	11205

考えられる原因

オートインクリメントデータ型は、リモートサーバーがその機能をサポートしている場合にプロキシテーブルでのみサポートされます。

リモート接続を確立するときに、セキュリティトークンを使用できません

エラー定数	SQLE_INVALID_USE_OF_SECURITY_TOKEN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1590
SQLSTATE	WO032
Sybase エラーコード	12515

考えられる原因

セキュリティトークンを、リモードデータにアクセスするための接続の作成に使用できません。

リモートデータアクセス機能はこのプラットフォームではサポートされていません

エラー定数	SQLE_OMNI_FEATURE_NOT_SUPPORTED
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	15
SQLCODE	-1139
SQLSTATE	0AW18
Sybase エラーコード	13374

考えられる原因

リモートデータアクセス機能を使用しようとしましたが、リモートデータアクセスはこのプラットフォームではサポートされていません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

リモートテーブル '%1' が見つかりませんでした。

エラー定数	SQLE_OMNI_RMT_TABLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートテーブルの完全な名前。
重大度	11
SQLCODE	-666
SQLSTATE	WO007
Sybase エラーコード	11214

考えられる原因

リモートサーバーにはテーブルが見つかりませんでした。リモートテーブルの名前と、そのテーブルのユーザー権限をチェックしてください。

リモートの文が失敗しました。

エラー定数	SQLE_REMOTE_STATEMENT_FAILED
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
重大度	16
SQLCODE	-288
SQLSTATE	5RW09
Sybase エラーコード	13650

考えられる原因

この SQLSTATE は、トリガー内だけで信号を送ることができ、SQL Remote Message Agent (dbremote) が出力装置にエラーメッセージを表示できないようにします。この例外は、トリガーまたはプロシージャーが信号を送るときに発生します。これは、設計上許容されているレプリケーションエラーを無視するときに役立ちます。

その他の情報

- 「レプリケーションエラーの無視」『SQL Remote』

リモートホストへの安全な接続に失敗しました：%1

エラー定数	SQLE_SECURE_CONNECTION_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	発生したエラーを説明するメッセージ。
重大度	19
SQLCODE	-990
SQLSTATE	WW059
Sybase エラーコード	13499

考えられる原因

サーバーがリモートホストとの安全な接続を開始できませんでした。

リモートメッセージタイプ '%1' が見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOT_REMOTE_TYPE
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	リモートメッセージタイプの名前。
重大度	16
SQLCODE	-286
SQLSTATE	5RW07
Sybase エラーコード	13648

考えられる原因

このデータベースで定義されていないリモートメッセージタイプを参照しました。リモートメッセージタイプを定義するには、CREATE REMOTE TYPE を使用します。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

レプリケーションでのオブジェクトを持つユーザーを削除できません。

エラー定数	SQLE_USER_OWNS_REPLICATED_OBJECTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-731
SQLSTATE	55W06
Sybase エラーコード	13633

考えられる原因

レプリケーションに含まれるデータベースオブジェクトの作成者であるユーザーを削除しようとしました。たとえば、ユーザーはパブリケーションの一部であるテーブルを所有していることがあります。

ローが新しいスキーマフォーマットに変換されなかったため、ローは削除されました。

エラー定数	SQLE_ROW_DROPPED_DURING_SCHEMA_UPGRADE
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
重大度	10
SQLCODE	130
SQLSTATE	01W21
Sybase エラーコード	13588

考えられる原因

古いスキーマで有効だったローが無効になりました。このことは、カラムドメインが変更され、古い値を新しいドメインにキャストできないことによって発生する場合があります。一意性制約または外部キー制約が守られない場合も、ローが削除されます。

その他の情報

- SQL Anywhere：「テーブル変更」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「一意性制約の管理」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- SQL Anywhere：「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ローがデータベースのページサイズを超えているため、ローを格納できません。

エラー定数	SQLE_ROW_EXCEEDS_PAGE_SIZE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-1117
SQLSTATE	WW083
Sybase エラーコード	13396

考えられる原因

データベースのページに格納するには大きすぎるローを挿入または更新しようとしました。Ultra Light では、BLOB カラムを除き、ロー全体が単一のデータベースページに収まる必要があります。ページサイズを大きくすると、大きいローを格納できます。

その他の情報

- SQL Anywhere：「最大ページサイズの考慮事項」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「適切なページサイズの使用」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- UltraLite：「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』 の -p オプション
- Ultra Light：「Ultra Light page_size 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

ローが見つかりません。

エラー定数	SQLE_NOTFOUND
ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

重大度	16
SQLCODE	100
SQLSTATE	02000
Sybase エラーコード	560

考えられる原因

クエリの先頭または末尾を超えた位置にカーソルを配置しています。その位置にはローはありません。

その他の情報

- 「Embedded SQL でのカーソル」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ローカル接続 ID は現在のデータベースを参照していません。

エラー定数	SQLE_LOCAL_CONNECTION_NOT_TO_CURRENT_DB
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16
SQLCODE	-997
SQLSTATE	WO025
Sybase エラーコード	710

考えられる原因

指定した接続 ID は、現在のデータベース以外のデータベースへの接続の ID です。

ローカルデータベースオプションが無効です。

エラー定数	SQLE_INVALID_LOCAL_OPTION
ODBC 2 ステータス	08001
ODBC 3 ステータス	08001
重大度	18

SQLCODE	-79
SQLSTATE	08W25
Sybase エラーコード	5864

考えられる原因

DBS (DatabaseSwitches) 接続パラメーターで無効なデータベースオプションが見つかりました。

その他の情報

- 「DatabaseSwitches (DBS) 接続パラメーター」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

ローカルテンポラリとして宣言されたテーブルにコメントを追加できません。

エラー定数	SQLE_COMMENT_NOT_ALLOWED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	11
SQLCODE	-1042
SQLSTATE	WW065
Sybase エラーコード	13469

考えられる原因

LOCAL TEMPORARY と宣言されたテーブルにコメントを追加しようとしました。これは許可されていません。

ローの値が無効またはサポートされていないため、ダウンロードに失敗しました。

エラー定数	SQLE_INVALID_DOWNLOAD_VALUE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
重大度	16

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQLCODE	-1382
SQLSTATE	0AW26
Sybase エラーコード	13186

考えられる原因

ダウンロードされたローに無効またはサポートされていないカラム値が含まれていたため、同期ダウンロードに失敗しました。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバー管理』

ログイン ID '%1' はすでにユーザー ID '%2' にマップされています。

エラー定数	SQLE_LOGON_MAPPED
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	マッピング済みのログイン ID の名前。
パラメーター 2	そのログイン ID がマップ済みのユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-249
SQLSTATE	28W08
Sybase エラーコード	13697

考えられる原因

ログイン ID を 2 回マッピングしようとしました。

ログイン ID '%1' はどのデータベースユーザー ID にもマップされていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_UNMAPPED
ODBC 2 ステータス	28000

ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	マッピングされていないログイン ID の名前。
重大度	16
SQLCODE	-313
SQLSTATE	28W09
Sybase エラーコード	13698

考えられる原因

データベースユーザー ID にマッピングされていないログイン ID を使用して接続しようとし、データベースユーザー ID ゲストがないか、マッピングされていないログイン ID を取り消そうとしました。このエラーは、マッピングされた複数のグループのメンバーである統合化ログイン ID を使用して接続しようとした場合にも発生する可能性があります。

ログインポリシー "%1" が見つかりません

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1195
SQLSTATE	WW098
Sybase エラーコード	13320

考えられる原因

データベースに、指定されたログインポリシーが見つかりませんでした。

ログインポリシー "%1" は使用中です

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_IN_USE
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1197
SQLSTATE	WW100
Sybase エラーコード	13318

考えられる原因

指定されたログインポリシーは、データベース内のユーザーに関連付けられています。ログインポリシーに関連付けられているすべてのユーザーを他のログインポリシーに割り当ててから、指定されたログインポリシーを削除してください。

ログインポリシー '%1' はすでに存在します

エラー定数	SQLE_LOGIN_POLICY_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ログインポリシーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1194
SQLSTATE	WW097
Sybase エラーコード	13321

考えられる原因

データベースにすでに存在するログインポリシーを作成しようとしました。

ログインモード '%1' は、login_mode 設定で許可されていません。

エラー定数	SQLE_LOGON_MODE_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	28000

ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	現在の login_mode データベースオプション設定にはないログインモードの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1074
SQLSTATE	28W14
Sybase エラーコード	13440

考えられる原因

現在の login_mode データベースオプション設定にはないログインモードを使用して接続しようとしました。オプションの設定を変更するか、別のログインモードで接続してください。

ワークロードキャプチャ (%1) はすでに進行中です。

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでに進行中のワークロードキャプチャの名前。
重大度	16
SQLCODE	-942
SQLSTATE	WW029
Sybase エラーコード	13546

考えられる原因

ワークロードキャプチャがすでに進行中であるときに、これを初期化しようとしました。進行中のキャプチャが完了するまで待つ必要があります。

ワークロードキャプチャは現在行われていません。

エラー定数	SQLE_WORKLOAD_CAPTURE_DOES_NOT_EXIST
ODBC 2 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	42000
重大度	16
SQLCODE	-943
SQLSTATE	WW030
Sybase エラーコード	13545

考えられる原因

ワークロードキャプチャの停止、一時停止、再開、またはステータスの取得を実行しましたが、ワークロードキャプチャは現在存在しません。

割り当てのエラー

エラー定数	SQLE_ERROR_IN_ASSIGNMENT
ODBC 2 ステータス	22005
ODBC 3 ステータス	22018
重大度	20
SQLCODE	-641
SQLSTATE	22005
Sybase エラーコード	8205

考えられる原因

GET DESCRIPTOR 文では、ホスト変数のデータ型は記述子項目のデータ型に対応している必要があります。

その他の情報

- 「GET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SQL Anywhere のエラーメッセージ (五十音順、特殊文字)

%1

エラー定数	SQLE_OMNI_DEBUG

ODBC 2 ステータス	OK
ODBC 3 ステータス	OK
パラメーター 1	コンソール用のデバッグメッセージ。
重大度	16
SQLCODE	-682
SQLSTATE	WO010
Sybase エラーコード	13734

考えられる原因

このメッセージは、メッセージウィンドウにコンポーネント統合サービスのデバッグメッセージを表示する場合に使用されます。

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	入力文字列の文字セット。
パラメーター 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	125
SQLSTATE	01WC1
Sybase エラーコード	13892

考えられる原因

サーバーで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。不正な文字は変換されないまま直接コピーされました。不正な文字の後のデータは正しく解釈されていない可能性があります。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

%1 から %2 に変換するときに、無効なマルチバイトの入力文字が検出されました。

エラー定数	SQLE_ILLEGAL_MULTIBYTE_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	入力文字列の文字セット。
パラメーター 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-879
SQLSTATE	WC003
Sybase エラーコード	13890

考えられる原因

サーバーで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、無効なマルチバイト文字が検出されました。処理がアボートされました。

%1 から %2 に変換するときに文字を置換しました。

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_WARNING
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	入力文字列の文字セット。
パラメーター 2	出力文字列の文字セット。
重大度	10
SQLCODE	127
SQLSTATE	01WC3

Sybase エラーコード	13896

考えられる原因

サーバーで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。そのような文字は置換されました。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

その他の情報

- 「on_charset_conversion_failure オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

%1 から %2 に変換する場合は文字の置換が必要です。

エラー定数	SQLE_SIMPLE_SUBSTITUTION_ERROR
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	入力文字列の文字セット。
パラメーター 2	出力文字列の文字セット。
重大度	16
SQLCODE	-881
SQLSTATE	WC005
Sybase エラーコード	13894

考えられる原因

サーバーで入力文字列に対して文字セット変換を実行しているときに、データベース文字セットで表現できない文字がありました。処理がアボートされました。on_charset_conversion_failure オプションを参照してください。

%1 から %2 に変換できません (%3 付近)。

エラー定数	SQLE_SLERR_ST_TO_XXX_FAILN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	値のジオメトリタイプ。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 2	ターゲットのジオメトリタイプ。
パラメーター 3	エラーが検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1411
SQLSTATE	2FF16
Sybase エラーコード	13161

考えられる原因

指定されたターゲットタイプに値を変換できませんでした。

%1 から返された結果セットのスキーマは予期されているものと異なります。

エラー定数	SQLE_BAD_RESULT_SET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	不正な結果セットを返すプロシージャーの名前。
重大度	12
SQLCODE	-866
SQLSTATE	WP012
Sybase エラーコード	13870

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句でプロシージャーを呼び出す場合、予期される結果のスキーマが WITH 句から取得されます。WITH 句を使用しない場合、予期されるスキーマはシステムカタログから取得されます。呼び出しから返される結果セットは、予期されるスキーマに一致するか、一致するように各カラムを変換できるようになっている必要があります。

%1 から結果セットが返されません。

エラー定数	SQLE_NO_RESULT_SET

ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-872
SQLSTATE	WP014
Sybase エラーコード	13876

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャーが結果セットを返す必要があります。

%1 から複数の結果セットが返されました。

エラー定数	SQLE_TOO_MANY_RESULT_SETS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-873
SQLSTATE	WP013
Sybase エラーコード	13877

考えられる原因

SELECT 文の FROM 句で呼び出されたプロシージャーは、複数の結果セットを返すことができません。

%1 のリソースガバナーが制限を超えています。

エラー定数	SQLE_RESOURCE_GOVERNOR_EXCEEDED
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	制限を超えたリソース。
重大度	19
SQLCODE	-685
SQLSTATE	WP009
Sybase エラーコード	13715

考えられる原因

表示されているリソースのリソースガバナーが、リソースの使用率が制限を超えていると判断しました。

その他の情報

- 「接続リソースの使用」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「max_cursor_count オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「max_statement_count オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「max_priority オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「priority オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

%1 秒間で外部環境は起動に失敗し接続を確立できませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTENV_START_TIMED_OUT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	外部環境が起動し接続が確立されるまで、サーバーが待機する秒数。
重大度	16
SQLCODE	-1556
SQLSTATE	WP017
Sybase エラーコード	12549

考えられる原因

外部環境の起動およびサーバーとの接続の確立に時間がかかりすぎました。システムの負荷が高すぎるか、または正しく設定されていないために、問題が発生している可能性があります。

その他の情報

- 「START EXTERNAL ENVIRONMENT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL Anywhere 外部環境のサポート」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

%1 を %2 に変換できません。データファイルのロー %4 のカラム '%3' に不正な値が指定されています

エラー定数	SQLE_CONVERSION_ERROR_LOAD_TABLE
ODBC 2 ステータス	07006
ODBC 3 ステータス	07006
パラメーター 1	変換できなかった値。
パラメーター 2	変換しようとしたデータ型。
パラメーター 3	値を挿入しようとしたカラム名。
パラメーター 4	無効なデータが発生したデータファイルの行番号。
重大度	16
SQLCODE	-162
SQLSTATE	53017
Sybase エラーコード	13887

考えられる原因

LOAD TABLE に指定したデータファイルに、必要なデータ型に変換できない値があります。

その他の情報

- SQL Anywhere：「LOAD TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「LOAD TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' %2 の近くに構文エラーがあります。

エラー定数	SQLE_SYNTAX_ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	構文エラーが見つかった単語または記号。
パラメーター 2	行番号。
重大度	15
SQLCODE	-131
SQLSTATE	42W04
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

実行しようとしている文を、データベースサーバーが理解できません。カラム名にキーワードを使う場合は、キーワードを引用符で囲んでください (たとえば DATE は "DATE")。

'%1' が見つからないため、外部環境を起動できませんでした。

エラー定数	SQLE_EXTENV_NOT_STARTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	VM の実行に必要だが見つからなかったコンポーネント (実行可能プログラムまたはファイル)。
重大度	16
SQLCODE	-675
SQLSTATE	WP006
Sybase エラーコード	13747

考えられる原因

外部環境の起動時に問題が発生しました。外部環境の実行に必要なコンポーネントが見つかりませんでした。

'%1' 属性の '%2' 内でカッコが対応していません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISMATCH_BRACES
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの属性。
パラメーター 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1129
SQLSTATE	WW086
Sybase エラーコード	13384

考えられる原因

丸カッコ (ポートオプションを指定した場合は中カッコ) が対応していないため、属性の値が無効です。

'%1' 属性の '%2' 内でカンマが見つかりません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ATTRIBUTE_MISSING_COMMA
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロシージャーの属性。
パラメーター 2	属性の値。
重大度	16
SQLCODE	-1130
SQLSTATE	WW087
Sybase エラーコード	13383

考えられる原因

カンマがないため、属性の値が無効です。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%1' で指定されたリモートホストに接続できません。

エラー定数	SQLE_UNABLE_TO_CONNECT_TO_HOST
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	リモートホストを参照している URI。
重大度	19
SQLCODE	-981
SQLSTATE	WW050
Sybase エラーコード	13508

考えられる原因

リモートサーバーへの接続を開始できませんでした。

'%1' でデータベースを使用している間は許可されません。

エラー定数	SQLE_MUST_BE_ONLY_CONNECTION
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	データベースを使用している接続の名前。
重大度	16
SQLCODE	-211
SQLSTATE	42W19
Sybase エラーコード	13652

考えられる原因

データ定義言語操作を行おうとしましたが、この操作は他のユーザーが接続しているときには実行できません。

'%1' では結果セットは許可されません。

エラー定数	SQLE_RESULT_SET_NOT_PERMITTED
ODBC 2 ステータス	07005
ODBC 3 ステータス	07005
パラメーター 1	無効な文を含むオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-946
SQLSTATE	09W03
Sybase エラーコード	13542

考えられる原因

結果セットが許可されないコンテキストで、SELECT 文を実行しようとしました。

'%1' という名前のイベントオブジェクトはすでに存在します

エラー定数	SQLE_EVENT_OBJECT_ALREADY_EXISTS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	イベントオブジェクトの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1265
SQLSTATE	WE016
Sybase エラーコード	13245

考えられる原因

指定された名前のイベントオブジェクト (通知キューまたはユーザーイベント) はすでに存在します。

その他の情報

- Ultra Light：「Ultra Light のイベント通知」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%1' という名前の同期サブスクリプションが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNCHRONIZATION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	サブスクリプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-767
SQLSTATE	5RW12
Sybase エラーコード	13777

考えられる原因

同期サブスクリプションの名前のスペルを間違えたか、同期サブスクリプション名をユーザー名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という名前の同期ユーザーが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SYNC_SITE_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	同期ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-843
SQLSTATE	5RW37
Sybase エラーコード	13849

考えられる原因

同期サイトの名前のスペルを間違えたか、同期サイト名をユーザー名で正しく修飾しませんでした。

'%1' という変数はすでに存在します。

エラー定数	SQLE_VARIABLE_EXISTS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	すでに存在する変数の名前。
重大度	15
SQLCODE	-261
SQLSTATE	42W15
Sybase エラーコード	134

考えられる原因

すでに存在する変数の名前を使って、変数を作成しようとしました。

'%1' というユーザー ID はありません。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_USERID
ODBC 2 ステータス	28000
ODBC 3 ステータス	28000
パラメーター 1	見つからなかったユーザーの名前。
重大度	11
SQLCODE	-140
SQLSTATE	08004
Sybase エラーコード	509

考えられる原因

存在しないユーザー ID を使用しました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- SQL Anywhere：「新しいユーザーの作成」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- SQL Anywhere：「CREATE USER 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Sybase Central での Ultra Light ユーザーの管理」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- Ultra Light：「CREATE USER 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' にサブスクリプションを作成できません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_SUBSCRIBE
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	パブリケーションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-768
SQLSTATE	5RW13
Sybase エラーコード	13778

考えられる原因

同期パブリケーションなど、一部のパブリケーションはサブスクリプションを作成できません。

'%1' にジョインする方法がありません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN_TABEXPR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ジョインできないテーブルまたはビューの名前。
重大度	15
SQLCODE	-875
SQLSTATE	42W73
Sybase エラーコード	102

考えられる原因

このテーブルに関する有効なジョイン条件をサーバーが検出できませんでした。ジョインが外部ジョインである場合は、ON 句が欠落している可能性があります。ジョインが KEY JOIN である場合は、ジョイン条件を生成するために使用できるこのテーブルの外部キーとプライマリキーの関係をサーバーが検出できませんでした。ジョインが NATURAL JOIN である場合は、テーブルに、ジョインされるテーブル式と共通のカラム名がありません。

'%1' に対する関数またはカラムの参照も GROUP BY 句に記述する必要があります。

エラー定数	SQLE_INVALID_GROUP_SELECT
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	直接または式の中で参照される、GROUP BY 句に入れる必要があるカラムの名前。
重大度	15
SQLCODE	-149
SQLSTATE	53003
Sybase エラーコード	7321

考えられる原因

SELECT リストまたはネストされたクエリブロックの中で、GROUP BY 句にない非集合関数またはカラム参照を使用しました。GROUP BY を使ったクエリでは、集合関数以外の SELECT リスト項目は GROUP BY 句中にも入れてください。SELECT リスト項目がカラム参照またはエイリアスである場合は、GROUP BY 句にカラム名かエイリアスを追加します。SELECT リスト項目がスカラ関数である場合は、GROUP BY 句中の関数の引数が、SELECT リスト内のものと必ず一致するようにしてください。場合によっては、GROUP BY 句にカラムを追加する代わりに、カラム名に MAX 関数 (または別の集合関数) を使用できます。

'%1' のインデックスの型の指定は不正です。

エラー定数	SQLE_INVALID_INDEX_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	無効なインデックスの型指定。
重大度	16
SQLCODE	-650
SQLSTATE	WW016
Sybase エラーコード	13704

考えられる原因

IQ インデックスデータ型は IQ インデックスだけに指定できます。Ultra Light では、LONG 型のカラムにインデックスを指定できません。

その他の情報

- 「CREATE INDEX 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' の機能は、この接続によってロックされていません。

エラー定数	SQLE_FEATURE_NOT_LOCKED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1333
SQLSTATE	WW145
Sybase エラーコード	13223

考えられる原因

機能のロックを解除しようとしましたが、この機能は接続によってロックされていませんでした。

'%1' の機能は、同期が進行中のためロックされています。

エラー定数	SQLE_FEATURE_LOCKED_SYNC
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1343
SQLSTATE	WW147
Sybase エラーコード	13213

考えられる原因

同期が進行中であるためにロックされていた機能を使用しようとしました。

'%1' の機能は、別の接続によってロックされています。

エラー定数	SQLE_FEATURE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1334
SQLSTATE	WW146
Sybase エラーコード	13222

考えられる原因

別の接続によってロックされた機能を使用しようとしました。

'%1' の機能は実装されていません。

エラー定数	SQLE_NOT_IMPLEMENTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	実装されていない機能の名前。
重大度	16
SQLCODE	-134
SQLSTATE	0A000
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

このバージョンの SQL Anywhere で実装されていない操作を実行したり、機能を使用しようとしました。Ultra Lite では、LONG VARCHAR または LONG BINARY のカラムでサポートされていない操作を実行しようとしたときに、このエラーがよく発生します。たとえば、SUBSTRING 関数は LONG VARCHAR のカラムでは使用できません。同様に、LONG のカラムにはインデックスを作成できません。

その他の情報

- SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード

'%1' の機能は認識できないか無効です。

エラー定数	SQLE_FEATURE_UNKNOWN_OR_INVALID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	機能名
重大度	16
SQLCODE	-1332
SQLSTATE	WW144
Sybase エラーコード	13224

考えられる原因

認識できない機能をロックまたはロック解除しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューの定義では次の構成体を使用できません : '%2'

エラー定数	SQLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	使用できない機能のロケーション。
パラメーター 2	使用できない機能。
重大度	15
SQLCODE	-1031
SQLSTATE	42WB3
Sybase エラーコード	13479

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反するマテリアライズドビューを作成しようとしました。

'%1' の近くに構文エラーがあります -- マテリアライズドビューを即時に変更できません。マテリアライズドビューの定義に次の不正な構成体が含まれています : '%2'

エラー定数	SQLE_UPDATABLE_MATVIEW_SYNTAX_ERROR
ODBC 2 ステータス	42000
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	使用できない機能のロケーション。
パラメーター 2	使用できない機能。
重大度	15
SQLCODE	-1032
SQLSTATE	42WB4
Sybase エラーコード	13480

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

定義が制限の 1 つに違反するマテリアライズドビューの再表示タイプを「即時」に変更しようとしました。

'%1' のファイル I/O に失敗しました。

エラー定数	SQLE_DEVICE_IO_FAILED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-974
SQLSTATE	WW043
Sybase エラーコード	13959

考えられる原因

ファイルにアクセスしようとしてエラーが発生しました。ファイルがリムーバブルメディアカードにある場合は、カードが取り出された可能性があります。

'%1' の変換中にアンダーフローが発生しました

エラー定数	SQLE_UNDERFLOW
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	変換する型。
重大度	16
SQLCODE	-1280
SQLSTATE	WW232
Sybase エラーコード	13806

考えられる原因

指定された型の変換中にアンダーフローが発生しました。変換元の型が小さすぎる (たとえば、長さ 0 のバイナリ) 場合もあれば、変換先の型によって表現するには値が小さすぎる場合もあります。

'%1' のボリューム ID が不正です。

エラー定数	SQLE_INCORRECT_VOLUME_ID
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	ファイル名。
重大度	16
SQLCODE	-975
SQLSTATE	WW044
Sybase エラーコード	13960

考えられる原因

ファイルにはアクセスできますが、ボリューム ID が変更されています。元のリムーバブルメディアカードを挿入してください。

'%1' は '%2' に対して無効な値です。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPTION_VALUE
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効な値。
パラメーター 2	オプションの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1053
SQLSTATE	42W85

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Sybase エラーコード	5849

考えられる原因

無効な値をオプションに指定しました。オプションには、数値だけを指定できるオプションや、true または false だけを指定できるオプションがあります。また、多くのオプションでは、値として空の文字列を指定できません。

その他の情報

- 「Ultra Light 接続パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light 接続文字列とパラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' は、NCHAR 照合として使用できません。UCA と UTF8BIN のみを使用できます。

エラー定数	SQLE_INVALID_NCHAR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	NCHAR 照合として使用できない照合。
重大度	16
SQLCODE	-1073
SQLSTATE	WC010
Sybase エラーコード	13442

考えられる原因

指定した照合は NCHAR 照合として使用できません。NCHAR では常に UTF-8 が使用されるので、照合は UCA または UTF8BIN である必要があります。

'%1' は、照合 '%2' で使用するのに有効な文字セットエンコードではありません。

エラー定数	SQLE_INVALID_ENCODING_FOR_COLLATION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	無効な文字セットエンコード。
パラメーター 2	文字セットエンコードが無効な照合。
重大度	16
SQLCODE	-1072
SQLSTATE	WC009
Sybase エラーコード	13441

考えられる原因

指定した文字セットは、指定した照合で使用できません。

'%1' は既知のファイル形式でないため、テーブルをロードまたはアンロードできません。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_LOAD_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定したフォーマット。
重大度	19
SQLCODE	-601
SQLSTATE	WL001
Sybase エラーコード	13669

考えられる原因

LOAD TABLE または UNLOAD TABLE でサポートされていないファイルフォーマットが指定されました。

'%1' は認識されていないサービスタイプです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_SERVICE_TYPE
ODBC 2 ステータス	ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	認識されていないサービスタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-916
SQLSTATE	42W94
Sybase エラーコード	13568

考えられる原因

認識できないサービスタイプを指定しました。

'%1' は認識されないフォーマット指定オプションです。

エラー定数	SQLE_SLERR_INVALID_FORMAT_SPECIFICATION_OPTION
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なオプション。
重大度	16
SQLCODE	-1432
SQLSTATE	2FW25
Sybase エラーコード	13140

考えられる原因

指定されたオプションは、このフォーマット指定ではサポートされていません。

'%1' は認識されないフォーマットタイプです。

エラー定数	SQLE_SLERR_FMT_UNKNOWN
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR

パラメーター 1	無効なフォーマットタイプ。
重大度	16
SQLCODE	-1428
SQLSTATE	2FW21
Sybase エラーコード	13144

考えられる原因

指定されたフォーマットタイプが認識されません。

'%1' は認識できないオプションです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_OPTION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	サーバーに認識されないオプション。
重大度	10
SQLCODE	120
SQLSTATE	01W17
Sybase エラーコード	13751

考えられる原因

サーバーに認識されていないオプションの値を設定しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「データベースオプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- Ultra Light：「Ultra Light データベースオプション」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' は認識できないプロパティです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	プロパティ名 (または ID)。
重大度	16
SQLCODE	-1498
SQLSTATE	WU001
Sybase エラーコード	13605

考えられる原因

指定されたプロパティは不明です。

その他の情報

- 「DB_PROPERTY 関数 [システム]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- ULGetDatabaseProperty メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- DatabaseSchema.getDatabaseProperty メソッド [Ultra Light for M-Business Anywhere]『Ultra Light M-Business Anywhere プログラミング (旧式)』
- ULDatabaseSchema.GetDatabaseProperty メソッド [Ultra Light.NET]『Ultra Light .NET プログラミング』
- Connection.getDatabaseProperty メソッド [Ultra Light J]『Ultra Light - Java プログラミング』

'%1' は認識できない文字セットエンコードラベルです。

エラー定数	SQLE_UNKNOWN_CHARSET
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	認識されない文字セットエンコードラベル。
重大度	16
SQLCODE	-868
SQLSTATE	WC001
Sybase エラーコード	13872

考えられる原因

指定した文字セットラベルが認識されないので、その文字セットとの変換を実行できません。

'%1' は複数のテーブルで使用されています。

エラー定数	SQLE_CORRELATION_NAME_AMBIGUOUS
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	あいまいな相関名。
重大度	16
SQLCODE	-139
SQLSTATE	52012
Sybase エラーコード	7364

考えられる原因

同じ FROM 句の中で、同じ相関名を使ってテーブルを 2 つ指定しました。

'%1' は有効なクラスファイルではありません。

エラー定数	SQLE_BAD_CLASS_FILE
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なファイルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-92
SQLSTATE	WP002
Sybase エラーコード	13736

考えられる原因

INSTALL JAVA 文に受け渡されるファイルが、有効な Java クラスファイルではありませんでした。

その他の情報

- 「INSTALL JAVA 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%1' フォーマットの入力文字列はここでは使用できません。

エラー定数	SQLE_SLERR_WRONG_FORMAT
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なフォーマット。
重大度	16
SQLCODE	-1430
SQLSTATE	2FW23
Sybase エラーコード	13142

考えられる原因

このコンテキストでは、指定されたフォーマットを持つ文字列を使用できません。

'%1' 付近に非連続の曲線があります。

エラー定数	SQLE_SLERR_COMPOUNDCURVE_NOT_CONTIGUOUS
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	非連続曲線が検出された値またはメソッド。
重大度	16
SQLCODE	-1403
SQLSTATE	2FF11
Sybase エラーコード	13169

考えられる原因

複合曲線ジオメトリが複数の曲線で構成されており、隣接する曲線をそれらの終了点でジョインする必要があります。

'%1' 付近に無効な式があります。

エラー定数	SQLE_EXPRESSION_ERROR
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	無効な式。
重大度	16
SQLCODE	-156
SQLSTATE	42W08
Sybase エラーコード	401

考えられる原因

データベースサーバーが理解できない式を指定しました。たとえば、2 つの日付を加算しようとしました。

その他の情報

- SQL Anywhere：「式」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- Ultra Light：「Ultra Light の式」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

'%1' プロパティはサポートされなくなりました。

エラー定数	SQLE_UNSUPPORTED_PROPERTY
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	無効なプロパティの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1119
SQLSTATE	42WC2
Sybase エラーコード	13394

考えられる原因

指定したプロパティは、現在のリリースではサポートされていません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%1' への文字セット変換は実行できません。代わりに '%2' が使用されます。

エラー定数	SQLE_CANNOT_PERFORM_CHAR_TRANSLATION
ODBC 2 ステータス	01000
ODBC 3 ステータス	01000
パラメーター 1	アプリケーションが要求した文字セットの名前。
パラメーター 2	データベースが使用する文字セットの名前。
重大度	10
SQLCODE	114
SQLSTATE	01W12
Sybase エラーコード	13613

考えられる原因

サーバーは、データベースが使用する文字セットからアプリケーションが要求した文字セットに文字変換を実行できません。

その他の情報

- 「文字セット変換」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

'%1' を '%2' データのエンコード指定として使用することはできません。

エラー定数	SQLE_INVALID_OPENSTRING_ENCODING
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	指定されたエンコード
パラメーター 2	エンコードが指定されたデータ型
重大度	16
SQLCODE	-1144

SQLSTATE	WC017
Sybase エラーコード	13368

考えられる原因

指定されたエンコードは、指定されたデータを解釈するために使用することはできません。エンコードは、CHAR データの場合はデータベースの CHAR 文字エンコード、NCHAR データの場合はデータベースの NCHAR 文字エンコードにしてください。

'%1' を '%2' にジョインするための方法が複数あります。

エラー定数	SQLE_AMBIGUOUS_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000
パラメーター 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメーター 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-147
SQLSTATE	52W08
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

2 つのテーブルをキージョインしようとしましたが、それらのテーブルが 2 つ以上の外部キーで関連付けられていました。最初のテーブルから 2 番目のテーブルに外部キーが 2 つある可能性があります。その原因は、それぞれのテーブルに、他方のテーブルへの外部キーがあるからです。プライマリキーテーブルには、相関名を使用してください。これは外部キー関係の役割名と同じです。

'%1' を '%2' にジョインできません。

エラー定数	SQLE_CANNOT_JOIN
ODBC 2 ステータス	37000
ODBC 3 ステータス	42000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	ジョインできない最初のテーブルの名前。
パラメーター 2	ジョインできない 2 番目のテーブルの名前。
重大度	16
SQLCODE	-146
SQLSTATE	53W04
Sybase エラーコード	301

考えられる原因

2 つのテーブル間で KEY JOIN を行おうとしましたが、一方のテーブルのプライマリキーを参照する外部キーが、もう一方のテーブルにありません。または、NATURAL JOIN を行おうとしましたが、テーブル間に共通のカラム名がありません。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションが見つかりません。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_FOUND
ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	パブリケーションの名前。
パラメーター 2	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-283
SQLSTATE	5RW04
Sybase エラーコード	13645

考えられる原因

存在しないサブスクリプションを削除、開始、または同期しようとしました。

'%2' の '%1' に対するサブスクリプションはすでに存在します。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_NOT_UNIQUE

ODBC 2 ステータス	S0002
ODBC 3 ステータス	42S02
パラメーター 1	パブリケーションの名前。
パラメーター 2	ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-282
SQLSTATE	5RW03
Sybase エラーコード	13644

考えられる原因

すでに存在するサブスクリプションを作成しようとしました。

'%2' のパブリケーション '%1' に対するサブスクリプションが文から除外されました。

エラー定数	SQLE_SUBSCRIPTION_OMITTED
ODBC 2 ステータス	ERROR
ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	パブリケーションの名前。
パラメーター 2	Mobile Link ユーザーの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1323
SQLSTATE	WW141
Sybase エラーコード	13233

考えられる原因

START SYNCHRONIZATION SCHEMA CHANGE 文によって、変更するテーブルがリストされましたが、そのテーブルを参照するサブスクリプションがその文で省略されていました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%2' のローは、ユーザー '%1' によってロックされています。

エラー定数	SQLE_LOCKED
ODBC 2 ステータス	40001
ODBC 3 ステータス	40001
パラメーター 1	別のユーザーの名前。
パラメーター 2	エラーを引き起こすテーブル。
重大度	21
SQLCODE	-210
SQLSTATE	42W18
Sybase エラーコード	8405

考えられる原因

変更しようとしているオブジェクトは、他の接続よってロックがかけられているため、操作がエラーになりました。INSERT、UPDATE、DELETE、SELECT または MERGE といった文では、データベースオプションでブロッキングが Off に設定されているときに、他のユーザーによってロックされているローに対して読み込みまたは書き込みを実行しようとすることによって、このエラーがよく発生します。CREATE, DROP、GRANT、REVOKE、REFRESH、または ALTER などのデータ定義文では、DDL 文を実行している接続が変更したいオブジェクト (テーブル、ビュー、マテリアライズドビュー、インデックスなど) に対する排他ロックを取得できず、操作を続行できない状態のときに、このエラーが生成される場合があります。

その他の情報

- (マテリアライズドビューの再表示など) 一部の操作では、操作を完了させるために、実行中にブロッキングを一時的に Off に設定できます。この設定は一時的なものであり、この接続にのみ適用されるため、初期設定が On の場合には操作が完了するとリセットされます。ただし、ブロッキングが Off に設定されている間は、SQLCODE -210 SQLSTATE 42W18 エラーが生成される可能性があります。blocking 接続プロパティ『SQL Anywhere サーバー データベース管理』と「blocking オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』を参照してください。

"%1" と同じ設定でこのテーブルに新しいテキストを作成できませんでした。

エラー定数	SQLE_TEXT_INDEX_SAME_SETTING_IDX
ODBC 2 ステータス	ERROR

ODBC 3 ステータス	ERROR
パラメーター 1	同じ設定を持つもう一方のテキストインデックスの名前。
重大度	16
SQLCODE	-1304
SQLSTATE	WT021
Sybase エラーコード	13455

考えられる原因

1 つのテーブルに対して、同じカラムリストおよび設定を持つ 2 つのテキストインデックスは作成できません。

(メッセージなし)

エラー定数	SQLE_NOERROR
ODBC 2 ステータス	00000
ODBC 3 ステータス	00000
重大度	10
SQLCODE	0
SQLSTATE	00000
Sybase エラーコード	13600

考えられる原因

このコードは、エラーまたは警告がなかったことを示します。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ

この項では、SQL プリプロセッサーが生成するメッセージをリストします。設定するコマンドラインオプションによって、各メッセージはエラー、警告、または非準拠フラグです。非準拠フラグ自体もエラーまたは警告です。

SQL プリプロセッサーとコマンドラインオプションの詳細については、「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』を参照してください。

SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
2601	「サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。」
2602	「hosttype にはポインター配列を使用できません。」
2603	「CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。」
2604	「VARCHAR 型には長さの指定が必要です。」
2605	「VARCHAR 型の配列はサポートされません。」
2606	「VARCHAR 型のホスト変数をポインターとすることはできません。」
2607	「VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。」
2608	「FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。」
2609	「FIXCHAR 型の配列はサポートされません。」
2610	「この型の配列はサポートされません。」
2611	「DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。」
2612	「DECIMAL 型の配列は許可されません。」
2613	「不明なホスト変数の型です。」

エラーコード	メッセージテキスト
2614	「無効な整数です。」
2615	「ホスト変数 '%1' は C の文字列型でなければなりません。」
2617	「シンボル '%1' はすでに定義されています。」
2618	「無効な型の SQL 文変数です。」
2619	「インクルードファイル '%1' が見つかりません。」
2620	「ホスト変数 '%1' は認識できません。」
2621	「インジケーター変数 '%1' は認識できません。」
2622	「インジケーター変数 '%1' の型が無効です。」
2623	「'%1' に無効な型のホスト変数があります。」
2625	「ホスト変数 '%1' に 2 つの異なる定義があります。」
2626	「文 '%1' が準備されていません。」
2627	「カーソル '%1' が宣言されていません。」
2628	「文 '%1' は認識できません。」
2629	「このカーソルではホスト変数を使用できません。」
2630	「ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。」
2631	「%1 にホストリストまたは USING 句を指定してください。」
2633	「SELECT 文に INTO 句がありません。」
2636	「不正な Embedded SQL 構文です。」
2637	「文字列リテラルの終わりに引用符がありません。」
2639	「トークンが長すぎます。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
2640	「ホスト変数 '%1' は整数型でなければなりません。」
2641	「DESCRIBE には必ず SQLDA を指定してください。」
2642	「同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。」
2646	「静的カーソルは記述できません。」
2647	「マクロは再定義できません。」
2648	「配列の次元が正しくありません。」
2649	「記述子のインデックスが正しくありません。」
2650	「SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。」
2651	「SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。」
2652	「データの値はホスト変数でなければなりません。」
2660	「INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。」
2661	「認識できない SQL 構文です。」
2662	「不明な SQL 関数 '%1' です。」
2663	「SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。」
2664	「静的文の名前は、2 つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。」
2665	「ホスト変数 '%1' が再定義されています。」
2666	「構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。」
2667	「構文に言語の拡張機能が検出されました。」

エラーコード	メッセージテキスト
2680	「DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。」
2681	「テンポラリファイルを開けません。」
2682	「テンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。」
2683	「出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。」
2690	「このカーソルのホスト変数の数が不一致です。」
2691	「このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。」
2692	「このカーソルのインジケーター変数が不一致です。」
2694	「カーソル '%1' に対する OPEN はありません。」
2695	「カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。」
2696	「ホスト変数 '%1' は異なるインジケーターですでに使用されています。」
2697	「LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。」
2698	「WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。」
2699	「char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメーターを混合することはできません。」
2700	「SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています」
2701	「PREPARE では (DECLARE CURSOR ではない)、FOR UPDATE または FOR READ ONLY 句を指定します。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SQL プリプロセッサーのエラーメッセージ (五十音順)

%1 にホストリストまたは USING 句を指定してください。

エラーコード	2631

考えられる原因

指定された文には、ホスト変数がホスト変数リストまたは SQLDA から指定される必要があります。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

'%1' に無効な型のホスト変数があります。

エラーコード	2623

考えられる原因

プリプロセッサーが文字列型のホスト変数を期待している場所に、文字列型ではないホスト変数が使われました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

CHAR 型でサポートされる配列は 1 次元配列だけです。

エラーコード	2603

考えられる原因

ホスト変数を文字の配列として宣言しようとしました。これはホスト変数の型としては許可されません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

char、WCHAR、および TCHAR の文字列パラメーターを混合することはできません。

エラーコード	2699

考えられる原因

1 つの文で、すべて char 文字列、すべて WCHAR 文字列、またはすべて TCHAR 文字列ではないパラメーターを使用しようとしました。1 つの文の文字列パラメーター (INTO パラメーターと USING パラメーターを除く) はすべて同じ型の文字列である必要があります。リテラル文字列は char 文字列として処理されます。

DECIMAL 型には精度を指定する必要があります。

エラーコード	2611

考えられる原因

DECL_DECIMAL マクロを使用して、パックされた 10 進数のホスト変数を宣言するときは、精度を指定する必要があります。小数点以下の桁数はオプションです。

その他の情報

- 「DESCRIBE 実行後の SQLDA の sqllen フィールドの値」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「Embedded SQL のデータ型」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

DECIMAL 型の配列は許可されません。

エラーコード	2612

考えられる原因

ホスト変数を DECIMAL の配列として宣言しようとしました。DECIMAL 型の配列は、ホスト変数の型としては許可されません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

DECLARE SECTION 文と INCLUDE SQLCA 文がありません。

エラーコード	2680

考えられる原因

EXEC SQL INCLUDE SQLCA 文がソースファイルにありません。

その他の情報

- 「INCLUDE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

DESCRIBE には必ず SQLDA を指定してください。

エラーコード	2641

考えられる原因

SQLDA が指定されていない DESCRIBE 文があります。これは必須です。

その他の情報

- 「DESCRIBE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

FIXCHAR 型には長さの指定が必要です。

エラーコード	2608

考えられる原因

DECL_FIXCHAR マクロを使用して FIXCHAR 型のホスト変数を宣言しましたが、長さを指定しませんでした。

FIXCHAR 型の配列はサポートされません。

エラーコード	2609

考えられる原因

ホスト変数を FIXCHAR の配列として宣言しようとしました。これはホスト変数の型としては許可されません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

hosttype にはポインター配列を使用できません。

エラーコード	2602

考えられる原因

ポインターの配列をホスト変数として使用しました。これは許可されません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

INTO 句は DECLARE カーソルでは許可されません - 無視されます。

エラーコード	2660

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文で INTO 句を使用しました。INTO 句は無視されます。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

LONG BINARY/LONG VARCHAR のサイズ制限は、Ultra Light では 65535 です。

エラーコード	2697

考えられる原因

Ultra Light で DECL_LONGBINARY または DECL_LONGVARCHAR を使用する場合、配列の最大サイズは 64 KB です。

その他の情報

- 「データ型」『Ultra Light C/C++ プログラミング』

PREPARE では (DECLARE CURSOR ではない)、FOR UPDATE または FOR READ ONLY 句を指定します。

エラーコード	2701

考えられる原因

DECLARE CURSOR 文に FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を指定しました。FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句は、DECLARE CURSOR 文ではなく、PREPARE 文で指定する必要があります。パフォーマンスは低下しますが、以前のバージョンとの互換性のために、sqlpp -m HISTORICAL オプションを指定すると、DECLARE CURSOR 文で FOR UPDATE 句または FOR READ ONLY 句を使用できるようになります。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

SELECT 文に INTO 句がありません。

エラーコード	2633

考えられる原因

Embedded Static SELECT 文は指定しましたが、結果のための INTO 句は指定しませんでした。

その他の情報

- 「SELECT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SET DESCRIPTOR に対する不正なフィールドです。

エラーコード	2650

考えられる原因

SET DESCRIPTOR 文に不正なキーワードまたは未知のキーワードがあります。使用できるキーワードは、TYPE、PRECISION、SCALE、LENGTH、INDICATOR、DATA のいずれかです。

その他の情報

- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SET DESCRIPTOR 文ですでに使用されたフィールドです。

エラーコード	2651

考えられる原因

単一の SET DESCRIPTOR 文で、同じキーワードが 2 回以上使用されました。

その他の情報

- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

SQL 関数 '%1' に対する引数の数が正しくありません。

エラーコード	2663

考えられる原因

SQL 関数のパラメーター数が正しくありません。これがデータベースサーバーに送信されると、エラーになる可能性があります。

SQL 構文は Ultra Light だけでサポートされています

エラーコード	2700

考えられる原因

Ultra Light 用のコードを生成していないときに、Ultra Light だけでサポートされている文を使用しようとしました。

その他の情報

- 「Embedded SQL」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

VARCHAR 型には長さの指定が必要です。

エラーコード	2604

考えられる原因

DECL_VARCHAR または DECL_BINARY マクロを使用して、VARCHAR または BINARY ホスト変数を宣言しましたが、配列のサイズを指定しませんでした。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

VARCHAR 型の配列はサポートされません。

エラーコード	2605

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR または BINARY の配列として宣言しようとしました。これはホスト変数の型としては許可されません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

VARCHAR 型のホスト変数は初期化できません。

エラーコード	2607

考えられる原因

VARCHAR または BINARY データ型のホスト変数に、C 変数イニシャライザは指定できません。この変数は、通常の C プログラムコードで初期化する必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

VARCHAR 型のホスト変数をポインターとすることはできません。

エラーコード	2606

考えられる原因

ホスト変数を VARCHAR または BINARY のポインターとして宣言しようとしました。これはホスト変数の型としては許可されません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

WCHAR 型および TCHAR 型のホスト変数はサポートされません。

エラーコード	2698

考えられる原因

ホスト変数を WCHAR 文字列または TCHAR 文字列として宣言しようとしました。これらは Windows プラットフォームの Ultra Light だけでサポートされます。

インクルードファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	2619

考えられる原因

指定されたインクルードファイルが見つかりませんでした。プリプロセッサーはインクルードファイルを探すのに、INCLUDE 環境変数を使用することに注意してください。

インジケーター変数 '%1' の型が無効です。

エラーコード	2622

考えられる原因

インジケーター変数の型は a_sql_len である必要があります。これとは違う型が使われました。

その他の情報

- 「インジケーター変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

インジケーター変数 '%1' は認識できません。

エラーコード	2621

考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったインジケーター変数を、文の中で使用しました。

その他の情報

- 「インジケーター変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「宣言セクション [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

同じ種類 (INTO または USING) の SQLDA が 2 つ指定されています。

エラーコード	2642

考えられる原因

この文に 2 つの INTO DESCRIPTOR 句または 2 つの USING DESCRIPTOR 句を指定しました。

その他の情報

- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「GET DATA 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「UPDATE (位置付け) 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「EXPLAIN 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

カーソル '%1' が宣言されていません。

エラーコード	2627

考えられる原因

Embedded SQL カーソル名を最初に宣言 (DECLARE) せずに、(FETCH、OPEN、CLOSE などで) 使用しました。

その他の情報

- 「DECLARE CURSOR 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

カーソル '%1' に対する FETCH または PUT はありません。

エラーコード	2695

考えられる原因

カーソルが宣言されて開かれましたが、使用されませんでした。

その他の情報

- 「FETCH 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

カーソル '%1' に対する OPEN はありません。

エラーコード	2694

考えられる原因

カーソルが宣言され、開かれずに使用されたことが考えられます。

その他の情報

- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「カーソルを使用した操作」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

記述子のインデックスが正しくありません。

エラーコード	2649

考えられる原因

ALLOCATE DESCRIPTOR 文で変数が 1 つも割り付けられていません。

その他の情報

- 「ALLOCATE DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

構文に許可されない言語の拡張機能が検出されました。

エラーコード	2666

考えられる原因

現在のフラグレベル (-e オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

構文に言語の拡張機能が検出されました。

エラーコード	2667

考えられる原因

現在のフラグレベル (-w オプションで設定) でサポートされていない SQL Anywhere の機能を使用しました。

その他の情報

- -e オプション、「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

このカーソルではホスト変数を使用できません。

エラーコード	2629

考えられる原因

指定されたカーソルの DECLARE 文では、ホスト変数は許可されません。ホスト変数を通してカーソル名を与える場合は、完全な動的 SQL を使用して文を作成してください。作成された文中にはホスト変数があってもかまいません。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「DECLARE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

このカーソルのインジケーター変数が不一致です。

エラーコード	2692

考えられる原因

以前にカーソルで使用していないインジケーター変数を使用しました。または、以前にカーソルで使用したインジケーター変数を使用していません。カーソルに対して一貫したインジケーター変数を使用してください。

その他の情報

- 「インジケーター変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

このカーソルのホスト変数の数が不一致です。

エラーコード	2690

考えられる原因

ホスト変数の数が以前にカーソルで使用した数と異なっています。カーソルに対して同じ数のホスト変数を使用してください。

このカーソルのホスト変数のタイプが不一致です。

エラーコード	2691

考えられる原因

使用したホスト変数の型や長さが、以前にカーソルで使用したものとは異なります。カーソルに対して一貫したホスト変数の型を使用してください。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

この型の配列はサポートされません。

エラーコード	2610

考えられる原因

サポートされていない型のホスト変数の配列を宣言しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

サブスクリプト値 %1 が大きすぎます。

エラーコード	2601

考えられる原因

インデックスを付けようとしたホスト変数が、大きすぎる値を持つ配列でした。

その他の情報

- 「一度に複数のローをフェッチする」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	2683

考えられる原因

出力ファイルへの書き込み中にエラーが発生しました。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

シンボル '%1' はすでに定義されています。

エラーコード	2617

考えられる原因

ホスト変数を 2 回定義しました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

静的カーソルは記述できません。

エラーコード	2646

考えられる原因

静的カーソルを記述しました。カーソルを記述するときは、ホスト変数にカーソル名を指定してください。

その他の情報

- 「insensitive カーソル」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

静的文の名前は、2 つのスレッドで使用する場合、正しく機能しません。

エラーコード	2664

考えられる原因

静的文の名前を使って、-r リエントランシオプションで前処理を行いました。静的文の名前は静的変数を生成し、それはデータベースによって入力されます。2 つのスレッドが同じ文を使う

と、この変数の競合が生じます。文識別子には静的な名前ではなく、ローカルなホスト変数を使用してください。

その他の情報

- 「静的 SQL 文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

データの値はホスト変数でなければなりません。

エラーコード	2652

考えられる原因

ホスト変数として宣言されていない変数を SET DESCRIPTOR 文で使用しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「SET DESCRIPTOR 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

テンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	2682

考えられる原因

テンポラリファイルの読み込み中にエラーが発生しました。

テンポラリファイルを開けません。

エラーコード	2681

考えられる原因

テンポラリファイルを開こうとしたときにエラーが発生しました。

トークンが長すぎます。

エラーコード	2639

考えられる原因

SQL プリプロセッサーの最大トークン長は 2 KB です。これより長いトークンはエラーになります。Embedded SQL コマンドの定数文字列 (このエラーが主に発生する場所) では、長い文字列を作成するには文字列の連結を使用してください。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

認識できない SQL 構文です。

エラーコード	2661

考えられる原因

データベースサーバーに送信されるとエラーになる可能性のある SQL 文を使いました。

配列の次元が正しくありません。

エラーコード	2648

考えられる原因

配列の次元が負の値になっています。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

不正な Embedded SQL 構文です。

エラーコード	2636

考えられる原因

Embedded SQL 文 (OPEN、DECLARE、FETCH など) に構文エラーがあります。

その他の情報

- 「アプリケーションでの SQL 文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

不明な SQL 関数 '%1' です。

エラーコード	2662

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

プリプロセッサーが認識できない SQL 関数を使いました。これがデータベースサーバーに送信されると、エラーになる可能性があります。

不明なホスト変数の型です。

エラーコード	2613

考えられる原因

SQL プリプロセッサーが理解できないデータ型で、ホスト変数を宣言しました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

文 '%1' が準備されていません。

エラーコード	2626

考えられる原因

Embedded SQL 文名を最初に準備 (PREPARE) せずに実行 (EXECUTE) しました。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「PREPARE 文 [ESQL]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

文 '%1' は認識できません。

エラーコード	2628

考えられる原因

存在しない Embedded SQL 文を削除しようとしました。

ホスト変数 '%1' が再定義されています。

エラーコード	2665

考えられる原因

同一のホスト変数を、異なるホストの型で再定義しています。プリプロセッサーに関しては、ホスト変数はグローバルです。型が異なる 2 つのホスト変数には同じ名前を使用できません。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ホスト変数 '%1' に 2 つの異なる定義があります。

エラーコード	2625

考えられる原因

同じモジュール中で、同じホスト変数名に対して 2 つの異なった型が定義されています。ホスト変数名は C モジュールに対してグローバルであることに注意してください。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ホスト変数 '%1' は C の文字列型でなければなりません。

エラーコード	2615

考えられる原因

Embedded SQL 文 (カーソル名、オプション名など) 中で、C 文字列が要求されましたが、違う型の値が渡されました。

その他の情報

- 「C ホスト変数型」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ホスト変数 '%1' は異なるインジケーターですでに使用されています。

エラーコード	2696

考えられる原因

同じ文の中で、異なるインジケーター変数を使用して同じホスト変数が複数回使用されています。これはサポートされていません。

その他の情報

- 「インジケーター変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ホスト変数 '%1' は整数型でなければなりません。

エラーコード	2640

考えられる原因

整数型のホスト変数だけが許可される文中で、整数型ではないホスト変数を使いました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ホスト変数 '%1' は認識できません。

エラーコード	2620

考えられる原因

DECLARE SECTION で宣言されなかったホスト変数を、文の中で使用しました。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「Embedded SQL プログラムの構造」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

ホスト変数が、DECLARE および OPEN で 2 回指定されました。

エラーコード	2630

考えられる原因

DECLARE 文と OPEN 文の両方でカーソルにホスト変数を指定しました。静的の場合は、DECLARE 文でホスト変数を指定してください。動的の場合は、OPEN で指定してください。

その他の情報

- 「DECLARE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「OPEN 文 [ESQL] [SP]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

マクロは再定義できません。

エラーコード	2647

考えられる原因

ヘッダーファイルで、プリプロセッサーマクロが 2 回定義されていることが考えられます。

その他の情報

- 「データベースツールインターフェイス (DBTools)」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

無効な型の SQL 文変数です。

エラーコード	2618

考えられる原因

文識別子として使われるホスト変数の型は a_sql_statement_number になります。他の型のホスト変数を使用しようとしました。

その他の情報

- 「ホスト変数の使用法」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

無効な整数です。

エラーコード	2614

考えられる原因

Embedded SQL 文 (フェッチオフセット、ホスト変数配列インデックスなど) 中で、整数が要求されましたが、プリプロセッサーは入力された内容を整数に変換できませんでした。

その他の情報

- 「Embedded SQL のホスト変数」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

文字列リテラルの終わりに引用符がありません。

エラーコード	2637

考えられる原因

Embedded SQL 文中で文字列リテラルを指定しましたが、文字列を囲む引用符の後ろの方が行の最後またはファイルの最後までに見つかりません。

その他の情報

- 「SQL プリプロセッサー」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Mobile Link サーバーのエラーメッセージ

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードは、常に負の値となります。警告コードは、常に正の値となります。0 はエラーと警告がないことを示します。

参照

- 「Mobile Link サーバーの警告メッセージ」939 ページ
- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ」983 ページ

Mobile Link サーバーのエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
-10382	「Mobile Link サーバーは起動に失敗しました」
-10381	「Mobile Link サーバーは、64 ビットオペレーティングシステムで、64 ビットアプリケーションとして実行する必要があります」
-10380	「同期が ORACLE 'gv$transaction' テーブルにアクセスする必要があるため、要求を処理できません」
-10379	「ODBC 接続文字列に、64 ビット Mobile Link と互換性のないドライバーが指定されています」
-10378	「予期しないエンドツーエンド暗号化トラフィックをポート%1 で受信しました」
-10377	「予期しない暗号化トラフィックをポート %1 で受信しました」
-10376	「予期しない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
-10375	「ユーザーパラメーター '%1' の値を設定できません -- 値が %2 文字を超えています」

エラーコード	メッセージテキスト
-10374	「シャットダウン中に開始したリクエストをアボートしています。」
-10373	「受信したファイルが予期していたファイルと一致しないため、%1 のアップロードは失敗しました」
-10371	「この CPU では、空間のサポートは利用できません」
-10370	「テーブル '%1' の upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトは、無視されるスクリプトとして定義することはできません」
-10368	「要求を完了できません」
-10367	「テーブル '%1' には upload_fetch スクリプトがありますが、競合解決スクリプトが定義されていません」
-10366	「テーブル '%1' には %2 スクリプトがありません」
-10362	「クラス '%2' に、'%1' に一致する過負荷はありません。」
-10361	「update_poll_every プロパティは無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。」
-10360	「'%1' 付近でコマンドラインにエラーが発生しました」
-10359	「Mobile Link サーバーの重要なコンポーネントが正しく起動できませんでした。」
-10358	「最大 -x oe スイッチ 1 つを使用できます。」
-10357	「-lsc と -ca 両方のオプションを指定する必要があります。」
-10355	「テーブル '%1' に %2 構文がありません。」
-10354	「<OE>: %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10353	「プライマリサーバーロックがなくなりました。」
-10352	「プライマリサーバー情報を保存できません。」
-10351	「プライマリ Mobile Link サーバーをロックできません。」
-10350	「監視サーバーに接続する際に、設定問題が検出されました。」
-10349	「監視サーバーに接続できませんでした。」
-10348	「リモート ID '%1' の RID を取得できません。」
-10347	「ユーザー '%1' のユーザー ID を取得できません。」
-10346	「2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしているか、テンポラリファイル '%2' を開くのに失敗しました。」
-10345	「2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしています。」
-10344	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。孤立した Ultra Light 同期が検出されました。」
-10343	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しているか、データベース接続が使用できません。同じリモート ID のロックにアクセスできません。」
-10342	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。同じリモート ID のロックは、別の同期によって変更されました。」
-10341	「リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。そのリモート ID はロックできません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10340	「Notifier は統合データベースに接続できませんでした。」
-10339	「前のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。」
-10338	「プロパティセット名 '%1' に正しいカッコが含まれていません。」
-10337	「プロパティ名のプレフィクス '%1!s.' が不正です。」
-10336	「Notifier '%1' の poll_every プロパティが無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。」
-10335	「RTNotifier は '%1' という名前のプロパティを認識しません。」
-10334	「Notifier '%1' の request_cursor が指定されていません。」
-10333	「空間ジオメトリパラメーター '%1' に無効な修飾子が見つかりました。」
-10332	「空間ジオメトリパラメーター %1 に無効な修飾子が見つかりました。」
-10331	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値に、リモートデータベースでは使用できない NULL SRID が含まれています。」
-10330	「空間ライブラリエラー : '%1'」
-10329	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値のタイムゾーンのタイムスタンプが無効です。」
-10327	「'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバー接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバー接続文字列を指定する必要があります。」
-10325	「サーバーがレコーダーの初期化に失敗しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10324	「記録されたプロトコルファイルを閉じられません。」
-10323	「ファイルアップロードのファイル名またはサブディレクトリ '%1' が無効です。」
-10322	「転送用にファイル '%1' を書き込めませんでした。」
-10321	「要求ファイルをアップロードできませんでした。アップロードルートディレクトリが設定されていません。」
-10320	「ファイルアップロードのルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。」
-10319	「ファイルに書き込めません。」
-10318	「同期の一部を記録できません。」
-10317	「レコーダーで必要なスレッドとの結び付きマスクを設定できません。」
-10316	「記録用のファイル '%1 を開けません。」
-10314	「このサーバーには dbmlsync を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10313	「このサーバーには QAnywhere を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10312	「このサーバーにはダイレクトロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。」
-10309	「このサーバーには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません : %1」
-10308	「テーブル '%2' のカラム %1 のアップロードデータが無効です。」
-10307	「リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバーがマップできません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10306	「リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバーがマップできません。」
-10297	「不明なスクリプトフラグ '%1' のため、SQL パススルースクリプトを送信できません。」
-10296	「MLSD をサポートできません。」
-10295	「Mobile Link サーバーとクライアントの実装 ID が一致しません。」
-10292	「ネットワークリスナーポートで新規接続を受け入れられません。」
-10291	「クライアントから受信したサブスクリプションリストは、破損しているか無効です。」
-10290	「分散トランザクションをアボートできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'」
-10289	「分散トランザクションをコミットできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'」
-10288	「分散トランザクションコーディネーターにデータベースをエンリストできません。」
-10287	「分散トランザクションを初期化できません -- システムエラー : '%1'」
-10286	「DTC トランザクションマネージャーを取得できません -- システムエラー : '%1'」
-10283	「ホスト名 '%1' を解決できません (エラー : '%2')。」
-10282	「共有メモリファイルを作成できません。」
-10281	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモートカラムの数よりも大きくなっています。」
-10280	「クライアントテーブル '%1' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10279	「ネットワークアクティビティがないため、接続が切断されました。」
-10278	「通知パイプでエラーが発生しました。」
-10277	「通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システムエラー : %1)」
-10276	「受信接続を受け入れられません (システムエラー : %1)」
-10275	「通知できません (システムエラー : %1)」
-10274	「ソケットをポーリングできません (システムエラー : %1)」
-10273	「アドレスを再利用できません (システムエラー : %1)」
-10272	「ソケットセレクター通知の UNIX パイプを作成できません (システムエラー : %1)」
-10271	「ソケットを閉じられません (システムエラー : %1)」
-10270	「完了ポートで待機できません (システムエラー : %1)」
-10269	「リスナー削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)」
-10268	「リスナーソケットでハードクローズを実行できません。」
-10267	「ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)」
-10266	「ソケット '%1' でハードクローズを実行できません。」
-10265	「接続の受け入れを開始できません (システムエラー : %1)」
-10264	「接続ソケットを作成できません (システムエラー : %1)」

エラーコード	メッセージテキスト
-10263	「ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システムエラー : %1)」
-10262	「ポートで受信できません (システムエラー : %1)」
-10261	「リスナーソケットをポートにバインドできません (システムエラー : %1)」
-10260	「リスナーソケットを作成できません (システムエラー : %1)」
-10259	「ネットワークアドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。」
-10258	「I/O 完了ポートを作成できません (システムエラー : %1)」
-10255	「再起動可能な同期を開始できません。」
-10254	「スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。」
-10253	「転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。」
-10252	「転送用にファイル '%1' を開けませんでした。」
-10251	「ダウンロードルートディレクトリまたは '%2' サブディレクトリに要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。」
-10250	「要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。」
-10249	「ファイル転送のルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。」
-10247	「スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。」
-10246	「統合データベースでのスナップショットアイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10245	「アップロードテーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバーは '%4' をサポートしていません。」
-10244	「Mobile Link サーバーでエラーが発生したため、同期がアボートされました。」
-10243	「スクリプト '%1' は、不明な認証パラメーター '%2' を参照しています。」
-10242	「スクリプト '%1' は、認証パラメーター %2 を参照していますが、%3 しかありません。」
-10241	「スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。」
-10240	「スクリプト '%1' には、無効なユーザーパラメーターが含まれています : '%2'」
-10239	「スクリプト '%1' には、無効なパラメーター参照が含まれています : '%2'」
-10237	「スクリプト '%1' は、入出力パラメーター '%2' を 2 回以上参照しています。」
-10236	「スクリプト '%1' には、名前付きパラメーターを使用するための無効な構文が含まれています。」
-10235	「スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメーターが含まれています。」
-10234	「スクリプト '%1' はプレイメージのローデータを処理できません。」
-10233	「テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。」
-10232	「名前付きローパラメーターを使用するには、ml_column テーブルでカラム名を設定する必要があります。」
-10231	「スクリプト '%1' はローデータを処理できません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10230	「パラメーター %1 に NULL が設定されています。」
-10229	「システムパラメーター %1 に NULL が設定されています。」
-10228	「スクリプト '%2' のシステムパラメーター '%1' が無効です。」
-10227	「スクリプト '%2' のシステムパラメーター '%1' が不明です。」
-10226	「スクリプト '%1' のパラメーター名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。」
-10225	「ユーザーが指定したコードをサーバーで実行中にエラーが発生しました。」
-10224	「テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラムレベルの競合を検出することはできません。」
-10223	「handle_UploadData イベントスクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。」
-10222	「UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」
-10221	「DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。」
-10220	「upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません」
-10216	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。」
-10215	「不正なパラメーター '%1' です。」
-10214	「%1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクションコード (%3) を使用します。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10213	「文字列 %1 を数値に変換できません。」
-10212	「テンポラリファイル '%1' を開けません。」
-10211	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。」
-10209	「Java VM 共有ライブラリをロードできません。 共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミックローダーのバージョンでサポートされていることを確認してください。」
-10207	「認識されないイベント名 : %1」
-10206	「'%1'」
-10205	「スクリプト '%1' を実行できません。」
-10204	「スクリプト '%1' は、'%2' のメンバーですが、スクリプトバージョンでは %3 クラスのみ許可されています。」
-10203	「無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしました。」
-10202	「この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。」
-10201	「パラメーター %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。」
-10200	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメーターが必要ですが、パラメーター %3 が指定されています。」
-10199	「MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンドパラメーターを持つ SQL 文を実行しようとしました。」
-10198	「作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメーターが必要ですが、パラメーター %3 が指定されていません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10197	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとしました。」
-10196	「NULL SQL 文を実行しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。」
-10195	「NULL SQL 文を準備しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。」
-10194	「MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとしました。」
-10193	「アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。」
-10192	「ドメイン '%1' を作成できませんでした。」
-10191	「.NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。」
-10190	「スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。」
-10189	「スクリプト '%1' でエラーが発生しました。」
-10188	「スクリプト '%1' でサーバーエラーが報告されました。」
-10187	「.NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。」
-10186	「スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。」
-10185	「スクリプト '%1' からタイプ '%2' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは、'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10183	「スクリプトバージョンごとに 1 つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。」
-10182	「スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。」
-10181	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカーがまだ付加されています。」
-10180	「.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。」
-10179	「ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。」
-10178	「ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。」
-10177	「名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。」
-10176	「.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。」
-10175	「.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」
-10174	「.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。」
-10173	「スクリプト '%1' は '%2' オブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。」
-10172	「アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。」
-10171	「アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10170	「スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。」
-10169	「ワーカーを VM から分離できません。」
-10168	「スレッドを .NET ランタイムに付加できません。」
-10167	「.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。」
-10166	「ファイル '%1' が見つかりません。」
-10165	「.NET CLR Host DLL をロードできません。」
-10164	「.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。」
-10163	「オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンドラインで正しく指定されませんでした。」
-10162	「オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンドラインで値 '%2' を使用して定義されました。」
-10161	「クラス '%1' の有効なコンストラクターが見つかりませんでした。」
-10160	「JDBC 接続を付加できません。」
-10159	「新規データベース接続を作成できません。」
-10158	「メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10157	「タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。」
-10156	「内部エラー : '%1'」
-10155	「クラス '%1' のコンストラクターでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10154	「クラス '%1' のコンストラクターで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10153	「クラス '%1' に適当なコンストラクターが見つかりませんでした。」
-10151	「スクリプトクラス '%1' にパブリックメソッドがありませんでした。」
-10150	「クラス '%1' をロードしているときにリンクエラーが発生しました。エラーの説明 : '%2'」
-10149	「クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'」
-10148	「Java 例外」
-10147	「JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。」
-10146	「オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。」
-10145	「%1 にある JRE にアクセスできません。」
-10144	「共有インストールディレクトリが不正です : %1」
-10143	「共有コンポーネントディレクトリを見つけられません。 JRE の格納場所がオプションで指定されていません。 JRE がどこに格納されているかわかりません。」
-10142	「インストールディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。」
-10140	「オプション '%1' にはパスが必要です。」
-10139	「オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。」
-10138	「JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10137	「JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。 行が長すぎます。」
-10136	「JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。 行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。」
-10135	「ianywhere.ml.script.RowReader のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。」
-10134	「java.lang.String のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。」
-10133	「%1」
-10132	「返されたクラス '%1' は ianywhere.ml.script.RowReader または java.lang.String のサブクラスではありません。」
-10131	「<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1' のプリミティブが返されました。」
-10130	「スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。 %3 の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4 だけです。」
-10128	「Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。」
-10127	「必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。」
-10126	「スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。」
-10125	「スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。」
-10124	「次の非デーモンスレッドは破壊されました : %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10123	「未知のエラーのため Java VM をロードできません。」
-10122	「メモリエラーのため Java VM をロードできません。」
-10121	「バージョンエラーのため Java VM をロードできません。」
-10120	「%1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。」
-10119	「例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。」
-10118	「Java 例外を取得しました。タイプ : %1 例外メッセージ : %2」
-10117	「ストリームエラー : %1」
-10112	「バックグラウンドスレッドを作成できません。」
-10110	「通信ストリーム %1 を初期化できません : %2」
-10108	「ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません : %3」
-10107	「DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1」
-10105	「不正なストリーム指定 : %1」
-10101	「テーブル '%1' には、ml_table テーブルのエントリがありません。」
-10100	「Mobile Link システムテーブル '%1' がないか、テーブルカラムがありません。」
-10099	「UNILIB 照合 %1 をロードできません : %2」
-10094	「クライアントから %1 認証パラメーターを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受け取りました。」

エラーコード	メッセージテキスト
-10091	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」
-10088	「DLL ('%1') からエントリポイントをロードできません。」
-10087	「DLL または共有オブジェクト ('%1') のバージョンの不一致。 必要なバージョン : %2、取得したバージョン : %3」
-10086	「DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語 : '%2') をロードできません。」
-10085	「LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。」
-10084	「LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。」
-10083	「ユーザー名 '%1' を ml_user_table から削除できません。」
-10081	「Mobile Link サーバーの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データレイヤーの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。」
-10076	「Mobile Link サーバーは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。 タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。」
-10075	「必須 ODBC 関数 %1 がドライバーでサポートされていません。」
-10074	「%2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。」
-10073	「%2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。」
-10072	「%2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10071	「%2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。」
-10067	「接続を割り付けることができません。」
-10066	「ODBC を初期化できません。」
-10065	「トランザクションをコミットできません : %1 -- ロールバックを試みます。」
-10064	「トランザクションをロールバックできません : %1」
-10063	「テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラムの値は次のとおりです。」
-10062	「テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。」
-10061	「テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。」
-10060	「メモリの割り付けに失敗しました。」
-10058	「ファイル %1 を開けません。」
-10057	「ユーザー %1 のパスワードは不正です。」
-10056	「ユーザー名 '%1' が ml_user テーブルに見つかりません。」
-10055	「ユーザー %1 を認証できません」
-10054	「ユーザー名 '%1' を ml_user テーブルに挿入できません。」
-10052	「%1 スクリプトが %2 を返しました。」
-10050	「カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。」
-10048	「スクリプトで最低 %1 のパラメーターを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」

エラーコード	メッセージテキスト
-10047	「スクリプトで %1 パラメーターを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした : %3」
-10041	「内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み」
-10039	「スクリプトを NULL として定義することはできません。」
-10038	「テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモートスキーマタイプには大きすぎるか不正です。」
-10035	「クライアントエラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。」
-10032	「クライアントエラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。」
-10031	「進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。」
-10030	「ネットワークの読み込みに失敗しました。リモートクライアントからデータを読み込めません。」
-10029	「NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。」
-10028	「統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。」
-10024	「ドメイン ID %1 は認識できません。」
-10021	「統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。」
-10020	「スクリプトをフラッシュできません。」
-10019	「テーブルスクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」
-10018	「接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
-10016	「'%1' をユニコードに変換できません。」
-10013	「バージョン '%1' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。」
-10004	「プロトコルのバージョンが一致しません。%1 を予期していましたが、%2 を受け取りました。」
-10003	「メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしました。」
-10002	「統合データベースサーバーまたは ODBC エラー : %1」
-10001	「プロトコルエラー : %1」
0	「エラーはありません。」

Mobile Link サーバーのエラーメッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	-10133
エラー定数	EL_JAVA_GENERIC_ERROR
パラメーター 1	メッセージ文字列。

考えられる原因

Java 同期論理の一般エラーです。詳細は、メッセージの本文にあります。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』

%1 スクリプトが %2 を返しました。

エラーコード	-10052
エラー定数	GENERIC_ERROR_HANDLER_RETURN
パラメーター 1	ユーザー認証スクリプト名。

パラメーター 2	スクリプトの戻り値。

考えられる原因

ユーザー認証スクリプトが 3000 より大きな値を返しました。

その他の情報

- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

%1 スクリプトから不正な戻り値 (%2) が返されました。デフォルトのアクションコード (%3) を使用します。

エラーコード	-10214
エラー定数	ERROR_HANDLER_BAD_RETURN
パラメーター 1	不正な値を返すスクリプトの名前。
パラメーター 2	スクリプトから返されたアクションの値。
パラメーター 3	使用されるアクションの値。

考えられる原因

呼び出されたエラーハンドラーのスクリプトが許容値の範囲外の値を返しました。デフォルト値が使用されます。

その他の情報

- 「エラーを処理するスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

%1 にある JRE にアクセスできません。

エラーコード	-10145
エラー定数	EL_JAVA_JRE_PATH_INCORRECT
パラメーター 1	JRE のパス。

考えられる原因

-jrepath オプションの引数を修正して、Mobile Link で必要な Java VM をロードできるようにしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

%1 は ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。

エラーコード	-10120
エラー定数	EL_JAVA_UNKNOWN_SCRIPTEXECUTIONEXCEPTION
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

指定したクラス名は、ScriptExecutionException の認識できないサブクラスです。指定できるサブクラス名には 'SynchronizationException' と 'ServerException' があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- SynchronizationException クラス [Mobile Link サーバー Java]『Mobile Link サーバー管理』
- ServerException クラス [Mobile Link サーバー Java]『Mobile Link サーバー管理』

%2 を使用してテーブル '%1' から削除できません。

エラーコード	-10073
エラー定数	DELETE_FROM
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが統合データベースの指定されたテーブルからローを削除しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' からフェッチできません。

エラーコード	-10071
エラー定数	FETCH_FROM

パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが統合データベースの指定されたテーブルからローを検索しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' に挿入できません。

エラーコード	-10072
エラー定数	INSERT_INTO
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが統合データベースの指定されたテーブルにローを挿入しているときに、エラーが発生しました。

%2 を使用してテーブル '%1' を更新できません。

エラーコード	-10074
エラー定数	UPDATE
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが統合データベースの指定されたテーブルに対してローを更新しているときに、エラーが発生しました。

'%1'

エラーコード	-10206
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_ERROR

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	エラーメッセージ。

考えられる原因

.Net CLR、または同期中に呼び出されたメソッドによって生成される一般エラーメッセージです。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

'%1' 付近でコマンドラインにエラーが発生しました

エラーコード	-10360
エラー定数	INVALID_SETTING_NEAR_COMMAND_OPTION
パラメーター 1	コマンドラインオプション。

考えられる原因

コマンドラインオプションが無効です。Mobile Link サーバーのすべてのコマンドラインオプションと設定が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「mlsrv12 構文」『Mobile Link サーバー管理』

'%1' をユニコードに変換できません。

エラーコード	-10016
エラー定数	ERROR_CANNOT_CONVERT_TO_UNICODE
パラメーター 1	変換される文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、Unilib を使用して指定された文字列を Unicode に変換できませんでした。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバー管理』

<OE>: %1

エラーコード	-10354
エラー定数	OUTBOUND_ERROR
パラメーター 1	エラー。

考えられる原因

統合化 Outbound Enabler でエラーが発生しました。

その他の情報

- 「統合化 Outbound Enabler (MobiLink が対象)」『Relay Server』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

<void> またはオブジェクトを予期していましたが、代わりにタイプ '%1' のプリミティブが返されました。

エラーコード	-10131
エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_RETURN_OBJECT
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

Java 同期論理を実装するメソッドは、<void> またはオブジェクトを返す必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「メソッド」『Mobile Link サーバー管理』

'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバー接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバー接続文字列を指定する必要があります。

エラーコード	-10327
エラー定数	RRP_WITH_NO_LSC

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

'-rrp' オプションが使用されましたが、ローカルサーバーの接続文字列が指定されていません。'-rrp' オプションを使用するには、'-lsc' オプションを使用してローカルサーバーの接続文字列を指定する必要があります。

その他の情報

- 「-rrp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』

.NET CLR Host DLL をロードできません。

エラーコード	-10165
エラー定数	EL_DNET_HOST_LOAD_FAIL

考えられる原因

.NET CLR はロードを拒否しました。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

.NET CLR Host で予期しないエラーが発生しました。

エラーコード	-10167
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR_FAIL

考えられる原因

Mobile Link は、ルーチン .NET 呼び出しの実行時にエラーを受け取りました。使用している .NET のインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』

.NET Framework CLR バージョン %1 をロードできません。

エラーコード	-10164
エラー定数	EL_DNET_CLR_LOAD_FAIL

パラメーター 1	CLR バージョン。

考えられる原因

この CLR バージョンがインストールされていることを確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

.NET 開始クラス '%1' をロードできませんでした。

エラーコード	-10187
エラー定数	EL_DNET_STARTCLASS_LOAD_FAIL
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、起動時にこのクラスをロードできませんでした。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

.NET スクリプト VM には Mobile Link ODBC Bridge DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラーコード	-10174
エラー定数	EL_DNET_ODBC_VER_MISMATCH
パラメーター 1	必要なバージョン。
パラメーター 2	指定したバージョン。

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

.NET スクリプト VM には Mobile Link Script DLL のバージョン %1 が必要ですが、バージョン %2 が指定されています。

エラーコード	-10175
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_DLL_VER_MISMATCH
パラメーター 1	必要なバージョン。
パラメーター 2	指定したバージョン。

考えられる原因

おそらくインストールの問題です。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。

エラーコード	-10180
エラー定数	EL_DNET_VM_FINI_FAIL

考えられる原因

Mobile Link サーバーで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。起動クラスによって実行されたシャットダウン処理が正常に完了しない可能性があります。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

.NET スクリプト VM をシャットダウンできません。%1 ワーカーがまだ付加されています。

エラーコード	-10181
エラー定数	EL_DNET_WORKERS_NOT_DETACHED
パラメーター 1	ワーカースレッドの数。

考えられる原因

ワーカースレッドがまだ付加されているので、Mobile Link サーバーで .NET スクリプト VM を停止できませんでした。シャットダウンに従っていないか、シャットダウンへの応答を遅らせている起動クラスがある可能性があります。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

.NET ドメイン設定ファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	-10191
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_MISSING
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

指定されたドメイン設定ファイルが見つかりません。ファイルの場所と設定ファイルの設定を確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

.NET ドメイン設定ファイルが壊れています。

エラーコード	-10176
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_CONFIG_FILE_CORRUPT

考えられる原因

.NET 設定ファイルの内容にエラーがないか確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしています。

エラーコード	-10345
エラー定数	SIMULTANEOUS_CLIENT_UPLOADS
パラメーター 1	アップロードファイル名。

考えられる原因

ファイルが 1 つ以上のクライアントによってアップロードされています。1 つのクライアントで一度にアップロードできるファイルは 1 つのみです。

その他の情報

- 「同期処理」『Mobile Link クイックスタート』

2 つ以上の Mobile Link クライアントが同時にファイル '%1' をアップロードしているか、テンポラリファイル '%2' を開くのに失敗しました。

エラーコード	-10346
エラー定数	SIMULTANEOUS_CLIENT_UPLOADS_OR_OPEN_FAILED
パラメーター 1	アップロードファイル名。
パラメーター 2	テンポラリアップロードファイル名。

考えられる原因

ファイルが 1 つ以上のクライアントによってアップロードされているか、または Mobile Link サーバーでテンポラリファイルを開くことができませんでした。1 つのクライアントで一度にアップロードできるファイルは 1 つのみであり、テンポラリファイルが必要です。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバー管理』

DLL ('%1') からエントリポイントをロードできません。

エラーコード	-10088
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_ENTRY_POINTS

パラメーター 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバーのインストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』

DLL または共有オブジェクト '%1' (スクリプト言語 : '%2') をロードできません。

エラーコード	-10086
エラー定数	EL_UNABLE_TO_LOAD_LANG_DLL
パラメーター 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメーター 2	スクリプト言語名。

考えられる原因

スクリプト言語が有効であることを確認してください。現在のところ、Mobile Link サーバーがサポートするスクリプト言語は、SQL (sql)、Java (java)、.NET (dnet) です。

その他の情報

- 「サーバー側の同期論理の作成オプション」『Mobile Link クイックスタート』

DLL または共有オブジェクト ('%1') のバージョンの不一致。必要なバージョン : %2、取得したバージョン : %3

エラーコード	-10087
エラー定数	EL_WRONG_LANG_DLL_VERSION
パラメーター 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメーター 2	必要なバージョン番号。
パラメーター 3	指定したバージョン番号。

考えられる原因

使用している Mobile Link サーバーのインストール環境を確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』

DLL または共有オブジェクトをロードできません : %1

エラーコード	-10107
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL
パラメーター 1	DLL または共有オブジェクトの名前。

考えられる原因

この DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

DownloadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10221
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_DOWNLOAD_DATA

考えられる原因

Java VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

DTC トランザクションマネージャーを取得できません -- システムエラー : '%1'

エラーコード	-10286
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_GET_TRANS_MANAGER

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、トランザクションマネージャーを取得できませんでした。ローカルコンピューターで分散トランザクションコーディネーター (DTC) のサービスが実行されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

handle_UploadData イベントスクリプトを void にするか、NULL を返す必要があります。

エラーコード	-10223
エラー定数	HANDLE_UPLOAD_DATA_SHOULD_BE_VOID

考えられる原因

この handle_UploadData スクリプトを書き直し、戻り値のタイプを void にするか、戻り値を NULL にしてください。

その他の情報

- 「handle_UploadData 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ダイレクトローハンドリング」『Mobile Link サーバー管理』

I/O 完了ポートを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10258
エラー定数	CANNOT_CREATE_COMPLETION_PORT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ianywhere.ml.script.RowReader のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。

エラーコード	-10135
エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_ROWREADER

パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

Java コードを検査し、返されたオブジェクトを RowReader にキャストできることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

Java VM 共有ライブラリをロードできません。 共有ライブラリのパスおよび LD_PRELOAD が正しく設定されており、ダイナミックローダーのバージョンでサポートされていることを確認してください。

エラーコード	-10209
エラー定数	EL_JAVA_VM_HP_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーで Java VM 共有ライブラリをロードできませんでした。Java VM 共有ライブラリがインストールされ、パスが正しく設定されているか、また LD_PRELOAD が正しく設定され、使用しているダイナミックローダのバージョンでサポートされているか確認してください。

その他の情報

- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Java クラス %2 に必要なメソッド '%1' をロードできませんでした。

エラーコード	-10128
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_METH_LOAD_ERR
パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	クラス名。

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Java 例外

エラーコード	-10148
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION

考えられる原因

詳細については、Mobile Link ログの、このエラーに隣接するエラーメッセージを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-o mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Java 例外を取得しました。タイプ : %1 例外メッセージ : %2

エラーコード	-10118
エラー定数	EL_JAVA_CAUGHT_JAVA_EXCEPTION_WITH_TYPE
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	エラーメッセージ。

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しました。例外の原因となった問題を解決するか、コードを変更して例外を回避してください。

その他の情報

- 「Java 同期論理」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

java.lang.String のインスタンスまたはサブクラスを予期していましたが、代わりにクラス '%1' が見つかりました。

エラーコード	-10134
エラー定数	EL_JAVA_EXPECTED_STRING
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

SQL スクリプトを返す Java 同期論理を実装するメソッドは、java.lang.String オブジェクトまたはサブクラスを返す必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

JDBC 接続を付加できません。

エラーコード	-10160
エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_ATTACH

考えられる原因

JDBC 接続を作成するために ODBC 接続をラップできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

JVM 設定ファイル %1 内にエントリが多すぎます。

エラーコード	-10147
エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメーター 1	設定ファイル。

考えられる原因

jvm.cfg が破損している可能性があります。jvm.cfg ファイルの内容を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

JVM 設定ファイル %1 内に不正な行があります。 行はすべて、「#」または「-」で始まる必要があります。

エラーコード	-10136
エラー定数	EL_JAVA_INVALID_LINE_IN_JVM_CFG
パラメーター 1	設定ファイル名。

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

JVM 設定ファイル %1 にエントリがありません。

エラーコード	-10138
エラー定数	EL_JAVA_NO_ENTRIES_IN_JVM_CFG
パラメーター 1	設定ファイル名。

考えられる原因

jvm.cfg ファイルが見つかった場合は、1 行以上あることが予期されます。jvm.cfg を削除するか設定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

JVM 設定ファイル %1 に不正な行があります。 行が長すぎます。

エラーコード	-10137
エラー定数	EL_JAVA_LINE_TOO_LONG_IN_JVM_CFG
パラメーター 1	設定ファイル名。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

jvm.cfg 設定ファイルを解析できませんでした。行が最大長を超えています。このファイルの内容が有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

LANG: %1 - スレッドの付加に失敗しました。

エラーコード	-10084
エラー定数	EL_FAILED_TO_ATTACH_THREAD
パラメーター 1	スクリプト言語の名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバーのスレッドが、指定されたスクリプト言語を処理するのに使用される DLL または共有オブジェクトにスレッド自身を付加できませんでした。Mobile Link サーバーのインストール環境に、必要な DLL または共有オブジェクトがすべて含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの実行」『Mobile Link サーバー管理』

LANG: %1 - データベース接続の割り付けに失敗しました。

エラーコード	-10085
エラー定数	EL_FAILED_TO_ALLOCATE_CONNECTION
パラメーター 1	スクリプト言語の名前。

考えられる原因

データベースサーバーに接続できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの実行」『Mobile Link サーバー管理』

-lsc と -ca 両方のオプションを指定する必要があります。

エラーコード	-10357
エラー定数	NEED_BOTH_LSC_CA_SETTINGS

考えられる原因

Mobile Link サーバーがサーバーファームで稼働している場合に、Notifier／QAnywhere で必要とされるプライマリ／セカンダリサーバー論理を有効にするには、Mobile Link サーバーでは、-lsc 設定と -ca 設定の両方が必要となります。

その他の情報

- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ca mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバーのサーバーファームでの実行」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』

MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を実行しようとしました。

エラーコード	-10197
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_CLOSED
パラメーター 1	SQL 文。

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が実行されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を実行してください。

MLDBCommand.Close() を呼び出した後に、SQL 文 '%1' を準備しようとしました。

エラーコード	-10194
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_CLOSED
パラメーター 1	SQL 文。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

データベース接続が閉じているときに SQL 文が準備されています。データベース接続が開いていることを確認してから、文を準備してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

MLDBCommand.Prepare() を呼び出す前にバウンドパラメーターを持つ SQL 文を実行しようとしました。

エラーコード	-10199
エラー定数	EL_DNET_NO_STMT_PREPARED_ON_BIND

考えられる原因

準備されていない文にパラメーターをバインドしようとしました。文を準備してからパラメーターをバインドしてください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「バウンドパラメーターを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

MLSD をサポートできません。

エラーコード	-10296
エラー定数	MLSD_NOT_SUPPORTED

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、統合データベース以外のデータベースに格納されているシステムオブジェクトをサポートできませんでした。このデータベースサーバーの ODBC ドライバーは Microsoft 分散トランザクションをサポートしていません。統合データベースに Mobile Link サーバーシステムオブジェクトをインストールし、-cs オプションをコマンドラインから削除してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーでエラーが発生したため、同期がアボートされました。

エラーコード	-10244
エラー定数	DEFAULT_SERVER_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーでエラーが発生しました。このエラーの詳細については、Mobile Link サーバーメッセージログを参照してください。

その他の情報

- 「-dl mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-o mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーとクライアントの実装 ID が一致しません。

エラーコード	-10295
エラー定数	MISMATCH_IMPLEMENTATION_ID

考えられる原因

サーバーとクライアントの実装 ID が一致しないため、Mobile Link サーバーは同期要求を受け入れることができませんでした。

Mobile Link サーバーの DLL または共有オブジェクトのバージョンが、データレイヤーの DLL または共有オブジェクトのバージョンと一致しません。

エラーコード	-10081
エラー定数	DL_VERSION_MISMATCH

考えられる原因

アップロードデータとダウンロードデータを処理する Mobile Link サーバーの DLL または共有オブジェクトが、データベースと対話するために使用されるデータレイヤー DLL または共有オブジェクト (ODBC) のバージョンと一貫性がありません。使用している Mobile Link サーバーのインストール環境を確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーの重要なコンポーネントが正しく起動できませんでした。

エラーコード	-10359
エラー定数	CRITICAL_SERVER_COMPONENT_FAILED_TO_START

考えられる原因

起動時のその他のエラーによってこの問題が発生していないかどうかを調べてください。他にエラーがない場合は、内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Mobile Link サーバーは、64 ビットオペレーティングシステムで、64 ビットアプリケーションとして実行する必要があります

エラーコード	-10381
エラー定数	UNSUPPORTED_OS

考えられる原因

64 ビットのオペレーティングシステム上で 32 ビットバージョンの Mobile Link サーバーが実行されています。64 ビットバージョンを使用してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの実行」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーは、ml_scripts_modified テーブルを使用して統合データベースのタイムスタンプ精度を計算できませんでした。タイムスタンプ精度に関する警告は生成されません。

エラーコード	-10076

エラー定数	UNKNOWN_CONSOLIDATED_TIMESTAMP_PRECISION

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、時間関係のすべての値を適切に同期するために、統合データベースの最大タイムスタンプ精度を計算する必要があります。このエラーは通常、推奨されていない ODBC ドライバーが使用されている場合に発生します。推奨された ODBC ドライバーを使用して Mobile Link サーバーを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーは起動に失敗しました

エラーコード	-10382
エラー定数	FAILED_STARTUP

考えられる原因

起動中に発生したエラーが原因でサーバーを実行できません。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー起動時のトラブルシューティング」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link システムテーブル '%1' がないか、テーブルカラムがありません。

エラーコード	-10100
エラー定数	ML_TABLE_OR_COLUMN_MISSING
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

統合データベースにテーブルまたはテーブルカラムが見つかりません。Mobile Link テーブルがインストールされていないか、アップグレードが必要です。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーのシステムテーブル」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Notifier '%1' の poll_every プロパティが無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。

エラーコード	-10336
エラー定数	NOTIFIER_INVALID_POLL_EVERY
パラメーター 1	Notifier 名。

考えられる原因

指定した Notifier の poll_every プロパティが無効です。秒数の有効なフォーマットは <num> です。

Notifier '%1' の request_cursor が指定されていません。

エラーコード	-10334
エラー定数	NOTIFIER_NO_REQUEST_CURSOR
パラメーター 1	Notifier 名。

考えられる原因

特定の Notifier に request_cursor が指定されていません。

その他の情報

- 「request_cursor イベント」『Mobile Link サーバー起動同期』

Notifier は統合データベースに接続できませんでした。

エラーコード	-10340
エラー定数	NOTIFIER_UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED

考えられる原因

Notifier が統合データベースに接続できませんでした。

その他の情報

- 「Notifier」『Mobile Link サーバー起動同期』
- 「Notifier イベントとプロパテの設定」『Mobile Link サーバー起動同期』

NULL SQL 文を実行しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Execute メソッドを呼び出してください。

エラーコード	-10196
エラー定数	EL_DNET_NO_EXECUTE_ON_NULL

考えられる原因

NULL の SQL 文が実行されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、実行してください。

NULL SQL 文を準備しようとしました。MLDBCommand.CommandText の値を設定してから MLDBCommand.Prepare() を呼び出してください。

エラーコード	-10195
エラー定数	EL_DNET_NO_PREPARE_ON_NULL

考えられる原因

NULL の SQL 文が準備されています。SQL 文が NULL ではないことを確認してから、準備してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

NULL を使用できないカラムに NULL を設定しようとしています。

エラーコード	-10029
エラー定数	NULL_FOR_NONNULL

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、NULL 入力が不可能なカラムに NULL をダウンロードしようとしました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「競合解決」『Mobile Link サーバー管理』

ODBC 接続文字列に、64 ビット Mobile Link と互換性のないドライバーが指定されています

エラーコード	-10379
エラー定数	DRIVER_NOT_64BIT_SAFE

考えられる原因

使用しているドライバーは 64 ビットの Mobile Link では安全に使用できません。ドライバーの設定をやり直すか、または別のドライバーを指定します。Mobile Link の推奨 ODBC ドライバーのリストを参照してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

ODBC を初期化できません。

エラーコード	-10066
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_INITIALIZE

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、ODBC レイヤーを初期化できませんでした。Mobile Link サーバーを起動するのに十分なメモリがあることを確認し、推奨された ODBC ドライバーで Mobile Link サーバーを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

RTNotifier は '%1' という名前のプロパティを認識しません。

エラーコード	-10335
エラー定数	RTNOTIFIER_INVALID_PROPERTY
パラメーター 1	プロパティ名。

考えられる原因

指定したプロパティは、RTNotifier で認識されません。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_add_property システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

UNILIB 照合 %1 をロードできません : %2

エラーコード	-10099
エラー定数	UNABLE_TO_LOAD_CID2
パラメーター 1	Unilib 文字セット ID。
パラメーター 2	Unilib エラー文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが Unilib コンバーターを初期化できません。インストールが破損しているか、必要な照合が使用不可です。

update_poll_every プロパティは無効です。有効なフォーマットは、秒数に <num> を使用します。

エラーコード	-10361
エラー定数	INVALID_UPDATE_POLL_EVERY

考えられる原因

update_poll_every SIRT グローバルプロパティが無効です。秒数の有効なフォーマットは <num> です。update_poll_every が ml_property テーブルの有効なフォーマットになっていることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバー管理』

upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトのいずれか 1 つしかテーブル '%1' に定義できません

エラーコード	-10220

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	MULTIPLE_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、これらのいずれか 1 つのスクリプトを使用して競合が検出されます。いずれか 1 つのスクリプトだけを定義してください。

その他の情報

- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch_column_conflict テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』

UploadData インスタンスにメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10222
エラー定数	EL_JAVA_FAILED_ALLOC_UPLOADED_TRANSACTION

考えられる原因

Java VM がメモリ不足です。Java VM に使用できるメモリ容量を増やしてみてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

アセンブリ '%1' に '%2' が含まれていません。

エラーコード	-10172
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_NOT_IN_ASM
パラメーター 1	アセンブリ名。
パラメーター 2	見つからないメソッド名。

考えられる原因

メソッドは実装されているが、名前が間違っている場合は、名前を変更してください。メソッドがない場合は、アセンブリにメソッドを追加する必要があります。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』

アセンブリ '%1' は、'%3' のバージョン %2 に対してコンパイルされています。バージョン %4 に対して再コンパイルしてください。

エラーコード	-10171
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_VER_MISMATCH
パラメーター 1	アセンブリ名。
パラメーター 2	アセンブリのバージョン。
パラメーター 3	DLL 名。
パラメーター 4	必要なアセンブリのバージョン。

考えられる原因

表示されたバージョンの不一致を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』

アセンブリ '%1' をドメイン '%2' にロードできません。

エラーコード	-10193
エラー定数	EL_DNET_ASM_LOAD_FAIL
パラメーター 1	アセンブリ名。
パラメーター 2	ドメイン名。

考えられる原因

指定されたアセンブリをロードできませんでした。.NET CLR ユーティリティを使用してバインドとロードのログを記録して、問題を特定してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』

アップロードテーブル '%1' (カラム #%2) にはデータ型 '%3' がありますが、ODBC ドライバーは '%4' をサポートしていません。

エラーコード	-10245
エラー定数	DATATYPE_NOT_SUPPORTED_BY_DRIVER
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。
パラメーター 3	SQL Anywhere データ型。
パラメーター 4	ODBC データ型。

考えられる原因

アップロードテーブルに、ODBC ドライバーでサポートされていないデータ型のカラムがあります。Mobile Link サーバーで、推奨される ODBC ドライバーを使用していることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link 統合データベース」『Mobile Link サーバー管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1011880

アドレスを再利用できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10273
エラー定数	UNABLE_TO_REUSE_ADDRESS
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

インストールディレクトリまたはクラスパス内に JAR ファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	-10142
エラー定数	EL_JAVA_JAR_NOT_FOUND
パラメーター 1	JAR ファイル名。

考えられる原因

見つからない JAR ファイルをインストールしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

エラーはありません。

エラーコード	0
エラー定数	NONE

考えられる原因

このコードはエラーがなかったことを示しています。

オプション '%1' および '%2' は同時に使用しないでください。

エラーコード	-10139
エラー定数	EL_JAVA_EXCLUSIVE_FLAGS
パラメーター 1	オプション名。
パラメーター 2	オプション名。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

いずれか一方のオプションを使用するか、両方とも使用しないことを検討してください。両方とも使用することはできません。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

オプション '%1' にはパスが必要です。

エラーコード	-10140
エラー定数	EL_JAVA_FLAG_NEEDS_PATH
パラメーター 1	オプション名。

考えられる原因

このオプションに続いてパスを指定する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

オプション '%1' は以前に、Mobile Link コマンドラインで値 '%2' を使用して定義されました。

エラーコード	-10162
エラー定数	EL_DNET_OPTION_DEFINED
パラメーター 1	オプションの名前。
パラメーター 2	余分なオプションの値。

考えられる原因

指定したオプションは、複数回指定できません。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

オプション '%1' は無効であるか、Mobile Link コマンドラインで正しく指定されませんでした。

エラーコード	-10163
エラー定数	EL_DNET_INVALID_OPTION
パラメーター 1	オプションの名前。

考えられる原因

オプションの指定方法が間違っています。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

オプションが多すぎて、Java VM に送ることができません。

エラーコード	-10146
エラー定数	EL_JAVA_TOO_MANY_OPTIONS

考えられる原因

Java VM に渡されたオプションの数が多すぎます。コマンドライン引数の数を減らしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

カーソルで %1 カラムを予期しましたが、%2 が見つかりました。

エラーコード	-10050
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_COLUMNS
パラメーター 1	想定されていたカラム数。
パラメーター 2	見つかったカラム数。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

アップロードスクリプトまたはダウンロードスクリプトで検出されたパラメーターの数が、指定されたテーブルに対するカラム数またはプライマリキーカラム数と一致しません。指定されたスクリプトに対するパラメーターの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバー管理』

返されたクラス '%1' は ianywhere.ml.script.RowReader または java.lang.String のサブクラスではありません。

エラーコード	-10132
エラー定数	EL_JAVA_INVALID_RETURN_OBJECT
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

適切な型を返すようにクラスを変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

監視サーバーに接続する際に、設定問題が検出されました。

エラーコード	-10350
エラー定数	WRONG_DBTYPE_FOR_ARBITER

考えられる原因

監視サーバーへの接続時に、Mobile Link で構成の問題が検出されました。インストール環境を確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ca mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

監視サーバーに接続できませんでした。

エラーコード	-10349
エラー定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_ARBITER

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、監視サーバーに接続できませんでした。監視サーバーが稼働していることと、接続パラメーターを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ca mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

完了ポートで待機できません (システムエラー：%1)

エラーコード	-10270
エラー定数	UNABLE_TO_WAIT_ON_COMPLETION_PORT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

共有インストールディレクトリが不正です：%1

エラーコード	-10144
エラー定数	EL_JAVA_SHARED_LOCATION_INCORRECT
パラメーター 1	SQL Anywhere の共有ディレクトリ。

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を修正してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

共有コンポーネントディレクトリを見つけられません。 JRE の格納場所がオプションで指定されていません。 JRE がどこに格納されているかわかりません。

エラーコード	-10143
エラー定数	EL_JAVA_COULD_NOT_FIND_JRE

考えられる原因

正しい場所を指すように共有コンポーネント環境変数を設定するか、-jrepath オプションを使用して JRE の場所を指定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

共有メモリファイルを作成できません。

エラーコード	-10282
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_SHARED_MEMORY

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、指定された Mobile Link サーバー名を使用して共有メモリファイルを作成できませんでした。ローカルマシンで同名の Mobile Link サーバーが実行中であるかどうかを確認してください。

記録されたプロトコルファイルを閉じられません。

エラーコード	-10324
エラー定数	RECORDER_CLOSE_FAILED

考えられる原因

サーバーで、記録済みのプロトコルファイルを閉じることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rrp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

記録用のファイル '%1 を開けません。

エラーコード	-10316
エラー定数	RECORDER_OPEN_FAILED
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

サーバーで、記録用のファイルを開くことができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rrp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

空間ジオメトリパラメーター %1 に無効な修飾子が見つかりました。

エラーコード	-10332
エラー定数	INVALID_GEOM_TYPE_NUM
パラメーター 1	パラメーターのカラム番号。

考えられる原因

パラメーターは :srid または :data で修飾する必要があります。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

空間ジオメトリパラメーター '%1' に無効な修飾子が見つかりました。

エラーコード	-10333
エラー定数	INVALID_GEOM_TYPE_NAME
パラメーター 1	パラメーターのカラム名。

考えられる原因

パラメーターは :srid または :data で修飾する必要があります。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバー管理』

空間ライブラリエラー : '%1'

エラーコード	-10330
エラー定数	SPATIALLIB_ERROR
パラメーター 1	空間ライブラリによって生成される実際のエラーコードまたはエラーメッセージ。

考えられる原因

エラーの原因を特定するには、空間ライブラリの実際のエラーメッセージを確認してください。

クライアントエラー %1 が発生し、アップロードに失敗しました。

エラーコード	-10032
エラー定数	UPLOAD_FAILED
パラメーター 1	クライアントが送信したエラー番号。

考えられる原因

クライアントがアップロード中にリモートサイトに問題があることを示したので、Mobile Link サーバーは同期をアボートしました。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバー管理』

クライアントエラー %1 が発生し、ダウンロードに失敗しました。

エラーコード	-10035
エラー定数	DOWNLOAD_FAILED_WITH_ERROR
パラメーター 1	クライアントが送信したエラー番号。

考えられる原因

クライアントがダウンロード中にリモートサイトに問題があることを示した場合、Mobile Link サーバーは同期をアボートします。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗」『Mobile Link サーバー管理』

クライアントから %1 認証パラメーターを予期していましたが、スクリプト %3 に対して %2 を受け取りました。

エラーコード	-10094
エラー定数	WRONG_AUTH_PARM_COUNT
パラメーター 1	想定されていたパラメーター数。
パラメーター 2	クライアントから渡されたパラメーター数。
パラメーター 3	パラメーターが必要なスクリプト。

考えられる原因

クライアントから受信した認証パラメーターの数が、予期した数と一致しません。クライアントパラメーターの数は、authenticate_parameters スクリプトが要求する数より 2 小さい数です。

その他の情報

- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

クライアントから受信したサブスクリプションリストは、破損しているか無効です。

エラーコード	-10291

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	CORRUPT_MLSUBS_DATA

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、クライアントから破損しているデータを受信しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

クライアントテーブル '%1' のカラム数が ml_column で定義された値と一致していません。

エラーコード	-10280
エラー定数	INVALID_NUMBER_OF_CLIENT_COLUMNS
パラメーター 1	テーブルの名前。

考えられる原因

クライアントからテーブルに対して送信されたカラムの数が ml_column で定義された数よりも多くなっています。ml_column が最新の状態であることを確認してください。

その他の情報

- 「ml_add_column system procedure」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%1' に適当なコンストラクターが見つかりませんでした。

エラーコード	-10153
エラー定数	EL_JAVA_NO_SUITABLE_CONSTRUCTOR
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

インスタンスを作成するために Mobile Link が呼び出すことができるパブリックコンストラクターが、ユーザー指定クラスにあることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「コンストラクター」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%1' のイニシャライザで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10149
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_INIT
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	エラーテキスト。
パラメーター 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザー指定のクラスのスタック初期化で例外がスローされました。スタックトレースを確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%1' のコンストラクターでシステム例外がスローされました。エラーの説明 : '%2'

エラーコード	-10155
エラー定数	EL_JAVA_SYSTEM_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	エラーテキスト。

考えられる原因

ユーザークラスのコンストラクターの呼び出し時にシステム例外がスローされました。スタックトレースを確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

クラス '%1' のコンストラクターで例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10154
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_CONSTRUCTOR
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	エラーテキスト。
パラメーター 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザークラスのコンストラクターの呼び出し時にユーザー例外がスローされました。スタックトレースを確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%1' の有効なコンストラクターが見つかりませんでした。

エラーコード	-10161
エラー定数	EL_DNET_NO_VALID_CONSTRUCTOR_ERROR
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、このクラスの有効なコンストラクターを見つけることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%1' をロードしているときにリンクエラーが発生しました。エラーの説明 : '%2'

エラーコード	-10150

エラー定数	EL_JAVA_LINKAGE_ERROR
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	エラーテキスト。

考えられる原因

Java VM がクラスをロードできませんでした。出力されたエラーの説明を確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』

クラス '%2' に、'%1' に一致する過負荷はありません。

エラーコード	-10362
エラー定数	EL_JAVA_NO_OVERLOAD
パラメーター 1	検索対象のメソッドシグネチャー。
パラメーター 2	クラス。

考えられる原因

指定されたパラメーターと一致するメソッドがありませんでした。

その他の情報

- 「メソッド」『Mobile Link サーバー管理』

この CPU では、空間のサポートは利用できません

エラーコード	-10371
エラー定数	SPATIAL_SUPPORT_UNAVAILABLE

考えられる原因

32 ビット Windows と 32 ビット Linux の空間データサポートには、SSE2 命令をサポートする CPU が必要となります。

その他の情報

- 「空間データの使用」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

このサーバーには dbmlsync を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10314
エラー定数	UNLICENSED_FOR_MLSYNC

考えられる原因

Mobile Link サーバーの一部のライセンスでは、dbmlsync の使用が許可されていません。このサーバーとの同期に dbmlsync を使用することはできません。

その他の情報

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバーには QAnywhere を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10313
エラー定数	UNLICENSED_FOR_QANYWHERE

考えられる原因

Mobile Link サーバーの一部のライセンスでは、QAnywhere の使用が許可されていません。-m オプションは使用できません。

その他の情報

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバーには、次のタイプの統合データベースに接続するためのライセンスが付与されていません：%1

エラーコード	-10309
エラー定数	UNLICENSED_FOR_THIS_CONSOLIDATED_TYPE
パラメーター 1	統合データベースのタイプ。

考えられる原因

いくつかの Mobile Link サーバーライセンスが特定のタイプの統合データベースに制限されています。ライセンスが付与されているタイプの統合データベースに接続する DSN を使用してください。

その他の情報

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

このサーバーにはダイレクトロー API を使用するためのライセンスが付与されていません。

エラーコード	-10312
エラー定数	UNLICENSED_FOR_DIRECT_ROW_API

考えられる原因

Mobile Link サーバーの一部のライセンスでは、ダイレクトロー API の使用が許可されていません。handle_UploadData または handle_DownloadData スクリプトを指定することはできません。

その他の情報

- 「サーバーライセンス取得ユーティリティ (dblic)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- http://www.sybase.com/detail?id=1056242
- http://www.sybase.com/detail?id=1068247

この接続のトランザクションは、コミットまたはロールバックできません。

エラーコード	-10202

エラー定数	EL_DNET_TRANSACTS_NOT_ALLOWED

考えられる原因

Mobile Link サーバーによって制御されているデータベース接続でトランザクションのコミットまたはロールバックが試行されました。スクリプトとして呼び出されるメソッドから、Mobile Link サーバーのデータベース接続をコミットまたはロールバックしないでください。

この接続は、以前のエラーのために中止されます。

エラーコード	-10091
エラー定数	CONNECTION_ABANDONED

考えられる原因

アップロードストリームの処理中に発生したエラーが重大なため、今後の作業は無効になります。おそらく I/O エラーまたはプロトコルの問題が原因です。

サーバーがレコーダーの初期化に失敗しました。

エラーコード	-10325
エラー定数	RECORDER_INIT_FAILED

考えられる原因

サーバーで、記録済みの同期ファイルを閉じることができませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rrp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

再起動可能な同期を開始できません。

エラーコード	-10255
エラー定数	UNABLE_TO_RESTART_SYNC

考えられる原因

クライアントから要求された再起動可能な同期を Mobile Link サーバーで開始できませんでした。同期はすでに完了しているか、Mobile Link サーバーが再起動された可能性があります。

その他の情報

- 「ダウンロードの失敗の再開」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ds mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

最大 -x oe スイッチ 1 つを使用できます。

エラーコード	-10358
エラー定数	TOO_MANY_X_OE

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、統合化 OE は 1 つのみサポートされています。同一の Mobile Link サーバーで複数の Relay Server ファームを使用する必要がある場合は、rsoe.exe を使用してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Outbound Enabler」『Relay Server』

作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメーターが必要ですが、パラメーター %3 が指定されています。

エラーコード	-10200
エラー定数	EL_DNET_NUM_BOUND_PARAM_MISMATCH
パラメーター 1	SQL 文。
パラメーター 2	必要なパラメーター数。
パラメーター 3	指定したパラメーター数。

考えられる原因

実行した文のパラメーター数が間違っています。正しい数のパラメーターを指定してから文を実行してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「バウンドパラメーターを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

作成された SQL 文 '%1' には %2 パラメーターが必要ですが、パラメーター %3 が指定されていません。

エラーコード	-10198
エラー定数	EL_DNET_PARAM_NOT_BOUND
パラメーター 1	SQL 文。
パラメーター 2	必要なパラメーター数。
パラメーター 3	指定したパラメーター数。

考えられる原因

実行した文のパラメーター数が少なすぎます。正しい数のパラメーターを指定してから文を実行してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「準備文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- 「バウンドパラメーターを使用した文の実行」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_prepare メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

システムパラメーター %1 に NULL が設定されています。

エラーコード	-10229
エラー定数	SYSTEM_PARAMETER_NULL
パラメーター 1	システムパラメーター名。

考えられる原因

システムパラメーターは変更できますが、NULL には設定できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

シャットダウン中に開始したリクエストをアボートしています。

エラーコード	-10374

エラー定数	REQUEST_DURING_SHUTDOWN

考えられる原因

シャットダウン要求を受信した後に開始した要求を、Mobile Link サーバーがアボートしました。

受信したファイルが予期していたファイルと一致しないため、%1 のアップロードは失敗しました

エラーコード	-10373
エラー定数	FILETRANSFER_UPLOAD_FAILED
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが受信したファイルが想定されていたファイルと一致しなかったため、ファイル転送に失敗しました。ファイル転送をリトライします。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

受信接続を受け入れられません (システムエラー：%1)

エラーコード	-10276
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_INCOMING_CONNECTION
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

新規データベース接続を作成できません。

エラーコード	-10159
エラー定数	EL_JAVA_JDBC_UNABLE_TO_CONNECT

考えられる原因

新しい JDBC ラッパを作成するために必要な新しい ODBC 接続を作成できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

進行状況情報を統合データベースに格納しようとしていたときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10031
エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_UPDATE_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、同期ステータスを統合データベースに保存できません。データベースサーバーが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

スクリプト %1 のクラスおよびメソッド名を解析できません。

エラーコード	-10125
エラー定数	EL_JAVA_SCRIPT_FORMAT_ERROR
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Java 同期スクリプトの正しいフォーマットは 'myPackage.myClass.myMethod' です。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' からタイプ '%2' のオブジェクトが返されましたが、このタイプは、'System.Void' または 'System.String' のサブタイプではありません。

エラーコード	-10185

エラー定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_OBJ
パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	返されたオブジェクトのタイプ。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに、予期しないタイプのオブジェクトが返されました。常に正しいタイプのオブジェクトを返すようにメソッドを変更してください。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' でエラーが発生しました。

エラーコード	-10189
エラー定数	EL_DNET_USER_SCRIPT_ERROR
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ScriptExecutionException がトリガーされました。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' でサーバーエラーが報告されました。

エラーコード	-10188
エラー定数	EL_DNET_SERVER_ERROR
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに ServerException がトリガーされました。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' で致命的なエラーが報告されました。

エラーコード	-10190
エラー定数	EL_DNET_FATAL_ERROR
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに FatalException がトリガーされました。

その他の情報

- FatalException クラス [Mobile Link サーバー .NET]『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' で同期エラーが報告されました。

エラーコード	-10186
エラー定数	EL_DNET_SYNC_ERROR
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトを呼び出したときに SynchronizationException がトリガーされました。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' には、名前付きパラメーターを使用するための無効な構文が含まれています。

エラーコード	-10236
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_SCRIPT

パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

スクリプトに、正しい形式の名前付きパラメーターシーケンスが含まれません。スクリプトパラメーターを名前で参照するには、{ml parameter } のように、パラメーターを中カッコで囲み、前に ml を付けます。たとえば、{ml s.action_code} のように指定します。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' には、無効なパラメーター参照が含まれています : '%2'

エラーコード	-10239
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_NUMBER
パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	パラメーター番号。

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメーターへの数値参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' には、無効な文字を含む名前付きパラメーターが含まれています。

エラーコード	-10235
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_CHAR
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

SQL Anywhere 識別子の命名規則に従う必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「識別子」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

スクリプト '%1' には、無効なユーザーパラメーターが含まれています : '%2'

エラーコード	-10240
エラー定数	INVALID_NAMED_USER_PARAMETER
パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	パラメーター番号。

考えられる原因

スクリプトに、ユーザーパラメーターへの数値参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' に不正なフォーマットが使用されています。

エラーコード	-10182
エラー定数	EL_DNET_INVALID_SCRIPT_NAME
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

スクリプトのフォーマットが無効です。正しいフォーマットは myDomain:myClass.myMethod または just myClass.myMethod です。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' のパラメーター名が無効です (名前が短すぎるか長すぎます)。

エラーコード	-10226
エラー定数	INVALID_NAMED_PARAMETER_LENGTH
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

名前付きパラメーターが検出されましたが、名前がないか、名前が長すぎます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は '%2' オブジェクトを返しますが、戻り値のタイプは 'System.Void' および 'System.String' のみがサポートされています。

エラーコード	-10173
エラー定数	EL_DNET_INVALID_RETURN_TYPE
パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	返されたオブジェクトのタイプ。

考えられる原因

メソッドは、予期しないタイプを返すように宣言されています。正しいタイプを返すようにメソッドを変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は、'%2' のメンバーですが、スクリプトバージョンでは %3 クラスのみ許可されています。

エラーコード	-10204
エラー定数	EL_DNET_TOO_MANY_CLASSES_PER_VERSION

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	クラス名。
パラメーター 3	許可されているクラス数。

考えられる原因

1 つのスクリプトバージョンで、この数よりも多いクラス数を明示的に参照することはできません。このエラーが発生した場合は、各イベントで使用しているすべてのメソッドを含むラッパクラスを作成してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は、テーブル '%2' のカラム %3 を参照していますが、テーブルには %4 カラムしかありません。

エラーコード	-10241
エラー定数	INVALID_TABLE_COLUMN
パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	テーブルの名前。
パラメーター 3	パラメーター番号。
パラメーター 4	テーブルカラムの数。

考えられる原因

スクリプトに、0 であるか、大きすぎるパラメーターへの参照が含まれます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は、入出力パラメーター '%2' を 2 回以上参照しています。

エラーコード	-10237
エラー定数	MULTI_USE_INOUT_PARAMETER

パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	パラメーター名。

考えられる原因

入出力パラメーターは、スクリプトに 1 回だけ渡すことができます。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は、認証パラメーター %2 を参照していますが、%3 しかありません。

エラーコード	-10242
エラー定数	INVALID_AUTH_PARM_NUMBER
パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	パラメーター番号。
パラメーター 3	パラメーター数。

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメーターへの参照が含まれます。

その他の情報

- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' は、不明な認証パラメーター '%2' を参照しています。

エラーコード	-10243
エラー定数	UNKNOWN_AUTH_PARM
パラメーター 1	スクリプト名。
パラメーター 2	パラメーター名。

考えられる原因

スクリプトに、存在しない認証パラメーターへの参照が含まれます。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' はプレイメージのローデータを処理できません。

エラーコード	-10234
エラー定数	SCRIPT_NO_OLD_ROW_DATA
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

プレイメージのローデータを参照する名前付きパラメーターを使用できるのは、プレイメージのローデータを処理するスクリプトだけです。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' はローデータを処理できません。

エラーコード	-10231
エラー定数	SCRIPT_NO_ROW_DATA
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

ローデータを参照する名前付きパラメーターを使用できるのは、ローデータを処理するスクリプトだけです。

その他の情報

- 「名前付きスクリプトパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1' を実行できません。

エラーコード	-10205
エラー定数	EL_DNET_SCRIPT_EXEC_FAIL
パラメーター 1	スクリプト。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、このスクリプトを呼び出すことができませんでした。Mobile Link サーバーのログで以前のエラーを確認してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%1.%2' を実行するための引数が足りません。 %3 の引数が必要なのに対し、利用できるのは %4 だけです。

エラーコード	-10130
エラー定数	EL_JAVA_NOT_ENOUGH_PARMS
パラメーター 1	クラス名。
パラメーター 2	メソッド名。
パラメーター 3	必要なパラメーター数。
パラメーター 4	指定したパラメーター数。

考えられる原因

マニュアルで、このスクリプトに関連するイベントに関する説明を参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%2' のシステムパラメーター '%1' が不明です。

エラーコード	-10227
エラー定数	UNKNOWN_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
パラメーター 1	不明なシステムパラメーター名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

この名前付きシステムパラメーターは、有効なシステムパラメーターのリストにありません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプト '%2' のシステムパラメーター '%1' が無効です。

エラーコード	-10228
エラー定数	INVALID_NAMED_SYSTEM_PARAMETER
パラメーター 1	無効なシステムパラメーター名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

このスクリプトでは名前付きシステムパラメーターを使用できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトクラス '%1' にパブリックメソッドがありませんでした。

エラーコード	-10151
エラー定数	EL_JAVA_NO_PUBLIC_METHODS
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

Mobile Link によって呼び出すことができるように、スクリプトクラスにはパブリックメソッドが必要です。修正したクラスを指定してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「メソッド」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトで %1 パラメーターを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした：%3

エラーコード	-10047

エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS
パラメーター 1	想定されていたパラメーター数。
パラメーター 2	見つかったパラメーター数。
パラメーター 3	スクリプト名。

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメーターの数が多すぎます。指定されたスクリプトに対するパラメーターの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトで最低 %1 のパラメーターを予期しましたが、%2 しか見つかりませんでした：%3

エラーコード	-10048
エラー定数	ODBC_WRONG_NUM_PARAMETERS_AT_LEAST
パラメーター 1	想定されていたパラメーターの最小数。
パラメーター 2	見つかったパラメーター数。
パラメーター 3	スクリプト名。

考えられる原因

指定されたスクリプトで検出されたパラメーターの数が十分ではありません。指定されたスクリプトに対するパラメーターの数を確認してください。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期イベント」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトの実行に必要なメモリを割り付けることができません。

エラーコード	-10170

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	EL_DNET_MEM_ALLOC_FAIL

考えられる原因

RAM を追加するか、他のプログラムを終了するか、.NET 同期スクリプトに必要なメモリを減らすことを検討してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトのバージョン '%1' を追加できませんでした。

エラーコード	-10254
エラー定数	UNABLE_TO_ADD_VERSION
パラメーター 1	バージョン文字列。

考えられる原因

サーバーでこのスクリプトバージョンを自動的に追加できませんでした。このエラーは、通常はモニターを接続するときに発生します。モニターでは、for_ML_Monitor_only というスクリプトバージョンが使用されます。データベースのパーミッションを確認するか、スクリプトバージョンを直接追加してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スクリプトバージョンの追加」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトバージョンごとに 1 つのドメインのみ使用できます。スクリプト '%2' がドメイン '%3' の使用を試みたとき、ドメイン '%1' は使用中でした。

エラーコード	-10183
エラー定数	EL_DNET_ONE_DOMAIN_PER_VERSION
パラメーター 1	ドメイン名。
パラメーター 2	スクリプト。
パラメーター 3	余分なドメイン名。

考えられる原因

スクリプトが myDomain:myClass.myMethod の形式で、同じスクリプトバージョンの別のスクリプトで別のドメイン名が使用されました。同じスクリプトバージョンのスクリプトには同じドメインを使用してください。

その他の情報

- 「.NET 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトを NULL として定義することはできません。

エラーコード	-10039
エラー定数	CURSOR_SCRIPTS_MUST_BE_NON_NULL

考えられる原因

スクリプトは NULL または空の文字列として定義できません。NULL または空の文字列として定義されているスクリプトがないか、スクリプトの定義を確認してください。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

スクリプトをフラッシュできません。

エラーコード	-10020
エラー定数	ERROR_FLUSH_SCRIPTS

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、統合データベースサーバーに接続して ml_scripts_modified テーブルを問い合わせることによって、常に各同期の始めにキャッシュされたスクリプトを更新します。Mobile Link サーバーが、スクリプトをフラッシュしているときに問題が発生しました。

ストリーム %2 の DLL または共有オブジェクト %1 をロードできません：%3

エラーコード	-10108
エラー定数	CANNOT_LOAD_DLL_FOR_STREAM

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	DLL または共有オブジェクトの名前。
パラメーター 2	ストリームタイプ。
パラメーター 3	ストリーム名。

考えられる原因

このストリームの DLL または共有オブジェクトをロードできませんでした。正しいバージョンの DLL または共有オブジェクトが正しいロケーションにあることを確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ストリームエラー : %1

エラーコード	-10117
エラー定数	STREAM_ERROR
パラメーター 1	エラーメッセージ。

考えられる原因

一般的なストリームエラーです。エラーの詳細は、メッセージの本文にあります。

スナップショットにトランザクションの独立性レベルを設定できません。

エラーコード	-10247
エラー定数	UNABLE_TO_SET_SNAPSHOT_ISOLATION

考えられる原因

Mobile Link サーバーでトランザクションの独立性レベルをスナップショットに設定できませんでした。Mobile Link サーバーを統合データベースに接続するためのユーザー ID に、独立性レベルを変更するパーミッションがあることと、データベースでスナップショットアイソレーションが許可されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「スナップショットアイソレーションの有効化」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

スレッドを .NET ランタイムに付加できません。

エラーコード	-10168
エラー定数	EL_DNET_WORKER_ATTACH_FAIL

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

スレッドを Java VM に付加しているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10126
エラー定数	EL_JAVA_THREAD_ATTACH_ERROR

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続スクリプト %1 をフェッチしているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10018
エラー定数	ERROR_FETCHING_CONNECTION_SCRIPT
パラメーター 1	接続スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、接続スクリプトをリフレッシュできませんでした。データベースサーバーが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ネットワーク通信の起動時の問題をデバッグする」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

接続ソケットを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10264
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_CONNECT_SOCKET
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続の受け入れを開始できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10265
エラー定数	UNABLE_TO_START_ACCEPTING_CONNECT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

接続を割り付けることができません。

エラーコード	-10067
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_ALLOCATE_A_CONNECTION

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、接続を割り付けられませんでした。Mobile Link サーバーを起動するのに十分なメモリがあることを確認してください。また、データベースサーバーが稼働中で、ユーザー ID とパスワードが有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』
- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

ソケット '%1' でハードクローズを実行できません。

エラーコード	-10266
エラー定数	UNABLE_TO_PERFORM_HARD_CLOSE_ON_SOCKET
パラメーター 1	ソケット。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケット削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10267
エラー定数	UNABLE_TO_POST_SOCKET_DELETION_REQUEST
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ソケットセレクター通知の UNIX パイプを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10272
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_UNIX_PIPE
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットを完了ポートに関連付けられませんでした (システムエラー : %1)

エラーコード	-10263
エラー定数	UNABLE_TO_ASSOCIATE_SOCKET_WITH_COMPL_PORT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットを閉じられません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10271
エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_SOCKET
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ソケットをポーリングできません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10274
エラー定数	UNABLE_TO_POLL_SOCKET
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

タイプ '%2' の引数を持つメソッド '%1' を呼び出せませんでした。

エラーコード	-10157
エラー定数	EL_JAVA_WRONG_PARM_TYPE
パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	タイプ名。

考えられる原因

この呼び出しで予期されている引数のタイプを判断するには、Mobile Link のマニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

ダウンロードルートディレクトリまたは '%2' サブディレクトリに要求ファイル '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10251
エラー定数	FILETRANSFER_FILE_NOT_FOUND

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 1	ファイル名。
パラメーター 2	ルートダウンロードディレクトリのサブフォルダー。

考えられる原因

転送が要求されたファイルがサーバーで見つかりませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

通信ストリーム %1 を初期化できません : %2

エラーコード	-10110
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_STREAM
パラメーター 1	ストリーム番号。
パラメーター 2	ストリーム指定。

考えられる原因

ストリームを初期化できませんでした。ストリーム名とストリームオプションが有効であることを確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

通知できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10275
エラー定数	UNABLE_TO_NOTIFY
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

通知パイプからの読み込み中にエラーが発生しました (システムエラー : %1)

エラーコード	-10277
エラー定数	ERROR_IN_READ_FROM_NOTIFICATION_PIPE
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

通知パイプでエラーが発生しました。

エラーコード	-10278
エラー定数	ERROR_ON_NOTIFICATION_PIPE

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

次の非デーモンスレッドは破壊されました : %1

エラーコード	-10124
エラー定数	EL_JAVA_THREADS_DESTROYED
パラメーター 1	スレッド識別子のリスト。

考えられる原因

これらの Java スレッドはシャットダウン中に強制的に破棄されました。ShutdownListener インターフェイスを使用して、Mobile Link サーバーのシャットダウン時にスレッドを正常に終了してください。

その他の情報

- ShutdownListener インターフェイス [Mobile Link サーバー Java]『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値のタイムゾーンのタイムスタンプが無効です。

エラーコード	-10329
エラー定数	INVALID_TIMESTAMP_WITH_ZONE
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

統合データベースの特定のテーブルのカラムに、無効なタイムゾーン付きタイムスタンプがあります。このカラムに有効なタイムゾーン付きタイムスタンプが含まれていることと、このデータがテーブル定義で VARCHAR または CHAR として定義されている場合は 'yyyy-mm-dd hh:nn:ss.Ssssss [+|-]hh:mm' のような形式になっていることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値に、変換できない文字データが含まれています。

エラーコード	-10211
エラー定数	DOWNLOAD_DATA_TRANS_ERROR
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

統合データベースで生成された文字データは、クライアントの文字セットに変換してからクライアントに送信する必要がありますが、Mobile Link サーバーがデータを変換できませんでした。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、無効なユニーク識別子の文字列です。

エラーコード	-10216
エラー定数	INVALID_UUID_STRING
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが文字列をユニークな識別子に変換できません。SQL Anywhere 以外の統合データベースでデータ型 CHAR または VARCHAR を使用して、リモートデータベースの UNIQUEIDENTIFIER をマッピングし、統合データベースの文字列が有効でユニークな識別子であることを確認してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードされた値は、リモートスキーマタイプには大きすぎるか不正です。

エラーコード	-10038
エラー定数	STRING_TOO_BIG
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

指定されたテーブルのカラム幅が、統合データベースとリモートデータベースで一貫して定義されていない可能性があります。テーブルの定義を確認してください。

その他の情報

- 「ALTER TABLE 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「ALTER TABLE 文 [Ultra Light]」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' (カラム #%2) にダウンロードした値に、リモートデータベースでは使用できない NULL SRID が含まれています。

エラーコード	-10331
エラー定数	NULL_SRID
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	カラムのインデックス。

考えられる原因

リモートデータベース SQL Anywhere と Ultra Light のいずれにおいても、NULL の SRID を持つ空間データは許可されていません。統合データベースで空間データが入力された場合は、必ず有効な SRID を入力してください。

その他の情報

- 「Ultra Light での空間データのサポート」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「空間参照系 (SRS) と空間参照系識別子 (SRID)」『SQL Anywhere サーバー 空間データサポート』

テーブル '%1' で、ml_column テーブルでのカラム名が '%2' であるカラムのインデックスが、リモートカラムの数よりも大きくなっています。

エラーコード	-10281
エラー定数	INVALID_REF_TO_ML_COLUMN_NAME
パラメーター 1	テーブルの名前。
パラメーター 2	ml_column テーブルのカラムの名前。

考えられる原因

同期スクリプトに無効な名前付きパラメーター参照が含まれています。このスクリプトのバージョンやテーブルを ml_column テーブルで確認し、カラムの名前と順序がリモートからの名前や順序と一致するようにします。名前付きパラメーターで無効なカラムが指定されたか、または、ml_column テーブルで、有効なカラムエントリよりも前に無効なエントリがあることが主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「ml_add_column system procedure」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' に %2 構文がありません。

エラーコード	-10355
エラー定数	NO_UPLOAD_SCRIPT
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

クライアントからのアップロードデータにデータが含まれていますが、データを処理するスクリプトがありません。このデータを無視するには、記述されたスクリプトに --{ml_ignore} を付加してください。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スクリプトの追加と削除」『Mobile Link サーバー管理』
- 「無視されたスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には %2 スクリプトがありません

エラーコード	-10366
エラー定数	NO_DOWNLOAD_SCRIPT
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

考えられる原因

ダウンロードデータスクリプトがありません。このスクリプトを無視するには、記述されたスクリプトに --{ml_ignore} を付加してください。

その他の情報

- 「ローをダウンロードするスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「無視されたスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

テーブル '%1' には '%2' という名前のカラムがありません。

エラーコード	-10233
エラー定数	UNKNOWN_TABLE_COLUMN
パラメーター 1	テーブルの名前。
パラメーター 2	カラムの名前。

考えられる原因

スクリプトで参照しているカラム名が、テーブルのカラム名のリストにありません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には BLOB が含まれているため、カラムレベルの競合を検出することはできません。

エラーコード	-10224
エラー定数	COLUMN_CONFLICT_DET_WITH_BLOB
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

BLOB を含むテーブルには、カラムレベルの競合検出を使用できません。BLOB を含むテーブルには、ローレベルの競合検出スクリプト upload_fetch を使用してください。

その他の情報

- 「競合の検出と解決の変更」『Mobile Link クイックスタート』
- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には upload_fetch スクリプトがありますが、競合解決スクリプトが定義されていません

エラーコード	-10367
エラー定数	NO_CONFLICT_RESOLVE
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

指定したテーブルに upload_fetch スクリプトが定義されていますが、競合解決スクリプトが定義されていません。upload_fetch スクリプトを削除するか、または少なくとも 1 つの競合解決スクリプトを追加してください。

その他の情報

- 「upload_fetch スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「競合の解決」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には、ml_table テーブルのエントリがありません。

エラーコード	-10101
エラー定数	TABLE_NO_SCRIPT
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

テーブル ml_table、ml_table_script、ml_script には、同期に参加する各テーブル用のスクリプトが含まれています。Mobile Link サーバーは、スクリプトを持たない、またはテーブル ml_table にエントリがないすべての同期テーブルについてこの警告を表示します。

その他の情報

- 「テーブルスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバーのシステムテーブル」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' の upload_fetch または upload_fetch_column_conflict スクリプトは、無視されるスクリプトとして定義することはできません

エラーコード	-10370
エラー定数	IGNORED_UPLOAD_FETCH_SCRIPTS
パラメーター 1	テーブル名。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、upload_fetch スクリプトまたは upload_fetch_column_conflict スクリプトを実際の SQL スクリプトとして定義するか、またはスクリプト自体を定義しない状態にする必要があります。

その他の情報

- 「アップロード中のイベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「upload_fetch_column_conflict テーブルイベント」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' への更新ローのアップロード中にエラーが発生しました。更新されたカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10063
エラー定数	UPDATED_ROW_ERROR
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが更新されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' への削除ローのアップロード中にエラーが発生しました。削除されたカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10062
エラー定数	DELETED_ROW_ERROR
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが削除されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_delete_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' への挿入ローをアップロード中にエラーが発生しました。挿入したカラムの値は次のとおりです。

エラーコード	-10061
エラー定数	INSERTED_ROW_ERROR
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが挿入されたローを統合データベースの指定されたテーブルにアップロードしているときに、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「download_cursor スクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%2' のカラム %1 のアップロードデータが無効です。

エラーコード	-10308
エラー定数	INVALID_TABLE_DATA
パラメーター 1	カラムのインデックス。
パラメーター 2	テーブル名。

考えられる原因

クライアントからアップロードされたデータを処理できません。データが範囲外であるか、データを変換できません。

テーブルスクリプト %1.%2 をフェッチしているときにエラーが発生しました。

エラーコード	-10019
エラー定数	ERROR_FETCHING_TABLE_SCRIPT
パラメーター 1	テーブル名。
パラメーター 2	スクリプト名。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、テーブルスクリプトをリフレッシュできませんでした。データベースサーバーが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「ネットワーク通信の起動時の問題をデバッグする」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

転送用にファイル '%1' を書き込めませんでした。

エラーコード	-10322
エラー定数	FILETRANSFER_WRITE_FAILED
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

見つかったサーバーでは、クライアントからアップロードされたファイルに書き込むことができません。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「authenticate_file_transfer 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』
- 「authenticate_file_upload 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

転送用にファイル '%1' を開けませんでした。

エラーコード	-10252
エラー定数	FILETRANSFER_OPEN_FAILED
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバーで見つかりましたが、ファイルを開くことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

転送用にファイル '%1' を読み込めませんでした。

エラーコード	-10253
エラー定数	FILETRANSFER_READ_FAILED
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

転送が要求されたファイルはサーバーで見つかりましたが、ファイルを読み込むことができませんでした。ファイルのパーミッションを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

テンポラリファイル '%1' を開けません。

エラーコード	-10212
エラー定数	CANNOT_OPEN_TEMP_FILE
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは中間データの保管にテンポラリファイルを使用する場合があります。Mobile Link サーバーにテンポラリファイルを作成するパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「必要なパーミッション」『Mobile Link サーバー管理』

同期が ORACLE 'gv$transaction' テーブルにアクセスする必要があるため、要求を処理できません

エラーコード	-10380
エラー定数	UNABLE_TO_ACCESS_GVTRANSACTION

考えられる原因

タイムスタンプベースのダウンロードでデータが失われないようにするために、Mobile Llink サーバーでは、Oracle の gv$transaction テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link

サーバーのログイン ID に、gv$transaction に対する SELECT パーミッションを付与してください。

その他の情報

- 「Oracle 統合データベース」『Mobile Link サーバー管理』

同期の一部を記録できません。

エラーコード	-10318
エラー定数	RECORDER_UNABLE_TO_RECORD_PART_OF_SYNC

考えられる原因

サーバーで、同期の一部を記録できませんでした。サーバーで記録用のファイルを開くことができたかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースサーバーまたは ODBC エラー : %1

エラーコード	-10002
エラー定数	ERROR_SQL_ERROR
パラメーター 1	データベースサーバーまたは ODBC ドライバーによって送信される実際のエラーメッセージ。

考えられる原因

これは、構文エラーなどの SQL エラーである可能性があります。

その他の情報

- SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス

統合データベースでのスナップショットアイソレーションで競合する更新を検出後に、現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

エラーコード	-10246

エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE

考えられる原因

Mobile Link サーバーが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然として競合する更新の問題が発生しています。統合データベースに対して実行中の開いているトランザクションをすべてコミットし、同期の実行を再試行してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

統合データベースでのデッドロック後に現在のトランザクションをリトライできません。リトライの制限回数に達しました。

エラーコード	-10021
エラー定数	CANNOT_RETRY_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバーが現在のトランザクションをリトライしましたが、依然としてデッドロック問題が発生しています。同期論理を再設計するか、Mobile Link サーバーのコマンドラインオプション -r を使用してください。

その他の情報

- 「-r mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link アプリケーションの設計」『Mobile Link クイックスタート』

統合データベースに接続できません。同期処理をアボートします。

エラーコード	-10028
エラー定数	UNABLE_TO_CONNECT_TO_CONSOLIDATED

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、統合データベースへ接続できませんでした。データベースサーバーが稼働中であり、ネットワークに異常がないか確認してください。

その他の情報

- 「SQL Anywhere データベースサーバーの構文」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ドメイン '%1' にタイプ '%2' のアセンブリがありません。

エラーコード	-10179
エラー定数	EL_DNET_NO_ASM_CONTAINS_TYPE
パラメーター 1	ドメイン名。
パラメーター 2	タイプ名。

考えられる原因

指定したドメインでタイプが定義されていることを確認してください。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

ドメイン '%1' はドメイン設定ファイルで指定されていません。

エラーコード	-10178
エラー定数	EL_DNET_DOMAIN_NOT_FOUND
パラメーター 1	ドメイン名。

考えられる原因

イベントスクリプトのドメイン名は、設定済みのいずれのドメインにも一致しません。

その他の情報

- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

ドメイン '%1' を作成できませんでした。

エラーコード	-10192
エラー定数	EL_DNET_CREATE_DOMAIN_FAIL
パラメーター 1	ドメイン名。

考えられる原因

.NET CLR は、示されたドメインの作成を拒否しました。ドメインの設定を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET アセンブリのロード」『Mobile Link サーバー管理』

ドメイン ID %1 は認識できません。

エラーコード	-10024
エラー定数	ERROR_UNSUPPORTED_DOMAIN_ID
パラメーター 1	ドメイン ID。

考えられる原因

クライアントが要求したドメイン ID (データ型) がサポートされていません。使用している Mobile Link サーバーが最新のものであるか確認してください。

その他の情報

- 「ドメイン」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

トランザクションをコミットできません : %1 -- ロールバックを試みます。

エラーコード	-10065
エラー定数	UNABLE_TO_COMMIT
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、指定されたスクリプトのトランザクションをコミットできませんでした。常にデッドロックを避けるようにスクリプトを作成することをおすすめします。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

トランザクションをロールバックできません : %1

エラーコード	-10064
エラー定数	UNABLE_TO_ROLLBACK
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、トランザクションをロールバックできませんでした。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

内部エラー : BLOB の取得中に発生しました -- 読み込み

エラーコード	-10041
エラー定数	BLOB_READ_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、メモリまたはテンポラリファイルからアップロードデータを検索できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部エラー : '%1'

エラーコード	-10156
エラー定数	EL_JAVA_INTERNAL_ERROR
パラメーター 1	エラーテキスト。

考えられる原因

Java 内部エラーが発生しました。出力されたエラー情報を確認し、問題を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

名前 '%1' は、有効な .NET 開始クラス名ではありません。

エラーコード	-10177
エラー定数	EL_DNET_INVALID_STARTCLASS_NAME
パラメーター 1	開始クラス名。

考えられる原因

開始クラス名の形式が不正です。名前を修正してから再実行してください。

その他の情報

- 「ユーザー定義起動クラス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバー .NET API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』

名前付きローパラメーターを使用するには、ml_column テーブルでカラム名を設定する必要があります。

エラーコード	-10232
エラー定数	NO_COLUMN_NAMES

考えられる原因

名前付きパラメーター機能を使用するには、スクリプトで使用するリモートカラム名を ml_column テーブルで定義する必要があります。

その他の情報

- 「ml_add_column system procedure」『Mobile Link サーバー管理』
- 「名前付きスクリプトパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

認識されないイベント名：%1

エラーコード	-10207
エラー定数	UNKNOWN_EVENT
パラメーター 1	認識されないイベントの名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、接続イベントとテーブルイベントだけが認識され、これらのイベントは ml_connection_script と ml_table_script のテーブルに格納されています。すべての接続イベントとテーブルイベントが有効であることを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「同期イベント」『Mobile Link サーバー管理』

ネットワークアクティビティがないため、接続が切断されました。

エラーコード	-10279
エラー定数	CONNECTION_DROPPED_DUE_TO_IDLE_TIMEOUT

考えられる原因

アクティビティがなかったため、Mobile Link サーバーがこの接続を切断しました。リモートの場合は、ネットワーク接続が失われている可能性があります。

ネットワークアドレス '%1' はローカルのアドレスではありません。

エラーコード	-10259
エラー定数	NOT_LOCAL_IP_ADDRESS
パラメーター 1	ホスト名。

考えられる原因

指定されたネットワークアドレスは、このマシンのネットワークアダプターに解決されませんでした。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ネットワークの読み込みに失敗しました。リモートクライアントからデータを読み込めません。

エラーコード	-10030
エラー定数	STREAM_READ_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、ネットワークの読み込みを完了できませんでした。ネットワークを確認してください。

ネットワークリスナーポートで新規接続を受け入れられません。

エラーコード	-10292
エラー定数	UNABLE_TO_ACCEPT_ON_LISTEN_PORT

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、受信接続を受け入れられませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

バージョン '%1' が ml_script_version テーブルに見つかりません。同期できません。

エラーコード	-10013
エラー定数	VERSION_NOT_FOUND
パラメーター 1	バージョン文字列。

考えられる原因

クライアントが指定したバージョンが、統合データベースに存在しません。スクリプトバージョンを作成してください。

その他の情報

- 「スクリプトバージョン」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スクリプトバージョンの追加」『Mobile Link サーバー管理』

バージョンエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10121
エラー定数	EL_JAVA_VM_VER_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーに Java VM をロードできませんでした。正しい Java VM がインストールされていることを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

バックグラウンドスレッドを作成できません。

エラーコード	-10112
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_BACKGROUND_THREAD

考えられる原因

Mobile Link サーバーでバックグラウンド処理用のスレッドを作成できませんでした。メモリ不足が主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター %1 に NULL が設定されています。

エラーコード	-10230
エラー定数	PARAMETER_N_NULL
パラメーター 1	パラメーター番号。

考えられる原因

パラメーターは変更できますが、NULL には設定できません。

その他の情報

- 「スクリプトのパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター %1 のバインドには、タイプ '%2' の値が必要ですが、'%3' が指定されました。

エラーコード	-10201
エラー定数	EL_DNET_PARAM_TYPE_MISMATCH
パラメーター 1	パラメーター番号。
パラメーター 2	必要なタイプ。

パラメーター 3	指定したタイプ。

考えられる原因

指定したパラメータータイプが間違っています。パラメーターを正しいタイプに変更してください。

その他の情報

- 「準備文」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』
- sqlany_bind_param メソッド [SQL Anywhere C]『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

必須 ODBC 関数 %1 がドライバーでサポートされていません。

エラーコード	-10075
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_FUNCTION
パラメーター 1	ODBC 関数の名前。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、ODBC ドライバーから関数を検出できませんでした。推奨された ODBC ドライバーを使用して Mobile Link サーバーを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

必要な Java クラス %1 をロードできませんでした。

エラーコード	-10127
エラー定数	EL_JAVA_BOOT_CLASS_LOAD_ERR
パラメーター 1	クラス名。

考えられる原因

これは内部の起動エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ファイル %1 を開けません。

エラーコード	-10058
エラー定数	UNABLE_TO_OPEN_TABLE_SCRIPT
パラメーター 1	スクリプト名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、指定されたテーブルスクリプトの実行に失敗しました。スクリプトに有効な SQL が含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「テーブルスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

ファイル '%1' が見つかりません。

エラーコード	-10166
エラー定数	EL_DNET_MDGHOST_DLL_NOT_FOUND
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

.NET スクリプトを起動するために必要ないずれかのファイルが見つかりませんでした。インストール環境と環境変数を確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーの配備」『Mobile Link サーバー管理』

ファイルアップロードのファイル名またはサブディレクトリ '%1' が無効です。

エラーコード	-10323
エラー定数	FILETRANSFER_BAD_PATH
パラメーター 1	パス名。

考えられる原因

ファイルアップロードのファイル名には、スラッシュを使用しないでください。

ファイルアップロードのルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10320
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_UPLOAD_DIR_NOT_FOUND
パラメーター 1	ユーザーが指定したルートパス。

考えられる原因

指定したパスがサーバーで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

その他の情報

- 「-ftru mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ftr mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ファイル転送のルートディレクトリ '%1' が見つかりませんでした。

エラーコード	-10249
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_FOUND
パラメーター 1	ユーザーが指定したルートパス。

考えられる原因

指定したパスがサーバーで見つかりませんでした。指定したパスが正しいことを確認してください。

その他の情報

- 「-ftr mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ftru mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

ファイルに書き込めません。

エラーコード	-10319
エラー定数	RECORDER_WRITE_FAILED

考えられる原因

ファイルへの書き込みができないため、サーバーで同期の一部を記録できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-rp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不正なストリーム指定：%1

エラーコード	-10105
エラー定数	BAD_STREAM_SPEC
パラメーター 1	ストリーム名。

考えられる原因

ストリーム名が間違って指定されました。マニュアルで -x スイッチと -xo スイッチに関する説明を参照してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不正なパラメーター '%1' です。

エラーコード	-10215
エラー定数	INVALID_STREAM_PARAMETER
パラメーター 1	無効なパラメーターの名前。

考えられる原因

通信プロトコルに 1 つまたは複数の無効なパラメーターが検出されました。コマンドラインオプションを調べて、プロトコルオプションがすべて有効かどうか確認してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

不明なスクリプトフラグ '%1' のため、SQL パススルースクリプトを送信できません。

エラーコード	-10297
エラー定数	UNKNOWN_PASSTHROUGH_SCRIPT_FLAG

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、このユーザーの不明な SQL パススルースクリプトフラグが見つかりました。このユーザーのスクリプトを確認してください。

その他の情報

- 「ml_add_passthrough_script システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_add_passthrough_repair システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

プライマリ Mobile Link サーバーをロックできません。

エラーコード	-10351
エラー定数	UNABLE_TO_LOCK_PRIMARY_SERVER

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、プライマリサーバーをロックできませんでした。
ml_primary_server_lock テーブルが存在し、かつ、このテーブルにローが 1 つのみ含まれていることを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ca mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

プライマリサーバー情報を保存できません。

エラーコード	-10352
エラー定数	UNABLE_TO_UPDATE_PRIMARY_INFO

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、プライマリサーバーの情報を統合データベースまたは Mobile Link システムデータベースに格納できませんでした。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ca mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-lsc mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

プライマリサーバーロックがなくなりました。

エラーコード	-10353
エラー定数	LOST_PRIMARY_SERVER_LOCK

考えられる原因

Mobile Link で、プライマリサーバーのステータスが失われました。監視サーバーが稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「Windows 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「UNIX 用 Mobile Link 監視サーバーユーティリティ (mlarbiter.sh)」『Mobile Link サーバー管理』

プロトコルエラー：%1

エラーコード	-10001
エラー定数	PROTOCOL_ERROR
パラメーター 1	エラー番号。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、クライアントが送信した要求を理解できません。クライアントが Mobile Link サーバーより新しい場合、このエラーが発生することがあります。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「バージョンに関する考慮事項」『Mobile Link クライアント管理』
- 「SQL Anywhere Mobile Link クライアントのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

プロトコルのバージョンが一致しません。%1 を予期していましたが、%2 を受け取りました。

エラーコード	-10004
エラー定数	STREAM_INCORRECT_VERSION
パラメーター 1	許容される最大バージョン。
パラメーター 2	クライアントから送信されたバージョン。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、別のプロトコルバージョンを使用してクライアントと通信しています。クライアントが Mobile Link サーバーでサポートされていないバージョンを送信すると、このエラーが発生します。Mobile Link サーバーの古いバージョンと通信するために、より新しいクライアント (DBMLSync または Ultra Light アプリケーション) を使用していないか確認してください。

その他の情報

- 「バージョンに関する考慮事項」『Mobile Link クライアント管理』
- 「SQL Anywhere Mobile Link クライアントのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』
- 「Mobile Link のアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

プロパティセット名 '%1' に正しいカッコが含まれていません。

エラーコード	-10338
エラー定数	PROPERTY_SET_MISSING_BRACKET
パラメーター 1	プロパティセット名。

考えられる原因

指定したプロパティセット名に正しいカッコが含まれていません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

プロパティ名のプレフィクス '%1!s.' が不正です。

エラーコード	-10337
エラー定数	NOTIFIER_UNKNOWN_TYPE
パラメーター 1	Notifier のタイプ。

考えられる原因

指定したプロパティ名のプレフィクスが無効です。

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

分散トランザクションコーディネーターにデータベースをエンリストできません。

エラーコード	-10288
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ENLIST_TRANS

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、データベースを分散トランザクションコーディネーターにエンリストできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

分散トランザクションをアボートできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'

エラーコード	-10290
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_ABORT

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、分散トランザクションをアボートできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

分散トランザクションをコミットできません (イベント : %1) -- システムエラー : '%2'

エラーコード	-10289
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_COMMIT

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、分散トランザクションをコミットできませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

分散トランザクションを初期化できません -- システムエラー : '%1'

エラーコード	-10287
エラー定数	DTC_UNABLE_TO_START_TRANS

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、分散トランザクションを初期化できませんでした。データベースのトランザクションログが満杯でないことを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ポートで受信できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10262

エラー定数	UNABLE_TO_LISTEN_ON_PORT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ホスト名 '%1' を解決できません (エラー : '%2')。

エラーコード	-10283
エラー定数	UNABLE_TO_RESOLVE_HOST_NAME
パラメーター 1	ホスト名。
パラメーター 2	エラー番号。

考えられる原因

指定されたホスト名を解決できませんでした。OS 固有のエラー番号が表示されます。

前のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。

エラーコード	-10339
エラー定数	UNABLE_TO_EXECUTE_RTNOTIFIER_REQUEST_CURSOR

考えられる原因

前回のエラーにより、RTNotifier の要求カーソルを実行できません。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバー管理』

未知のエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10123

エラー定数	EL_JAVA_VM_LOAD_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーに Java VM をロードできませんでした。理由は以前の出力に表示されています。

その他の情報

- 「Java 同期論理の設定」『Mobile Link サーバー管理』

無効なハンドルを持つ接続を使用しようとしました。

エラーコード	-10203
エラー定数	EL_DNET_INVALID_CONN_HANDLE

考えられる原因

接続ハンドルが有効であることを確認してから使用してください。

メソッド '%1' で例外がスローされました。エラーの説明 : '%2' スタックトレース : '%3'

エラーコード	-10158
エラー定数	EL_JAVA_USER_EXCEPTION_IN_METHOD
パラメーター 1	メソッド名。
パラメーター 2	エラーテキスト。
パラメーター 3	スタックトレース。

考えられる原因

ユーザー指定のコードでエラーが発生しました。例外情報を確認し、エラーを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバー Java API リファレンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Java での Mobile Link サーバーエラーの処理」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

メモリエラーのため Java VM をロードできません。

エラーコード	-10122
エラー定数	EL_JAVA_VM_MEM_ERROR

考えられる原因

Mobile Link サーバーに Java VM をロードできませんでした。RAM を増やすか、他のプロセスを終了することでメモリを解放することを検討してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

メモリの割り付けに失敗しました。

エラーコード	-10060
エラー定数	OUT_OF_MEMORY

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

メモリ割り付けが失敗しました。%1 バイトを割り付けようとしました。

エラーコード	-10003
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION_FAILED
パラメーター 1	割り付けようとしていたバイト数。

考えられる原因

使用しているシステムのメモリが不足しています。アプリケーションを閉じるか、システムにメモリを追加する必要があります。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

文字列 %1 を数値に変換できません。

エラーコード	-10213
エラー定数	UNABLE_TO_CONVERT_STR_TO_NUMERIC
パラメーター 1	変換される文字列。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが文字列を数値に変換できません。これは内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ユーザー %1 のパスワードは不正です。

エラーコード	-10057
エラー定数	USER_BAD_PASSWORD
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

リモートから送信されたパスワードは、指定されたユーザーに対して無効です。パスワードでは大文字と小文字が区別されることに注意してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザー」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link ユーザー認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザー %1 を認証できません

エラーコード	-10055
エラー定数	ERROR_AUTHENTICATING
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、指定されたユーザーを認証できませんでした。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザー認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザー '%1' のユーザー ID を取得できません。

エラーコード	-10347
エラー定数	UNABLE_TO_GET_USERID
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベース (MLSD) の ml_user テーブルから user_id を取得できませんでした。統合データベースまたは MLSD が稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「統合データベースの設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link ユーザー」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザーが指定したコードをサーバーで実行中にエラーが発生しました。

エラーコード	-10225
エラー定数	EL_FAILURE_IN_USER_CODE

考えられる原因

ユーザーが指定したコードを実行中にエラーが発生しました。サーバーのログを確認し、ユーザーが指定したコードを修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーログの表示」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザーパラメーター '%1' の値を設定できません -- 値が %2 文字を超えています

エラーコード	-10375

エラー定数	USER_PARAMETER_TOO_LONG
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

指定された文字数を超えるユーザー定義変数は設定できません。

その他の情報

- 「ユーザー定義の名前付きパラメーター」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザー名 '%1' が ml_user テーブルに見つかりません。

エラーコード	-10056
エラー定数	USER_NOT_FOUND
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、ml_user テーブルからユーザーを検出できませんでした。mluser を使用してこのユーザーを ml_user テーブルに追加するか、-zu+ オプションで Mobile Link サーバーを起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザー」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link ユーザー認証ユーティリティ (mluser)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-zu mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザー名 '%1' を ml_user テーブルに挿入できません。

エラーコード	-10054
エラー定数	ERROR_ADDING_USER
パラメーター 1	ユーザー名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、指定されたユーザーを ml_user テーブルに追加できませんでした。統合データベースサーバーが稼働中で、Mobile Link ユーザーが ml_user テーブルを修正するパーミッションを持っているか確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「必要なパーミッション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「統合データベースのアップグレード」『SQL Anywhere 12 変更点とアップグレード』

ユーザー名 '%1' を ml_user_table から削除できません。

エラーコード	-10083
エラー定数	ERROR_DELETING_USER
パラメーター 1	削除するユーザーの名前。

考えられる原因

Mobile Link ユーザーが有効であり、現在他のスレッドによって使用されていないことを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ユーザー」『Mobile Link クライアント管理』

要求ファイルをアップロードできませんでした。アップロードルートディレクトリが設定されていません。

エラーコード	-10321
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_UPLOAD_DIR_NOT_SET

考えられる原因

サーバーがクライアントのファイルアップロード要求を受け取りましたが、サーバーでアップロードのルートディレクトリが設定されていません。

その他の情報

- 「-ftru mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ftr mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

要求ファイルを転送できませんでした。転送ルートが設定されていません。

エラーコード	-10250
エラー定数	FILETRANSFER_ROOT_DIR_NOT_SET

考えられる原因

サーバーがクライアントのファイル転送要求を受け取りましたが、サーバーで転送のルートディレクトリが設定されていません。

その他の情報

- 「-ftr mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-ftru mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』

要求を完了できません

エラーコード	-10368
エラー定数	UNABLE_TO_COMPLETE_REQUEST

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、クライアント要求を完了できませんでした。詳細については、Mobile Link サーバーメッセージログを確認してください。

その他の情報

- 「-o mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-dl mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

予期しない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	-10376
エラー定数	HTTP_INSTEAD_OF_TCP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

非 HTTP トラフィックを処理していたポートで、HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

予期しない暗号化トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	-10377
エラー定数	ENCRYPTED_INSTEAD_OF_TCP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化されていないトラフィックを処理していたポートで、暗号化されている可能性の高いトラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

予期しないエンドツーエンド暗号化トラフィックをポート%1 で受信しました

エラーコード	-10378
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_TCP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

エンドツーエンドで暗号化されたトラフィックを想定されていないポートで受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

リスナー削除要求を完了キューに通知できません (システムエラー：%1)

エラーコード	-10269

エラー定数	UNABLE_TO_POST_LISTENER_DELETION_REQUEST
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナーソケットでハードクローズを実行できません。

エラーコード	-10268
エラー定数	UNABLE_TO_CLOSE_LISTENER_SOCKET

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナーソケットを作成できません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10260
エラー定数	UNABLE_TO_CREATE_LISTENER_SOCKET
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リスナーソケットをポートにバインドできません (システムエラー : %1)

エラーコード	-10261

エラー定数	UNABLE_TO_BIND_LISTENER_PORT
パラメーター 1	システムエラー。

考えられる原因

弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。同じリモート ID のロックは、別の同期によって変更されました。

エラーコード	-10342
エラー定数	SYNCH_KEY_CHANGED
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでリモート ID のロックを確認したとき、同時同期が検出されました。同一リモートデータベースに対する別の同期によってリモート ID がすでにロックされている場合に、この問題が発生します。同期を再試行してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。孤立した Ultra Light 同期が検出されました。

エラーコード	-10344
エラー定数	SYNC_KEY_NOT_NULL
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link でリモート ID のロックを確認したとき、孤立した Ultra Light 同期が検出されました。Mobile Link データベースワーカースレッドの待機中にキューイングされる同期が Ultra Light クライアントによってキャンセルされると、同期が孤立します。その後、孤立した同期に

よってデータベースワーカースレッドが取得されたとき、別の同期によってそのリモート ID のロックが変更済みである場合は、このエラーが発生し、この孤立した同期が閉じられます。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- 「同期処理」『Mobile Link クイックスタート』

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しています。そのリモート ID はロックできません。

エラーコード	-10341
エラー定数	UNABLE_TO_LOCK_RID
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでリモート ID をロックしようとしたときに同時同期が検出されました。同一リモートデータベースの別の同期によってリモート ID がすでにロックされている場合に、この問題が発生します。同期を再試行してください。

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

リモート ID '%1' で識別されるリモートデータベースはすでに同期しているか、データベース接続が使用できません。同じリモート ID のロックにアクセスできません。

エラーコード	-10343
エラー定数	UNABLE_TO_ACCESS_RID
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベースのリモート ID に対するロックにアクセスできませんでした。リモート ID が別の同期によってロックされたか、またはデータベース接続が使用できなくなっている可能性があります。データベース接続を確認して、同期を再試行してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』

リモート ID '%1' の RID を取得できません。

エラーコード	-10348
エラー定数	UNABLE_TO_GET_RID
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、統合データベースまたは Mobile Link システムデータベース (MLSD) の ml_database テーブルから RID を取得できませんでした。統合データベースまたは MLSD が稼働していることを確認してください。

その他の情報

- 「統合データベースの設定」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link システムデータベース」『Mobile Link サーバー管理』
- 「リモート ID」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-cs mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバーがマップできません。

エラーコード	-10306
エラー定数	UNKNOWN_CID
パラメーター 1	文字セット ID。

考えられる原因

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

その他の情報

- 「文字セットの考慮事項」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ODBC ドライバーの文字セットの変換」『Mobile Link サーバー管理』

リモートクライアントで使用されている文字セット (%1) を、Mobile Link サーバーがマップできません。

エラーコード	-10307
エラー定数	UNKNOWN_CHARSET
パラメーター 1	文字セットラベル。

考えられる原因

リモートによって提供された文字データを、統合データベースに必要な文字セットに変換できません。

その他の情報

- 「文字セットの考慮事項」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ODBC ドライバーの文字セットの変換」『Mobile Link サーバー管理』

例外情報をダンプできません。例外処理中に例外を受け取りました。

エラーコード	-10119
エラー定数	EL_JAVA_EXCEPTION_WHILE_PROCESSING_EXCEPTION

考えられる原因

Java スクリプトが原因で例外が発生しましたが、続いて例外が発生したので、Mobile Link サーバーで例外情報を表示できませんでした。

レコーダーで必要なスレッドとの結び付きマスクを設定できません。

エラーコード	-10317
エラー定数	RECORDER_UNABLE_TO_SET_THREAD_AFFINITY

考えられる原因

サーバーで、レコーダーに必要なスレッドとの結び付きマスクを設定できませんでした。

その他の情報

- 「Mobile Link Replay ユーティリティ (mlreplay)」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ワーカーを VM から分離できません。

エラーコード	-10169
エラー定数	EL_DNET_WORKER_DETACH_FAIL

考えられる原因

これは内部のシャットダウンエラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

Mobile Link サーバーの警告メッセージ

警告メッセージは、Mobile Link サーバーのメッセージログに書き込まれます。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードの値も警告コードの値も正となります。警告コードは、10001 以上の値となります。

参照

- 「Mobile Link サーバーのエラーメッセージ」803 ページ
- 「Mobile Link 通信エラーメッセージ」983 ページ

各警告には、1 ～ 5 のレベルが割り当てられます。

レベル	説明
1	Mobile Link サーバーの起動または停止時に発生するサーバーレベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザーレベルの警告
3	スキーマレベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプトレベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブルレベルとローレベルの警告

Mobile Link サーバーの警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10001	1	「データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベースワーカースレッド数以上に指定します)。」

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10003	1	「ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。」
10004	1	「ODBC 関数 %1 がドライバーでサポートされていません。」
10005	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。」
10006	1	「ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。」
10007	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。」
10009	2	「Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。」
10010	2	「handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルトアクションコード (%1) に従います。」
10012	2	「統合データベースとリモートデータベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。進行状況オフセットが、統合データベースでは %1、リモートデータベースでは %2 です。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモートデータベースに要求しています。」
10014	4	「カーソルのパラメーターとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10015	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロードフィルタリングが無効になる場合があります。」
10016	3	「テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。」
10017	3	「統合データベースとリモートデータベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。」
10018	3	「タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモートデータベースの SQL Anywhere DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %1 に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %2 に設定してください。」

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10019	3	「リモートデータベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。」
10020	3	「タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバーは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。」
10021	3	「リモートデータベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。」
10022	3	「パブリケーション '%1' は、いずれのテーブルでも参照されていません。」
10023	3	「アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」
10032	2	「クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1' です。」
10033	2	「リモートクライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10034	2	「リモート同期ログを含むローカルファイルに書き込めません。」
10035	2	「リモートクライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。」
10036	2	「クライアント同期ログは、Mobile Link サーバーのメッセージログファイルまたは Mobile Link サーバーのメッセージウィンドウに表示されます。」
10039	2	「マルチロー操作中にエラーが検出されました。シングルローモードでリトライする前にロールバックを実行しています。」
10040	2	「テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。」
10041	2	「アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。」
10043	4	「統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。」
10045	2	「統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。」
10048	2	「統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。」

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10049	2	「統合データベースでのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。」
10050	4	「%1」
10051	1	「認識されない ODBC ドライバー '%1' です。ODBC ドライバーは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバーには同期化に必要な機能がありません。ユーザー自身の責任でご使用ください。」
10055	2	「クライアントから %1 認証パラメーターが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。」
10064	1	「未知のユーザーは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。」
10068	5	「'%1'」
10073	1	「Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバーが例外リストにありません。リモートマシン上のクライアントがこのサーバーに接続できない可能性があります。」
10074	4	「統合データベースからダウンロードタイムスタンプをフェッチできません。」
10075	1	「ORACLE テーブル 'v_$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10078	1	「Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバーは、スナップショットアイソレーションを使用しません。」
10079	1	「コマンドラインオプション '%1' は無視されます。」
10080	5	「統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。」
10081	3	「統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。」
10082	1	「Mobile Link サーバーがデータページをスワップしました。ディスクアウト : %1 ページ、ディスクイン : %2 ページ、同時使用可能 : %3 ページ」
10083	1	「同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバーはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。」
10084	1	「同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバーはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。」
10085	1	「テーブル '%1' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモートテーブルのカラム数よりも大きくなっています。」
10086	1	「ODBC ドライバー '%1' は推奨されていません。」

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10087	1	「ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバーはダウンロードにシステム時間を使用します。」
10088	5	「統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は %1 です。」
10089	1	「パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1% です。」
10091	2	「リモートクライアントでパススルースクリプトが失敗しました。実行順序 : %1、スクリプト ID : %2、エラーコード : %3、エラーテキスト : '%4'」
10092	2	「無効なログの冗長性オプション : '%1'」
10093	1	「Mobile Link サーバーは現在、パフォーマンスを低下させる -zf で実行中です。」
10094	1	「最小キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。」
10095	1	「最大キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。」
10096	1	「初期キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。」
10097	1	「初期キャッシュサイズが最低キャッシュサイズより小さくなっています。初期サイズを %1 バイトに増加しています。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10098	1	「最大キャッシュサイズが初期キャッシュサイズより小さくなっています。最大サイズを %1 バイトに増加しています。」
10099	1	「スキーマを記録できません。」
10100	1	「Mobile Link サーバーにはすべての同期が記録されます。」
10101	2	「クライアント '%1' からの同期の要求は拒否されました。」
10102	5	「空間ライブラリ警告 : '%1'」
10103	5	「Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。」
10104	1	「エージェント %1 に一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。」
10105	1	「RTNotifier が開始されていないため、エージェントで受信するリモートタスクはありません。」
10106	2	「リモート ID '%1' をロックできません。 再試行します。」
10107	1	「<OE>: %1」
10108	1	「次のオプションは推奨されていません : %1」
10109	1	「クライアント Java VM をロードしています。」
10110	1	「%1 が存在しないか、記録されたプロトコルファイル (拡張子 .mlr) が含まれていません。」

エラーコード	レベル	メッセージテキスト
10113	5	「テーブル '%1' の競合の解決方法は推奨されていません」
10114	5	「テーブル '%1' で使用される競合の検出および解決方法は推奨されていません」
10115	3	「パフォーマンス警告 : リモートテーブル '%2' のカラム '%1' が '%3' から '%4' に再度マップされました」

Mobile Link サーバーの警告メッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	10050
エラー定数	WARN_SQL_SUCCESS_WITH_INFO
パラメーター 1	ODBC ドライバーからのメッセージ。

考えられる原因

Mobile Link サーバーからの ODBC 呼び出しは成功しましたが、ODBC ドライバーは警告メッセージを表示しました。このメッセージを回避する方法は、特定の警告に依存します。

その他の情報

- 「同期中の文字セット変換」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link 対応の iAnywhere Solutions ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

%1 が存在しないか、記録されたプロトコルファイル (拡張子 .mlr) が含まれていません。

エラーコード	10110
エラー定数	NO_MLR_FILES_FOUND
パラメーター 1	rrp オプションで指定されたディレクトリ。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

記録されたプロトコルファイル (拡張子が mlr のファイル) が存在するディレクトリを '-rrp' オプションに指定するか、または -rrp を使用しないようにします。

その他の情報

- 「-rrp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

'%1'

エラーコード	10068
エラー定数	EL_DNET_WRITE_STREAM_WARNING
パラメーター 1	警告メッセージ。

考えられる原因

.Net CLR によって生成された警告メッセージです。

その他の情報

- 「-sl dnet mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「.NET での同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』
- 「CLR 外部環境」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

<OE>: %1

エラーコード	10107
エラー定数	OUTBOUND_WARNING
パラメーター 1	警告。

考えられる原因

統合化 Outbound Enabler で警告が発生しました。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Outbound Enabler」『Relay Server』

ASE テーブル 'master..systransactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバーはダウンロードにシステム時間を使用します。

エラーコード	10087
エラー定数	ASE_ACCESS_MASTER_PERMISSION

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、同期時にトランザクションの開始時刻を取得するために、master データベース内のいくつかのテーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバーと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザー ID に、'master..systransactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「Adaptive Server Enterprise 統合データベース」『Mobile Link サーバー管理』

handle_error スクリプトが定義されていません。エラー動作はデフォルトアクションコード (%1) に従います。

エラーコード	10010
エラー定数	NO_ERROR_HANDLER
パラメーター 1	エラーアクションコード。

考えられる原因

同期中に Mobile Link サーバーでエラーが発生しました。しかし、統合データベースには定義された handle_error スクリプトがありません。サーバーは、そのエラーに対してデフォルトのアクションを実行します。この警告を回避するには、handle_error スクリプトを定義してください。

その他の情報

- 「handle_error 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Microsoft SQL Server 仮想テーブル 'sys.dm_tran_active_transactions' にアクセスできません。Mobile Link サーバーは、スナップショットアイソレーションを使用しません。

エラーコード	10078
エラー定数	MSS_SNAPSHOT_PERMISSION

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、同期時にスナップショットアイソレーションを使用するために、いくつかの仮想テーブルにアクセスする必要があります。Mobile Link サーバーと Microsoft SQL Server の接続に使用するユーザー ID に、'sys.dm_tran_active_transactions' テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「スナップショットを使った同期」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Microsoft SQL Server 統合データベース」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーがデータページをスワップしました。ディスクアウト : %1 ページ、ディスクイン : %2 ページ、同時使用可能 : %3 ページ

エラーコード	10082
エラー定数	SWAPPED_LOTS_OF_PAGES
パラメーター 1	スワップアウトされたページの合計数。
パラメーター 2	スワップインされたページの合計数。
パラメーター 3	同時使用可能なディスクページの数。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、キャッシュメモリに収まらなかったときにディスクに書き出す場合があります。この場合、これがパフォーマンスの問題であるかどうかをユーザーが判断できるように、ログに警告メッセージが出力されます。-cm オプションでサーバーのキャッシュメモリのサイズを制御できます。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cm mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーにはすべての同期が記録されます。

エラーコード	10100
エラー定数	RECORDING_ON

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、すべての同期が記録されます。

その他の情報

- 「スクリプトと同期処理」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link サーバーは現在、パフォーマンスを低下させる -zf で実行中です。

エラーコード	10093
エラー定数	OPTION_ZF

考えられる原因

-zf を指定して Mobile Link サーバーを起動すると、各同期の開始時にスクリプトの変更がチェックされます。このスイッチは、Mobile Link サーバーの起動後にスクリプトが変更される可能性のある開発環境で使用するためのものです。

その他の情報

- 「-zf mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link テーブル '%1' が破損しています。

エラーコード	10009
エラー定数	TABLE_DAMAGED
パラメーター 1	Mobile Link システムテーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、リストされたテーブルから情報を取得できませんでした。そのテーブルが存在し、データベースサーバーが実行されていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーのシステムテーブル」『Mobile Link サーバー管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ODBC 関数 %1 がドライバーでサポートされていません。

エラーコード	10004
エラー定数	ODBC_MISSING_FUNCTION
パラメーター 1	ODBC 関数名。

考えられる原因

この関数は、Mobile Link サーバーが動作するのに必要です。ODBC ドライバーを更新してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

ODBC 独立性レベル (%1) はサポートされていません。

エラーコード	10003
エラー定数	ODBC_MISSING_REQUIRED_ISOLATION_LEVEL
パラメーター 1	要求された独立性レベル。

考えられる原因

要求された独立性レベルは、統合データベースではサポートされていません。他のレベルが適切かどうか判断してください。

その他の情報

- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スナップショットアイソレーション」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』
- 「スナップショットアイソレーションの有効化」『SQL Anywhere サーバー SQL の使用法』

ODBC ドライバー '%1' は推奨されていません。

エラーコード	10086
エラー定数	DD_DRIVER_IS_DEPRECATED
パラメーター 1	ODBC ドライバー名。

考えられる原因

ODBC ドライバーが非推奨であり、今後のリリースでは Mobile Link サーバーでサポートされなくなる可能性があります。Mobile Link サーバーでサポートされている適切な ODBC ドライバーをマニュアルで確認してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

ODBC 文のオプション %1 は %2 (%3) から %4 (%5) に変更されています。

エラーコード	10005
エラー定数	OPTION_CHANGED_1
パラメーター 1	ODBC 文オプションの名前。
パラメーター 2	設定の元の名前。
パラメーター 3	設定の元の値。
パラメーター 4	設定の新しい名前。
パラメーター 5	設定の新しい値。

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバーによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

ODBC 文のオプション %1 は %2 から %3 に変更されています。

エラーコード	10006
エラー定数	OPTION_CHANGED_2
パラメーター 1	ODBC 文オプションの名前。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 2	設定の元の値。
パラメーター 3	設定の新しい値。

考えられる原因

オプションが ODBC ドライバーによって変更されています。この変更は望ましくない場合があります。

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

ORACLE テーブル 'v_$transaction' にアクセスできません。タイムスタンプベースのダウンロードを利用する場合は、データの損失を防ぐためにアクセスが必要です。

エラーコード	10075
エラー定数	ORACLE_VTXN_PERMISSION

考えられる原因

ORACLE の非ブロッキング読み込み機能が原因で、ダウンロードのフィルター用に生成されたタイムスタンプが正しくない可能性があります。Mobile Link サーバーと ORACLE データベースの接続に使用するユーザー ID に、gv$transaction テーブルにアクセスするパーミッションがあることを確認してください。

その他の情報

- 「Oracle 統合データベース」『Mobile Link サーバー管理』

RTNotifier が開始されていないため、エージェントで受信するリモートタスクはありません。

エラーコード	10105
エラー定数	NO_RT_NOTIFIER

考えられる原因

No RTNotifier が開始されました。このため、エージェントではリモートタスクが受信されなくなります。ml_property テーブルに RTNotifier が存在することを確認してください。

その他の情報

- 「リモートタスク Notifier (RTNotifier)」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_add_property システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

Windows XP ファイアウォールが有効であり、Mobile Link サーバーが例外リストにありません。リモートマシン上のクライアントがこのサーバーに接続できない可能性があります。

エラーコード	10073
エラー定数	XP_FIREWALL_ENABLED

考えられる原因

Windows XP ファイアウォールが有効になり、Mobile Link サーバーが例外リストにないか、例外リストにあっても無効になっています。この設定では、リモートクライアントがサーバーに接続できません。

Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。

エラーコード	10103
エラー定数	DROP_GEOMETRY_ZM_VALUE

考えられる原因

統合データベースの WKB で許可されないため、Mobile Link サーバーでは Z/M 値がアップロード空間データから削除されました。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバー管理』

アップロードはコミットされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

エラーコード	10041
エラー定数	LOSE_COMMITTED_UPLOAD

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカルサポート契約の一部です。

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「COMMIT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

アップロードはロールバックされ、同期はアボートされます。次回このリモートから同期を実行するときに、前回のアップロードの結果について確認を促されます。

エラーコード	10023
エラー定数	LOSE_UPLOAD

考えられる原因

これは、主にテスト用に使用される内部警告ですが、テクニカルサポート契約の一部です。

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「COMMIT 文」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

エージェント %1 に一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。

エラーコード	10104
エラー定数	SIRT_TOO_MANY_TIIDS
パラメーター 1	エージェント名。

考えられる原因

エージェントに一度に送信するリモートタスクが多すぎます。エージェントが一度に受信できる最大リモートタスク数は 255 です。

その他の情報

- 「サーバー起動リモートタスク (SIRT)」『Mobile Link サーバー管理』

カーソルのパラメーターとして予期していたのは最大 %1 個ですが、%2 個見つかりました。

エラーコード	10014
エラー定数	ODBC_EXTRA_PARAMETERS
パラメーター 1	想定されていたパラメーターの最大数。
パラメーター 2	見つかったパラメーター数。

考えられる原因

Mobile Link サーバーには、各カーソルスクリプトについてパラメーターの最大数が決まっています。指定したカーソルスクリプトのパラメーターの数がパラメーターの最大数より多い場合、サーバーはこの警告を表示します。

その他の情報

- 「ローをダウンロードするスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

空間ライブラリ警告 : '%1'

エラーコード	10102
エラー定数	SPATIALLIB_WARNING
パラメーター 1	空間ライブラリによって生成される実際の警告コード。

考えられる原因

警告の原因を特定するには、空間ライブラリの実際の警告メッセージを確認してください。

その他の情報

- 「空間データの同期」『Mobile Link サーバー管理』

クライアント '%1' からの同期の要求は拒否されました。

エラーコード	10101
エラー定数	SESSION_REJECTED_DUE_TO_SM
パラメーター 1	リモート ID。

Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

同時に発行された同期要求の数が、同時にアクティブにできる同期の最大数 (-sm で指定) を超過したため、クライアントによって発行された同期要求が Mobile Link サーバーによって拒否されました。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「同期中の同時実行性」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-sm mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

クライアント Java VM をロードしています。

エラーコード	10109
エラー定数	EL_JAVA_CLIENT_JAVA_VM

考えられる原因

サーバーで、サーバー Java VM を検出できなかったため、代わりにクライアント VM がロードされました。クライアント VM のパフォーマンスはサーバー VM よりも著しく低くなります。意図的にクライアント VM を使用している場合にこの警告を非表示にするには、-sl Java オプションに -client を追加します。

その他の情報

- 「-sl java mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

クライアントから %1 認証パラメーターが提供されましたが、authenticate_parameters スクリプトがありません。

エラーコード	10055
エラー定数	NO_AUTH_PARMS_SCRIPT
パラメーター 1	認証パラメーターの数。

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、リストされた数の同期パラメーターを送信しました。しかし、統合データベースには定義された同期パラメーターがありません。この警告を回避するには、同期サーバーにある authenticate_parameters スクリプトを定義してください。または、クライアントから同期パラメーターを送信しないでください。

その他の情報

- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「authenticate_parameters 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

クライアント同期ログは、Mobile Link サーバーのメッセージログファイルまたは Mobile Link サーバーのメッセージウィンドウに表示されます。

エラーコード	10036
エラー定数	ERROR_LOG_TO_OUTPUT_LOG

考えられる原因

同期中にクライアント側でエラーが発生した場合、クライアントはサーバーに出力ファイルを送信し、サーバーはコマンドラインオプション -e または -et を使用して指定されたファイルにこの出力ファイルを保存します。しかし、Mobile Link サーバーが書き込み時にこのファイルを開けなかった場合、この警告メッセージが表示され、リモートログはメッセージログファイルまたはメッセージウィンドウに書き込まれます。この警告を回避するには、Mobile Link サーバーにそのファイルへの書き込み権限があることを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-et mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

クライアントの同期ログを格納するファイルを開けません。ファイル名は '%1' です。

エラーコード	10032
エラー定数	ERROR_OPENING_ERROR_LOG
パラメーター 1	ファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、-e または -et オプションによって指定されたローカルのリモートログファイルを開けませんでした。ファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「-e mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-et mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

コマンドラインオプション '%1' は無視されます。

エラーコード	10079
エラー定数	CMD_SWITCH_IGNORED
パラメーター 1	コマンドラインオプション。

考えられる原因

Mobile Link サーバーがコマンドラインオプションを無視しました。コマンドラインオプションを適用できるかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーオプション」『Mobile Link サーバー管理』

最小キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10094
エラー定数	CACHE_MIN_TOO_SMALL
パラメーター 1	指定されたキャッシュサイズ。
パラメーター 2	新しい最小キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmin オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cmin mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

最大キャッシュサイズが初期キャッシュサイズより小さくなっています。最大サイズを %1 バイトに増加しています。

エラーコード	10098
エラー定数	CACHE_MAX_LT_INIT
パラメーター 1	新しい最大キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmax オプションの値が -cinit オプションの値より小さくなっています。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cmax mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

最大キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10095
エラー定数	CACHE_MAX_TOO_SMALL
パラメーター 1	指定されたキャッシュサイズ。
パラメーター 2	新しい最大キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cmax オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cmax mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

初期キャッシュサイズが最低キャッシュサイズより小さくなっています。初期サイズを %1 バイトに増加しています。

エラーコード	10097
エラー定数	CACHE_INIT_LT_MIN
パラメーター 1	新しい初期キャッシュサイズ。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

-cinit オプションの値が -cmin オプションの値より小さくなっています。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cmin mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

初期キャッシュサイズが小さすぎます。%1 から %2 バイトに増加しています。

エラーコード	10096
エラー定数	CACHE_INIT_TOO_SMALL
パラメーター 1	指定されたキャッシュサイズ。
パラメーター 2	新しい初期キャッシュサイズ。

考えられる原因

-cinit オプションの値が小さすぎます。

その他の情報

- 「-cinit mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

スキーマを記録できません。

エラーコード	10099
エラー定数	RECORDER_NO_SCHEMA

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、同期のスキーマを記録できませんでした。このことは、この同期を異なるデータでリプレイできないことを意味します。

タイムスタンプ精度の不一致は、アップロード時の競合の検出に影響を及ぼす場合があります。-zp オプションを使用すると、Mobile Link サーバーは最も低い精度のタイムスタンプを使用して競合の検出を行います。

エラーコード	10020
エラー定数	MAY_USE_AUTO_TIMESTAMP_TOLERANCE

考えられる原因

タイムスタンプ精度が、リモートデータベースと統合データベースの間で一致していないことが検出されました。Mobile Link サーバーが 2 つのデータベースのローを比較するときに、精度の不一致はアップロード競合検出に影響する場合があります。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバーを起動できます。-zp コマンドラインオプションが使用されている場合、Mobile Link サーバーは、2 つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバー管理』
- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

タイムスタンプ精度の不一致を解決するには、リモートデータベースの SQL Anywhere DEFAULT_TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %1 に、TRUNCATE_TIMESTAMP_VALUES を 'On' に設定してください。Ultra Light リモートでは、TIMESTAMP_INCREMENT オプションを %2 に設定してください。

エラーコード	10018
エラー定数	REMOTE_MAY_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION
パラメーター 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

これは、タイムスタンプ精度を揃える方法を通知する警告です。SQL Anywhere クライアントデータベースまたは Ultra Light クライアント用の SQL Anywhere リファレンスデータベースでタイムスタンプ精度を調整します。精度を調整してから、Ultra Light クライアントを再生成する必要があります。

その他の情報

- 「default_timestamp_increment オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「truncate_timestamp_values オプション」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「Ultra Light timestamp_increment 作成パラメーター」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』
- 「Ultra Light データベース初期化ユーティリティ (ulinit)」『Ultra Light データベース管理とリファレンス』

次のオプションは推奨されていません : %1

エラーコード	10108
エラー定数	DEPRECATED_OPTION
パラメーター 1	廃止されたオプション。

考えられる原因

このオプションは廃止されました。このオプションは今後のバージョンで削除される予定です。このオプションの指定を中止する方法については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーオプション」『Mobile Link サーバー管理』

データベース最大接続数が %1 に設定されました (データベースワーカースレッド数以上に指定します)。

エラーコード	10001
エラー定数	MAX_DB_CONNECTIONS_SET_TO
パラメーター 1	接続の最大数。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、データベースのワーカースレッドごとに 1 つの接続が確立されます。したがって、接続の最大数は、データベースワーカースレッド数以上にしてください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cn mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-w mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-wm mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-wu mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル %2 へのデータのアップロードで %1 ローが無視されました。

エラーコード	10040
エラー定数	IGNORED_ROWS_FOR_TABLE
パラメーター 1	無視されたローの合計数。
パラメーター 2	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、統合データベースに適用されなかったすべてのアップロードローを無視されたローとして数えます。これは、クライアントからアップロードされる挿入、更新、削除があっても、リストされているテーブルの upload_insert、upload_update、upload_delete スクリプトが統合データベースにない場合か、このテーブルにデータをアップロード中にエラーが発生しても handle_error または handle_odbc_error が 1000 を返した場合に発生します。

その他の情報

- 「ローをアップロードするスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』
- 「エラーを処理するスクリプト」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' で、ml_column テーブルのエントリ数が、リモートテーブルのカラム数よりも大きくなっています。

エラーコード	10085
エラー定数	TOO_MANY_ML_COLUMN_ENTRIES
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

この警告は、指定されたテーブルで ml_column テーブルに余計なカラムエントリがあることを示します。これは、(1) 同期スクリプトが名前付きパラメーターによってカラム名を参照していて、

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

(2) テーブルのカラム数よりも大きいインデックスのカラム名を参照している場合にかぎり、問題になります。この場合は、この警告後にエラーが発行されます。

その他の情報

- 「ml_add_column system procedure」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' で使用される競合の検出および解決方法は推奨されていません

エラーコード	10114
エラー定数	AFFECTED_ROW_MODE_DEPRECATED
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link では、影響を受けるローの数を使用して、更新が競合する更新かどうかを判別する方法は廃止されました。

その他の情報

- 「競合検出」『Mobile Link サーバー管理』
- 「強制的な競合解決 (非推奨)」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、アップロードされるタイムスタンプの精度が失われ、ダウンロードフィルタリングが無効になる場合があります。

エラーコード	10015
エラー定数	LOSING_UPLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

リモートデータベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムを持つテーブルを同期していますが、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも高くなっています。アップロードされた値は、統合データベースに格納されると正確さを失います。Mobile Link サーバーでは、アップロードローとダウンロードローを比較し、冗長なダウンロードローをフィルターします。精度が失われるため、事実上の相違が生じてダウンロードフィルターリングが無効になる場合があります。この状況は、ダウンロードのパフォーマンス

に影響する可能性があります。このパフォーマンスの低下を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' には少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムがあります。タイムスタンプ精度の不一致により、ダウンロードされるタイムスタンプの精度が失われ、データの一貫性が失われる場合があります。

エラーコード	10016
エラー定数	LOSING_DOWNLOAD_TIMESTAMP_PRECISION
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

リモートデータベースは少なくとも 1 つのタイムスタンプカラムを持つテーブルを同期していますが、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は統合データベースのタイムスタンプ精度よりも低くなっています。ダウンロードされた値は、リモートデータベースに格納されると正確さを失います。この状況によって、統合データベースとリモートデータベースの間で、同期されたタイムスタンプデータが事実上異なることになります。このデータ整合性の問題を回避するには、使用している同期システムに関連するすべてのデータベースでタイムスタンプ精度を揃える必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

テーブル '%1' の競合の解決方法は推奨されていません

エラーコード	10113
エラー定数	FORCED_CONFLICT_MODE_DEPRECATED
パラメーター 1	テーブル名。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、強制的に競合を解決する方法が廃止されました。今後のリリースでは、削除される予定です。

その他の情報

- 「競合解決」『Mobile Link サーバー管理』
- 「強制的な競合解決 (非推奨)」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースから現在のタイムスタンプを決定できません。

エラーコード	10043
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_TIMESTAMP

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、統合データベースから現在のタイムスタンプを取得できませんでした。データベースサーバーが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

その他の情報

- 「CURRENT TIMESTAMP 特別値」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

統合データベースからダウンロードタイムスタンプをフェッチできません。

エラーコード	10074
エラー定数	ODBC_UNABLE_TO_GET_DOWNLOAD_TIMESTAMP

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、統合データベースからダウンロードタイムスタンプを取得できませんでした。データベースサーバーが実行中であり、ネットワーク接続に異常がないかどうか確認してください。

その他の情報

- 「ダウンロードタイムスタンプの生成および使用方法」『Mobile Link サーバー管理』
- 「modify_last_download_timestamp 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースからテーブル '%1' のカラムのデータ型を取得できません。

エラーコード	10081
エラー定数	UNABLE_TO_RETRIEVE_DATA_TYPES
パラメーター 1	テーブル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、SQLDescribeParam を使用して、統合データベースからこのテーブルのカラムのデータ型を取得できませんでした。したがって、サーバーでは、統合データベース内のこのテーブルのデータ型は、リモートデータベースで定義されているデータ型と同じであると見なされます。

その他の情報

- 「64 ビット ODBC での考慮事項」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

統合データベースで現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎます。接続 ID は %1 です。

エラーコード	10088
エラー定数	SQL_STMT_TIMEOUT

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、現在実行されている SQL 文の実行時間が長すぎて同期がスタック状態になっている可能性があることを検出しました。統合データベースサーバーをチェックして、接続がまだ正常であるかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンス」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースでの競合する更新後にアップロードをリトライします。

エラーコード	10080
エラー定数	RETRY_AFTER_CONFLICT_UPDATE

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

Mobile Link サーバーが、スナップショットアイソレーションでアップロードストリームを適用しているときに競合する更新が発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、この統合データベースに接続している他のすべてのアプリケーションで開いているすべてのトランザクションをコミットしてください。

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバー管理』
- 「スナップショットを使った同期」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースでのデッドロック後に begin_connection トランザクションをリトライします。

エラーコード	10007
エラー定数	RETRY_BC_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

統合データベースの begin_transaction のトランザクションで、デッドロックが発生しました。この警告を回避するには、デッドロックを発生させないように begin_connection スクリプトを書き直してください。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバー管理』
- 「begin_connection 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースでのデッドロック後に begin_synchronization トランザクションをリトライします。

エラーコード	10048
エラー定数	RETRY_BS_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバーが begin_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバー管理』
- 「begin_synchronization 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースでのデッドロック後に end_synchronization トランザクションをリトライします。

エラーコード	10049
エラー定数	RETRY_ES_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバーが end_synchronization スクリプトを実行したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。

その他の情報

- 「Mobile Link イベントの概要」『Mobile Link サーバー管理』
- 「end_synchronization 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースでのデッドロック後にアップロードをリトライします。

エラーコード	10045
エラー定数	RETRY_AFTER_DEADLOCK

考えられる原因

Mobile Link サーバーがアップロードストリームを適用したときに、デッドロックが発生しました。トランザクションをロールバックして、このスクリプトをリトライします。この警告を回避するには、同期スクリプト間の競合を解消してください。同期スクリプトと他のアプリケーション間で競合が発生している場合もあります。

その他の情報

- 「同期スクリプトの作成」『Mobile Link サーバー管理』

統合データベースとリモートデータベース間で、最後に同期をとった時点が一致しません。進行状況オフセットが、統合データベースでは %1、リモートデータベースでは %2 です。既知の最後の同期時点から始まる新規アップロードの送信をリモートデータベースに要求しています。

エラーコード	10012

Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	TXN_LOG_COOKIE_MISMATCH

考えられる原因

各同期の後、Mobile Link サーバーはシステムテーブルにリモート終了ログオフセットを格納し、新しい同期が発生するとこれらの終了ログオフセットをリモート開始オフセットと比較します。終了オフセットが開始オフセットと一致しない場合は、サーバーはこの警告を表示し、オフセットの不一致に関する情報をクライアントに通知します。

その他の情報

- 「ログ変換ユーティリティ (dbtran)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

統合データベースとリモートデータベースでタイムスタンプの精度が異なります。統合データベースのタイムスタンプ精度は秒の小数点以下第 %1 位、リモートデータベースのタイムスタンプ精度は小数点第 %2 位です。

エラーコード	10017
エラー定数	LOSING_TIMESTAMP_PRECISION
パラメーター 1	秒の小数点以下第何位という形式で表した統合データベースのタイムスタンプ精度。
パラメーター 2	秒の小数点以下第何位という形式で表したリモートデータベースのタイムスタンプ精度。

考えられる原因

リモートデータベースと統合データベースの間で、タイムスタンプ精度の整合性が失われています。パフォーマンスの低下またはデータの不整合を避けるために、両データベースの精度を揃えてください。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

同時同期上の制限のため、Mobile Link サーバーはこの同期でのネットワークの読み込みを停止しています。

エラーコード	10083

エラー定数	PLACED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

考えられる原因

同時同期が最大数を超えた場合、Mobile Link サーバーは新しい同期接続をすべて中断します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

その他の情報

- 「-sm mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

同時同期数が減少したため、Mobile Link サーバーはこの同期でのネットワークの読み込みを再開しました。

エラーコード	10084
エラー定数	RESTARTED_SYNCHRONIZATION_IN_BACKLOG

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、同時同期の制限によって停止された同期の読み込みを再開します。この制限は、-sm オプションを使用して設定されます。

その他の情報

- 「-sm mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

認識されない ODBC ドライバー '%1' です。ODBC ドライバーは、種類によって機能と品質が大幅に異なります。このドライバーには同期化に必要な機能がありません。ユーザー自身の責任でご使用ください。

エラーコード	10051
エラー定数	DRIVER_IS_NOT_RECOMMENDED
パラメーター 1	ODBC ドライバーのファイル名。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、一連の ODBC ドライバーを使用して十分なテストを行っています。しかし、現在使用している ODBC ドライバーはリストにありません。この警告を回避するには、推奨された ODBC ドライバーを使用して Mobile Link サーバーを実行してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- http://www.sybase.com/detail?id=1011880
- 「Mobile Link でサポートされる ODBC ドライバー」『Mobile Link サーバー管理』

パフォーマンス警告 -- データベース接続の再使用率が %1% です。

エラーコード	10089
エラー定数	CONN_THRASHING
パラメーター 1	接続の再使用率。

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、パフォーマンスを向上させるために統合データベースへの接続のプールを維持しています。プールにあるそれぞれの接続は、スクリプトバージョンに関連付けられています。プールが満杯であり、かつ要求されたバージョンに対して使用可能な接続がない場合、プールにある接続は、必要なバージョンを取得するために再接続されます。詳細については、-cn スイッチを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-cn mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パフォーマンス警告 : リモートテーブル '%2' のカラム '%1' が '%3' から '%4' に再度マップされました

エラーコード	10115
エラー定数	DATA_TYPE_REMAPPING
パラメーター 1	カラムのインデックス。
パラメーター 2	テーブル名。
パラメーター 3	リモートのデータ型。
パラメーター 4	統合データベースの型。

考えられる原因

同期要求を適切に完了させるために、Mobile Link サーバーでは、カラム型が再マップされました。この再マッピングによって、同期のパフォーマンスが低下する場合があります。統合データ

ベースとリモートデータベース間でのデータ型のマッピングの詳細については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「リモートデータベースと統合データベース間での Mobile Link データマッピング」『Mobile Link サーバー管理』

パブリケーション '%1' は、いずれのテーブルでも参照されていません。

エラーコード	10022
エラー定数	WARN_PUB_NO_TABLE
パラメーター 1	パブリケーション名。

考えられる原因

Mobile Link 同期クライアントは、アップロードデータ、アップロードテーブル、パブリケーションなどのアップロードストリームを送信します。これらのパブリケーションはすべて、1 つ以上のアップロードテーブルによって参照される必要があります。アップロードテーブルによって参照されないパブリケーションがある場合、サーバーはこの警告を表示します。この問題が発生した場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- 「DROP PUBLICATION 文 [Mobile Link] [SQL Remote]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「パブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「スクリプト化されたアップロードのパブリケーション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「SQL Anywhere リモートデータベースのスキーマのアップグレードの実行」『Mobile Link クライアント管理』

マルチロー操作中にエラーが検出されました。シングルローモードでリトライする前にロールバックを実行しています。

エラーコード	10039
エラー定数	RETRY_AFTER_MULTIPLE_ROW

考えられる原因

Mobile Link サーバーがマルチローモードを使用してアップロードストリームを適用したときに、エラーが検出されました。アップロードストリームをロールバックし、シングルローモードを使用してアップロードトランザクションを再試行します。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

未知のユーザーは自動的に追加されます (authenticate_user スクリプトがない場合)。

エラーコード	10064
エラー定数	REPORT_AUTO_ADD_USERS

考えられる原因

これは、Mobile Link サーバーのコマンドラインオプション -zu+ が使用されるときの通知メッセージです。

その他の情報

- 「-zu mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「authenticate_user 接続イベント」『Mobile Link サーバー管理』

無効なログの冗長性オプション : '%1'

エラーコード	10092
エラー定数	INVALID_LOG_VERBOSITY
パラメーター 1	冗長性オプション。

考えられる原因

ml_property テーブルのログの冗長性オプションが無効です。有効な冗長性オプションは、Mobile Link サーバーの使用法ウィンドウに記載されています。

その他の情報

- 「ml_add_property システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

リモート ID '%1' をロックできません。 再試行します。

エラーコード	10106
エラー定数	FAIL_TO_LOCK_RID
パラメーター 1	リモート ID。

考えられる原因

Mobile Link サーバーでは、同一リモート ID の同時同期を検出するために、リモート ID をロックする必要があります。サーバーで特定のリモート ID をロックできませんでしたが、もう一度試行されます。

リモートクライアントでパススルースクリプトが失敗しました。実行順序：%1、スクリプト ID：%2、エラーコード：%3、エラーテキスト：'%4'

エラーコード	10091
エラー定数	PASSTHROUGH_SCRIPT_FAILED
パラメーター 1	失敗したパススルースクリプトの実行順序。
パラメーター 2	失敗したパススルースクリプトのスクリプト ID。
パラメーター 3	失敗したパススルースクリプトのエラーコード。
パラメーター 4	失敗したパススルースクリプトのエラーテキスト。

考えられる原因

エラーコードとエラーテキストを確認し、このスクリプトの修復アクションを作成してください。

その他の情報

- 「ml_add_passthrough_repair システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_delete_passthrough_repair システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_add_passthrough システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_add_passthrough_script システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_delete_passthrough システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ml_delete_passthrough_script システムプロシージャー」『Mobile Link サーバー管理』

リモートクライアントの同期ログが不完全なまま終了しています。トランケートされたと思われます。

エラーコード	10035
エラー定数	ERROR_LOG_TRUNCATED

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、クライアントからリモートエラーログを完全には取得できませんでした。そのため、リモートエラーログはトランケートされた可能性があります。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「-e mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-et mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

リモートクライアントの同期ログを読み込んでいるときにエラーが発生しました。

エラーコード	10033
エラー定数	ERROR_READING_ERROR_LOG

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、クライアントからリモートエラーログを取得できませんでした。この警告を回避するには、実行中のクライアントを強制終了しないで、ネットワーク接続に異常がないかどうかを確認してください。

その他の情報

- 「-e mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-et mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

リモートデータベースでは、統合データベースのタイムスタンプ精度を一致させることができません。アプリケーション、スキーマ、スクリプト側で精度の不一致に対処するロジックを用意する必要があります。

エラーコード	10019
エラー定数	REMOTE_CANNOT_MATCH_CONSOLIDATE_TIMESTAMP_PRECISION

考えられる原因

統合データベースのタイムスタンプ精度が、リモートデータベースで達成できる精度を超過しています。可能であれば統合データベースのタイムスタンプ精度を低くして、リモートデータベースと統合データベースの間のタイムスタンプデータの不整合を回避します。それ以外の場合、同期スキーマにおけるタイムスタンプの同期を回避するか、実質的な相違を検出する競合検出スクリプトを作成するか、-zp コマンドラインオプションを使用して競合を許容する必要があります。また、使用しているアプリケーションが不整合を処理できる必要があります。

その他の情報

- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

リモートデータベースと統合データベースでタイムスタンプ精度が異なります。競合を検出するために、精度の低い側よりも高い精度のタイムスタンプ値が使用されました。-zp オプションの使用を検討してください。

エラーコード	10021
エラー定数	SUSPICIOUS_TIMESTAMP_DIFFERENCE

考えられる原因

-zp コマンドラインオプションが使用されていない場合に、許容できるタイムスタンプの違いに基づいて、アップロードの競合が検出されました。使用している同期システムに関連するデータベースの精度を揃えないと決定した場合、-zp スイッチを使用して、Mobile Link サーバーを起動できます。-zp コマンドラインオプションが使用されている場合、Mobile Link サーバーは、2 つのデータベース間で精度が低い方より小さいタイムスタンプの違いによって発生した競合は許容します。

その他の情報

- 「競合の解決」『Mobile Link サーバー管理』
- 「日付と時刻をデータベースに送信する」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「TIMESTAMP データ型」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「-zp mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

リモート同期ログを含むローカルファイルに書き込めません。

エラーコード	10034
エラー定数	ERROR_WRITING_ERROR_LOG

考えられる原因

Mobile Link サーバーは、リモートエラーログをローカルファイルに書き込めませんでした。この警告を回避するには、-e または -et オプションによって指定されたファイル名およびパスが有効で、ファイルが書き込み可能であることを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「-e mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-et mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「ErrorLogSendLimit (el) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』

Mobile Link 通信エラーメッセージ

エラーメッセージは、Mobile Link サーバーのメッセージログと Mobile Link SQL Anywhere クライアントのメッセージログに書き込まれます。エラーコードは、stream_error パラメーターの ss_error_code メンバーで Ultra Light クライアントに返されます。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。エラーコードの値も警告コードの値も正となります。警告コードは、10001 以上の値となります。

参照

- 「Mobile Link サーバーのエラーメッセージ」803 ページ
- 「Mobile Link サーバーの警告メッセージ」939 ページ

Mobile Link 通信エラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「エラーはありません。」
1	「不正なパラメーター '%1' です。」
2	「パラメーター値 '%1' は符号なし整数ではありません。」
3	「パラメーター値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。」
4	「パラメーター値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。」
5	「パラメーター値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。」
6	「十分なメモリを割り付けることができません。」
7	「パラメーター文字列 '%1' を解析できません。」
8	「%1 バイトを読み込めません。」
9	「%1 バイトを書き込めません。」

エラーコード	メッセージテキスト
10	「終了書き込みが失敗しました。」
11	「終了読み込みが失敗しました。」
12	「この機能は実装されていません。」
13	「この操作を行うとブロッキングが発生します。」
14	「乱数を生成できません。」
15	「乱数ジェネレーターを初期化できません。」
16	「乱数ジェネレーターにシードを設定できません。」
17	「乱数オブジェクトを作成できません。」
18	「シャットダウン時にエラーが発生しました。」
19	「接続キューからデキューできません。」
20	「不正なルート証明書です。」
21	「認識されない組織 '%1' です。」
24	「信頼できないサーバー証明書です。」
25	「セキュリティコンテキストを複製できません。」
26	「ネットワークレイヤーをセキュリティレイヤーに付加できません。」
33	「証明書ファイル '%1' を開けません。」
34	「証明書を読み込めません。」
35	「プライベートキーを読み込めません。」
36	「プライベートキーを設定できません。」
37	「証明書有効期日をフェッチできません。」
38	「証明書をコピーできません。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
39	「証明書を証明書チェーンに追加できません。」
40	「信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。」
41	「信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。」
42	「信頼できる証明書が %1 で見つかりません。」
43	「証明書を割り付けることができません。」
44	「証明書をインポートできません。」
48	「信頼できる証明書を追加できません。」
49	「プライベートキーオブジェクトを作成できません。」
50	「証明書が失効しました。」
51	「認識されない組織単位 '%1' です。」
52	「認識されない通称 '%1' です。」
53	「ハンドシェイクエラー」
54	「認識されない HTTP バージョン : %1」
57	「ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。」
58	「TCP/IP ソケットを作成できません。」
59	「UDP ソケットを作成できません。」
60	「ポート %1 にソケットをバインドできません。」
61	「ソケットレイヤーをクリーンアップできません。」
62	「ソケットを閉じられません。」
63	「ソケットを接続できません。」

エラーコード	メッセージテキスト
64	「ソケットのローカル名を取得できません。」
65	「ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。」
66	「ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。」
67	「ソケットで受信できません。バックログは %1 です。」
68	「ソケットをシャットダウンできません。」
69	「ソケットのステータスを選択できません。」
70	「ソケットレイヤーを初期化できません。」
71	「localhost を判別できません。」
72	「アドレスからホストを取得できません。」
73	「ネットワークインターフェイスライブラリをロードできません。」
74	「不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりません。」
75	「ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。」
76	「ActiveSync プロバイダーがインストールされていません。」
77	「'%1' は未知の内容タイプです。」
78	「クライアント ID は HTTP ヘッダーでは使用できません。」
79	「指定された HTTP バッファーサイズは有効な範囲を越えています。」
80	「HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1」
81	「コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
82	「CR LF の読み込みに失敗しました。」
83	「この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。」
84	「コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。」
85	「チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%1」
86	「エラーステータスが返されました : '%1'」
87	「未知の転送エンコードです : '%1'」
88	「cookie を解析できません : '%1'」
89	「リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。」
200	「活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。」
201	「%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。」
202	「%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。」
203	「自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。」
204	「%1 へのダイヤル接続に失敗しました。」
205	「サーバー証明書が指定されていません。」
206	「サーバー証明書のパスワードが指定されていません。」
207	「信頼できるルート証明書が指定されていません。」
208	「暗号化されていないサーバーキーに対してパスワードが指定されました。」
209	「HTTP 認証にはユーザー ID とパスワードが必要です。」

エラーコード	メッセージテキスト
210	「HTTP プロキシ認証にはユーザー ID とパスワードが必要です。」
211	「HTTP 認証に失敗しました。」
212	「HTTP プロキシの認証に失敗しました。」
213	「ユーザー ID が指定されていません。」
214	「パスワードが指定されていません。」
215	「HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません : %1」
216	「HTTP ヘッダーの解析エラーです : %1」
217	「HTTP サーバーの認証に失敗しました。」
218	「操作が中断されました。」
219	「無効な HTTP 文字です。」
220	「内部エラー (%1) です。」
221	「システム証明書ストアを開けませんでした。」
222	「システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。」
223	「システム証明書ストアに証明書がありませんでした。」
224	「ライブラリ %1 をロードできませんでした。」
225	「関数 %1 が見つかりませんでした。」
226	「無効な同期プロトコルです : %1」
227	「内部プロトコルがロードされませんでした : %1」
228	「サーバーエラー %1 です。」
229	「パラメーターがありません : %1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
230	「%1 を書き込み用に開けませんでした。」
231	「プロトコルエラー」
232	「無効な圧縮型です : %1」
233	「%1 に指定した値が範囲から外れています。」
234	「予期しない要求タイプです : %1」
235	「不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1」
236	「ヘッダーを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。」
237	「予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。」
238	「内部エラー : %1 が %2 を返しました。」
239	「ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。」
240	「認識できない TLS タイプ %1 です。」
241	「接続試行がタイムアウトになりました。」
242	「セキュアストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。」
243	「ダウンロードしたファイルの保存先パス %1 が無効です。」
244	「'%1' は未知のセッションキータイプです。」
245	「ネットワークインターフェイスライブラリが不正か破損しています : %1」
248	「ネットワークインターフェイスライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。」
249	「Mobile Link 認証に失敗しました。」
250	「SACI 実装が一致しません。」

エラーコード	メッセージテキスト
251	「クライアントから、不明なパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。」
252	「予期しないパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。」
253	「エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。」
254	「予期しないプライベートキータイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。」
255	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。」
256	「e2ee_private_key ファイル '%1' にプライベートキーがありません。」
257	「e2ee_private_key ファイル '%1' を復号化できません。エラーコードは %2 です。」
258	「e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。」
259	「e2ee_private_key ファイル '%1' の e2ee_private_key_password がありません。」
260	「e2ee_private_key がありません。」
261	「e2ee_type '%1' が不正です。」
262	「エンドツーエンド暗号化の ECC を初期化できません。エラーコードは %1 です。」
263	「e2ee パブリックキーを読み込めません。」
264	「ファイル '%1' を開けません。」
265	「不明な HTTP セッションを続行できません。」
266	「%1」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
277	「不完全な HTTP 要求の読み込みに失敗しました。」
278	「不明な HTTP User-Agent または要求タイプです。」
279	「この接続は、以前のエラーのために中止されます。」
280	「非 HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
281	「HTTP トラフィックの代わりに暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
282	「HTTP トラフィックの代わりにエンドツーエンドの暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
283	「暗号化されていないトラフィックをポート %1 で受信しました」
284	「暗号化されていない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました」
285	「エンドツーエンドなのにトランスポートレイヤーではない暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました」
286	「アウトオブオーダー HTTP 要求がポート %1 で受信されました」
287	「プライベートキーのパスワードが不正です」

Mobile Link 通信エラーメッセージ (五十音順)

%1

エラーコード	266
エラー定数	SACI_ERROR
パラメーター 1	SACI エラーの説明。

考えられる原因

SACI 暗号化／復号化ライブラリがエラーをレポートしています。SACI 暗号化／復号化ライブラリのプロバイダーを参照して、問題を解決してください。

%1 に指定した値が範囲から外れています。

エラーコード	233
エラー定数	VALUE_OUT_OF_RANGE
パラメーター 1	パラメーターの名前。

考えられる原因

指定された値が、パラメーターに許可される値の範囲内ではありませんでした。マニュアルでパラメーターの説明を参照して、値に許可される範囲を確認してください。

%1 バイトを書き込めません。

エラーコード	9
エラー定数	WRITE
パラメーター 1	書き込めなかったバイト数。

考えられる原因

指定されたバイト数をネットワークレイヤーに書き込むことができません。書き込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワークレイヤーによっては、サブレイヤーを設定して、ここで上位レイヤーの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。書き込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、書き込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバーまたはその両方のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解決し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバーまたはその両方の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システムリソースが不足しており、書き込みを実行できない。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

%1 バイトを書き込もうとしてタイムアウトになりました。

エラーコード	202
エラー定数	WRITE_TIMEOUT
パラメーター 1	書き込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤーによって指定されたバイト数を指定時間内に書き込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、受信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ct mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

%1 バイトを読み込めません。

エラーコード	8
エラー定数	READ
パラメーター 1	読み込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤーによって指定されたバイト数を読み込めませんでした。読み込みは、より規模の大きいネットワーク操作の一部として行われます。たとえば、ネットワークレイヤーによっては、サブレイヤーを設定して、ここで上位レイヤーの基本操作の一部として読み込みと書き込みを行います。読み込みエラーの原因は、通常は次のいずれかです。1) ネットワークに、読み込みを失敗させる問題が生じた。もう一度接続と操作を行ってください。2) 接続がタイムアウトした。もう一度接続と操作を行ってください。3) 反対側の接続が完全に終了した。クライアントかサーバーまたはその両方のログで、接続が削除された理由を示すエラーを確認してください。出力ログのエラーを調べて原因を解決し、もう一度操作を行ってください。4) 接続の反対側で処理がアボートされた。クライアントかサーバーまたはその両方の出力ログで、処理がアボートされた理由を示すエラーを確認してください。通常の方法以外のやり方で処理が停止された場合は、出力ログにエラーは記録されません。もう一度接続と操作を行ってください。5) システムリソースが不足しており、読み込みを実行できない。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。再度行ってもうまくいかない場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

%1 バイトを読み込もうとしてタイムアウトになりました。

エラーコード	201
エラー定数	READ_TIMEOUT
パラメーター 1	読み込めなかったバイト数。

考えられる原因

ネットワークレイヤーによって指定されたバイト数を指定時間内に読み込めませんでした。ネットワークが正常に機能しており、送信側アプリケーションがまだ動作中であることを確認してください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ct mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

%1 へのダイヤル接続に失敗しました。

エラーコード	204
エラー定数	DUN_DIAL_FAILED

考えられる原因

指定されたダイヤルアップネットワークに自動ダイヤルアップで接続を確立できませんでした。

%1 を書き込み用に開けませんでした。

エラーコード	230
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE_FOR_WRITE
パラメーター 1	ファイルの名前。

考えられる原因

指定されたファイルを書き込み用に開くことができませんでした。このファイルが正しいファイルであること、またファイルが他のアプリケーションで使用されていないことを確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

'%1' は未知のセッションキータイプです。

エラーコード	244
エラー定数	HTTP_INVALID_SESSION_KEY
パラメーター 1	セッションキータイプ。

考えられる原因

未知のセッションキータイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされるセッションキータイプに変更してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

'%1' は未知の内容タイプです。

エラーコード	77
エラー定数	HTTP_CONTENT_TYPE_NOT_SPECIFIED
パラメーター 1	内容タイプ。

考えられる原因

未知の内容タイプが指定されました。マニュアルを参照し、サポートされる内容タイプに変更してください。

ActiveSync 同期をアプリケーション側から開始できません。

エラーコード	75
エラー定数	ACTSYNC_NO_PORT

考えられる原因

ActiveSync 同期を開始できるのは、ActiveSync だけです。開始するには、クレードル内にデバイスを置くか、ActiveSync マネージャーの [同期] を選択します。アプリケーションから同期を開始するには、TCP/IP ソケットの同期ストリームを使用してください。

その他の情報

- 「Microsoft ActiveSync プロバイダーインストールユーティリティ (mlasinst)」『Mobile Link クライアント管理』

ActiveSync プロバイダーがインストールされていません。

エラーコード	76
エラー定数	ACTSYNC_NOT_INSTALLED

考えられる原因

ActiveSync プロバイダーがインストールされていません。mlasinst を実行して ActiveSync プロバイダーをインストールしてください (詳細についてはマニュアルを参照してください)。

その他の情報

- 「Microsoft ActiveSync プロバイダーインストールユーティリティ (mlasinst)」『Mobile Link クライアント管理』

cookie を解析できません : '%1'

エラーコード	88
エラー定数	HTTP_UNABLE_TO_PARSE_COOKIE
パラメーター 1	set cookie ヘッダー。

考えられる原因

破損している set cookie ヘッダーを判別してください。

その他の情報

- 「cookie を使用したセッションの管理」『SQL Anywhere サーバー プログラミング』

CR LF の読み込みに失敗しました。

エラーコード	82
エラー定数	HTTP_CRLF_MISSING

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

e2ee パブリックキーを読み込めません。

エラーコード	263

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	E2EE_PUBLIC_KEY

考えられる原因

エンドツーエンド暗号化のパブリックキーを読み込もうとして、エラーが発生しました。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

e2ee_private_key がありません。

エラーコード	260
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY

考えられる原因

別のエンドツーエンド暗号化オプションが指定されましたが、e2ee_private_key オプションではありません。すべてのエンドツーエンド暗号化オプションを指定するか、削除してください。必要なエンドツーエンド暗号化オプションには、e2ee_type、e2ee_private_key、e2ee_private_key_password があります。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' にプライベートキーがありません。

エラーコード	256
エラー定数	E2EE_NO_PRIVATE_KEY_IN_FILE
パラメーター 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

指定されたファイル名にプライベートキーが含まれていません。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' の e2ee_private_key_password がありません。

エラーコード	259
エラー定数	E2EE_MISSING_PRIVATE_KEY_PASSWORD
パラメーター 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルは、e2ee_private_key_password がないと読み込めません。
e2ee_private_key_password を入力してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を復号化できません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	257
エラー定数	E2EE_DECODING_PRIVATE_KEY_FILE
パラメーター 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメーター 2	エラーコード。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

ファイルが見つかり、内容を読み込みましたが、ファイルの復号化でエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに連絡して、エラーコードを報告してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	258
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY_FILE
パラメーター 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメーター 2	エラーコード。

考えられる原因

指定されたファイルが読み込めませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに連絡して、エラーコードを報告してください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support
- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

e2ee_private_key ファイル '%1' を読み込めません。エラーコードは %2 です。

エラーコード	255
エラー定数	E2EE_READING_PRIVATE_KEY

パラメーター 1	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。
パラメーター 2	エラーコード。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルの読み込み中にエラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに連絡して、エラーコードを報告してください。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

e2ee_type '%1' が不正です。

エラーコード	261
エラー定数	E2EE_INVALID_TYPE
パラメーター 1	無効なエンツーエンドプライベートキータイプ

考えられる原因

無効な e2ee_type が指定されました。有効な値を指定してください。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

ECC 暗号化は、FIPS に準拠していません。

エラーコード	239
エラー定数	NO_ECC_FIPS

考えられる原因

この圧縮処理を行うことができませんでした。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

HTTP サーバーの認証に失敗しました。

エラーコード	217
エラー定数	HTTP_SERVER_AUTH_FAILED

考えられる原因

サーバーから送信された認証情報ヘッダーに不正な値が含まれているため、認証に失敗しました。正規の HTTP サーバーに接続していることを確認してください。

HTTP トラフィックの代わりに暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	281
エラー定数	ENCRYPTED_INSTEAD_OF_HTTP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、暗号化された、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

HTTP トラフィックの代わりにエンドツーエンドの暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	282
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_HTTP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、エンドツーエンドで暗号化された、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

HTTP 認証アルゴリズムがサポートされていません：%1

エラーコード	215
エラー定数	HTTP_UNSUPPORTED_AUTH_ALGORITHM

考えられる原因

サーバーが要求した HTTP ダイジェスト認証アルゴリズムは、サポートされていません。サポートされているのは「MD5」と「MD5-sess」だけです。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP 認証に失敗しました。

エラーコード	211
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

入力したユーザー ID とパスワードは拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP 認証にはユーザー ID とパスワードが必要です。

エラーコード	209
エラー定数	HTTP_AUTHENTICATION_REQUIRED

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

HTTP サーバーまたはゲートウェイが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメーター http_userid と http_password を使用してユーザー ID とパスワードを指定してください。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP プロキシ認証にはユーザー ID とパスワードが必要です。

エラーコード	210
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_REQUIRED

考えられる原因

HTTP プロキシが HTTP 認証を要求しました。HTTP 同期パラメーター http_proxy_userid と http_proxy_password を使用してユーザー ID とパスワードを指定してください。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP プロキシの認証に失敗しました。

エラーコード	212
エラー定数	HTTP_PROXY_AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

入力したユーザー ID とパスワードがプロキシサーバーで拒否されました。正しく入力したかどうか確認してください。入力した場合は、正しいアクセス権があることをシステム管理者に確認してください。

その他の情報

- 「http_proxy_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_proxy_password」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP ヘッダーの解析エラーです：%1

エラーコード	216

エラー定数	HTTP_HEADER_PARSE_ERROR

考えられる原因

HTTP ヘッダーを解析しようとしてエラーが発生しました。ヘッダーの形式が間違っている可能性があります。

その他の情報

- 「custom_header」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

HTTP 本文に余分なデータが見つかりました : %1

エラーコード	80
エラー定数	HTTP_EXTRA_DATA_END_READ
パラメーター 1	余分なデータの最初の数文字。

考えられる原因

HTTP 本文に余分なデータが追加されています。このデータは、プロキシエージェントによって追加された可能性があります。プロキシを削除してください。

その他の情報

- 「buffer_size」『Mobile Link クライアント管理』

localhost を判別できません。

エラーコード	71
エラー定数	SOCKET_LOCALHOST_NAME_NOT_FOUND

考えられる原因

ネットワークレイヤーが "localhost" の IP アドレスを判別できませんでした。次の点を確認してください。1) ドメインネームサーバー (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS が使用できない場合には、代わりに localhost の IP アドレスを明示的に指定してみます (通常は 127.0.0.1)。2) HOSTS ファイルに、"localhost" 名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「CommunicationAddress (adr) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

Mobile Link 認証に失敗しました。

エラーコード	249
エラー定数	AUTHENTICATION_FAILED

考えられる原因

クライアントが Mobile Link への認証に失敗しました。

その他の情報

- 「認証パラメーター」『Mobile Link サーバー管理』
- 「認証処理」『Mobile Link クライアント管理』
- 「カスタムユーザー認証」『Mobile Link クライアント管理』

SACI 実装が一致しません。

エラーコード	250
エラー定数	SACI_IMPLEMENTATION_MISMATCH

考えられる原因

SACI 実装に互換性のない実装 ID が設定されていたため、ロードできませんでした。

TCP/IP ソケットを作成できません。

エラーコード	58
エラー定数	SOCKET_CREATE_TCPIP

考えられる原因

ネットワークレイヤーが TCP/IP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤーは適切に初期化されている。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「port」『Mobile Link クライアント管理』

UDP ソケットを作成できません。

エラーコード	59
エラー定数	SOCKET_CREATE_UDP

考えられる原因

ネットワークレイヤーが UDP ソケットを作成できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤーは適切に初期化されている。3) client_port オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアントポートを 1 つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。5) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。6) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』

アウトオブオーダー HTTP 要求がポート %1 で受信されました

エラーコード	286
エラー定数	OUT_OF_ORDER_HTTP_REQUEST
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

サーバーで処理済みの別の要求に先立ち、クライアントから HTTP 要求を受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。

アドレスからホストを取得できません。

エラーコード	72

エラー定数	SOCKET_GET_HOST_BY_ADDR

考えられる原因

ネットワークレイヤーが、IP アドレスを使用してホスト名を取得できませんでした。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「CommunicationAddress (adr) 拡張オプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

暗号化されていない HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	284
エラー定数	HTTP_INSTEAD_OF_ENCR
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化トラフィックを処理していたポートで、暗号化されていない HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

暗号化されていないサーバーキーに対してパスワードが指定されました。

エラーコード	208
エラー定数	SECURE_REDUNDANT_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

考えられる原因

サーバーのプライベートキーがパスワードで暗号化されていないのに、パスワードが指定されました。

暗号化されていないトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	283
エラー定数	TCP_INSTEAD_OF_ENCR
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

暗号化トラフィックを処理していたポートで、暗号化されていない HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

エラーステータスが返されました : '%1'

エラーコード	86
エラー定数	HTTP_BAD_STATUS_CODE
パラメーター 1	読み込まれたステータス行。

考えられる原因

ステータス行を調べて失敗の原因を判別してください。

エラーはありません。

エラーコード	0
エラー定数	NONE

考えられる原因

このコードは、ネットワークエラーがなかったことを示しています。

エンドツーエンド暗号化キーが一致しません。

エラーコード	253

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	E2EE_MISMATCHED_KEYS

考えられる原因

リモートでのエンドツーエンド暗号化に使用された e2ee_public_key がサーバーでの e2ee_private_key に一致しないため、クライアントとサーバーが通信できません。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

エンドツーエンド暗号化の ECC を初期化できません。エラーコードは %1 です。

エラーコード	262
エラー定数	E2EE_INIT_ECC
パラメーター 1	エラーコード。

考えられる原因

ECC を初期化しようとしてエラーが発生しました。ECC オプションがインストールされていることを確認してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「tls_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

エンドツーエンドなのにトランスポートレイヤーではない暗号化されたトラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	285
エラー定数	E2EE_INSTEAD_OF_ENCR
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

TLS 暗号化トラフィックを処理していたポートで、TLS ではない、エンドツーエンドで暗号化された受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

活性タイムアウト値 %1 が無効です。値は 0 ～ 65535 の範囲でなければなりません。

エラーコード	200
エラー定数	SOCKET_LIVENESS_OUT_OF_RANGE
パラメーター 1	活性タイムアウト値。

考えられる原因

無効な活性タイムアウト値が指定されました。活性タイムアウト値は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』

関数 %1 が見つかりませんでした。

エラーコード	225
エラー定数	LIBRARY_ENTRY_POINT_NOT_FOUND

考えられる原因

指定されたライブラリのエントリポイントが見つかりませんでした。

クライアント ID は HTTP ヘッダーでは使用できません。

エラーコード	78
エラー定数	HTTP_CLIENT_ID_NOT_SET

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

クライアント ID が HTTP クライアントコードに渡されませんでした。修正プログラムについては、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターにお問い合わせください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

クライアントから、不明なパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプ %1 が送信されました。

エラーコード	251
エラー定数	E2EE_UNKNOWN_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメーター 1	エンドツーエンド暗号化タイプコード

考えられる原因

クライアントは、サーバーで認識されない e2ee_type 値を送信しました。サーバーのバージョンがリモートのバージョンと同じかそれ以上であることを確認してください。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

コード化された CR LF の読み込みに失敗しました。

エラーコード	81
エラー定数	HTTP_CRLF_ENCODED_MISSING

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

コード化されたチャンク長の読み込みに失敗しました。

エラーコード	84

エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_ENCODED_MISSING

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

その他の情報

- 「CREATE FUNCTION 文 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』
- 「CREATE PROCEDURE 文 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

この機能は実装されていません。

エラーコード	12
エラー定数	NOT_IMPLEMENTED

考えられる原因

実装されていない内部機能が要求されました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

この接続は、以前のエラーのために中止されます。

エラーコード	279
エラー定数	CONNECTION_ABANDONED

考えられる原因

前回のエラーにより、サーバーによってこの接続が強制的に閉じられました。

この操作を行うとブロッキングが発生します。

エラーコード	13
エラー定数	WOULD_BLOCK

考えられる原因

ブロッキングが不要または予期されないところで、要求された操作がブロックした可能性があります。

その他の情報

- 「Mobile Link のパフォーマンスのチューニング」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link 独立性レベル」『Mobile Link サーバー管理』

この同期で次の HTTP 要求を待機中にタイムアウトが発生しました。

エラーコード	83
エラー定数	HTTP_NO_CONTD_CONNECTION

考えられる原因

リモートサイトから送信される次の HTTP 要求の待機中に、サーバーがタイムアウトになりました。この要求がサーバーに届かなかった原因を判別するか、永続的な接続を試みてください。

その他の情報

- 「persistent」『Mobile Link クライアント管理』

サーバーエラー %1 です。

エラーコード	228
エラー定数	SERVER_ERROR
パラメーター 1	サーバーによってレポートされたエラー。

考えられる原因

サーバーによってエラーがレポートされました。詳細については、Mobile Link の管理者に問い合わせてください。

サーバー証明書が指定されていません。

エラーコード	205
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE

考えられる原因

サーバーの証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、サーバーの証明書が必要です。指定するファイルには、サーバーの証明書とプライベートキーが含まれている必要があります。

サーバー証明書のパスワードが指定されていません。

エラーコード	206
エラー定数	SECURE_NO_SERVER_CERTIFICATE_PASSWORD

考えられる原因

サーバー証明書のパスワードが入力されていません。サーバーの暗号化されたプライベートキーを復号化するには、パスワードが必要です。

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

エラーコード	222
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERT_FROM_SYSTEM_STORE

考えられる原因

システム証明書ストアから証明書をインポートできませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

システム証明書ストアに証明書がありませんでした。

エラーコード	223
エラー定数	SECURE_NO_CERTS_IN_SYS_STORE

考えられる原因

システム証明書ストアで証明書が見つかりませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

システム証明書ストアを開けませんでした。

エラーコード	221
エラー定数	SECURE_OPEN_SYSTEM_CERT_STORE

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

システム証明書ストアを開けませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

指定された HTTP バッファーサイズは有効な範囲を越えています。

エラーコード	79
エラー定数	HTTP_BUFFER_SIZE_OUT_OF_RANGE

考えられる原因

HTTP バッファーサイズを修正してください。有効なバッファーサイズは正の値で、ホストプラットフォームにとって大きすぎないように指定してください。

その他の情報

- 「buffer_size」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_buffer_responses」『Mobile Link クライアント管理』

自動ダイヤルアップはこのマシンではサポートされていません。

エラーコード	203
エラー定数	DUN_NOT_SUPPORTED

考えられる原因

システムサポートが十分でないため、ダイヤルアップに失敗しました。PocketPC では cellcore.dll を使用し、Windows では IE 4.0 以降の wininet.dll を使用する必要があります。他のプラットフォームではダイヤルアップはサポートされていません。

シャットダウン時にエラーが発生しました。

エラーコード	18
エラー定数	SHUTTING_DOWN

考えられる原因

シャットダウン中、Mobile Link サーバーがネットワークレイヤーでエラーを検出しました。シャットダウン時に保留中であったネットワーク操作の一部が影響を受けた可能性があります。

十分なメモリを割り付けることができません。

エラーコード	6
エラー定数	MEMORY_ALLOCATION

考えられる原因

ネットワークレイヤーで十分なバイト数の記憶領域を割り付けることができませんでした。システムメモリを解放してもう一度操作を行ってください。システムメモリを解放する方法は、オペレーティングシステムとその設定方法によって異なります。最も簡単な方法は、アクティブな処理の数を減らすことです。詳細については、使用しているオペレーティングシステムのマニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』

終了書き込みが失敗しました。

エラーコード	10
エラー定数	END_WRITE

考えられる原因

ネットワークへの一連の書き込みを完了できません。参照：WRITE

その他の情報

- 「%1 バイトを書き込めません。」992 ページ

終了読み込みが失敗しました。

エラーコード	11
エラー定数	END_READ

考えられる原因

ネットワークからの一連の読み込みを完了できません。参照：READ

その他の情報

● 「%1 バイトを読み込めません。」993 ページ

証明書が失効しました。

エラーコード	50
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRED

考えられる原因

証明書チェーンにある証明書の有効期限が切れています。有効期限が切れていない新しい証明書を入手して、再度操作を行ってください。

その他の情報

● 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

証明書ファイル '%1' を開けません。

エラーコード	33
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメーター 1	証明書ファイル名。

考えられる原因

証明書ファイルを開けませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイルを読み込む権限がある。この項目は、ユーザーパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

● 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

証明書有効期日をフェッチできません。

エラーコード	37
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_EXPIRY_DATE

考えられる原因

証明書の有効期日を読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「証明書フィールドの確認」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

証明書をインポートできません。

エラーコード	44
エラー定数	SECURE_IMPORT_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、証明書をインポートできませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

証明書をコピーできません。

エラーコード	38
エラー定数	SECURE_EXPORT_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、証明書をコピーできませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤーセキュリティ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

証明書を証明書チェーンに追加できません。

エラーコード	39
エラー定数	SECURE_ADD_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、証明書チェーンに証明書を追加できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤーセキュリティ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

証明書を読み込めません。

エラーコード	34
エラー定数	SECURE_READ_CERTIFICATE

考えられる原因

証明書ファイルが読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

証明書を割り付けることができません。

エラーコード	43
エラー定数	SECURE_CREATE_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、証明書用の記憶領域を割り付けることができませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できないサーバー証明書です。

エラーコード	24
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_NOT_TRUSTED

考えられる原因

サーバーの証明書は信頼できる認証局によって署名されていません。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 信頼できるルート証明書のクライアント側のリストに、サーバー側のルート証明書が含まれている。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書が %1 で見つかりません。

エラーコード	42
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COUNT

考えられる原因

指定されたファイルに証明書が入っていません。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書ファイル '%1' から読み込み中にエラーが発生しました。

エラーコード	41
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_READ
パラメーター 1	信頼できる証明書ファイル名。

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、信頼できる証明書ファイルを読み込むことができませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切

な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザーパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書ファイル '%1' を見つけられません。

エラーコード	40
エラー定数	SECURE_TRUSTED_CERTIFICATE_FILE_NOT_FOUND
パラメーター 1	信頼できる証明書ファイル名。

考えられる原因

証明書ファイルが見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) 証明書ファイル名が適切に指定されている。2) 証明書ファイルが存在する。3) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。4) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。5) 証明書ファイルを開こうとしているプログラムにファイル参照の権限がある。この項目は、ユーザーパーミッションかファイルパーミッション (またはその両方) を持つオペレーティングシステムだけに適用されます。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できる証明書を追加できません。

エラーコード	48
エラー定数	SECURE_ADD_TRUSTED_CERTIFICATE

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、証明書チェーンに信頼できる証明書を追加できませんでした。システムリソースの不足が主な原因と考えられます。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

信頼できるルート証明書が指定されていません。

エラーコード	207
エラー定数	SECURE_NO_TRUSTED_ROOTS

考えられる原因

信頼できるルート証明書が指定されていません。通信のセキュリティを保護するには、信頼できるルート証明書が少なくとも 1 つ必要です。

セキュアストリームの FIPS は明示的に無効になっていますが、-fips オプションが有効になっています。

エラーコード	242
エラー定数	INCONSISTENT_FIPS

考えられる原因

Mobile Link サーバーのコマンドラインで -fips スイッチを使用するには、すべてのセキュアストリームが FIPS に準拠している必要があります。セキュアストリームに fips オプションが設定されていない場合は、自動的に FIPS 準拠 (fips=y など) になります。セキュアストリームから fips オプションを削除するか、fips=y で有効にしてください。

その他の情報

- 「-fips mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「FIPS 認定の暗号化テクノロジ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

セキュリティコンテキストを複製できません。

エラーコード	25
エラー定数	SECURE_DUPLICATE_CONTEXT

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、セキュリティコンテキストを複製できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

接続キューからデキューできません。

エラーコード	19
エラー定数	DEQUEUING_CONNECTION

考えられる原因

キューイングされている接続 (同期) 要求を取得しようとしているときに、Mobile Link サーバーでエラーが発生しました。システムリソースを解放してください。問題が解決しなければ、Mobile Link サーバーを再起動してください。

その他の情報

- 「Mobile Link サーバーでのメモリの使用」『Mobile Link サーバー管理』
- 「Mobile Link サーバーの実行」『Mobile Link サーバー管理』

接続試行がタイムアウトになりました。

エラーコード	241
エラー定数	CONNECT_TIMEOUT

考えられる原因

接続試行がタイムアウトになりました。サーバーが指定のホストとポートで実行されていないか、タイムアウト値を大きくして接続の試行に使用できる時間を増やす必要があります。

その他の情報

- 「timeout」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

操作が中断されました。

エラーコード	218
エラー定数	INTERRUPTED

考えられる原因

現在の操作は呼び出し元によって中断されました。

ソケットで受信できません。バックログは %1 です。

エラーコード	67
エラー定数	SOCKET_LISTEN
パラメーター 1	要求されたリスナーバックログ。

考えられる原因

サーバーがソケットで受信できません。バックログとは、ある一定期間に保留中になっている可能性がある、キューイングされた接続要求の最大数のことです。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 現在のマシンでソケットリスナーが動作するのを妨げるファイアウォールやその他の制限事項がない。3) マシンに制限がある場合、バックログ設定が制限内に収まっている。4) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1 を取得できません。

エラーコード	65
エラー定数	SOCKET_GET_OPTION
パラメーター 1	検索中のソケットオプション。

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットオプションを取得できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのオプション番号 %1 を設定できません。

エラーコード	66
エラー定数	SOCKET_SET_OPTION
パラメーター 1	設定中のソケットオプション。

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットオプションを設定できませんでした。このエラーは、接続が失われたことを示す最初の徴候であると考えられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側

は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのステータスを選択できません。

エラーコード	69
エラー定数	SOCKET_SELECT

考えられる原因

ネットワークレイヤーで、読み込みまたは書き込み可能状態のソケットに対して待ち状態に入ろうとするエラーが発生しました。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットのローカル名を取得できません。

エラーコード	64
エラー定数	SOCKET_GET_NAME

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットのローカル名を判別できませんでした。TCP/IP 接続には、各接続の両端にポート専用に付加されたソケットがあります。ソケットのローカル名にはこのポート番号が含まれており、これは、接続時にネットワークによって割り当てられます。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットレイヤーをクリーンアップできません。

エラーコード	61
エラー定数	SOCKET_CLEANUP

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットレイヤーをクリーンアップできませんでした。これは、すべての接続が終了した後にだけ発生するエラーです。したがって現在の接続には影響しません。

ソケットレイヤーを初期化できません。

エラーコード	70
エラー定数	SOCKET_STARTUP

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットレイヤーを初期化できませんでした。次の点を確認してください。1) ソケットレイヤーが適切にインストールされている。正しいネットワークインターフェイスライブラリが存在し、アクセス可能になっていなければなりません。2) ネットワークにマシンが接続されており、ネットワークからの応答がある。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットをシャットダウンできません。

エラーコード	68
エラー定数	SOCKET_SHUTDOWN

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットをシャトダウンできませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されており、ネットワークからの応答がある。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

ソケットを接続できません。

エラーコード	63
エラー定数	SOCKET_CONNECT

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットを接続できませんでした。次の点を確認してください。1) マシンがネットワークに接続されている。2) ソケットレイヤーは適切に初期化されている。3) 適切なホストマシンとポートが指定されている。4) ホストサーバーが正常に稼働しており、適切なポートで受信している。5) ホストマシンが、適切なソケットタイプ (TCP/IP と UDP) で受信を行っている。6) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。7) オープンしているソケット数について、デバイスに制限が設けられている場合は、その値に達していないことを確認する。8) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ソケットを閉じられません。

エラーコード	62
エラー定数	SOCKET_CLOSE

考えられる原因

ネットワークレイヤーがソケットを閉じることができませんでした。フラッシュされなかった保留中の書き込みが原因で、ネットワークセッションが不完全なまま終了した可能性があります (または、終了していない可能性があります)。次の点を確認してください。1) ネットワーク接続のどちらか一方の側でエラーが発生した。2) 接続の反対側は正常に動作している。3) マシンがネットワークに接続されたままになっており、ネットワークからの応答がある。

ダウンロードしたファイルの保存先パス %1 が無効です。

エラーコード	243
エラー定数	INVALID_LOCAL_PATH
パラメーター 1	ローカルパス。

考えられる原因

ダウンロードされたファイルのインストール先パスが無効です。詳細については、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「Mobile Link ファイル転送ユーティリティ (mlfiletransfer)」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-ftr mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

チャンク長を解析中に予期しない文字が読み込まれました。%1

エラーコード	85
エラー定数	HTTP_CHUNK_LEN_BAD_CHARACTER
パラメーター 1	予期しない文字。

考えられる原因

固定長の HTTP 本文を使用してください。

内部エラー (%1) です。

エラーコード	220
エラー定数	INTERNAL
パラメーター 1	内部エラーコード。

考えられる原因

ネットワークレイヤーで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部エラー : %1 が %2 を返しました。

エラーコード	238
エラー定数	INTERNAL_API
パラメーター 1	内部 API の名前。
パラメーター 2	内部エラーコード。

考えられる原因

ネットワークレイヤーで内部エラーが発生しました。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

内部プロトコルがロードされませんでした : %1

エラーコード	227
エラー定数	INTERNAL_PROTOCOL_NOT_LOADED

考えられる原因

同期プロトコルをロードできませんでした。Ultra Light を使用している場合は、適切な ULEnable メソッドを呼び出していることを確認してください。

その他の情報

- 「クライアントのネットワークプロトコル」『Mobile Link クライアント管理』
- ULEnableAesDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableAesFipsDBEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableEccE2ee メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableEccSyncEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaE2ee メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableHttpSynchronization メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaFipsE2ee メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaFipsSyncEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableRsaSyncEncryption メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableTcpipSynchronization メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』
- ULEnableZlibSyncCompression メソッド [Ultra Light Embedded SQL]『Ultra Light C/C++ プログラミング』

認識されない HTTP バージョン : %1

エラーコード	54
エラー定数	HTTP_VERSION
パラメーター 1	要求された HTTP バージョン。

考えられる原因

要求された HTTP バージョンはサポートされていません。マニュアルを調べて、サポート対象の HTTP バージョンを指定してください。パブリケーション時のサポート対象 HTTP バージョンは 1.0 と 1.1 です。

その他の情報

- 「version」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

認識されない組織 '%1' です。

エラーコード	21
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_NAME
パラメーター 1	組織名。

考えられる原因

指定された組織名は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 組織名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに組織名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

認識されない組織単位 '%1' です。

エラーコード	51
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMPANY_UNIT
パラメーター 1	組織単位名。

考えられる原因

指定された組織単位は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 会社名が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに会社名が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

認識されない通称 '%1' です。

エラーコード	52
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_COMMON_NAME
パラメーター 1	通称。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

指定された通称は証明書チェーンに存在しません。次の点を確認してください。1) 通称が正しく入力されている。2) 適切な証明書ファイルが指定されている。3) 証明書チェーンに通称が存在している。viewcert ユーティリティを使用して上記を確認できます。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

認識できない TLS タイプ %1 です。

エラーコード	240
エラー定数	UNRECOGNIZED_TLS_TYPE
パラメーター 1	TLS タイプ

考えられる原因

TLS タイプが無効です。有効なタイプについては、マニュアルを参照してください。

その他の情報

- 「tls_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「トランスポートレイヤーセキュリティ」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

ネットワークインターフェイスライブラリが不正か破損しています：%1

エラーコード	245
エラー定数	INVALID_NETWORK_LIBRARY
パラメーター 1	ネットワークライブラリのパス。

考えられる原因

指定されたネットワークインターフェイス DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。不正か破損している可能性があります。

ネットワークインターフェイスライブラリのバージョンが一致しません。予期されたバージョンは %1.%2 ですが、バージョン %3.%4 が見つかりました。

エラーコード	248
エラー定数	NETWORK_LIBRARY_VERSION_MISMATCH
パラメーター 1	想定されていたメジャーバージョン。
パラメーター 2	想定されていたマイナーバージョン。
パラメーター 3	見つかったメジャーバージョン。
パラメーター 4	見つかったマイナーバージョン。

考えられる原因

バージョンが間違っているため、ネットワークインターフェイス DLL または共有オブジェクトがロードできませんでした。

ネットワークインターフェイスライブラリをロードできません。

エラーコード	73
エラー定数	LOAD_NETWORK_LIBRARY

考えられる原因

ネットワークインターフェイスライブラリを検出してロードすることができませんでした (またはそのいずれか)。次の点を確認してください。1) ソケットレイヤーが適切にインストールされている。適切なネットワークインターフェイスライブラリ (または DLL か共有オブジェクト) が存在しており、アクセス可能になっていなければなりません。2) 使用できるシステムリソースが十分にある。不足していれば、システムリソースを解放してください。

その他の情報

- 「インターフェイスライブラリ通信プロトコル」『SQL Anywhere 12 紹介』
- 「インターフェイスライブラリの検出」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

ネットワークレイヤーをセキュリティレイヤーに付加できません。

エラーコード	26
エラー定数	SECURE_SET_IO

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーをネットワークレイヤーに付加できませんでした。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

パスワードが指定されていません。

エラーコード	214
エラー定数	HTTP_NO_PASSWORD

考えられる原因

HTTP 認証にユーザー ID が入力されましたが、パスワードが入力されていません。認証には両方が必要です。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

パラメーターがありません : %1

エラーコード	229
エラー定数	MISSING_PARAMETER
パラメーター 1	見つからないパラメーターの名前。

考えられる原因

必要なパラメーターが指定されていません。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター値 '%1' は符号なし整数値または範囲ではありません。範囲の形式は NNN-NNN です。

エラーコード	3
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32_RANGE
パラメーター 1	不正なパラメーター値。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメーター値は、符号なし整数値または範囲のいずれでもありません。パラメーター指定の違反箇所を探して、パラメーター値を符号なしの整数値か範囲に変更してください。符号なし範囲の形式は NNN-NNN です。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター値 '%1' は符号なし整数ではありません。

エラーコード	2
エラー定数	PARAMETER_NOT_UINT32
パラメーター 1	不正なパラメーター値。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメーター値は、符号なし整数ではありません。パラメーター指定の違反箇所を探して、パラメーター値を符号なしの整数に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター値 '%1' は有効な 16 進数値ではありません。

エラーコード	5

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	PARAMETER_NOT_HEX
パラメーター 1	不正なパラメーター値。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメーター値は、16 進数値 (基数 16) ではありません。パラメーター指定の違反箇所を探して、パラメーター値を 16 進数値に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター値 '%1' は有効なブール値ではありません。値を 0 または 1 に指定します。

エラーコード	4
エラー定数	PARAMETER_NOT_BOOLEAN
パラメーター 1	不正なパラメーター値。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このパラメーター値はブール値ではありません。パラメーター指定の違反箇所を探して、パラメーター値を 0 (off または False に対応) または 1 (on または True に対応) に変更してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

パラメーター文字列 '%1' を解析できません。

エラーコード	7
エラー定数	PARSE
パラメーター 1	解析できなかったパラメーター文字列。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。オプションで、カッコ内にパラメーターの全リストを入力できます。入力された文字列はこの表記規則に従っていません。文字列を検査して、フォーマット上の問題を修正してからもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ハンドシェイクエラー

エラーコード	53
エラー定数	SECURE_HANDSHAKE

考えられる原因

安全なハンドシェイクに失敗しました。次の点を確認してください。1) クライアントでは、正しいホストマシンとポート番号が指定されている。2) サーバーでは、正しいポート番号が指定されている。3) クライアントでは、正しい信頼できる証明書が指定されていて、サーバーでは、正しい ID ファイルが指定されている。

その他の情報

- 「certificate_company」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_unit」『Mobile Link クライアント管理』
- 「certificate_name」『Mobile Link クライアント管理』
- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

非 HTTP トラフィックをポート %1 で受信しました

エラーコード	280
エラー定数	TCP_INSTEAD_OF_HTTP
パラメーター 1	リスニングポート。

考えられる原因

HTTP トラフィックを処理していたポートで、非 HTTP トラフィックを受信したため、Mobile Link サーバーが要求をアボートしました。クライアントで使用されているストリームオプションがサーバー側と一致していることを確認します。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ファイル '%1' を開けません。

エラーコード	264
エラー定数	COULD_NOT_OPEN_FILE
パラメーター 1	ファイルの名前。

考えられる原因

指定されたファイルを開けませんでした。

不完全な HTTP 要求の読み込みに失敗しました。

エラーコード	277
エラー定数	HTTP_FAILED_READING_HEADERS

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、不完全な HTTP ヘッダーのセットが受信されました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不正なセッション cookie (ML_SESSION_ID) 値です : %1

エラーコード	235
エラー定数	HTTP_MALFORMED_SESSION_COOKIE
パラメーター 1	cookie の値

考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が破損しています。cookie が破損している箇所を特定してください。クライアントエラーか、HTTP の仲介者が正しく動作していないことが主な原因と考えられます。

不正なパラメーター '%1' です。

エラーコード	1
エラー定数	PARAMETER
パラメーター 1	不正なパラメーター値。

考えられる原因

ネットワークパラメーターの形式は、"name=value;[name2=value2[;...]]" です。このコードは、不正なパラメーター値を示しています。該当するパラメーター名について説明したマニュアルを参照して、パラメーター値を修正してください。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不正なポート番号 %1 です。値は、0 ～ 65535 でなければなりません。

エラーコード	74
エラー定数	SOCKET_PORT_OUT_OF_RANGE
パラメーター 1	ポート番号。

考えられる原因

不正なポート番号を指定しています。ポート番号は、0 ～ 65535 の間の整数にしてください。

その他の情報

- 「port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不正なルート証明書です。

エラーコード	20
エラー定数	SECURE_CERTIFICATE_ROOT

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

チェーンのルート証明書が不正です。このエラーは、パブリケーション時に定義されましたが使用されませんでした。

その他の情報

- 「trusted_certificate」『Mobile Link クライアント管理』

不明な HTTP User-Agent または要求タイプです。

エラーコード	278
エラー定数	HTTP_BAD_REQUEST

考えられる原因

Mobile Link サーバーで、不明な User-Agent ヘッダーまたは不明な要求タイプが指定された HTTP 要求が受信されました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

不明な HTTP セッションを続行できません。

エラーコード	265
エラー定数	HTTP_UNKNOWN_SESSION

考えられる原因

同期セッションの管理用の HTTP cookie が認識されていません。同一セッションに対するすべての HTTP 要求は、同一の Mobile Link サーバーインスタンスに送信される必要があります。HTTP の仲介者によって、同一セッションに対する HTTP 要求の一部が、同一の Mobile Link サーバーに送信されなかったことが主な原因と考えられます。また、このエラーは、同一セッションに対して実行された複数の HTTP 要求の間に、短時間でサーバーがシャットダウンおよび再起動した場合に発生することもあります。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

プライベートキーオブジェクトを作成できません。

エラーコード	49
エラー定数	SECURE_CREATE_PRIVATE_KEY_OBJECT

考えられる原因

プライベートキーを読み込む前に、セキュアネットワークレイヤーがプライベートキーのオブジェクトを作成できませんでした。システムリソースの不足が主な原因と考えられます。システムリソースを解放してもう一度操作を行ってください。

その他の情報

- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

プライベートキーのパスワードが不正です

エラーコード	287
エラー定数	BAD_PRIVATE_KEY_PASSWORD

考えられる原因

暗号化されたプライベートキーのパスワードが不正です。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

プライベートキーを設定できません。

エラーコード	36
エラー定数	SECURE_SET_PRIVATE_KEY

考えられる原因

プライベートキーを使用できませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「identity」『Mobile Link クライアント管理』
- 「identity_password」『Mobile Link クライアント管理』

プライベートキーを読み込めません。

エラーコード	35
エラー定数	SECURE_READ_PRIVATE_KEY

考えられる原因

証明書ファイルからプライベートキーを読み込めませんでした。次の点を確認してください。1) パスワードが正しく入力されている。2) 証明書ファイルに証明書が 1 つ以上入っている。3) 証明書ファイルに適切な証明書が入っている。4) 証明書ファイルは破損していない。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「identity」『Mobile Link クライアント管理』
- 「identity_password」『Mobile Link クライアント管理』

プロトコルエラー

エラーコード	231
エラー定数	PROTOCOL_ERROR

考えられる原因

予期しない値またはトークンが読み込まれました。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ヘッダーを復号化しているときに予期しない HTTP ステータス %1 になりました。

エラーコード	236
エラー定数	HTTP_INTERNAL_HEADER_STATE
パラメーター 1	ヘッダーの内部ステータス

考えられる原因

HTTP ヘッダーを復号化できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

ポート %1 にソケットをバインドできません。

エラーコード	60
エラー定数	SOCKET_BIND
パラメーター 1	ポート番号。

考えられる原因

ネットワークレイヤーが、指定ポートにソケットをバインドできませんでした。次の項目を確認してください。1) (サーバーのみ) ポートがまだ使用されていないことを確認する。ポートが使用中の場合は、そのポートで受信しているアプリケーションを停止するか、別のポートを指定してください。2) (サーバーのみ) ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。3) (クライアントのみ) client_port オプションが使用された場合は、指定したポートがまだ使用されていないことを確認する。クライアントポートを 1 つだけ指定した場合は、NNN-NNN などの範囲を使用することを検討してください。範囲が指定されていた場合は、その範囲を広げるか、別の範囲にすることを検討してください。4) (クライアントのみ) client_port オプションが使用された場合は、ポートの使用に関するファイアウォールの制限事項がないことを確認する。

その他の情報

- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「client_port」『Mobile Link クライアント管理』
- 「port」『Mobile Link クライアント管理』

ホスト名 '%1' を見つけられませんでした。

エラーコード	57
エラー定数	SOCKET_HOST_NAME_NOT_FOUND
パラメーター 1	ホスト名。

考えられる原因

指定されたホスト名が見つかりませんでした。次の点を確認してください。1) ホスト名が正しく指定されている。2) ホストがアクセス可能である。多くのシステムには、名前を指定したホストへのアクセスを検証できる ping ユーティリティが組み込まれています。3) ドメインネームサーバー (DNS) またはそれに相当するものが使用できる。DNS を使用できない場合は、ホスト名の代わりにホストの IP アドレス (例 : NNN.NNN.NNN.NNN) を指定してみてください。4) HOSTS ファイルに、ホスト名を IP アドレスにマッピングするエントリが入っている。

その他の情報

- 「host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「proxy_host」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

未知の転送エンコードです : '%1'

エラーコード	87
エラー定数	HTTP_UNKNOWN_TRANSFER_ENCODING
パラメーター 1	未知のエンコード。

考えられる原因

未知の転送エンコードがどのように生成されているかを判別してください。

その他の情報

- 「HTTP_RESPONSE_HEADER 関数 [Web サービス]」『SQL Anywhere サーバー SQL リファレンス』

無効な HTTP 文字です。

エラーコード	219
エラー定数	HTTP_INVALID_CHARACTER

考えられる原因

HTTP ヘッダーで予期しない文字が読み込まれました。ヘッダーの形式が間違っているか、通信先から HTTP が送信されていない可能性があります。

その他の情報

- 「custom_header」『Mobile Link クライアント管理』
- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』

無効な圧縮型です：%1

エラーコード	232
エラー定数	INVALID_COMPRESSION_TYPE
パラメーター 1	無効な圧縮型

考えられる原因

指定された圧縮型が認識されませんでした。

その他の情報

- 「compression」『Mobile Link クライアント管理』

無効な同期プロトコルです：%1

エラーコード	226
エラー定数	INVALID_SYNC_PROTOCOL

考えられる原因

指定されたプロトコルは有効な同期プロトコルではありません。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントネットワークプロトコルオプション」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』

ユーザー ID が指定されていません。

エラーコード	213

エラー定数	HTTP_NO_USERID

考えられる原因

HTTP 認証にパスワードが入力されましたが、ユーザー ID が入力されていません。認証には両方が必要です。

その他の情報

- 「http_userid」『Mobile Link クライアント管理』
- 「http_password」『Mobile Link クライアント管理』

予期しない内部 HTTP 要求タイプ %1 です。

エラーコード	237
エラー定数	HTTP_INTERNAL_REQUEST_TYPE
パラメーター 1	内部 HTTP 要求タイプ

考えられる原因

HTTP 要求タイプを判別できませんでした。これは通常は起こるはずのない内部エラーです。弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

その他の情報

- http://www.sybase.com/support

予期しないパブリックキーエンドツーエンド暗号化タイプです。%1 を予期していましたが、%2 を受信しました。

エラーコード	252
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PUBLIC_KEY_ENC_TYPE
パラメーター 1	サーバーによるエンツーエンド暗号化タイプ。
パラメーター 2	クライアントによるエンツーエンド暗号化タイプ。

考えられる原因

クライアントは、サーバーで指定された e2ee_type とは異なる e2ee_type 値を送信しました。両者が同じであることを確認してください。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「e2ee_public_key」『Mobile Link クライアント管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

予期しないプライベートキータイプです。%1 を予期していましたが、e2ee_private_key ファイル '%3' に %2 が見つかりました。

エラーコード	254
エラー定数	E2EE_UNEXPECTED_PRIVATE_KEY_TYPE
パラメーター 1	e2ee_type オプションによるエンツーエンドプライベートキータイプ。
パラメーター 2	ファイルによるエンツーエンドプライベートキータイプ。
パラメーター 3	e2ee_private_key オプションによるプライベートキーファイル。

考えられる原因

e2ee_private_key ファイルで見つかったプライベートキータイプは、e2ee_type で指定されたタイプと一致しません。

その他の情報

- 「e2ee_type」『Mobile Link クライアント管理』
- 「-x mlsrv12 オプション」『Mobile Link サーバー管理』
- 「キーペアジェネレーターユーティリティ (createkey)」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』
- 「エンドツーエンド暗号化」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

予期しない要求タイプです：%1

エラーコード	234
エラー定数	UNEXPECTED_HTTP_REQUEST_TYPE
パラメーター 1	HTTP 要求タイプ

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

この HTTP 要求タイプはこの時点では予期されていませんでした。Mobile Link クライアントではない HTTP クライアントが主な原因と考えられます。

その他の情報

- 「Mobile Link クライアントの概要」『Mobile Link クライアント管理』

ライブラリ %1 をロードできませんでした。

エラーコード	224
エラー定数	LOAD_LIBRARY_FAILURE

考えられる原因

パスでダイナミックライブラリを見つけることができませんでした。同期に TLS 暗号化を使用しようとしている場合は、適切なライセンスを取得していることを確認してください。

その他の情報

- 「トランスポートレイヤーセキュリティの設定」『SQL Anywhere サーバー データベース管理』

乱数ジェネレーターにシードを設定できません。

エラーコード	16
エラー定数	SEED_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、乱数ジェネレーターにシードを設定できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数ジェネレーターを初期化できません。

エラーコード	15
エラー定数	INIT_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、乱数ジェネレーターを初期化できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数オブジェクトを作成できません。

エラーコード	17
エラー定数	CREATE_RANDOM_OBJECT

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーが、乱数生成オブジェクトを作成できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

乱数を生成できません。

エラーコード	14
エラー定数	GENERATE_RANDOM

考えられる原因

セキュアネットワークレイヤーでは乱数が必要ですが、それを生成できませんでした。システムリソースを解放してから、もう一度接続と操作を行ってください。

リモートからの予期されたデータですが、現在の要求は POST ではありません。

エラーコード	89
エラー定数	HTTP_EXPECTED_POST

考えられる原因

使用しているプロキシが Mobile Link と互換性がない可能性があります。設定を確認してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Relay Server のエラーメッセージ

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。各エラーメッセージのテキストには、エラーまたは警告の種類を説明するプレフィクスが付けられています。

- **RSE** Relay Server のエラー。
- **RSF** Relay Server の致命的なエラー。これにより、SQL Anywhere モニター警告が発生します。
- **RSW** Relay Server の警告。

参照

- 「Relay Server の警告メッセージ」1109 ページ

Relay Server のエラーメッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「RSE0: エラーはありません」
1000	「RSE1000: クライアントはバックエンドファームで指定されていない URL を使用しました」
1001	「RSE1001: クライアントは URL で認識されないファーム名 '%1' を指定しました」
1002	「RSE1002: Outbound Enabler で認識されないファーム名 '%1' を指定しました」
1003	「RSE1003: クライアントからのデコードセッション ID '%1' は失敗しました」
1004	「RSE1004: Outbound Enabler が無効なファームインデックスで接続しようとしました : %1」
1005	「RSE1005 : Relay Server の設定要求はキャンセルされました」
1006	「RSE1006: SA モニターコマンドの待機中に SA がタイムアウトしました」

エラーコード	メッセージテキスト
1007	「RSE1007: SA モニターは途中で切断されました」
1008	「RSE1008: SA モニター要求を読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
1009	「RSE1009: SA モニターに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
1010	「RSE1010: 設定を同時に更新できません」
1011	「RSE1011: URL で無効または不正なセッションパラメーターが発生しました : '%1'」
1012	「RSE1012: Outbound Enabler からの要求はチャンクしないでください」
1013	「RSE1013: Outbound Enabler からの要求は最小パケットサイズより小さくできません」
1014	「RSE1014: Outbound Enabler からの最初のパケットを待機しているときにタイムアウトしました」
1015	「RSE1015: Outbound Enabler から無効な最初の '%1' パケットです」
1016	「RSE1016: ファーム '%2' でサーバー '%1' の上りチャネルを切断しているときにタイムアウトしました」
1017	「RSE1017: ソフトシャットダウン中に下りチャネルおよびクライアントが共有メモリから切断するのを待機しているときに、タイムアウトしました」
2000	「RSE2000: バックエンドファーム '%1' は現在無効です」
2001	「RSE2001: ファーム '%1' でクライアントセキュリティ要件が満たされていません」

エラーコード	メッセージテキスト
2002	「RSE2002: アプリケーションタイムアウトの %2 秒以内にクライアント要求をファーム '%1' のバックエンドサーバーに割り当てることができませんでした」
2003	「RSE2003: バックエンドサーバー '%1' がファーム '%2' で見つからなかったため、クライアントからのセッション ID を使用できませんでした」
2004	「RSE2004: バックエンドファーム '%1' でバックエンドセキュリティ要件が満たされていません」
2005	「RSE2005: バックエンドサーバー '%1' は、バックエンドファーム '%2' でメンバーとして認識されていません」
2006	「RSE2006: Outbound Enabler はファーム '%2' で無効なサーバーインデックス %1 のチャネルに接続しています」
3000	「RSE3000: バックエンドファーム '%3' のバックエンドサーバー '%2' の MAC アドレス '%1' が不正です」
3001	「RSE3001: ファーム '%3' のバックエンドサーバー '%2' のトークン '%1' を取得しましたが、予期したのは '%4' でした」
3002	「RSE3002: バックエンドファーム '%1' のバックエンドサーバー '%2' は、サポートされていない Outbound Enabler を使用しています」
3003	「RSE3003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' に対する冗長 Outbound Enabler 接続は無視されました」
3004	「RSE3004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の下りチャネルから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
3005	「RSE3005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler インスタンスが一致しません」

エラーコード	メッセージテキスト
3006	「バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Relay Server インスタンスが一致しません。」
3007	「RSE3007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で再接続された上りチャネルを使用しましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
3008	「RSE3008: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' が Relay Server 設定から削除されたか無効になったため、バックエンドサーバーチャネルがアボートされました。」
3009	「RSE3009: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の上りチャネルに書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
3010	「RSE3010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler では -af スイッチが使用されていますが、このスイッチはサポートされなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください」
3011	「RSE3011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で、未知のイベントが発生しました」
3012	「RSE3012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' からのパケットが不正です」
3013	「RSE3013: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler によるアクティビティを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
3014	「RSE3014: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler は、途中で切断されました」

エラーコード	メッセージテキスト
4000	「RSE4000: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の上りチャネルを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4001	「RSE4001: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントから読み込んでいましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4002	「RSE4002: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のクライアントから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
4003	「RSE4003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントはバックエンドサーバーの応答を待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました」
4004	「RSE4004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler が、セッションエラー OEE%3 (パラメーター '%4', '%5', '%6') を報告しました」
4005	「RSE4005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、バックエンドサーバーが使用不可であるためアボートしています」
4006	「RSE4006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler がシャットダウンしているためアボートしています」
4007	「RSE4007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler から予期しない下りチャネルパケット opcode %3!4x が返されたためアボートしています」
4008	「RSE4008: '%5' のときにバックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のクライアントに応答を書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」

エラーコード	メッセージテキスト
4009	「RSE4009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントから読み込んでいるときに、予期しない要求の終わりがありました」
4010	「RSE4010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされた要求インデックス %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しています」
4011	「RSE4011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッション番号 %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました」
4012	「RSE4012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッションフィンガープリント %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました。予期されたセッションフィンガープリントは %4 です。」
11000	「RSF11000：Relay Server のリストが長すぎます。Outbound Enabler 接続はアボートされました」
11001	「RSF11001: '%1' のときに共有メモリが足りなくなりました」
11002	「RSF11002: リモート管理のリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11003	「RSF11003: 設定全体をファイル '%3' に書き込んでいるときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11004	「RSF11004: 新しい設定を読み込んでいるときに、メモリ不足が発生しました」
11005	「RSF11005: '%1' のときに、プロトコルエラーが発生しました」

エラーコード	メッセージテキスト
11006	「RSF11006: '%1' を開いて設定の更新を適用できませんでした」
11007	「RSF11007: 設定を更新しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11008	「RSF11008: 管理コマンドを待機していましたが、%1 秒後にタイムアウトしました」
11009	「RSF11009: リモート管理ツールは途中で切断されました」
11010	「RSF11010: リモート管理ツールから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11011	「RSF11011: 先のエラーが原因で、ADMIN_CMD_CONFIG_CONTINUE パケットの処理を続行できません」
11012	「RSF11012: 設定ファイル '%2' の行 %1 でセクションヘッダーを予期しています」
11013	「RSF11013: ログファイル '%3' を '%4' にアーカイブしているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました」
11014	「RSF11014: リモート管理ツールに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11015	「RSF11015: モニターコマンドパケットの opcode が不正です」
11016	「RSF11016: 共有メモリですでに解放されたメモリブロックを解放しています」
11017	「RSE11017: バックエンドサーバー '%2' を追加しているときに、バックエンドファーム名 '%1' が見つかりませんでした」
11018	「RSF11018: バックエンドサーバー '%1' は、バックエンドファーム '%2' ですでに定義されているため追加できません」

エラーコード	メッセージテキスト
11019	「RSF11019: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' へのアクセスに使用するリソースを初期化できませんでした」
11020	「RSF11020: 設定ファイル '%2' で必須のセクション '%1' が見つかりません」
11021	「RSF11021: 共有ログの準備に失敗しました」
11022	「RSF11022 : 設定内のすべての Relay Server でデータ構造体を設定できませんでした」
11023	「RSF11023: Relay Server '%1' は、すでに設定で定義されています。」
11024	「RSF11024: バックエンドファーム情報の準備に失敗しました」
11025	「RSF11025: ヒープメモリが不足しています」
11026	「RSF11026: 起動時に内部データ構造体を作成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11027	「RSF11027: 内部データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11028	「RSF11028: システムエラー [SYS%1:%2] が共有メモリの作成中に発生しました。実行中の rshost プロセスをすべてシャットダウンし、Web サーバーを再起動してから、やり直してください。」
11029	「RSF11029: セマフォマネージャーの作成に失敗しました」
11030	「RSF11030: 共有データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11031	「RSF11031: Relay Server '%1' の共有メモリに付加できませんでした」

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラーコード	メッセージテキスト
11032	「RSF11032: 共有ログ '%3' に付加しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11033	「RSF11033 : 設定内の Relay Server のリストのデータ構造体を更新できませんでした」
11034	「RSF11034: バックエンドファームの変更を適用できませんでした」
11035	「RSF11035: バックエンドサーバーの変更を適用できませんでした」
11036	「RSF11036: 上りチャネルがビジー状態であるため、バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' へブロードキャストできませんでした」
11037	「RSF11037: ファーム '%1' は、すでに定義されています」
11038	「RSF11038: ログファイル '%3' の名前を変更しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
11039	「RSF11039: 共有メモリでメモリブロックがリークしました」
11040	「RSF11040 : Relay Server 設定ファイル '%1' を開けません」
11041	「RSF11041: Relay Server 設定ファイル '%1' の非表示は解除できません」
11042	「RSF11042: 設定ファイル '%2' の行 %1 の構文が正しくありません」
11043	「RSF11043: 設定ファイル '%2' の行 %1 のセクション名が不正です」
11044	「RSF11044: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ名が不正です」
11045	「RSF11045: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ値が不正です」

エラーコード	メッセージテキスト
11046	「RSF11046: 設定ファイル '%3' の行 %2 の '%1' セクションが重複しています」
11047	「RSF11047: 設定ファイル '%3' の行 %2 の必須のプロパティ '%1' が見つかりません」
12000	「RSF12000: バックエンドファーム '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13000	「RSF13000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' に使用するアクセプター UUID を生成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13001	「RSF13001: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13002	「RSF13002: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました」
13003	「RSF13003: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の要求リストを初期化しているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました」
13004	「RSF13004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の上りチャネルのアイドルセマフォを解放しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13005	「RSF13005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler がチャネル制限を %3 バイト超えて送信しています」
13006	「RSF13006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを読み込むためにロックしようとして失敗しました」

エラーコード	メッセージテキスト
13007	「RSF13007: %3 パケットをプッシュするためにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントのダウンロードパケットキューをロックしようとして失敗しました」
13008	「RSF13008: %5 パケットのプッシュ中、バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のダウンロードパケットキューに使用するセマフォを初期化するときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」
13009	「RSF13009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストが見つかりません」
13010	「RSF13010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で不正な要求インデックスのリサイクルが検出されました」
13011	「RSF13011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントトラフィック統計情報コレクターに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした」
14000	「RSF14000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' へのアクセスを初期化しているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました」
14001	「RSF14001: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました」
14002	「RSF14002: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした」
14003	「RSF14003: バックエンドファーム '%4' の要求対象バックエンドサーバー '%3' を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました」

エラーコード	メッセージテキスト
14004	「RSF14004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが '%3' のときに、ヒープメモリが足りなくなりました」
14005	「RSF14005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストから予期しない要求を削除しました」

Relay Server のエラーメッセージ (五十音順)

RSE0: エラーはありません

エラーコード	0
エラー定数	RSE_NO_ERROR

考えられる原因

このコードはエラーがなかったことを示しています。

RSE1000: クライアントはバックエンドファームで指定されていない URL を使用しました

エラーコード	1000
エラー定数	RSE_ROOT_NO_FARM_IN_URL

考えられる原因

クライアントによって、URL にバックエンドファームが指定されませんでした。要求がアボートされました。

RSE1001: クライアントは URL で認識されないファーム名 '%1' を指定しました

エラーコード	1001
エラー定数	RSE_ROOT_FARM_NOT_FOUND_BY_CLIENT

パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドファームが、Relay Server に設定されていません。要求がアボートされました。クライアントから送信されたバックエンドファーム名が、設定されているバックエンドファーム名と一致することを確認してください。ファーム名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE1002: Outbound Enabler で認識されないファーム名 '%1' を指定しました

エラーコード	1002
エラー定数	RSE_ROOT_FARM_NOT_FOUND_BY_SERVER
パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドファームが Relay Server に設定されていないため、接続が拒否されました。Outbound Enabler で指定されているバックエンドファーム名が、設定されているバックエンドファーム名と一致することを確認してください。ファーム名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE1003: クライアントからのデコードセッション ID '%1' は失敗しました

エラーコード	1003
エラー定数	RSE_ROOT_BAD_SESSION_ID
パラメーター 1	Relay Server のセッション ID

考えられる原因

クライアントによって、無効なセッション ID が送信されました。要求がアボートされました。クライアントでセッションを再開すると、このエラーは解決されます。

RSE1004: Outbound Enabler が無効なファームインデックスで接続しようとしました：%1

エラーコード	1004
エラー定数	RSE_ROOT_CHANNEL_CONNECT_WITH_INVALID_FARM_IDX
パラメーター 1	バックエンドファームインデックス

考えられる原因

このバックエンドファームは前に Relay Server 設定から削除されました。接続が拒否されました。設定済みのバックエンドファーム名が Outbound Enabler で使用されていることを確認してから、Outbound Enabler を再起動してください。

RSE1005：Relay Server の設定要求はキャンセルされました

エラーコード	1005
エラー定数	RSE_ROOT_ADMIN_CANCEL

考えられる原因

設定の要求がキャンセルされました。以前の設定が引き続き有効となります。新しい Relay Server 設定を使用する場合は、再適用してください。

RSE1006: SA モニターコマンドの待機中に SA がタイムアウトしました

エラーコード	1006
エラー定数	RSE_ROOT_MON_READ_TIMEOUT

考えられる原因

SA モニターは、指定時間内に応答しなかったため、切断されました。このエラーが発生した後、SA モニターは自動的に再接続されます。このエラーが解決されない場合は、SA モニターを実行しているマシンに十分なリソースがあることを確認してください。

RSE1007: SA モニターは途中で切断されました

エラーコード	1007

エラー定数	RSE_ROOT_MON_DISCONNECT_EARLY

考えられる原因

SA モニターが不完全なまま切断されました。このエラーが発生した後、SA モニターは自動的に再接続されます。

RSE1008: SA モニター要求を読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	1008
エラー定数	RSE_ROOT_MON_READ_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

SA モニターからの読み込みで通信エラーが発生し、SA モニターの接続が切断されました。SA モニターが引き続き正常に実行されている場合は、このエラーが発生した後、SA モニターが自動的に再接続されています。

RSE1009: SA モニターに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	1009
エラー定数	RSE_ROOT_MON_WRITE_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

SA モニターへの書き込みで通信エラーが発生し、SA モニターの接続が切断されました。SA モニターが引き続き正常に実行されている場合は、このエラーが発生した後、SA モニターが自動的に再接続されています。

RSE1010: 設定を同時に更新できません

エラーコード	1010
エラー定数	RSE_ROOT_NO_CONCUR_CONFIG_UPDATE

考えられる原因

別の設定要求の進行中に、2 番目の設定要求が試行されました。2 番目の設定要求がアボートされました。現在の設定更新が完了するまで待機してから、別の設定更新を試行してください。

RSE1011: URL で無効または不正なセッションパラメーターが発生しました : '%1'

エラーコード	1011
エラー定数	RSE_ROOT_BAD_AFQ
パラメーター 1	IAS-RS-AFQ セッションパラメーターの値

考えられる原因

Relay Server が、クライアントから送信された URL 内のセッションパラメーターを解釈できませんでした。要求がアボートされました。Relay Server とクライアントソフトウェアまたはバックエンドサーバーとの間に、互換性の問題が存在する可能性があります。ご使用のクライアントかバックエンドサーバーまたはその両方に関して、マニュアルを参照するか、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE1012: Outbound Enabler からの要求はチャンクしないでください

エラーコード	1012
エラー定数	RSE_ROOT_INVALID_CHUNKED_OE_REQUEST

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。要求が無視されました。Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されず、Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE1013: Outbound Enabler からの要求は最小パケットサイズより小さくできません

エラーコード	1013
エラー定数	RSE_ROOT_OE_REQUEST_TOO_SMALL

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。要求が無視されました。Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されず、Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE1014: Outbound Enabler からの最初のパケットを待機しているときにタイムアウトしました

エラーコード	1014
エラー定数	RSE_ROOT_OE_FIRST_READ_TIMEOUT

考えられる原因

Outbound Enabler が指定時間内に応答しなかったため、接続が切断されました。チャネルが確立されるまでの最初の読み込みタイムアウトは 60 秒です。

RSE1015: Outbound Enabler から無効な最初の '%1' パケットです

エラーコード	1015
エラー定数	RSE_ROOT_INVALID_FIRST_OE_PACKET
パラメーター 1	Outbound Enabler のパケットタイプ

考えられる原因

おそらく Outbound Enabler からではない、不正な要求が発行されました。Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されず、Relay Server がバックエンドファームにアクセスできない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE1016: ファーム '%2' でサーバー '%1' の上りチャネルを切断しているときにタイムアウトしました

エラーコード	1016
エラー定数	RSE_ROOT_TIMEOUT_DISCONNECT_CHANNEL

考えられる原因

Outbound Enabler が、指定時間内に Relay Server のシャットダウンに応答しませんでした。ハードシャットダウンが開始され、未処理のチャネルとクライアント接続がすべて突然アボートされました。

RSE1017: ソフトシャットダウン中に下りチャネルおよびクライアントが共有メモリから切断するのを待機しているときに、タイムアウトしました

エラーコード	1017
エラー定数	RSE_ROOT_DETACH_TOO_LONG

考えられる原因

すべての上りチャネルが停止されましたが、一部のクライアント接続または下りチャネルが、指定時間内に Relay Server のシャットダウンに応答しませんでした。ハードシャットダウンが開始され、未処理のチャネルとクライアント接続がすべて突然アボートされました。

RSE11017: バックエンドサーバー '%2' を追加しているときに、バックエンドファーム名 '%1' が見つかりませんでした

エラーコード	11017
エラー定数	RSF_ROOT_FARM_NOT_FOUND_ADDING_SERVER
パラメーター 1	バックエンドファーム名
パラメーター 2	バックエンドサーバー名

考えられる原因

各バックエンドファームを設定に追加してから、バックエンドサーバーをバックエンドファームに追加する必要があります。Outbound Enabler に正しいバックエンドファーム名が設定されていることを確認してください。

RSE2000: バックエンドファーム '%1' は現在無効です

エラーコード	2000
エラー定数	RSE_FARM_DISABLED
パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドファームが Relay Server 設定で見つかりましたが、無効になっていました。クライアントまたは Outbound Enabler から送信されるバックエンドファーム名を有効な名前に変更するか、指定されたバックエンドファームを有効にしてください。

RSE2001: ファーム '%1' でクライアントセキュリティ要件が満たされていません

エラーコード	2001
エラー定数	RSE_FARM_CLIENT_SECURITY_DISALLOWED
パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

client_security プロパティを使用して特定のクライアントセキュリティを要求するようにバックエンドファームが設定されましたが、ファームにアクセスするクライアントがこの要件を満たしていません。要求がアボートされました。

RSE2002: アプリケーションタイムアウトの %2 秒以内にクライアント要求をファーム '%1' のバックエンドサーバーに割り当てることができませんでした

エラーコード	2002
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_NOT_AVAILABLE
パラメーター 1	バックエンドファーム名
パラメーター 2	アプリケーションのタイムアウト制限値 (秒)

考えられる原因

利用可能なバックエンドサーバーがその時点で存在しなかったか、サーバーが非常にビジーでした。要求がアボートされました。要求を後でリトライしてください。

RSE2003: バックエンドサーバー '%1' がファーム '%2' で見つからなかったため、クライアントからのセッション ID を使用できませんでした

エラーコード	2003
エラー定数	RSE_FARM_BAD_SERVER_NAME_IN_SESSION_ID
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求のセッション ID に不正なバックエンドサーバー名が含まれていました。要求がアボートされました。Relay Server 設定で、このバックエンドサーバーが削除されたか、無効になった可能性があります。通常、このエラーは設定の変更によって一時的に発生します。ファーム内に少なくとも 1 つのアクティブなバックエンドサーバーが存在する場合、新しいクライアントセッションを開始すると、そのセッションは成功します。

RSE2004: バックエンドファーム '%1' でバックエンドセキュリティ要件が満たされていません

エラーコード	2004
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_SECURITY_DISALLOWED
パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドファームは、backend_security プロパティを使用して特定のバックエンドセキュリティを要求するように設定されましたが、ファームにアクセスする Outbound Enabler で要件が満たされていません。接続がアボートされました。

RSE2005: バックエンドサーバー '%1' は、バックエンドファーム '%2' でメンバーとして認識されていません

エラーコード	2005
エラー定数	RSE_FARM_SERVER_NOT_CONFIGURED
パラメーター 1	バックエンドサーバー名

パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

指定されたバックエンドサーバー名は、指定されたバックエンドファームの既知のメンバーではありません。Outbound Enabler に指定されたバックエンドサーバー名とバックエンドファーム名が、Relay Server 設定での対応する名前と一致することを確認してください。ファーム名とサーバー名の比較では、大文字と小文字が区別されます。

RSE2006: Outbound Enabler はファーム '%2' で無効なサーバーインデックス %1 のチャネルに接続しています

エラーコード	2006
エラー定数	RSE_FARM_CHANNEL_CONNECT_WITH_INVALID_SERVER_IDX
パラメーター 1	バックエンドサーバーインデックス
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

通常、マルチ要求セッションがアクティブなときに、Relay Server 設定でバックエンドサーバーが削除されるか、または無効になると、無効なサーバーインデックスが発生します。接続が拒否されました。通常、このエラーは設定の変更によって一時的に発生します。ファーム内に少なくとも 1 つのアクティブなバックエンドサーバーが存在する場合、新しいクライアントセッションを開始すると、そのセッションは成功します。

RSE3000: バックエンドファーム '%3' のバックエンドサーバー '%2' の MAC アドレス '%1' が不正です

エラーコード	3000
エラー定数	RSE_SERVER_UNAUTHORIZED_MAC
パラメーター 1	Outbound Enabler の MAC アドレス
パラメーター 2	バックエンドサーバー名
パラメーター 3	バックエンドファーム名

考えられる原因

Relay Server は、指定されたバックエンドサーバーに Outbound Enabler が接続する場合に MAC アドレス検証を要求するように設定されましたが、接続する Outbound Enabler が必須 MAC アドレスに一致しませんでした。接続が拒否されました。設定された MAC アドレスが正しいことを確認してください。

RSE3001: ファーム '%3' のバックエンドサーバー '%2' のトークン '%1' を取得しましたが、予期したのは '%4' でした

エラーコード	3001
エラー定数	RSE_SERVER_UNAUTHORIZED_TOKEN
パラメーター 1	受信されたトークン
パラメーター 2	バックエンドサーバー名
パラメーター 3	バックエンドファーム名
パラメーター 4	予期されたトークン

考えられる原因

バックエンドサーバーは、指定されたバックエンドサーバーに Outbound Enabler が接続する場合にトークン検証を要求するように設定されましたが、接続する Outbound Enabler が必須トークンに一致しませんでした。接続が拒否されました。設定されたトークンが正しいことを確認してください。

RSE3002: バックエンドファーム '%1' のバックエンドサーバー '%2' は、サポートされていない Outbound Enabler を使用しています

エラーコード	3002
エラー定数	RSE_SERVER_BETA_OE_NOT_SUPPORTED
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler をサポートされている新しいバージョンにアップグレードする必要があります。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

RSE3003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' に対する冗長 Outbound Enabler 接続は無視されました

エラーコード	3003
エラー定数	RSE_SERVER_REDUNDANT_OE
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

2 番目の Outbound Enabler が、接続済みの既存の Outbound Enabler と同じサーバー ID を使用して接続しました。新しいインスタンスは拒否されました。すべての Outbound Enabler が、ユニークなサーバー ID を使用して適切に設定されていることを確認してください。

RSE3004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の下りチャネルから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	3004
エラー定数	RSE_SERVER_READ_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、Relay Server と Outbound Enabler 間のネットワークの問題によって発生している可能性があります。通常、このエラーが発生した後、Outbound Enabler では再接続を試みます。

RSE3005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler インスタンスが一致しません

エラーコード	3005

エラー定数	RSE_SERVER_CONNECT_WITH_MISMATCH_OE_UUID
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、同じサーバー ID を使用しているために競合している Outbound Enabler が存在する場合に発生する可能性があります。各 Outbound Enabler にユニークなサーバー ID を設定する必要があります。バックエンドサーバートークンの機密性が保持されるようにしてください。トークンが危険にさらされている恐れがある場合は、Relay Server の管理者に依頼して、バックエンドサーバートークンを更新してください。

RSE3007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で再接続された上りチャネルを使用しましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	3007
エラー定数	RSE_SERVER_FAIL_ENGAGE_UPCHANNEL
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	Outbound Enabler のタイムアウト制限値

考えられる原因

このエラーが繰り返し発生する場合は、Relay Server を再起動する必要がある場合があります。

RSE3008: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' が Relay Server 設定から削除されたか無効になったため、バックエンドサーバーチャネルがアボートされました。

エラーコード	3008
エラー定数	RSE_SERVER_DISABLED
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーへの既存の要求が中断されます。通常、このエラーは一時的に発生します。既存の要求が一度アボートされると、Relay Server は指定されたバックエンドサーバーにトラフィックをリダイレクトしなくなります。

RSE3009: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の上りチャネルに書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	3009
エラー定数	RSE_SERVER_WRITE_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーへの書き込み時に、ネットワーク通信エラーが発生しました。通常、このエラーが発生した後、Outbound Enabler では再接続を試みます。

RSE3010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler では -af スイッチが使用されていますが、このスイッチはサポートされなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください

エラーコード	3010
エラー定数	RSE_SERVER_OLD_OE_WITH_DASH_AF
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Afaria サーバー用の -af スイッチが Outbound Enabler に導入されましたが、このスイッチの使用は現在の Relay Server ではサポートされなくなりました。現在の Relay Server では、Outbound

Enabler で -af スイッチを使用する必要がなくなりました。Outbound Enabler をアップグレードしてください。

RSE3011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で、未知のイベントが発生しました

エラーコード	3011
エラー定数	RSE_SERVER_UNKNOWN_OE_EVENT
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。この問題が解決しない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE3012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' からのパケットが不正です

エラーコード	3012
エラー定数	RSE_SERVER_PROTOCOL_ERROR
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。この問題が解決しない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE3013: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler によるアクティビティを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	3013

エラー定数	RSE_SERVER_LIVENESS_TIMEOUT
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	Outbound Enabler のタイムアウト制限値

考えられる原因

Outbound Enabler が応答せず、関連付けられているチャネルがアボートされました。指定されたバックエンドサーバーを対象とする、現在のマルチ要求セッションも失敗した可能性があります。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

RSE3014: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler は、途中で切断されました

エラーコード	3014
エラー定数	RSE_SERVER_DISCONNECT_EARLY
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このことは、ネットワークの問題、または Outbound Enabler プロセスが突然終了したことによって発生している可能性があります。指定されたバックエンドサーバーを対象とする、現在のマルチ要求セッションが失敗した可能性があります。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

RSE4000: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の上りチャネルを待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4000
エラー定数	RSE_CLIENT_TIMEOUT_WAITING_FOR_UP_CHANNEL
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

パラメーター 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

タイムアウトになったため、バックエンドサーバーを利用できなくなりました。要求がアボートされました。Outbound Enabler が自動的に再接続されない場合は、Outbound Enabler が適切に機能していることを確認します。

RSE4001: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントから読み込んでいましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4001
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_TIMEOUT
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

Relay Server では、要求内により多くのバイトが含まれていることを予期していましたが、クライアントから送信されませんでした。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4002: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のクライアントから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	4002
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

考えられる原因

このことは、Relay Server とクライアントの間のネットワーク通信の問題によって発生している可能性があります。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4003: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントはバックエンドサーバーの応答を待機していましたが、%3 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	4003
エラー定数	RSE_CLIENT_TIMEOUT_WAITING_FOR_RESPONSE
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	アプリケーションのタイムアウト制限値

考えられる原因

クライアントはバックエンドサーバーからの応答を予期していましたが、バックエンドサーバーから時間内に送信されませんでした。要求がアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler が、セッションエラー OEE%3 (パラメーター '%4', '%5', '%6') を報告しました

エラーコード	4004
エラー定数	RSE_CLIENT_RSOE_REPORT_SESSION_ERROR
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	Outbound Enabler のエラーコード
パラメーター 4	Outbound Enabler のエラーパラメーター番号 1
パラメーター 5	Outbound Enabler のエラーパラメーター番号 2

パラメーター 6	Outbound Enabler のエラーパラメーター番号 3

考えられる原因

Outbound Enabler によって、クライアントセッションのトラフィック処理のエラーが報告されました。セッションがアボートされました。クライアントでは、エラーが表示される場合があり、要求がリトライされます。

RSE4005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、バックエンドサーバーが使用不可であるためアボートしています

エラーコード	4005
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_BACKEND_DOWN
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler は、引き続きバックエンドサーバーをモニタリングし、バックエンドサーバーがリストアされると、サービスを自動的にリカバリしようとします。

RSE4006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler がシャットダウンしているためアボートしています

エラーコード	4006
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_OE_SHUTDOWN
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーのサービスは、バックエンドサーバーの Outbound Enabler が再起動しないと使用できません。

RSE4007: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアント要求は、Outbound Enabler から予期しない下りチャネルパケット opcode %3!4x が返されたためアボートしています

エラーコード	4007
エラー定数	RSE_CLIENT_ABORT_BY_RSOE_PROTOCOL_ERROR
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	下りチャネルパケット opcode

考えられる原因

Outbound Enabler だけがサーバーの拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE4008: '%5' のときにバックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のクライアントに応答を書き込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	4008
エラー定数	RSE_CLIENT_WRITE_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード (存在する場合)。それ以外の場合は 0
パラメーター 2	システムエラーメッセージ (存在する場合)。それ以外の場合は NULL
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名
パラメーター 5	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE4009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントから読み込んでいるときに、予期しない要求の終わりがありました

エラーコード	4009
エラー定数	RSE_CLIENT_READ_NOT_ENOUGH_CONTENT
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアントまたは仲介者でエラーが発生したため、要求が不完全なまま終了しました。クライアントによって要求がリトライされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE4010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされた要求インデックス %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しています

エラーコード	4010
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_REQUEST_INDEX
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	内部要求インデックス

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからの要求は、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

RSE4011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッション番号 %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました

エラーコード	4011
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_SESSION_NUMBER
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	内部セッション番号

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからのセッションは、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSE4012: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが、誤ってルーティングされたセッションフィンガープリント %3 の OE_SERVER_RESPONSE パケットを無視しました。予期されたセッションフィンガープリントは %4 です。

エラーコード	4012
エラー定数	RSE_CLIENT_UNEXPECTED_SESSION_FINGER_PRINT
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	受信されたパケットの内部セッションフィンガープリント
パラメーター 4	パケットを受信した要求の内部セッションフィンガープリント

考えられる原因

誤ってルーティングされたパケットが無視され、クライアントに配信されませんでした。誤ってルーティングされたパケットの本来の配信先であるクライアントからのセッションは、アボートされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11000：Relay Server のリストが長すぎます。Outbound Enabler 接続はアボートされました

エラーコード	11000
エラー定数	RSF_ROOT_RS_LIST_TOO_LONG

考えられる原因

このエラーが発生することはまれです。Relay Server では、設定の合計サイズに制限があります。ファーム内の Relay Server の数とホスト名のサイズが、合計リストサイズに影響を及ぼします。ドット文字を使用した IP アドレスにホスト名を置き換えるか、設定エントリからドメイン名を削除するか、または Relay Server の数を減らすことによって、この問題を解決できます。これらの変更は、Relay Server の設定を更新することによって実行できます。

RSF11001: '%1' のときに共有メモリが足りなくなりました

エラーコード	11001
エラー定数	RSF_ROOT_OUT_OF_SHM
パラメーター 1	内部コンテキスト

考えられる原因

Relay Server では、起動時に決定される固定サイズを持つ、事前に割り付けられた共有メモリから、メモリブロックを割り付けできませんでした。このサイズは、Relay Server 設定ファイルのオプションセクションで、shared_mem プロパティを使用して任意で指定できます。デフォルト値は 10 M です。この値を変更する場合は、Relay Server を再起動する必要があります。

RSF11002: リモート管理のリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11002
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_USE_FAIL

パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

リモート管理を妨げるリソース問題があります。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11003: 設定全体をファイル '%3' に書き込んでいるときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11003
エラー定数	RSF_ROOT_WRITE_CONFIG_FILE_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定が Relay Server に適用され、有効になっていますが、設定ファイルの更新は失敗しました。Relay Server を再起動すると、最後に保存された設定に戻ります。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11004: 新しい設定を読み込んでいるときに、メモリ不足が発生しました

エラーコード	11004
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_OUT_OF_MEM

考えられる原因

メモリ不足のため、設定の更新がアボートされました。IIS ベースの Relay Server の場合は、Relay Server の Web サーバー拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカープロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server マシン上で実行されている他のアプリケーションを他のマシンにオフロードすることも有効です。

RSF11005: '%1' のときに、プロトコルエラーが発生しました

エラーコード	11005
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_PROTOCOL_ERROR
パラメーター 1	内部コンテキスト

考えられる原因

管理要求が無効です。管理拡張機能へのリモートアクセスは、不正なアクセスから保護するために、HTTP 認証と HTTPS を使用してセキュリティ保護する必要があります。

RSF11006: '%1' を開いて設定の更新を適用できませんでした

エラーコード	11006
エラー定数	RSF_ROOT_OPEN_CONFIG_FILE_FAIL
パラメーター 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定が Relay Server に適用され、有効になっていますが、設定ファイルの更新は失敗しました。Relay Server を再起動すると、最後に保存された設定に戻ります。Relay Server のステイトマネージャープロセスが、更新する設定を開くことができる十分なパーミッションを持っていることを確認してください。

RSF11007: 設定を更新しているときに、システムエラー [SYS %1: %2] が発生しました

エラーコード	11007
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_RECONFIG_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

Relay Server の再設定に失敗しました。結果として行われた設定は破損している可能性があり、さらに設定更新を行って修正する必要がある場合があります。元の設定ファイルは、失敗した設定で更新されることはありません。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

RSF11008: 管理コマンドを待機していましたが、%1 秒後にタイムアウトしました

エラーコード	11008
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_READ_TIMEOUT
パラメーター 1	管理のタイムアウト制限値

考えられる原因

Relay Server は追加の管理コマンドが発行されることを予期していましたが、リモート管理ツールによって時間内に送信されませんでした。要求がアボートされました。リトライしてください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11009: リモート管理ツールは途中で切断されました

エラーコード	11009
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_DISCONNECT_EARLY

考えられる原因

このことは、ネットワークの問題、またはリモート管理ツールが突然終了したことによって発生している可能性があります。もう一度実行してください。

RSF11010: リモート管理ツールから読み込んでいるときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11010
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_READ_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

このことは、Relay Server とリモート管理ツール間のネットワーク通信の問題によって発生している可能性があります。要求がアボートされました。もう一度実行してください。

RSF11011: 先のエラーが原因で、ADMIN_CMD_CONFIG_CONTINUE パケットの処理を続行できません

エラーコード	11011
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_CONTINUE_FAIL

考えられる原因

同じ行ラベルを持つ前のエラーを参照して、問題の原因を確認してください。

RSF11012: 設定ファイル '%2' の行 %1 でセクションヘッダーを予期しています

エラーコード	11012
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_EXPECT_SECTION_HEADER
パラメーター 1	行番号
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルには、指定された行番号に必須のセクションヘッダーのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11013: ログファイル '%3' を '%4' にアーカイブしているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11013
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_ARCHIVE_LOG_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	現在のログファイル名

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

パラメーター 4	アーカイブログファイル名 (使用できる場合)。それ以外の場合は空

考えられる原因

アーカイブログの作成、現在のログの内容のコピー、または現在のログのトランケーションを実行しているとき、システムエラーが発生しました。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11014: リモート管理ツールに応答を書き戻しているときに、通信エラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11014
エラー定数	RSF_ROOT_ADMIN_WRITE_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

リモート管理ツールに報告を返すときに通信エラーが発生しました。再設定が行われた後に、要求がアボートされました。もう一度実行してください。

RSF11015: モニターコマンドパケットの opcode が不正です

エラーコード	11015
エラー定数	RSF_ROOT_MON_PROTOCOL_ERROR

考えられる原因

SA モニターだけが、モニター拡張機能にアクセスしていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11016: 共有メモリですでに解放されたメモリブロックを解放しています

エラーコード	11016
エラー定数	RSF_ROOT_MEMORY_ALREADY_FREED

考えられる原因

これは内部エラーです。Relay Server 内の共有メモリマネージャーは、このタイプのエラーが発生しないように保護されており、Relay Server は引き続き安定した状態であり、再起動も必要ありません。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11018: バックエンドサーバー '%1' は、バックエンドファーム '%2' ですでに定義されているため追加できません

エラーコード	11018
エラー定数	RSF_ROOT_SERVER_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、Relay Server の設定時に発生し、設定操作の他の部分には影響しません。ただし、前に定義されたバックエンドサーバーの新しい設定は、Relay Server に適用されません。Relay Server の設定を再適用することが必要となる場合があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11019: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' へのアクセスに使用するリソースを初期化できませんでした

エラーコード	11019
エラー定数	RSF_ROOT_INIT_SERVER_FAIL
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このことは、起動時に決定される固定サイズを持つ、事前に割り付けられた共有メモリからメモリブロックを割り付けできなかったことによって、発生する場合があります。このサイズは、Relay Server 設定ファイルのオプションセクションで、shared_mem プロパティを使用して任意で指定できます。デフォルト値は 10 M です。この値を変更する場合は、Relay Server を再起動する必要があります。このエラーは、他のシステムリソース制限によって発生することもあります。

RSF11020: 設定ファイル '%2' で必須のセクション '%1' が見つかりません

エラーコード	11020
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_MISSING_SECTION
パラメーター 1	設定セクション名
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルには、指定された行番号に必須のセクションのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11021: 共有ログの準備に失敗しました

エラーコード	11021
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_PREPARE_SHARED_LOG

考えられる原因

ステイトマネージャーが実行されていることを確認してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11022 : 設定内のすべての Relay Server でデータ構造体を設定できませんでした

エラーコード	11022
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_SETUP_RS_LIST

考えられる原因

このことは、設定に Relay Server が重複しているか、または全 Relay Server のリストの作成時に Relay Server のリソースが不足すると発生する場合があります。設定内の Relay Server の名前がユニークであること、および Relay Server を実行しているマシンに十分なリソースがあることを確認してください。

RSF11023: Relay Server '%1' は、すでに設定で定義されています。

エラーコード	11023
エラー定数	RSF_ROOT_RS_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメーター 1	Relay Server のホスト名

考えられる原因

2 つの Relay Server が同じホスト名を使用できません。Relay Server ファーム内の各 Relay Server にユニークな名前が付けられていることを確認してください。

RSF11024: バックエンドファーム情報の準備に失敗しました

エラーコード	11024
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_PREPARE_FARMS

考えられる原因

一部のバックエンドファームの準備に失敗しました。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11025: ヒープメモリが不足しています

エラーコード	11025
エラー定数	RSF_ROOT_OUT_OF_MEM

考えられる原因

IIS ベースの Relay Server の場合は、Relay Server の Web サーバー拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカープロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server コンピューター上で実行されている他のアプリケーションを他のコンピューターにオフロードすることも有効です。

RSF11026: 起動時に内部データ構造体を作成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11026
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CREATE_ROOT
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11027: 内部データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11027
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_INIT_ROOT
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11028: システムエラー [SYS%1:%2] が共有メモリの作成中に発生しました。実行中の rshost プロセスをすべてシャットダウンし、Web サーバーを再起動してから、やり直してください。

エラーコード	11028
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CRT_SHM
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

実行中のすべての rshost プロセスをシャットダウンし、Web サーバーを再起動してから、リトライしてください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11029: セマフォマネージャーの作成に失敗しました

エラーコード	11029
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_CREATE_SEM_MGR

考えられる原因

ご使用のシステムで System V セマフォが不足していないことを確認してください。

RSF11030: 共有データ構造体を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11030
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_INIT_ROOT_USE
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11031: Relay Server '%1' の共有メモリに付加できませんでした

エラーコード	11031
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_ATTACH_SHM
パラメーター 1	Relay Server の内部名

考えられる原因

Windows システムの場合は、rshost が付加プロセスと同じネームスペースの下で実行されていることを確認してください。このエラーは、ステイトマネージャーが無効な設定ファイルによる自動起動に失敗した場合も発生することがあります。管理ツールを使用して、設定を生成および展

開することをおすすめします。設定ファイルを手動で作成する場合は、検証手順の一部として rshost ユーティリティを使用して設定を検証してから、設定ファイルの使用を開始すると有益です。ステイトマネージャーの起動は、ステイトマネージャーを運用システムのサービスとして設定して行うことをおすすめします。

RSF11032: 共有ログ '%3' に付加しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11032
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_ATTACH_LOG
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	共有ログファイル名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11033 : 設定内の Relay Server のリストのデータ構造体を更新できませんでした

エラーコード	11033
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_RS_LIST

考えられる原因

接続された Outbound Enabler への更新のブロードキャストでエラーが発生したか、または更新操作時に共有メモリ不足がありました。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。Relay Server 設定内のオプションセクションの shared_mem プロパティを増やして、Relay Server を再起動します。

RSF11034: バックエンドファームの変更を適用できませんでした

エラーコード	11034
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_FARM

考えられる原因

一部のバックエンドファームの設定の更新に失敗しました。設定の更新は一部のみ適用されました。リトライしてください。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11035: バックエンドサーバーの変更を適用できませんでした

エラーコード	11035
エラー定数	RSF_ROOT_FAILED_UPDATE_SERVER

考えられる原因

一部のバックエンドサーバーの設定の更新に失敗しました。設定の更新は一部のみ適用されました。リトライしてください。ログファイル内の、このエラーの前にある同じ行ラベルを持つエラーに、詳細情報が示されている場合があります。

RSF11036: 上りチャネルがビジー状態であるため、バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' へブロードキャストできませんでした

エラーコード	11036
エラー定数	RSF_ROOT_BROADCAST_UPCH_TOO_BUSY
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーへのブロードキャストがスキップされました。設定の更新をリトライしてください。

RSF11037: ファーム '%1' は、すでに定義されています

エラーコード	11037
エラー定数	RSF_ROOT_FARM_PREVIOUSLY_DEFINED
パラメーター 1	バックエンドファーム名

考えられる原因

Relay Server の設定に重複したバックエンドファーム名を含めることはできません。バックエンドファーム名がユニークであることを確認してください。

RSF11038: ログファイル '%3' の名前を変更しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	11038
エラー定数	RSF_ROOT_RENAME_LOG_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	現在のログファイル名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF11039: 共有メモリでメモリブロックがリークしました

エラーコード	11039
エラー定数	RSF_ROOT_SHM_LEAK

考えられる原因

これは内部エラーです。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF11040：Relay Server 設定ファイル '%1' を開けません

エラーコード	11040
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_OPEN_FILE
パラメーター 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

Relay Server 設定ファイルが存在し、rshost プロセスにアクセスできることを確認してください。

RSF11041: Relay Server 設定ファイル '%1' の非表示は解除できません

エラーコード	11041
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_UNHIDE
パラメーター 1	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

設定ファイルが破損している可能性があります。新しい非表示の設定ファイルは、dbfhide ユーティリティを使用して作成する必要があります。

RSF11042: 設定ファイル '%2' の行 %1 の構文が正しくありません

エラーコード	11042
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_LINE_FMT
パラメーター 1	行番号
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号の構文が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11043: 設定ファイル '%2' の行 %1 のセクション名が不正です

エラーコード	11043
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_SECTION_NAME
パラメーター 1	行番号
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のセクション名が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11044: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ名が不正です

エラーコード	11044
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_PROP_NAME
パラメーター 1	行番号
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のプロパティ名が無効です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11045: 設定ファイル '%2' の行 %1 のプロパティ値が不正です

エラーコード	11045
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_BAD_VALUE
パラメーター 1	行番号
パラメーター 2	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のプロパティ値が不正です。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11046: 設定ファイル '%3' の行 %2 の '%1' セクションが重複しています

エラーコード	11046
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_CANT_REPEAT_SECTION
パラメーター 1	設定セクション名
パラメーター 2	行番号
パラメーター 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号のセクションが重複しています。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF11047: 設定ファイル '%3' の行 %2 の必須のプロパティ '%1' が見つかりません

エラーコード	11047
エラー定数	RSF_ROOT_CONFIG_MISSING_PROP
パラメーター 1	プロパティ名
パラメーター 2	行番号
パラメーター 3	Relay Server 設定ファイル

考えられる原因

指定された Relay Server 設定ファイルの指定された行番号に必須のプロパティのエントリがありません。管理ツールを使用して設定ファイルを生成するか、または設定ファイルのマニュアルを参照して、ファイルを直接修正してください。

RSF12000: バックエンドファーム '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	12000

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

エラー定数	RSF_FARM_FAIL_ACCESS
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' に使用するアクセプター UUID を生成しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13000
エラー定数	RSF_SERVER_RS_UUID_GENERATION_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13001: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' へのアクセスに使用するリソースを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13001
エラー定数	RSF_SERVER_INIT_FAIL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ

パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13002: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	13002
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_WLOCK_REQUEST_LIST
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーは、Outbound Enabler が再起動されるまで使用できない可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13003: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の要求リストを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13003
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_INIT_REQUEST_LIST
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。Outbound Enabler によって、サービスが自動的にリカバリされます。

RSF13004: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' の上りチャネルのアイドルセマフォを解放しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13004
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_SIGNIFYING_UPCHANNEL_IDLE
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーは、Relay Server が再起動されるまで不安定である可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Outbound Enabler がチャネル制限を %3 バイト超えて送信しています

エラーコード	13005
エラー定数	RSF_SERVER_CONTENT_OVERFLOW
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	余分なバイト数

考えられる原因

これは内部 Outbound Enabler エラーです。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13006: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを読み込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	13006
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_RLOCK_REQUEST_LIST
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

バックエンドサーバーは、Outbound Enabler が再起動されるまで使用できない可能性があります。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13007: %3 パケットをプッシュするためにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントのダウンロードパケットキューをロックしようとして失敗しました

エラーコード	13007
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_LOCK_PUSH_DNQ
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	パケット名

考えられる原因

クライアント要求への応答が配信されませんでしたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。このクライアントでは、エラーを受信する場合があり、リトライが実行されます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13008: %5 パケットのプッシュ中、バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' のダウンロードパケットキューに使用するセマフォを初期化するときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	13008
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_INIT_DNQ_SEMA
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名
パラメーター 5	パケット名

考えられる原因

システムエラーに応じて、問題を修正してください。

RSF13009: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストが見つかりません

エラーコード	13009
エラー定数	RSF_SERVER_MISSING_REQUEST_LIST
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

Outbound Enabler によって、サービスが自動的にリカバリされます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13010: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' で不正な要求インデックスのリサイクルが検出されました

エラーコード	13010
エラー定数	RSF_SERVER_FAULTY_REQUEST_IDX_RECYCLING
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求と応答が適切にルーティングされなかった可能性がありますが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF13011: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントトラフィック統計情報コレクターに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした

エラーコード	13011
エラー定数	RSF_SERVER_FAIL_NEWING_CLIENT_STATISTIC
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、バックエンドサーバーは引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが解決されない場合は、共有メモリの制限値を増やすことを検討し、Relay Server を再起動してください。

RSF14000: バックエンドファーム '%4' のバックエンドサーバー '%3' へのアクセスを初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	14000
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_INIT_SERVER_ACCESS
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求がアボートされました。システムエラーに応じて、問題の修正を試行してください。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

RSF14001: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストを書き込むためにロックしようとして失敗しました

エラーコード	14001
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_WLOCK_REQUEST_LIST
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	内部コンテキスト

考えられる原因

バックエンドサーバーがビジー状態でした。クライアント要求がアボートされました。負荷に対処するために、バックエンドサーバーまたは Relay Server を追加する必要がある場合があります。

RSF14002: '%3' のときにバックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントに使用する共有メモリブロックを割り当てることができませんでした

エラーコード	14002
エラー定数	RSF_CLIENT_OUT_OF_SHM
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが解決されない場合は、共有メモリの制限値を増やすことを検討し、Relay Server を再起動してください。

RSF14003: バックエンドファーム '%4' の要求対象バックエンドサーバー '%3' を初期化しているときに、システムエラー [SYS%1: %2] が発生しました

エラーコード	14003
エラー定数	RSF_CLIENT_FAIL_INIT_REQUEST
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	バックエンドサーバー名
パラメーター 4	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。システムエラーに応じて、問題を修正してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

RSF14004: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' のクライアントが '%3' のときに、ヒープメモリが足りなくなりました

エラーコード	14004
エラー定数	RSF_CLIENT_OUT_OF_MEM
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名
パラメーター 3	内部コンテキスト

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。メモリ不足は、一時的な大量トラフィックによって発生する可能性があります。このエラーが IIS ベースの Relay Server で解決されない場合は、Relay Server の Web サーバー拡張機能のメモリ使用量がアプリケーションプール設定によって制限されているかどうかを確認してください。32 ビット IIS でアプリケーションプールの最大ワーカープロセス数を増やすと、負荷の分散に役立ちます。また、64 ビットの Relay Server にアップグレードしたり、Relay Server ファームに Relay Server を追加したりすることも、有効な解決法です。Relay Server マシン上で実行されている他のアプリケーションを他のマシンにオフロードすることも有効です。

RSF14005: バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の要求リストから予期しない要求を削除しました

エラーコード	14005
エラー定数	RSF_CLIENT_REMOVED_WRONG_REQUEST
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

クライアント要求がアボートされましたが、他のクライアントはバックエンドサーバーを引き続き使用できます。このエラーが解決されない場合は、弊社製品の保守契約を結んでいるサポートセンターに問い合わせてください。

バックエンドファーム '%2' のバックエンドサーバー '%1' の Relay Server インスタンスが一致しません。

エラーコード	3006
エラー定数	RSE_SERVER_CONNECT_WITH_MISMATCH_RS_UUID
パラメーター 1	バックエンドサーバー名
パラメーター 2	バックエンドファーム名

考えられる原因

このエラーは、同じサーバー ID を使用しているために競合している Outbound Enabler が存在する場合に発生する可能性があります。各 Outbound Enabler にユニークなサーバー ID を設定する必要があります。バックエンドサーバートークンの機密性が保持されるようにしてください。トークンが危険にさらされている恐れがある場合は、Relay Server の管理者に依頼して、バックエンドサーバートークンを更新してください。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1

Relay Server の警告メッセージ

警告メッセージは、Relay Server のメッセージログに書き込まれます。

多くのエラーメッセージには、%1、%2 などの文字が含まれています。これらの文字は、パラメーターに置き換えられてエラーメッセージに表示されます。

各エラーには、数値エラーコードがあります。各エラーメッセージのテキストには、エラーまたは警告の種類を説明するプレフィクスが付けられています。

- **RSE** Relay Server のエラー。
- **RSF** Relay Server の致命的なエラー。これにより、SQL Anywhere モニター警告が発生します。
- **RSW** Relay Server の警告。

参照

- 「Relay Server のエラーメッセージ」1049 ページ

各警告には、1 ～ 5 のレベルが割り当てられます。

レベル	説明
1	Relay Server の起動または停止時に発生するサーバーレベルまたは高い ODBC レベルの警告
2	同期の開始および終了時に発生する同期レベルとユーザーレベルの警告
3	スキーマレベル (パブリケーションとテーブルを含む) の警告
4	スクリプトレベルと低い ODBC レベルの警告
5	テーブルレベルとローレベルの警告

Relay Server の警告メッセージ (エラーコード順)

エラーコード	メッセージテキスト
0	「RSW0: '%3'を呼び出し中にシステムエラー [SYS%1: %2] が発生しました。」

エラーコード	メッセージテキスト
1	「RSW1: このプラットフォームでは CPU 監視機能は使用できません。」

Relay Server の警告メッセージ (五十音順)

RSW0: '%3'を呼び出し中にシステムエラー [SYS%1: %2] が発生しました。

エラーコード	0
エラー定数	RSW_SYS_CALL
パラメーター 1	システムエラーコード
パラメーター 2	システムエラーメッセージ
パラメーター 3	システム呼び出しの名前

考えられる原因

致命的でないシステム呼び出しが失敗しました。Relay Server は引き続き稼働しています。

RSW1: このプラットフォームでは CPU 監視機能は使用できません。

エラーコード	1
エラー定数	RSW_CPU_MON_NOT_AVAILABLE

考えられる原因

Relay Server は、このプラットフォーム上の Relay Server 関連のすべてのプロセスによる合計 CPU 使用率を正確に報告できません。

 Copyright © 2012, iAnywhere Solutions, Inc. - SQL Anywhere 12.0.1